V302T 基本操作編

マナーもいっしょに携帯しましょう。

V302T 基本操作編

vodafone

This Manual includes an English Abridgement

vodafone™

V302T
基本操作編

はじめに

このたびは、「V302T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（☞14-7ページ）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V302Tは、1.5GHzの周波数帯を利用し、ボーダフォンのネットワークに対応した仕様になっております。

V302Tは、日本国外ではご利用になれません。
This product is exclusively for use in Japan.

ご注意

・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取替えいたします。

お買い上げ品の確認

付 属 品
（オプション品としてもお取り扱いしています）

■電池パック（TSBL01）

■卓上ホルダー（TSEM01）

■急速充電器（TSCL01）

他に、ソフトケース、イヤホンマイク、室内用アンテナなどのオプション品、別売品が用意されています。

● 詳しくは、**お問い合わせ先**（☞14-7ページ）までご連絡ください。

安全上のご注意

・ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
・製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
・お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
・表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	⃠ は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗ 指示	❗ は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

・地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・当社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・撮影した画像データは、本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、変化または消失することがありますが、当社は、画像データの修復や生じた損害・逸失利益について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・記憶装置（内部メモリ）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。記憶内容の消失に伴う損害を最小限にするために、定期的にバックアップをお取りください。

⚠危　険

電話機・電池パック・充電用機器を分解・改造・修理しないこと
火災・感電の原因となります。電話機の改造は電波法違反になります。
故障したときの修理は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞14-7ページ)までご連絡ください。

電話機・電池パックを火の中に入れたり、加熱しないこと
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。なお、水にぬれた場合でも加熱用機器(電子レンジなど)で強制的に乾燥させないでください。

電話機・電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しないこと
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。

電話機・電池パックを水や汗、海水などでぬらさないこと
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞14-7ページ)までご連絡ください。

電話機・充電用機器・電池パックを屋外や浴室など、水がかかる場所に置かないこと
ぬれると、発熱・破裂・発火の原因となります。

電話機・充電用機器・電池パックの周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと
液体がこぼれてぬれると、発熱・破裂・発火の原因となります。

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。

電池パックの端子(金属部分)を針金などの金属で接続しないこと
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。

電池パックを電話機・充電用機器に接続するときに、(+)(−)を逆にしたり、無理に接続しないこと
電池パックが漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
電池パックがショート状態となり、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックはこの電話機だけに使用すること
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。

電話機の電池を充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること
電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。

⚠警　告

ぬれた電池パックを充電しないこと
発熱・破裂・発火・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに急速充電器のプラグを抜いてください。

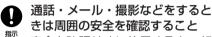
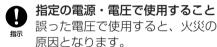
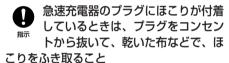
自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能(メール・ゲーム・カメラ・電話機内蔵のモバイルフラッシュなど)も使用しないこと
交通事故の原因となります。運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

引火ガスが発生する場所で使用しないこと
ガスに引火し、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では電話機の電源を切り、充電もしないでください。

ストラップやアンテナなどを持って振り回さないこと
けがなどの事故や破損の原因となります。

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること
電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

長時間使用しない場合は、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
プチスケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切ること
電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。

通話・メール・撮影などをするときは周囲の安全を確認すること
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指定の電源・電圧で使用すること
誤った電圧で使用すると、火災の原因となります。
急速充電器：家庭用交流100V
シガーライター充電器(オプション品)：直流12V・24V(マイナスアース車専用)

急速充電器のプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること
そのまま放置すると、火災の原因となります。

車載用機器などは運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならないように配線し、確実に取り付けること
コード類が足や運転装置にからむと、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下で驚いて急ブレーキや急ハンドルの操作による事故の原因となります。車載用機器の取扱説明書に従って設置してください。

電池パック内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。

⚠ 警　告

指示

雷鳴が聞こえた場合はただちに電話機の電源を切ること

落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、ご使用を中止し、安全な場所へ移動してください。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること

電池パックが発熱・破裂・発火の原因となります。最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞14-7ページ）まで修理をご依頼ください。

指示

急速充電器を家庭用交流100Vコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように確実に差し込むこと

感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

モバイルフラッシュの発光部を人の目に近づけて発光させないこと

視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

指示

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

1. 充電中であれば、充電用機器の急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を家庭用交流100Vコンセントまたはソケットから抜く
2. 冷えたのを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外す
   そのまま使用（充電）すると、電池パックが発熱・破裂・発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞14-7ページ）までご連絡ください。

指示

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

1. 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3. 医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には電話機を持ち込まない
   - 病棟内では、電話機の電源を切る
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う
   - プチスケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切る
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養等）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会「平成9年4月」）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠ 注　意

禁止

電話機・電池パックを直射日光の強いところや炎天下の車内など、電池パックが高い温度になるところで使用・放置しないこと

電池パックが発熱・発火の原因となります。

禁止

電池パック・充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないこと

けがなどの事故の原因となります。

禁止

充電用機器の端子（金属部分）を針金などの金属で接続しないこと

発熱し、やけどの原因となります。

禁止

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を家庭用交流100Vコンセントやソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと

コードの破損により発熱・発火・やけどの原因となります。

急速充電器やシガーライター充電器を持って抜いてください。

禁止

充電用機器のコード類を引っ張ったり、無理に曲げたり、急速充電器に巻きつけたりしないこと

また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと

コード類の破損により発熱・発火・やけどの原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと

感電の原因となります。

禁止

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと

自動車内で使用した場合、車種によりまれに車両電子機器に影響を与えるものがあります。安全走行を損うおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと

落下して、けがや故障の原因となります。バイブレータ設定中は特に気をつけてください。

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収に出すか、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」にお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないこと

発熱・故障の原因となる場合があります。

禁止

人の混雑している場所では電話機を使用しないこと

アンテナが人にあたり、思わぬけがをしたり、周囲の方の迷惑になるおそれがあります。

禁止

シガーライター充電器（オプション品）は、自動車のエンジンを切った状態で使用しないこと

自動車用バッテリー消耗の原因となります。

指示

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、指定のヒューズと交換すること

指定以外のヒューズと交換すると、発熱・やけどの原因となります。

ヒューズの交換については、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。

⚠注　意

指示
電池パック内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

指示
皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること
本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用材料、表面処理
アンテナ	PC樹脂
	黄銅／クロムメッキ（下地 ニッケル）
	ナイロン
	PBT樹脂
	アルミ／ニッケルメッキ
ヒンジキャップ	ABS樹脂／クロムメッキ（下地 ニッケル・銅）
外装ケース（ボタン操作部、受話部）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（アンテナ部、電池部、サブディスプレイ側）	PPE・PS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
マルチファンクションボタン、サイドキー	PC樹脂（透明部）、ABS樹脂／クロムメッキ（下地 ニッケル・銅）（2色成形）
マルチファンクションボタン、サイドキー以外のボタン	PC樹脂
ディスプレイパネル、サブディスプレイパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク
モバイルフラッシュパネル	アクリル樹脂／ABS樹脂（2色成形）
イヤホンマイク端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂
外部接続端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂 アクリルウレタン系塗装処理
充電端子	ステンレス／金メッキ（下地 ニッケル）
ネジ	鉄／ニッケルメッキ（下地 銅）
ネジキャップ、ネジカバー	ポリウレタン樹脂

指示
スピーカーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること
けがなどの事故の原因となります。

指示
心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に気をつけること
心臓に影響を与える可能性があります。

指示
電話機を閉じるときは、手や物をはさまないように閉じること
けがやディスプレイ（液晶）などの破損の原因となります。

禁止
モバイルライトを撮影や簡易ライト以外に使用しないこと
目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。

お願いとご注意

■ご利用にあたって

- V302Tは電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V302Tを公共の場所でご使用になるときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V302Tは電波法に定められた無線局です。従って電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や画像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
- V302Tはデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。従って、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- V302Tは国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出してのご使用はできません。
  This product is exclusively for use in Japan.
- 以下の場合、記録したデータが変化・消失することがあります。記録したデータの変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  ・誤った使い方をしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・動作中に電源を切ったとき
  ・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
  ・故障したり、修理に出したとき

■自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながらV302Tをご使用になることは、法律で禁止されていますので、使用しないでください。
- V302Tをご使用になるために、禁止された場所へは駐停車しないでください。

■航空機内でのご使用について

- 航空機内では、ご使用にならないでください。
  電源も入れないでください（プチスケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください）。

■お取り扱いについて

- V302Tを極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- V302Tを落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V302Tは精密部品で作られた無線通信装置です。分解、改造はしないでください。
- ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。

- V302Tの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- V302Tのディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
- イヤホンマイクはしっかりとイヤホンマイク端子に差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
- ストラップなどをはさんだまま、V302Tを折りたたまないでください。故障や破損の原因となります。
- 一般に携帯電話のアンテナに触れると無線感度が弱まります。ご使用の際は、アンテナに触れないようにしてください。

■モバイルカメラについて

- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 携帯電話のカメラを使って、撮影が許可されていない場所や書店などで、情報の記録を行うことはおやめください。

■モバイルフラッシュ、イルミネーションについて

- 湿気の多いところではご使用にならないでください。
- モバイルフラッシュおよびイルミネーション（お知らせランプ）には寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。光量が減ってきたら、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（☞14-7ページ）までご連絡ください。
- 高温、低温下でのご使用は、モバイルフラッシュの寿命を短くすることがあります。
- 左右でイルミネーション（お知らせランプ）の色味が違う場合があります。

■著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■肖像権等について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。従って、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

V302Tの便利な機能

は、お勧め機能です。

マナーモード

周囲に迷惑がかからないように音を設定することができます。

P2-7/P5-6

応答保留

かかってきた電話にすぐに出られないときは保留にすることができます。

P2-9

簡易留守録

電話に出られないときに相手からのメッセージを録音することができます。

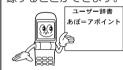
P2-10/P11-14

音声メモ

通話中の相手の声を録音することができます。

P2-14

ユーザー辞書

特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録することができます。

P3-17

メモリダイヤル

よく電話をかける相手を登録できます。
また、相手先ごとに着信音などを変えることができます。

P4-2

シークレットモード

他人に知られたくないメモリダイヤルはシークレットメモリとして登録できます。

P4-13

着信音パターン

着信音をお好みのパターンに変えることができます。

P5-3

オリジナル着信音

あなただけの着信音を作ることができます。
和音演奏も楽しめます。

P5-13

サイドキー誤動作防止

カバンやポケットの中での誤動作を防ぎます。

P6-16

壁紙／マイキャラクタ

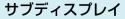
待受画面上にお好みのイラストを表示させることができます。また、着信時などにも表示させることができます。

P7-9/P7-13

自作マルチメニュー

マルチメニュー画面のデザインをお好みにあわせて変更することができます。

P7-7

サブディスプレイ

V302Tを閉じた状態で日時を表示させます。また、着信時やメール受信時に相手を確認することができます。

P7-20

言語選択

画面上の表示を英語またはポルトガル語に切り替えることができます。

P7-23

でか文字モード

着信時などに大きい文字で表示させることができます。

P7-24

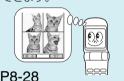
モバイルカメラ

V302T内蔵のカメラで写真を撮影することができます。

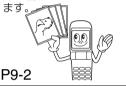
P8-2

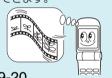
ピクチャーつく〜る

画像を編集したり、4分割壁紙を作成することができます。

P8-28

データフォルダ

保存した画像やサウンドなどの各種ファイルを確認・編集することができます。

P9-2

アニメつく〜る

保存した画像を使ってアニメーションを作ることができます。

P9-20

プチスケジュール

V302Tをスケジュール帳として利用することができます。

P10-2

プチメモ

V302Tをメモ帳として利用することができます。

P10-26

目覚まし

V302Tを目覚まし時計として利用することができます。

P10-28

簡易電卓

10桁までの演算や、割り勘機能で計算することができます。

P10-33

サブ液晶アプリ

V302Tをストップウォッチやキッチンタイマーとして利用することができます。

P10-37

イルミネーション（お知らせランプ）

着信時または未読メールや新着のステーションなどがある場合、お知らせランプで確認することができます。

P11-4

ゲーム

V302Tでゲームを楽しむことができます。

P11-18

シンプルモード

電話やメールなど普段よく使う機能だけを限定して使用する状態に切り替えることができます。

P11-38

リミットモード

電話・メールなどの機能を時間制限や使用量制限を設定して使用する状態に切り替えることができます。

P11-44

オプションサービス

かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P12-3

電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。

P12-5

通話中にかかってきた電話を受けることができます。

P12-9

3人で同時に通話できます。また、相手を切り替えながら通話できます。

P12-11

目　次

11 その他の機能

12 オプションサービス

本書の見方

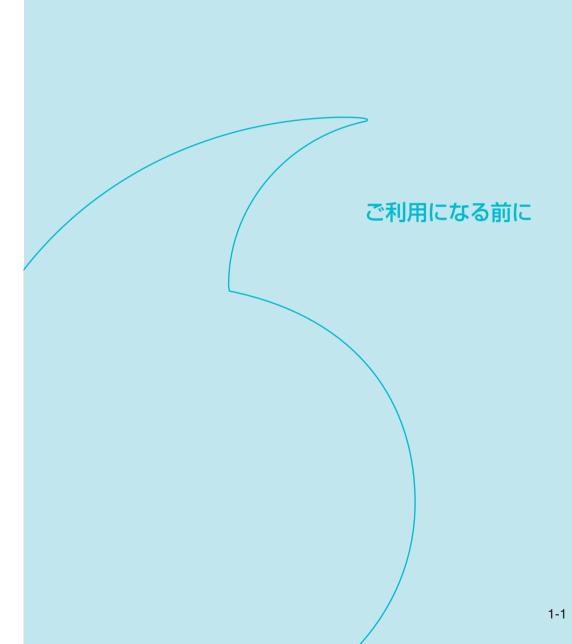
ディスプレイ表示について

- 本書で記載しているディスプレイ表示は、実際のディスプレイ表示と異なります。
- 操作によっては、ディスプレイ表示を省略している場合があります。
  あらかじめご了承ください。

例

ご利用になる前に

各部の名称と機能

■本体

お買い上げ時はディスプレイなどの保護のため、ディスプレイ部分に保護フィルムが貼られています。保護フィルムは、必ずはがしてからご利用ください。

レシーバー（受話口）

メニューボタン
マルチメニュー（☞1-11ページ）を呼び出すときなどに使用します。

マルチファンクションボタン
機能設定メニューやメモリダイヤルを呼び出すときなどに使用します。また、カメラ利用時はシャッターボタンとして使用できます。

◯、📷ボタン
ボーダフォンライブ!のメール、ウェブ、ステーションやカメラを利用するときなどに使用します。

開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

文字／小文字ボタン
文字を入力するときに使用します。

＊、記号、📷ボタン
＊や記号を入力するときに使用します。また、カメラ利用時は画像表示をディスプレイとサブディスプレイで切り替えるときに使用します。

マイク（送話口）

外部接続端子
急速充電器や各種オプション類を接続するときに使用します。

ディスプレイ
現在の状況やメッセージなどを表示します。

✉、スケジュールボタン
メールを利用するときやプチスケジュールを確認するときなどに使用します。

電源、終了ボタン
電源のON/OFFや、通話を終了するとき、操作を終了し待受画面に戻るときに使用します。また、応答保留にするときにも使用します。

クリアボタン
入力した電話番号や文字を消去するときなどに使用します。

ショートカット、シンプルボタン
ショートカットメニューを呼び出すときやシンプルモードを利用するときに使用します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときなどに使用します。

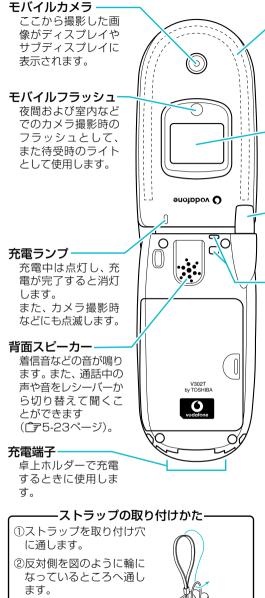
#、ゝ、□、🔔ボタン
＃を入力するときやマナーモードを設定するときなどに使用します。

モバイルカメラ
ここから撮影した画像がディスプレイやサブディスプレイに表示されます。

モバイルフラッシュ
夜間および室内などでのカメラ撮影時のフラッシュとして、また待受時のライトとして使用します。

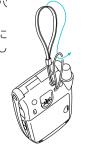
充電ランプ
充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。
また、カメラ撮影時などにも点滅します。

背面スピーカー
着信音などの音が鳴ります。また、通話中の声や音をレシーバーから切り替えて聞くことができます（☞5-23ページ）。

充電端子
卓上ホルダーで充電するときに使用します。

イルミネーション（お知らせランプ）
電話の着信や未確認の不在着信履歴、未読のメールなどがある場合に背面の内側がU字に点滅します（☞11-4ページ）。

サブディスプレイ
撮影した画像を表示したり、電話の着信やメール、ウェブ、ステーションの受信などをお知らせします。

アンテナ

ストラップ取り付け穴

イヤホンマイク端子
オプション品のイヤホンマイク、スイッチ付イヤホンマイクを差し込みます。

上サイドキー（ズーム／メモ）
カメラのズーム、簡易留守録の設定やメッセージを再生するときなどに使用します。

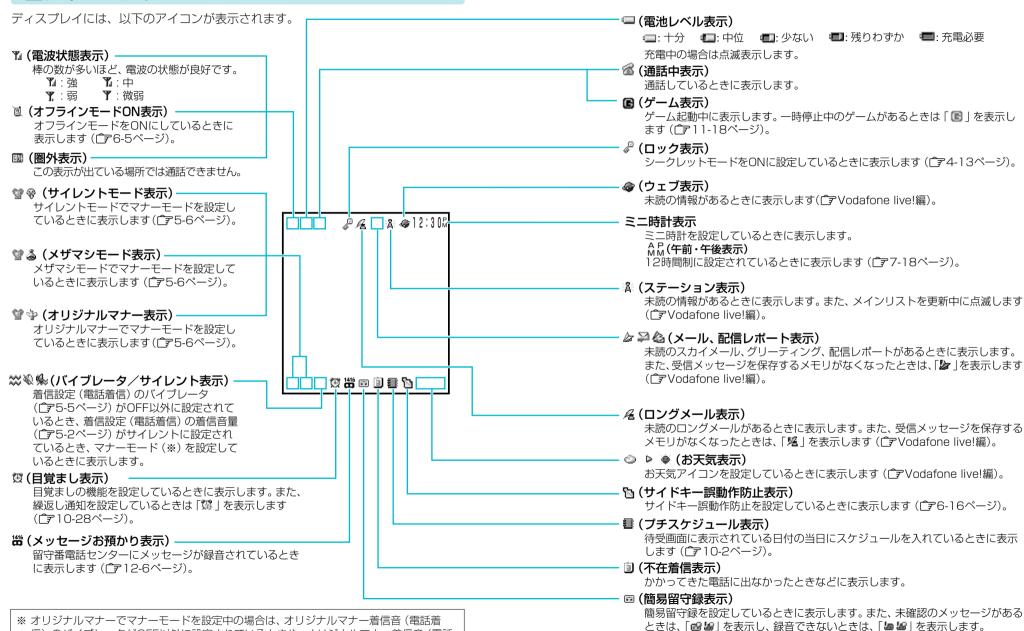
下サイドキー（シャッター）
カメラ撮影時やモバイルフラッシュを点灯させるときに使用します。また、カメラ起動などを設定することもできます（☞11-37ページ）。

ストラップの取り付けかた

①ストラップを取り付け穴に通します。

②反対側を図のように輪になっているところへ通します。

■ディスプレイ

ディスプレイには、以下のアイコンが表示されます。

※ オリジナルマナーでマナーモードを設定中の場合は、オリジナルマナー着信音(電話着信)のバイブレータがOFF以外に設定されているときや、オリジナルマナー着信音(電話着信)の着信音量がサイレントに設定されているときに表示されます。

■サブディスプレイ

V302Tを閉じている場合でも、サブディスプレイでさまざまな情報を確認することができます。

- （メッセージお預かり表示）留守番電話センターにメッセージが録音されています。
- （ゲーム表示）ゲーム起動中に表示します。
- （マナーモード設定表示）マナーモードが設定されているときに表示します。
- （簡易留守録表示）未確認のメッセージがあるときに表示します。
- （不在着信表示）かかってきた電話に出なかったときなどに表示します。
- （目覚まし表示）目覚ましの機能を設定しているときに表示します。
- （電池レベル表示）
- （電波状態表示）
- （オフラインモードON表示）オフラインモードをONにしているときに表示します。
- （圏外表示）この表示が出ている場所では通話できません。
- （お天気表示）お天気アイコンを設定しているときに表示します。
- （ロングメール表示）未読のロングメールがあるときに表示します。
- （メール表示）未読のスカイメール、グリーティングがあるときに表示します。
- 不在着信件数　不在着信の件数を表示します。
- （サイドキー誤動作防止表示）サイドキー誤動作防止を設定しているときに表示します。
- （ステーション表示）未読の情報があるときに表示します。
- （配信レポート表示）未読の配信レポートがあるときに表示します。
- 時刻表示
- AM PM（午前・午後表示）12時間制に設定されているときに表示します。
- 未読メール件数　ロングメールとスカイメールのトータル未読件数を表示します。

6／1（火）
12:30

待受中のとき	
● 通常の待受画面の場合　6／1（火） 12:30	● 不在着信などの情報がある場合　1 2 6／1 12:30 メール未読

電話がかかってきたとき（着信）		
● メモリダイヤルに登録されていない場合　03123XXXX1	● メモリダイヤルに登録されている場合 田中	● 着信表示設定がOFFの場合（☞7-20ページ） 着信
● 電話番号を通知していない相手からの場合　非通知設定	● 公衆電話からの場合 公衆電話	● 通知が不可能な場合 発番通知不可

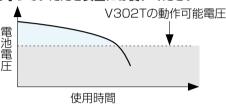
電池パックと充電器のお取り扱い

■電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■リチウムイオン電池の豆知識

リチウムイオン電池は次の注意事項を守っていただき安全にお使いください

「金属リチウム」は使用していません。
非常に安定した化合物イオンとしてリチウムを利用しています。

使用時間に従って上図のように徐々に電圧が下がる特性があります。

高温・低温下では性能を十分発揮できません

- 高温環境や低温環境では容量が低下し、使用時間が短くなります。
  また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
- 低温下での充電は、十分な容量が得られません。
  充電は5℃～35℃の場所で行ってください。

保管する場合は次のことを守ってください

電池パック単体で保管する場合は、電池パックのコネクターがショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しい所で保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管することをおすすめします。

電池パックは自然放電します

電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。

注意事項

- **指定の急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器を使用して電池パックを充電してください**
- **衝撃を与えたり、落としたりしないでください**
- **充電端子および電池パックのコネクターなどを時々乾いた綿棒などで清掃してください**
  汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

■電池パックを取り付ける／取り外す

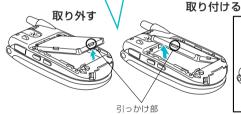
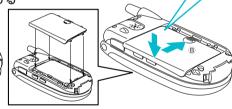
1 図のように電池カバーの「⊂⊃」を押しながらⒶの方へスライドさせる

2 電池カバーを外す

3 電池パックを取り付ける、または取り外す

取り付ける場合は、図のように、V302Tと電池パックの下部を合わせて取り付けます。
取り外す場合は、電池パック上部の引っかけ部に爪をかけて持ち上げます。

4 電池カバーを取り付ける

V302Tと電池カバーを図の位置に合わせてからⒷの方へカチッと音がするまでスライドさせます。

- 必ず、電池パックおよび電池カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 電池パックを取り外す場合は、引っかけ部以外のところから持ち上げて外さないようにしてください。
- 電池パックには寿命があります。充電、放電を繰り返すうち、使用可能時間が短くなります。使用可能時間が短くなってきたら、新しい電池パックをお買い求めください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに端子にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収に出すか、最寄りの**ボーダフォンショップ**にお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

電池パックのお取り扱いについては1-7ページを参照してください。

■急速充電器を利用して充電する

充電時間	約110分

1 V302Tに急速充電器のコネクターを取り付ける

V302T下部の外部接続端子キャップを開け、コネクターの刻印を上にして外部接続端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントに差し込む

装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

外部接続端子
刻印
コネクター
リリースボタン
外部接続端子キャップ
充電ランプ
V302T
プラグ
急速充電器
家庭用交流100Vコンセント

3 充電ランプが消灯したら急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントから抜く

充電が終了すると電池レベル表示が点灯し、充電ランプが消灯します。

4 V302Tから急速充電器のコネクターを取り外す

V302Tからコネクターを取り外すときは、コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

- 充電ランプが赤く点滅（遅い点滅）したときは、家庭用交流100Vコンセントから急速充電器のプラグを抜いて、V302Tから急速充電器のコネクターを取り外します。外部接続端子を乾いた綿棒などで清掃し、V302Tと急速充電器をセットし直してください。それでも赤く点滅し続けるときは、電池パック、急速充電器の不良が考えられます。直ちに充電を中止し、家庭用交流100Vコンセントからプラグを抜いて、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（☞14-7ページ）までご連絡ください。
- V302Tを充電する際は、必ずV302Tに電池パックを取り付けた状態で行ってください。
- 電源をONにした状態でも充電することができます。このとき、ディスプレイに表示される電池レベルは、実際の電池レベルより高く表示されます。また、充電時間が長くなります。
- 充電中にV302Tが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 湿気の多いところではご使用にならないでください。

- 充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信時と同様に着信音やバイブレータとイルミネーション（お知らせランプ）の点滅でお知らせします。
- 電池パックのお取り扱いについては1-7ページを参照してください。

■卓上ホルダーを利用して充電する

充電時間	約110分

1 急速充電器のコネクターを卓上ホルダーに取り付ける

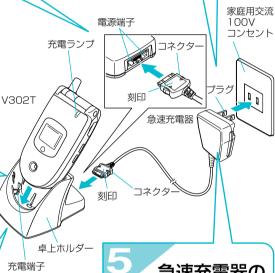
急速充電器のコネクターの刻印を上にして、卓上ホルダー背面の電源端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントに差し込む

3 V302Tを卓上ホルダーにセットする

装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

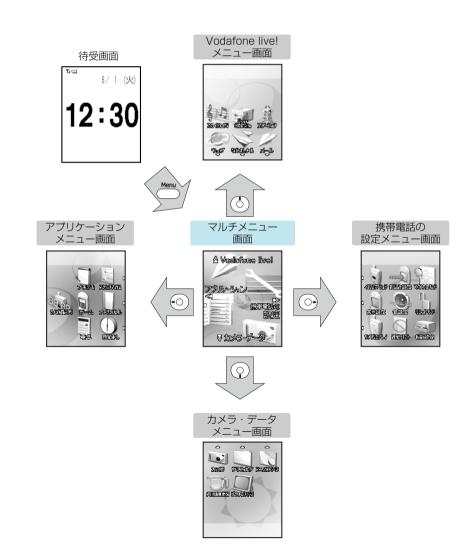
4 充電ランプが消灯したらV302Tを卓上ホルダーから取り外す

充電が終了すると電池レベル表示が点灯し、充電ランプが消灯します。

5 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントから抜く

充電ランプが赤く点滅（遅い点滅）したときは、家庭用交流100Vコンセントから急速充電器のプラグを抜いて、卓上ホルダーから急速充電器のコネクターを取り外します。V302Tの充電端子、卓上ホルダーの電源端子および充電端子を乾いた綿棒などで清掃し、V302T、急速充電器、卓上ホルダーをセットし直してください。それでも赤く点滅し続けるときは、電池パック、急速充電器または卓上ホルダーの不良が考えられます。直ちに充電を中止し、家庭用交流100Vコンセントからプラグを抜いて、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（☞14-7ページ）までご連絡ください。

機能の呼び出し方

■マルチメニューから機能を呼び出す

待受画面でMenuを押すと、マルチメニュー画面が表示されます。
このあと、◎で目的のアイコンを選択し●を押すと、各操作画面を表示させることができます。

画　面	機　能　名	参照ページ
Vodafone live!メニュー画面	スカイメロディ	Vodafone live!編
	User Club Site	Vodafone live!編
	ステーション	Vodafone live!編
	ウェブ	Vodafone live!編
	なかよしメール	Vodafone live!編
	メール	Vodafone live!編
アプリケーションメニュー画面	プチメモ	10-26
	アクションアイテム	10-19
	サブ液晶アプリ	10-37
	ゲーム	11-18
	プチスケジュール	10-2
	電卓	10-33
	目覚まし	10-28
携帯電話の設定メニュー画面	イルミネーション	11-4
	割込み設定	Vodafone live!編
	でか文字モード	7-24
	表示設定	2-3、7章、11-26
	音設定	5章
	リミットモード	11-44
	サブディスプレイ	7-20
	迷惑リスト	6-6、Vodafone live!編
	機能設定	14-2
カメラ・データメニュー画面	カメラ	8章
	データフォルダ	9章
	アニメつく〜る	9-20
	メモリ使用状況	4-12、9-10、Vodafone live!編
	ピクチャーつく〜る	8-28

■マルチファンクションボタンの使いかた

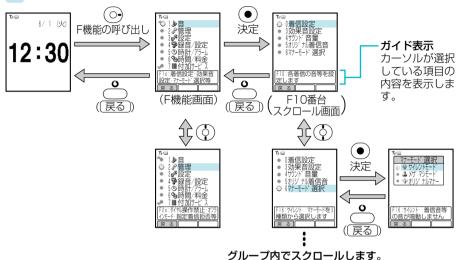
マルチファンクションボタンは、上下左右、中央を押すことにより、メモリダイヤルの検索などが行えます。

操　作	本書での表記		
● F機能のメニューを呼び出すとき ● カーソルを右に移動させるとき ● 選択している項目を決定・実行するとき	右を押すとき	左右を押すとき	上下左右を押すとき
● メモリダイヤルの検索画面を呼び出すとき ● カーソルを左に移動させるとき ● 1つ前の画面に戻るとき	左を押すとき		
● 着信履歴を呼び出すとき ● カーソルを上に移動させるとき ● 音量を大きくするとき	上を押すとき	上下を押すとき	
● リダイヤルを呼び出すとき ● カーソルを下に移動させるとき ● 音量を小さくするとき	下を押すとき		
● 選択している項目を決定・実行するとき ● 撮影するとき（シャッター）	中央を押すとき		

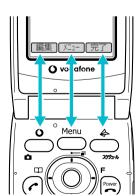
カーソルについて

カーソルとは、文字入力画面で表示される「　」または「　」やF機能のメニュー画面などで表示される「　」をいいます。

■ファンクションメニューから機能を呼び出す

例 マナーモードの設定（☞5-6ページ）を行う場合

■ソフトキーの使いかた

ディスプレイの最下段に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタン（ソフトキー）を押してください。

例 メモリダイヤル登録中の場合

・ 編集 の操作を行う場合は、を押します。

・ メニュー の操作を行う場合は、を押します。

・ 完了 の操作を行う場合は、を押します。

補足 ディスプレイに表示される内容は、利用する機能によって異なります。また、本書ではソフトキーを押す場合の操作を（完了）などと記載しています。

暗証番号

V302Tのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」が必要になります。

■操作用暗証番号について

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の番号で、以下の機能を使用するときに必要です。

- 迷惑リストの登録
- 累積通話料金表示のリセット
- 累積通話時間表示のリセット
- シークレットモード
- ダイヤル操作禁止
- ダイヤル操作禁止の解除
- 簡易ロック
- 禁止設定
- オールリセット
- 指定着信拒否
- メモリオールクリア
- 操作用暗証番号の変更
- 設定リセット
- データフォルダのフォルダ消去
- フォルダ内に作成したフォルダの消去
- データフォルダのセキュリティ設定
- 迷惑リストの利用
- シークレット設定されたスケジュールの確認
- シークレット設定されたアクションアイテムの確認
- スケジュールロックの設定／解除
- ユーザー辞書の登録語句の全消去
- 国際ショートコードの変更
- プライベートモード時のメモリオールクリア

重要
- 「操作用暗証番号」は、お忘れにならないようご注意ください。
- 事故の原因となりますので、「操作用暗証番号」は他人に知られないようご注意ください。

補足
- 「操作用暗証番号」はV302Tの操作で変更することができます（☞6-10ページ）。
- 入力した操作用暗証番号は「＊」で表示されます。
- 「リミットモード用パスワード」については11-44ページを、「プライベートモード起動用暗証番号」については11-55ページを参照してください。

■交換機用暗証番号について

お客様が加入の申し込みをされたときにお決めいただいた4桁の番号です。オプションサービスの一般電話からの操作をご利用になる場合に必要な番号です。

重要 交換機用暗証番号は、お忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞14-7ページ）までご連絡ください。なお、交換機用暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

基本的な操作のご案内

電源を入れる／切る

■電源を入れる

アンテナを伸ばさないと十分な性能を発揮できません。

- 電源を入れると、以下の動作を行います。
  - ・ウェイクアップ音が鳴ります（☞5-9ページ）。
  - ・ウェイクアップ画面が表示されます（☞7-14ページ）。
  - ・充電ランプが点灯します。
  - ・ディスプレイが点灯します。
  - ・ダイヤルボタンなどが点灯します。
  - ・イルミネーション（お知らせランプ）が点灯します（☞11-4ページ）。
- 初めてお使いになるときは、V302Tの時計を合わせてください（☞2-3ページ）。

■電源を切る

電源を切る場合は、待受画面で Power を長く（約1秒以上）押してください。
パワーオフ画面（☞7-14ページ）が表示され、電源が切れます。

日付・時刻の設定

待受画面に表示される日付・時刻を設定します。時計表示は変更することができます（☞7-17ページ）。[時計設定]

- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は24時間制で入力してください。
- 時計の設定を行うと自動的に曜日が設定されます。また、12h／24h設定により表示を12時間制にすることができます（☞7-18ページ）。
- 入力できる日付は、2000年1月1日から2099年12月31日までです。
- 日付、時刻の入力中に ○ を押すと、カーソルを移動することができます。また、○ を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げることができます。
- 時報（117番）を背面スピーカー（☞5-23ページ）から聞きながら時刻を設定することができます。

電話をかける

間違えてダイヤルしたときは

Powerを押すか、Clearを長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。Clearを短く押すと、右端から1桁ずつ消すことができます。

相手がお話し中のときは

「プープー…」という話中音が聞こえます。
Powerを押して電話を切り、しばらくたってから再度かけ直してください。

国際電話の使い方

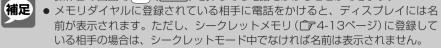
V302Tから、国際電話サービスがご利用になれます。
詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。また、操作方法については11-32ページを参照してください。

一般に携帯電話のアンテナに触れますと無線感度が弱まります。ご使用の際は、アンテナに触れないようにご注意ください。

■以前かけた電話番号にもう一度かける

以前にかけた電話の日時や電話番号を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。[リダイヤル]

シークレットメモリ（☞4-13ページ）に登録された番号に電話をかけた場合、リダイヤルには記憶されません。

補足

- 操作*2*の画面で（発信）を押しても電話をかけることができます。
- メモリダイヤルに登録されている相手に電話をかけると、ディスプレイには名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（☞4-13ページ）に登録している相手の場合は、シークレットモード中でなければ名前は表示されません。
- リダイヤルの電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作*1*、*2*の画面で（表示）を押すと、選択している相手の電話番号を全桁確認できます。
- リダイヤルの内容は電源を切っても消えません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- リダイヤルの件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中にリダイヤルを確認する場合は、を長く（約1秒以上）押します。
- リダイヤルを表示中に（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**新規メモリダイヤル／メモリダイヤル追加／メモリダイヤル呼出／メール作成／184発信／186発信／1件消去／全件消去**

マナーモードを利用する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑とならないように音やバイブレータの設定を簡単に切り替えることができます。
マナーモードの種類については5-6ページを参照してください。

マナーモードにする

1 **#を押す（約1秒以上）**

マナーモードが設定されます。

マナーモードを解除する

1 **マナーモード設定中に#を押す（約1秒以上）**

▶マナーモードが解除されます。

電話を受ける

1 電源を入れておく

2 電話がかかってくる

着信音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

3 アンテナを伸ばし、V302Tを開いて を押す

電話がつながり通話できます。

4 Power を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。V302Tを閉じても通話が終了します。

- の他、0～9、*、#のいずれかのボタンを押しても電話が受けられます。[エニーキーアンサー]
- かかってきた電話に出られなかった場合は、お知らせ一発メニューが表示されます（☞11-2ページ）。
- メモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます［発信者名表示］。ただし、シークレットメモリ（☞4-13ページ）に登録している相手の場合は表示されません（シークレットモード中を除く）。
- 相手から電話番号の通知がなかった場合は以下のように表示されます。
  - 「?非通知設定」：相手が電話番号を通知してこなかった場合
  - 「公衆電話」：公衆電話からかかってきた場合
  - 「?発番通知不可」：電話番号の通知が不可能な電話からかかってきた場合

電話に出られないとき

■着信を保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、その電話を保留にすることができます。［応答保留］

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

2 Power を押す

「ピーッ」という応答保留音が鳴り、相手には現在電話に出られないことをアナウンスでお知らせします。

3 電話に出られるようになったら を押す

電話がつながり通話できます。

4 Power を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。V302Tを閉じても通話が終了します。

- 応答保留中でも電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に Power を押すと、保留中の通話が終了します。
- 通話中の相手に対し保留にすることはできません。

- 操作1の画面で（保留）を押しても保留にすることができます。
- 保留中の相手には「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけ直しください。」などのアナウンスが流れます。
- 応答保留中はの他、（応答）、0～9、*、#のいずれかのボタンを押しても電話が受けられます。[エニーキーアンサー]
- メモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます［発信者名表示］。ただし、シークレットメモリ（☞4-13ページ）に登録している相手の場合は表示されません（シークレットモード中を除く）。

■メッセージを録音する

電話に出られない場合、V302Tに相手のメッセージを録音することができます。録音は、音声メモ（☞2-14ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。

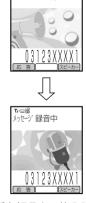
1 着信音が鳴る

2 上サイドキー（メモ）を押す（約1秒以上）

相手には「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。」という応答メッセージが流れます。

応答メッセージ 再生中
03123XXXX1
応答 スピーカー

⇩

メッセージ 録音中
03123XXXX1
応答 スピーカー

相手が電話を切るか、約90秒経過すると録音は終了し、待受画面に「」が表示されます。

録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「」の表示が消えるまで消去（☞2-15ページ）してください。

- （留守録）を押しても録音を行うことができます。
- V302Tを閉じた状態で上サイドキー（メモ）を長く（約1秒以上）押しても録音を行うことができます。
- 応答メッセージ再生中およびメッセージの録音中に（応答）、、0～9、*、#のいずれかのボタンを押すと、相手と通話することができます。この場合、録音中のメッセージは保存されません。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記録されています。

着信を拒否する

かかってきた電話を拒否することができます。着信拒否を行うと、相手には話中音（プープー…）を返します。［着信拒否］

- 通話中に割込みの電話がかかってきたときも、割込通話サービスが設定されている場合は、同様の操作で着信を拒否することができます（☞12-9ページ）。
- かかってきた電話を自動的に拒否することもできます（☞6-4、6-6ページ）。
- ○ Clear の順に押して、かかってきた電話を拒否することもできます。

受話音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさを5段階に調節することができます。
お買い上げ時は「**レベル5**」に設定されています。

例 「**レベル4**」に設定する場合

待受中に○または○を長く（約1秒以上）押したあと○で受話音量を調節することもできます。

通話中に相手の声を録音する

通話中に相手の声を録音することができます。録音は、簡易留守録（☞2-10ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。[音声メモ]

1 通話中に（録音）を押す

「ピーッ」という音のあと、録音を開始します。

2 （停止）を押す（録音可能時間を経過すると自動停止）

録音を停止します。

録音された音声を再生する場合は2-15ページを参照してください。

通話中に録音されるのは相手の声のみで、自分の声は録音されません。

- 録音が一杯の場合は、音声メモを録音できません。音声メモおよび簡易留守録を消去（☞2-15ページ）してください。
- 録音中に電話が切れると録音も終了し、録音されたところまでが保存されます。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記録されています。
- 上サイドキーを長く（約1秒以上）押しても録音や停止の操作が行えます。

■簡易留守録や音声メモを再生する

簡易留守録や音声メモに録音されているメッセージを再生します。また、再生後に消去することができます。

例 簡易留守録のメッセージを再生したあと消去する場合

1 待受中に上サイドキー（メモ）を押す

3 で再生したいメッセージを選択し、（再生）を押す

メッセージが再生されます。再生中に（中止）を押すと、再生を中止します。

2 で「留守録」を選択し、●を押す

録音されたメッセージの一覧が表示されます。再生していないメッセージは「**未再生**」が表示されます。

4 再生終了後、で「YES」を選択し、●を押す

メッセージが消去されます。消去しない場合は「NO」を選択します。

- 音声メモを再生する場合は、操作1の画面で「**音声メモ**」を選択してください。
- 音声メモでは名前および電話番号は表示されません。
- 再生中に電話がかかってくると、再生を中止して電話を受けることができます。
- 操作2の画面で Menu（メニュー）を押して、消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。
- **簡易留守録または音声メモをすべて消去する場合は…**
  ○ 4 1 を押したあと「**留守録**」または「**音声メモ**」を選択し、● を2回押します。

通話中にメモを登録する

ダイヤルボタンを使って通話中に電話番号などをメモすることができます。メモは3件まで自動的に登録されます。[ノートパッドメモリ]
また、登録された内容（ノートパッドメモリ）は、電話を切ったあとで確認したり、電話をかけることができます。

■電話番号などをメモする

1 通話中にダイヤルボタンを押す

以下の数字と記号を最大24桁メモすることができます。

0～9 ＊ ＃ － ／ ・

「03123XXXX1」を入力した場合

■ノートパッドメモリを確認する

1 ○ を押す（約1秒以上）

▶最新のノートパッドメモリが表示されます。
- メモした番号が、メモリダイヤルに登録されている電話番号と一致した場合は、名前も表示されます。
- ノートパッドメモリの記録が1件もないときは、待受画面へ戻ります。

- 相手の電話番号が表示されているときに ✆ または ○（発信）を押すと、相手に電話をかけることができます。
- 自動的に登録されるのは、最後に入力した数字から24桁分までです。
- すでに3件登録されている状態で更に登録すると、古いものから順に消去されます。
- 操作1の画面で Menu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**新規メモリダイヤル**／**メモリダイヤル追加**／**メモリダイヤル呼出**／**メール作成**／**184発信**／**186発信**／**1件消去**／**全件消去**

着信履歴の確認

かかってきた電話の日時や電話番号を最新の20件まで記憶します。

■記録内容を確認する

着信履歴表示	内　容
着信	かかってきた電話に出たとき
不在	かかってきた電話に出なかったとき
着信拒否	かかってきた電話を拒否したとき（☞2-12ページ）
非通知拒否	F26「指定着信拒否」（☞6-8ページ）を設定中に相手が電話番号を通知してこなかったとき

- 相手の電話番号が表示されているときに または （発信）を押すと、相手に電話をかけることができます。
- メモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます［発信者名表示］。ただし、シークレットメモリ（☞4-13ページ）に登録している相手の場合は表示されません（シークレットモード中を除く）。
- 相手から電話番号の通知がなかった場合は以下のように表示されます。
  - ・「?非通知設定」　：相手が電話番号を通知してこなかった場合
  - ・「公衆電話」　：公衆電話からかかってきた場合
  - ・「?発番通知不可」：電話番号の通知が不可能な電話からかかってきた場合
- 着信履歴の電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作2の画面で （表示）を押すと、24桁まで確認できます。
- 着信履歴の内容は電源を切っても消えません。
- 着信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中に着信履歴を確認する場合は、 を長く（約1秒以上）押します。
- 着信履歴を表示中に （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - ・**新規メモリダイヤル／メモリダイヤル追加／メモリダイヤル呼出／メール作成／184発信／186発信／迷惑リスト追加／1件消去／全件消去**

通話時間表示

通話時間を表示する

前回通話したときの通話時間を確認することができます。

- 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話時間はリセットされます。

累積通話時間を表示する

現在までの通話時間の合計を確認することができます。

1 6 2 の順に押す

▶累積通話時間が表示されます。
待受画面に戻るときは、 を押してください。

- 表示される累積通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 累積通話時間では、電話をかけたとき（発信時）の通話時間のみが加算され、メールやウェブ（☞Vodafone live!編）の通信時間は含まれません。

- 累積通話時間が999時間59分59秒を超えた場合、それ以上は加算されませんので累積通話時間をリセットしてください。
- 操作1の画面でMenu（メニュー）を押して、累積通話時間のリセットを行うことができます。

通話料金表示

通話料金を表示する

前回電話をかけたときの通話料金を確認することができます。

- 表示される通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話料金はリセットされます。
- 三者通話サービス（☞12-11ページ）を行った場合は、両者を合わせた通話料金が表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断したり、国際電話をかけた場合は、通話料金は表示されません。

累積通話料金を表示する

現在までの通話料金の合計を確認することができます。

 ○ 6 0 の順に押す

▶累積通話料金が表示されます。
待受画面に戻るときは、Powerを押してください。

- 表示される累積通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 累積通話料金では、電話をかけたとき（発信時）の通話料金のみが加算され、メールやウェブ（☞Vodafone live!編）の通信料金は含まれません。

操作1の画面でMenu（メニュー）を押して、累積通話料金のリセットを行うことができます。

自分の電話番号とEメールアドレスの確認

お客様のV302Tの電話番号やF46「オーナー登録」(☞11-12ページ)で登録した名前、Eメールアドレスを確認することができます。[自局電話番号表示]

- 名前やEメールアドレスは、F46「オーナー登録」(☞11-12ページ)で登録している場合に表示されます。登録がない場合、操作2は行えません。
- 通話中に の順に押しても、電話番号や名前、Eメールアドレスを確認することができます。

文字の入力方法

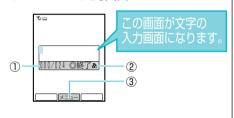
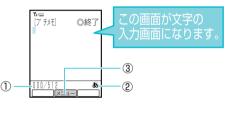
入力できる文字と入力モード

V302Tでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。
文字入力の方式には標準方式（あらかじめ設定されています）とポケベル方式（☞3-5ページ）の2種類があります。本書では主に標準方式での入力を例にとり、記載しています。

■文字の入力画面

文字の入力画面は、ポップアップ入力画面と通常入力画面の2種類があります。
ポップアップ入力画面 ：1つ前の操作画面の上に文字の入力画面が表示されます。
通常入力画面 ：文字の入力画面が1画面で表示されます。

- **入力画面の種類は、機能により異なります。**
- **どちらの画面でも基本的な操作方法は同じですが、通常入力画面でのみ、入力予測（☞3-14ページ）、文書確認（☞3-27ページ）、辞書学習設定（☞3-34、3-35ページ）、文字のサイズ（☞3-36ページ）、画面サイズ切替（☞3-37ページ）を使用することができます。**

ポップアップ入力画面

通常入力画面

①は、入力文字数／登録可能文字数が表示されます。登録可能文字数は、機能により異なります。各機能のページを参照してください。
②は、現在の入力モードが表示されます（☞3-3ページ）。
③が表示されているとき Menu（メニュー）を押すとエディタメニューの画面が表示され、入力画面での各操作や設定を行うことができます（☞3-19ページ）。

■文字入力モード

入力モードには9種類のモードと「**アドレス**」、「**絵文字**」、「**顔文字**」があり、文字の入力画面で 文字/小文字 を押したあと、◎を押して入力モードを切り替えることにより漢字や英字などの入力が行えます。

項　目	説　明	入力文字
あ	全角かな（漢字変換）入力モード	あいうアイウ阿伊宇…
A	全角英大入力モード	ＡＢＣ１２３…
a	全角英小入力モード	ａｂｃ１２３…
A	半角英大入力モード	ABC123…
a	半角英小入力モード	abc123…
0	全角数字入力モード	０１２３４５…
0	半角数字入力モード	012345…
ｱ	半角カタカナ入力モード	ｱｲｳ…（半角カタカナのみ）
あ	全角ひらがな入力モード	あいう…（全角ひらがなのみ）
アドレス	アドレスライブラリの入力	.ne.jp .co.jp…
絵文字	絵文字の入力	…
顔文字	顔文字の入力	笑う（(^-^) (^-^)v (o^-^)b…） あいさつ／おこる／驚く・あせ／ 泣く・眠い／なかま／うごき／ こうげき／遊び・動物／かざり

・入力できないモードは表示されません。
・■は以下の場合に有効です。
ｱ（半角カタカナ入力モード）は、メモリダイヤルのヨミガナ入力時
あ（全角ひらがな入力モード）は、ユーザー辞書の読みがな入力時
・かな入力方式（☞3-36ページ）で標準方式とポケベル方式の切り替えができます。ポケベル方式に設定した場合はアイコンの表示が「あ」→「あp」のように変わります。

■ダイヤルボタンの割り当て

標準方式

ボタン	文字の入力					電話番号の入力
	全角かな（漢字変換）入力モード 全角ひらがな入力モード	半角カタカナ入力モード	全角英大入力モード 半角英大入力モード	全角英小入力モード 半角英小入力モード	全角数字入力モード 半角数字入力モード	
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.@ー＿1	.@ー＿1	1	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC2	abc2	2	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF3	def3	3	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI4	ghi4	4	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL5	jkl5	5	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO6	mno6	6	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS7	pqrs7	7	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV8	tuv8	8	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ9	wxyz9	9	9
0	わをんー	ﾜｦﾝｰ	～˜／？！0	～˜／？！0	0	0
＊	英数字（注1） だく点・半だく点 （☞3-10ページ） 記号 （☞3-11ページ） 絵文字 （☞3-12ページ）	だく点・半だく点 記号	英数字、記号、絵文字			＊
＃	逆順に表示、改行（注2）				改行	＃
●	入力中の文字を確定					————
◎	カーソルの移動 上下で未確定の文字を変換、未確定の文字がない場合は◎で改行（全角ひらがな入力モードを除く）	カーソルの移動	カーソルの移動 ◎で改行			カーソルの移動
文字/小文字	大文字・小文字の切り替え（☞3-10ページ）				————	-/・
Clear	短く押す……カーソル位置から1文字消去 長く押す（約1秒以上）……カーソル位置から続けて消去　（☞3-7ページ）					

（注1）

英数字の入力のしかた

文字が確定済みのとき、各入力モードで＊を3回押すと、全角／半角英数字（0～9、a～z、A～Z、.@ー＿／：˜）を入力することができます。◎で入力したい英数字を選択し、●を押すとその英数字が入力されます。
Menu（閉じる）を押すと、入力した英数字が確定されます。

（注2）

文字を逆順で表示する

各入力モード（数字入力モードは除く）で、文字が未確定のとき＃を押すと、カーソル上の文字がボタン割当一覧表とは逆の順番で表示されます。

例 ┌か→こ→け→く→き┐

また、未確定の文字がない場合、＃を押すと改行入力を行うことができます（入力画面によっては改行できない場合があります）。

ポケベル方式

文字の入力方式（☞3-36ページ）を「**ポケベル方式**」に変更したときの文字の入力方法です。

例 「**よしお**」と入力する場合、8 5 3 2 1 5と入力します。
漢字やカタカナへの変換のしかたは、「**標準方式**」で入力した場合と同じです。

先に押すボタン ＼ 後に押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆			
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃			
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

- ■は入力後に文字/小文字を押すと、大文字↔小文字と切り替わります。
- Ap、ap、アpの場合はすべて半角文字になります。
- あp、Ap、ap、ap、アpの場合、ひらがなはカタカナになります。
- ap、apの場合、英字は小文字で入力されます。

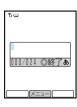
文字入力方法

■漢字・ひらがなを入力する

ポップアップ入力画面で文字を入力して漢字などに変換します。

例 メモリダイヤルの「名前」に「**須々木**」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

● メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 「すずき」を入力する

① 3を3回押し、「**す**」を入力する

② ○でカーソルを右に移動する

③ 3を3回押したあと※を押して、「**ず**」を入力する

④ 2を2回押し、「**き**」を入力する

● 一度に変換できる文字数は、最大40文字です。

● 英字、数字、カタカナに変換できるときは「英数カナ」が表示されます（☞3-9ページ）。

3 ○を押す

▶「**鈴木**」に変換されます。

● 「**001／006**」の「**006**」は候補数を表し、「**すずき**」に対して6種類の変換候補があることを表しています。

● 単漢字の候補があるときは「単漢」が表示されます（☞3-8ページ）。

4 ○で「須々木」を選択し、●を押す

▶「**須々木**」が確定されます。

● 文字の入力を終了するときは、もう一度●を押します。

重要

● メモリダイヤルの名前登録時は、名前が優先して変換候補に表示されます。そのため、プチメモ（☞10-26ページ）などの登録時と、変換候補の表示される順番が異なる場合があります。

● 確定した文字が登録可能文字数を超えると「オーバー」が表示されます。Clearを押して「オーバー」が消えるまで文字を消去してください（登録可能文字数は、機能により異なります）。

補足

● 全角かな（漢字変換）入力モードでは、入力した文字が単語や熟語、文節単位で変換されますが、目的の漢字に変換されない場合は、○で文字の範囲を再度指定してから○で変換します。例えば「**こみやまさとし**」と入力して○で変換すると、「**小宮山敏**」が表示されます。「**こみや**」と「**まさとし**」の組み合わせにするときは、右の画面で○を押し、カーソルを「**こみや**」に指定してから○を押し、○で変換します。

● **入力した文字を修正する場合は…**

○でカーソルを修正する文字の上に移動し、修正する文字をClearで消去したあと、正しい文字を入力してください。

・Clearを短く押す：カーソル位置から1文字消去

・Clearを長く押す（約1秒以上）：押している間、カーソル位置から1文字ずつ続けて消去

カーソル位置より右側に文字がない場合、カーソル位置より左側の文字が消去されます。

単漢字で変換する

全角かな（漢字変換）入力モード（☞3-6ページ）で目的の漢字が表示されない場合、同じ読みの漢字（1文字単位）の変換候補を表示させてから、選択することができます。

例 「鱸」（すずき）を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、「鈴木」と入力する

▶「単漢」が表示されます。

- ここまでの操作については3-6ページを参照してください。
- 入力画面に「単漢」が表示されていない場合は行えません。

2 （単漢）を押す

▶「鱸」が表示されます。

- 変換候補が複数ある場合は、を押して目的の漢字を検索します。また、変換候補が1画面で表示しきれない場合は、（前ページ）、（次ページ）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 （●）を押す

▶「鱸」が確定されます。

全角かな（漢字変換）入力モードにて、以下の表に示す「読み」をひらがなで入力し、で変換してから（単漢）で単漢字変換に切り替えると、表にある特殊な文字を表示することができます。

読　み	文　字（記号）
いっぱん	＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝
がくじゅつ	＋−±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀√∫
かっこ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】
ぎりしゃ	ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψω
たんい	°′″℃￥＄¢£％
ろしあ	АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя
きじゅつ	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥
きごう	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋−±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
けいせん	─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂

英字、数字、カタカナに変換する

全角かな（漢字変換）入力モードから入力モードを変更しなくても、そのボタンに割り当てられている英字や数字、カタカナに変換することができます。

例 メモリダイヤルの「名前」に全角かな（漢字変換）入力モードで「TOM」（半角）と入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 文字の割り当てられたボタンを押す

① （8 やTUV）を1回押す

② （6 はMNO）を3回押す

③ （○→）を押す

④ （6 はMNO）を1回押す

▶「やふは」と表示されます。

- 入力画面に「英数カナ」が表示されていない場合は行えません。

3 （英数カナ）を押す

- 入力した文字の中に対応する英字が割り当てられていない場合（☞3-4ページ）は、数字とカタカナのみの変換となります。

4 で「TOM」を選択し、（●）を押す

▶「TOM」が確定されます。

英数カナ変換は、全角かな（漢字変換）入力モードでのみ行えます。

■小文字(a、っ、ッなど)を入力する

各入力モード(数字入力モードは除く)ではカーソル上の文字(未確定)を大文字または小文字に切り替えることができます(対応している文字のみ有効)。ただし、各入力モードで文字が未入力または確定済みの場合は、入力モードの切り替えになります。

例 メモリダイヤルの「名前」で「あ」を小文字に切り替える場合

1 文字の入力画面を呼び出す

● メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 (1)を押す

「あ」を入力します。

3 (文字/小文字)を押し、(●)を押す

▶「ぁ」が確定されます。

■だく点(゛)・半だく点(゜)を入力する

全角かな(漢字変換)入力モード、全角ひらがな入力モードではカーソル上の文字(未確定)を濁音や半濁音に変えることができます(対応している文字のみ有効)。

例 メモリダイヤルの「名前」に「が」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

● メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 (2)を押す

「か」を入力します。

3 (*)を押し、(●)を押す

▶「が」が確定されます。

●「は」に半だく点(゜)を入力する場合は、(*)を2回押します。

補足
● カーソル上に濁音や半濁音に対応していない文字があるとき、またはカーソルが文字(未確定)の右側にあるときに(*)を押すと、読点(、)、句点(。)、長音(ー)を入力することができます。
● 半角カタカナ入力モードではカーソル上に文字(未確定)があるときに(*)を押すと、文字の右側に(゛゜、。-)の記号を入力することができます。

■記号・スペースを入力する

各入力モードでは記号(全角147種類、半角41種類)を入力することができます。

例 メモリダイヤルの「名前」に「!」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

● メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 (*)を押す

▶記号パレットが表示されます。

● (前ページ)、(次ページ)を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 (◇)で「!」を選択し、(●)を押す

▶「!」が確定され、破線上の履歴エリアに入力した記号が残ります。

● 続けて記号を入力する場合は、(●)の代わりに Menu (連続)を押してください。

● 履歴表示数は、最大で半角14文字、全角7文字です。履歴エリアの記号を選択して入力することもできます。

補足
プチメモや定型文の入力時、メール(☞Vodafone live!編)の文字入力時などでは、「↵」も表示されます。ただし、半角入力時も「↵」は全角で表示されます。

■絵文字を入力する

全角の各入力モードでは文字が未入力または確定済みのときに、絵文字を入力することができます。

例 メールのメッセージ作成中に「㊙」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- メールについてはVodafone live!編を参照してください。

2 (＊)を2回押す

▶絵文字ウィンドウが表示されます。

- 通常入力画面（☞3-2ページ）では、絵文字の一覧の表示方法（ウィンドウ／パレット）を切り替えることができます（☞3-37ページ）。
- (前ページ)、(次ページ)を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

3 ◎で「㊙」を選択し、●を押す

▶「㊙」が確定され、破線上の履歴エリアに入力した絵文字が残ります。

- 続けて絵文字を入力する場合は、●の代わりにMenu（連続）を押してください。
- 履歴表示数は、最大で全角11文字です。履歴エリアの絵文字を選択して入力することもできます。

補足 絵文字一覧についてはVodafone live!編を参照してください。

■顔文字を入力する

文字モードから顔文字を入力することができます。10種類のカテゴリーには各10個ずつの顔文字があります。

例 メールのメッセージ作成中に「笑う」の「(^-^)v」を入力する場合

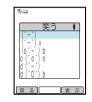
1 文字の入力画面を呼び出す

- メールについてはVodafone live!編を参照してください。

2 (文字 小文字)を押す

▶文字モード変更画面が表示されます。

3 ◎で「顔文字」を選択し、●を押す

4 ◎で「笑う」を選択し、●を押す

5 ◎で「(^-^)v」を選択し、●を押す

▶「(^-^)v」が確定されます。

- 「**わらう**」や「**あいさつ**」などの文字を入力して◎で顔文字に変換することもできます。

補足

- 上記の方法から入力する以外に、漢字変換入力モードで「かお」と入力し、◎で変換を繰り返しても以下のような顔文字を入力することができます。

＼(^o^)／ ↔ (T_T) ↔ m(_ _)m ↔ (^0^)v ↔ (>_<) ↔ (^0^)/
↕
Oo。(^0^)y-°° ↔ (^_^)／¨ ↔ (-_-;) ↔ (^_^;) ↔ (#^0^#) ↔ (^^ゞ

- 顔文字一覧についてはVodafone live!編を参照してください。

3 文字の入力方法

文字入力が簡単にできる機能

V302Tでは、東芝のかな漢字変換エンジン「モバイル ルポ™」を搭載しています。モバイル ルポ™では、「本を買う」「犬を飼う」のように前後の言葉のつながりから最適な変換をするAI変換を採用しています。さらに、**入力予測**（☞下記）や**パーソナル辞書**（☞3-16ページ）を利用することで、長文メールも簡単にすばやく入力することができます。

※モバイル ルポ™は、株式会社 東芝の商標です。

また、**ユーザー辞書**（☞3-17ページ）に特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておくと、文字入力時に簡単に呼び出すことができます。

■入力予測を利用する

入力予測には変換予測とフレーズ予測があります。変換予測は、全角かな（漢字変換）入力モードで入力した文字から予測される変換候補を表示する機能です。フレーズ予測は、一度確定した文章からフレーズ（句）を学習し、先頭のフレーズを再度入力することにより、あとに続くフレーズの候補を表示する機能です。入力予測を利用することで目的の語句を簡単にすばやく入力することができます。

変換予測

フレーズ予測

一度確定した文章「**渋谷でライブ**」を再度入力した場合

変換予測　　フレーズ予測　　フレーズ予測

また、変換して確定した語句は変換候補に反映されます。使い込む程に言葉が学習され（※）、変換候補の精度があがっていきます。

※ひらがなのみの語句も一度（◯）を押して変換しないと学習されません。

例　入力予測を利用してメモリダイヤルの「住所」に「**東京**」を入力する場合

1 文字の入力画面（通常入力画面）を呼び出す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 （4 たGHI）を5回押す

▶予測エリアに「**と**」から予測される変換候補のリストが表示されます。

- 変換候補は最大10件表示されます。また、変換候補がない場合は、予測エリアは表示されません。

3 （ショートカット シンプル）を押す

▶予測エリア内の先頭の語句が選択されます。

- 再度、（ショートカット シンプル）を押すと、操作**2**の画面に戻ります。
- 「01／10」の「10」は候補数を表し、「と」の入力予測として10種類の変換候補があることを表しています。

4 （◯）で「東京」を選択し、（●）を押す

▶「**東京**」が入力されます。

- 文字の入力を終了するときは、もう一度（●）を押します。

入力予測は通常入力画面を使用する機能でのみ使用することができ、ポップアップ入力画面では使用できません（☞3-2ページ）。

- 予測エリアに変換候補が1件のみの場合は、操作**2**の画面で（ショートカット シンプル）を押すと、その候補が確定されます。
- 入力予測の設定は解除することもできます（☞3-34ページ）。
- 入力予測機能で学習した内容は消去することができます（☞3-35ページ）。

パーソナル辞書について

パーソナル辞書とは、メール作成時（☞Vodafone live!編）に利用できる入力予測機能です。メモリダイヤルにパーソナル辞書を設定しておくと、メールを送信するときに相手先別によく使う言葉が学習され、変換候補に反映されます。例えば、友人と会社の人への言葉を使い分けることなどが簡単にできます。
パーソナル辞書を利用する場合は、以下の準備を行います。

準備1：パーソナル辞書の使い分けを決める（名称を変更する）（☞3-34ページ）
パーソナル辞書は辞書1～5まであり、それぞれ名前を変更することができます。

例「**辞書1**」は「**友達**」、「**辞書2**」は「**会社**」など

準備2：メモリダイヤルにパーソナル辞書を設定する（☞4-12ページ）
メモリダイヤルごとに**準備1**で決めた辞書を設定しておきます。

準備3：**準備2**で設定した相手をメール作成時のアドレスに設定する
（☞Vodafone live!編）

これで準備は完了です。メッセージを作成する度に、設定した辞書ごとに語句が学習され、変換候補に反映されます。

例「**お**」を入力した場合の変換候補の表示例

パーソナル辞書を設定していない場合

辞書1（友達）に設定して学習していた場合

辞書2（会社）に設定して学習していた場合

補足 パーソナル辞書で学習した内容は、辞書別に消去することができます（☞3-35ページ）。

■ユーザー辞書を利用する F43

ユーザー辞書とは、特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておく機能です。登録は最大100語です。ユーザー辞書に登録した語句を呼び出す場合は、文字入力画面でユーザー辞書に登録した読みがなを入力し、変換します。

ユーザー辞書に登録する

例「**アポイント**」を「**あぽ**」として登録する場合

1 ○ 4 3 **の順に押す**

2 ◎**で「新規登録」を選択し、**●**を押す**

3 ◎**で「登録語句」を選択し、**（編集）**を押す**

▶登録語句編集画面が表示されます。

4 語句を入力し、●**を押す**

- 文字の入力方法については3-6ページを参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角12文字、全角7文字です。
- 絵文字や記号も入力できます。

5 ◎**で「読みがな」を選択し、**（編集）**を押す**

▶読みがな編集画面が表示されます。

6 読みがなを入力し、●**を押す**

- 登録可能文字数は、最大で全角7文字です。
- ひらがなと一部の記号のみ入力できます。

7 （完了）**を押す**

▶ユーザー辞書に登録されます。

同じ読みがなの語句は、最大4件登録できます。

登録した語句を編集する

例 「**アポイント**」（読みがな：**あぽ**）を「**予約**」（読みがな：**あぽ**）に変更する場合

1 ○→ 4 3 の順に押す

2 ◇で「登録語編集」を選択し、●を押す

● 同じ読みがなの語句がある場合は、画面上段に「♦」のアイコンが表示されます。

3 ◇で編集したい語句（読みがな）を選択し、●を押す

4 ◇で「アポイント」（登録語句）を選択し、●を押す

▶ 登録語句編集画面が表示されます。

● 読みがなを編集する場合は、操作*3*の画面で「**あぽ**」（読みがな）を選択します。

5 語句を編集し、●を押す

● 文字の入力方法については3-6ページを参照してください。

● 登録可能文字数は、最大で半角12文字、全角7文字です。

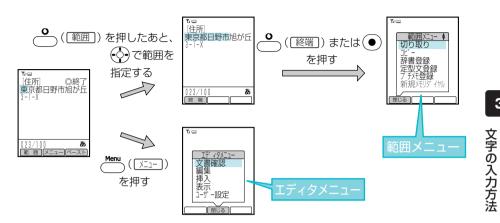
6 （完了）を押す

▶ ユーザー辞書に登録されます。

● 登録内容をすべて消去する場合は、操作*2*で「**登録全消去**」を選択します。

● 操作*2*の画面で Menu（メニュー）を押して、登録した語句の消去の操作を行うことができます。

文字の編集

メモリダイヤル、プチメモやメール（☞Vodafone live!編）などの文字入力画面から範囲メニューやエディタメニューを呼び出し、文字の編集を行うことができます。

■範囲メニューの項目（操作のしかたは、3-21～27ページ参照）

項　目	内　容
切り取り	範囲指定（※1）した文字を切り取り（画面上から消去）、クリップボード（※2）に記憶する。
コピー	範囲指定した文字をコピー（画面上に残す）し、クリップボードに記憶する。
辞書登録	範囲指定した文字や絵文字をユーザー辞書（☞3-17ページ）に登録する。
定型文登録	範囲指定した文字を定型文（☞11-13ページ）に登録する。
プチメモ登録	範囲指定した文字をプチメモ（☞10-26ページ）に登録する。
新規メモリダイヤル	範囲指定した数字や英字をメモリダイヤル（☞4-2ページ）に新規登録する。
メモリダイヤル追加	範囲指定した数字や英字をメモリダイヤル（☞4-2ページ）に追加登録する。
一括変換	一度確定した文字を漢字などに再変換する。
置き換え	範囲指定した文字をクリップボードの内容に置き換える。
削除	範囲指定した文字を削除する。

※1 範囲指定とは、（範囲）を押したあと、◇を押して文字範囲をカーソルで指定し、（終端）を押すことをいいます（☞3-21ページ）。

※2 クリップボードについて

・クリップボードとは、文字の切り取りやコピー（☞上記、9-17ページ）を行った内容や画像、メロディのコピー（☞Vodafone live!編）を行った内容をファイル形式として一時的に記憶しておく場所です。クリップボードに記憶された文字データは、それぞれの文字入力画面で使用することができます。また、クリップボードに記憶されたファイルは、データフォルダ内に貼り付けることができます。

・クリップボードには最大20件または最大100Kバイトのデータを記憶することができます。

■エディタメニュー「文書確認」の項目（操作のしかたは、3-27ページ参照）

項　目	内　容
文書確認	入力した内容を確認する。

■エディタメニュー「編集」の項目（操作のしかたは、3-28～30ページ参照）

項　目		内　容
元に戻す		1つ前の画面（操作）に戻す。
コピー		カーソルの位置からコピーする範囲を指定し、クリップボードに記憶する。
削除	全文削除	文字入力画面上にある文字をすべて削除する。
	カーソル以降	文字入力画面上にあるカーソル以降の文字をすべて削除する。
	カーソル以前	文字入力画面上にあるカーソル以前の文字をすべて削除する。

■エディタメニュー「挿入」の項目（操作のしかたは、3-31ページ参照）

項　目	内　容
定型文	定型文（☞11-13ページ）に登録しているメッセージを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メール定型文	メールの定型文（☞Vodafone live!編）を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
プチメモ	プチメモ（☞10-26ページ）に登録している内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
署名	署名（☞Vodafone live!編）に登録している内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メールボックス	メールボックス（☞Vodafone live!編）に登録しているメッセージを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メモリダイヤル	メモリダイヤル（☞4-2ページ）に登録している相手先の名前や電話番号（※）、Eメールアドレスなどを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
アドレス送信履歴	アドレス送信履歴（☞Vodafone live!編）に登録されている内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
オーナー情報	オーナー登録（☞11-12ページ）に登録している名前や電話番号（※）、Eメールアドレスなどを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
電話番号	お客様の電話番号（※）を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
位置情報	お客様の位置情報を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。

※ロングメールの件名・メッセージ、スカイメール・グリーティングのメッセージ、ユーザー作成定型文（☞Vodafone live!編）、プチスケジュール、アクションアイテムに電話番号を挿入した場合、番号の先頭に「TEL:」が挿入されます。

■エディタメニュー「表示」の項目（操作のしかたは、3-32ページ参照）

項　目	内　容
最後へジャンプ	カーソルを最後の文字の右に移動する。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の文字に移動する。

■エディタメニュー「ユーザー設定」の項目（操作のしかたは、3-33～38ページ参照）

項　目			内　容
辞書登録			ユーザー辞書登録（☞3-17ページ）の画面を呼び出す。
入力予測	ON/OFF		入力された文字から予測される変換候補をリスト表示させる設定（初期値は「**ON**」）。
辞書学習設定	名称編集		パーソナル辞書の名称を変更する（初期値は「**辞書1～5**」）。
	辞書学習リセット	予測辞書	入力した文字から予測される変換候補をお買い上げ時の状態に戻す（☞3-35ページ）。
		パーソナル辞書	
かな入力方式	標準方式		文字を入力するときの方式を選択する（初期値は「**標準方式**」）。
	ポケベル方式		
文字のサイズ	大きい文字		文字入力画面で表示される文字のサイズを選択する（初期値は「**大きい文字**」）。
	小さい文字		
画面サイズ切替	小サイズ		文字入力画面で記号一覧などの表示方法を選択する（初期値は「**小サイズ**」）。
	大サイズ		
改行制御	ON/OFF		入力した文字を「↵」の位置で改行して表示させる設定（初期値は「**ON**」）。

■範囲を指定する

文字の範囲を指定して切り取りやコピーなどを行うことができます。

例 メモリダイヤルの住所に入力した内容を呼び出し、「**(実家)**」を範囲指定する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 ◎で範囲指定したい先頭または最後の文字にカーソルを移動し、（範囲）を押す

- （範囲）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。

3 ◎で「(実家)」を選択し、（終端）を押す

▶「**(実家)**」が範囲指定され、範囲メニューが表示されます。
- ●でも同様の操作が行えます。

■切り取り／コピー／貼り付けをする

範囲指定した文字、絵文字を切り取ったり、コピーしてクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容は文字入力画面でカーソル位置の前に貼り付けること（ペースト）ができます。

- **クリップボードについては3-19ページを参照してください。**

例 メモリダイヤルの住所に入力した内容「…**3-1-X（実家）**…」を「**（実家）東京都**…」に変更する場合

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。

- 範囲指定のしかたについては3-21ページを参照してください。

2 で「切り取り」を選択し、●を押す

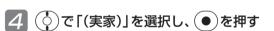
▶範囲指定した文字「**（実家）**」が画面上から消去され、クリップボードに記憶されます。

- 「**コピー**」を選択した場合は、「**（実家）**」を画面上に残してクリップボードに記憶します。
- クリップボードに貼り付け可能なデータがある場合、「ペースト」が表示されます。

3 で貼り付ける位置を選択し、（ペースト）を押す

▶貼り付け可能なクリップボードのデータが表示されます。

- （表示）を押すと、選択している内容を確認することができます。

4 で「（実家）」を選択し、●を押す

▶「**（実家）**」が貼り付けられます。

- 文字をコピーする場合は、操作**1**で「**コピー**」を選択してください。
- 「**コピー**」の操作は、エディタメニューの「**編集**」からでも行えます（3-29ページ）。

■範囲指定した文字を削除する

範囲指定した文字を削除することができます。

1 範囲を指定する

- 範囲指定のしかたについては3-21ページを参照してください。

2 で「削除」を選択し、●を押す

▶範囲指定した文字が削除されます。

■その他の範囲メニュー機能

ユーザー辞書に登録する（辞書登録）

範囲指定した文字、絵文字をユーザー辞書（3-17ページ）に登録することができます。

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。

- 範囲指定のしかたについては3-21ページを参照してください。

2 で「辞書登録」を選択し、●を押す

▶範囲指定した内容が登録語句に入力されます。
このあと、3-17ページの操作**5**以降を行います。

3 文字の入力方法

定型文／プチメモに登録する

範囲指定した文字を定型文（☞11-13ページ）やプチメモ（☞10-26ページ）に登録することができます。

例 範囲指定した文字を定型文に登録する場合

1 範囲を指定する

▶範囲メニューが表示されます。

● 範囲指定のしかたについては3-21ページを参照してください。

2 ◎で「定型文登録」を選択し、●を押す

▶未登録の項目にカーソルがあたります。

● 登録されている内容を上書きする場合は、◎で上書きする項目を選択します。

3 ●を押す

▶範囲指定した内容が定型文に登録されます。

補足 プチメモに登録する場合は、操作*2*で「**プチメモ登録**」を選択してください。

3 文字の入力方法

メモリダイヤルに登録する

範囲指定した数字や英字をメモリダイヤルに登録することができます。

例 メモリダイヤルの住所に入力した内容「04223XXXX1」をメモリダイヤルに新規登録する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、◎を押す

● メモリダイヤルについては4章を参照してください。

● 範囲指定したい先頭または最後の文字にカーソルを移動します。

2 ⌒（範囲）を押す

● ⌒（範囲）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。

3 ◎で「04223XXXX1」を指定し、⌒（終端）を押す

4 ◎で「新規メモリダイヤル」を選択し、●を押す

▶「04223XXXX1」が電話番号に入力されます。

重要

● 範囲指定した内容が数字のときは、電話番号に入力され、@を含む半角英数字のときは、Eメールアドレスに入力されます。

● 範囲指定した数字の間に「－・（ ）」が含まれていても、電話番号として認識されます。ただし、「－」などの記号は電話番号として入力されません。

● 電話番号（数字）とEメールアドレス（@を含む半角英数字）以外の文字を範囲指定しても、本機能で登録することはできません。

補足 **メモリダイヤルに追加登録する場合は…**

操作*3*の画面で「**メモリダイヤル追加**」を選択し、●を押したあと4-29ページの操作*4*以降を行います。

3 文字の入力方法

確定した文字を再変換する（一括変換）

一度確定した文字を範囲指定して漢字などに再変換することができます。

例 半角文字の「04223XXXX1」を全角文字に変換する場合

1 範囲を指定する

- 範囲指定のしかたについては3-21ページを参照してください。

2 ◎で「一括変換」を選択し、●を押す

3 ◎で「全角変換」を選択し、●を押す

▶全角に変換されます。

- 漢字、絵文字は、一括変換できません。
- 「**かな漢字変換**」はひらがなでのみ行えます。
- 「**全角変換**」「**半角変換**」はカタカナ、英字、数字、記号でのみ行えます。
- 「**大文字変換**」「**小文字変換**」は英字でのみ行えます。

クリップボードの内容に置き換える

範囲指定した文字をクリップボードの内容に置き換えることができます。

- **クリップボードについては3-19ページを参照してください。**

例 「**（実家）**」をクリップボードに記憶している内容「**（勤務先）**」に置き換える場合

1 範囲を指定する

- 範囲指定のしかたについては3-21ページを参照してください。

2 ◎で「置き換え」を選択し、●を押す

▶クリップボードが表示されます。

- （表示）を押すと、選択している内容を確認することができます。

3 ◎で「（勤務先）」を選択し、●を押す

▶「**（実家）**」が「**（勤務先）**」（クリップボードの内容）に置き換えられます。

- クリップボードに貼り付け可能なデータがある場合、「ペースト」が表示されます。

■入力した文字を確認する

入力した内容を全角12文字×10行で表示させて確認することができます。

例 メモリダイヤルの住所に入力した内容を確認する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎で「文書確認」を選択し、●を押す

▶内容が確認できます。

- 長いメッセージの場合は「↕」などが表示されますので、◎を押して確認してください。
- 文字入力画面に戻る場合は、（編集）を押します。

文書確認中に●を押すと、文字の入力を終了します。

■入力した文字を編集する

元に戻す

一度確定した文字や挿入した文字を取り消したり、(Clear)を押して削除した文字を元に戻すことができます。

例 メモリダイヤルの住所で一度確定した文字「**東京都**」を取り消す場合

1 文字の入力画面を呼び出し、文字を入力する

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。
- 文字の入力方法については3-6ページを参照してください。

2 **を押す**

3 ◇で「編集」を選択し、●を押す

4 ◇で「元に戻す」を選択し、●を押す

▶操作1で確定した文字「**東京都**」が取り消されます。

- 削除した文字が元に戻るのは、カーソルを移動せずに(Clear)を押して削除した文字で、最後に削除した文字から全角32文字までです。
- 以下の場合は元に戻せません。
  - ・範囲メニューの「**削除**」を行って削除した文字
  - ・エディタメニュー「**編集**」の「**削除**」を行って削除した文字
  - ・範囲メニューの「**置き換え**」を行って置き換えた文字

コピーをする

文字をコピーしてクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容は、文字入力画面でカーソル位置の前に貼り付けることができます(☞3-22ページ)。

- **クリップボードについては3-19ページを参照してください。**

例 メモリダイヤルの「住所」に入力した「**旭が丘**」をコピーする場合

1 文字の入力画面を呼び出し、◇を押す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。
- コピーしたい先頭または最後の文字にカーソルを移動します。

2 Menu(メニュー)を押す

3 ◇で「編集」を選択し、●を押す

4 ◇で「コピー」を選択し、●を押す

5 ◇でコピーしたい文字の範囲を選択し、●を押す

▶選択した文字がコピーされます。

- 貼り付けを行う場合は、3-22ページの操作3以降を行います。

「**コピー**」の操作は、範囲メニューからでも行えます(☞3-22ページ)。

削除する

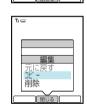
入力した文字をすべて削除したり、カーソル位置から後ろや前の文字を削除することができます。

例 メモリダイヤルの住所に入力した内容のカーソル位置から後ろの文字を削除する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、◎を押す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。
- 削除したい先頭または最後の文字にカーソルを移動します。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎で「編集」を選択し、●を押す

4 ◎で「削除」を選択し、●を押す

5 ◎で「カーソル以降」を選択し、●を押す

6 ◎で「YES」を選択し、●を押す

▶カーソル位置から後ろの文字が削除されます。

■定型文やプチメモの内容を挿入する

定型文やプチメモなどに登録している内容を文字入力画面のカーソル位置の前に挿入することができます。

例 メモリダイヤルの「住所」に定型文で登録されている内容「**連絡先**」を挿入する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

- メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

3 ◎で「挿入」を選択し、●を押す

4 ◎で「定型文」を選択し、●を押す

- ◇（表示）を押すと定型文の内容を確認することができます。

5 ◎で「連絡先」を選択し、●を押す

▶「**連絡先**」が挿入されます。

■文頭／文末へカーソルを移動させる

文字入力画面で、カーソルの位置を最後の文字の右へ移動させたり、先頭の文字へ移動させることができます。

例 メモリダイヤルの住所の入力で、カーソルの位置を最後の文字の右へ移動させる場合

1 文字の入力画面を呼び出す

● メモリダイヤルについては4章を参照してください。

2 **を押す**

3 で「表示」を選択し、●を押す

4 で「最後へジャンプ」を選択し、●を押す

▶カーソルの位置が、最後の文字の右に移動します。

■文字入力中のその他の機能

ユーザー辞書の登録を行う（辞書登録）

文字入力時にユーザー辞書（☞3-17ページ）の新規登録ができます。

例 プチメモの文字入力画面から呼び出す場合

1 文字の入力画面を呼び出す

● プチメモについては10-26ページを参照してください。

2 Menu（メニュー）を押す

3 で「ユーザー設定」を選択し、●を押す

ユーザー設定画面

4 で「辞書登録」を選択し、●を押す

▶ユーザー辞書の新規登録画面が表示されます。
このあと、3-17ページの操作*3*以降を行います。

3 文字の入力方法

入力予測を設定する

通常入力画面で入力予測機能（☞3-14ページ）を利用することができます。
お買い上げ時は「ON」（利用する）に設定されています。

例 「OFF」（利用しない）に設定する場合

1 **ユーザー設定画面（☞3-33ページ）より、**
Ⓐで「入力予測」を選択し、●を押す

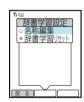
2 **Ⓐで「OFF」を選択し、●を押す**

▶入力予測が「OFF」に設定されます。

ポップアップ入力画面（☞3-2ページ）では、入力予測の設定は行えません。

パーソナル辞書の名称を変更する

例 「辞書1」の名称を変更する場合

1 **ユーザー設定画面（☞3-33ページ）より、**
Ⓐで「辞書学習設定」を選択し、●を押す

2 **Ⓐで「名称編集」を選択し、●を押す**

3 **Ⓐで「辞書1」を選択し、●を押す**

4 **パーソナル辞書名を入力し、●を押す**

▶パーソナル辞書名が変更されます。
- 文字の入力方法については3-6ページを参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角6文字、全角3文字です。

名称を変更した場合は、メモリダイヤルのオプションにある「**パーソナル辞書**」（☞4-12ページ）の名称も変更されます。

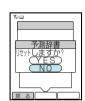
候補リストをリセットする

入力予測機能（☞3-14ページ）とパーソナル辞書（☞3-16ページ）で学習した内容を消去し、交換候補をお買い上げ時の状態に戻します。

例 一般辞書（※）、パーソナル辞書すべての入力予測機能の変換候補リストをリセットする場合

1 **ユーザー設定画面（☞3-33ページ）より、**
Ⓐで「辞書学習設定」を選択し、●を押す

2 **Ⓐで「辞書学習リセット」を選択し、●を押す**

3 **Ⓐで「予測辞書」を選択し、●を押す**

4 **Ⓐで「YES」を選択し、●を押す**

▶入力予測機能の変換候補リストがお買い上げ時の状態に戻ります。

- 操作*2*の画面で「**パーソナル辞書**」を選択したあと●を押して、辞書別（一般辞書（※）、辞書1〜5）に変換候補リストをリセットすることができます。
  ※一般辞書とは、パーソナル辞書（☞3-16ページ）で学習した内容以外で、文字入力時に変換して学習した内容が登録される辞書です。
- ポップアップ入力画面（☞3-2ページ）では、変換候補リストのリセットは行えません。

かな入力方式を設定する

文字の入力方式を標準方式(☞3-4ページ)とポケベル方式(☞3-5ページ)から選択することができます。
お買い上げ時は「**標準方式**」に設定されています。

例 「**ポケベル方式**」に設定する場合

1 **ユーザー設定画面(☞3-33ページ)より、(◎)で「かな入力方式」を選択し、(●)を押す**

2 **(◎)で「ポケベル方式」を選択し、(●)を押す**

▶かな入力方式が設定されます。

文字のサイズを変更する

通常入力画面で表示される文字のサイズを変更することができます。
お買い上げ時は「**大きい文字**」(標準サイズ)に設定されています。

例 「**小さい文字**」に変更する場合

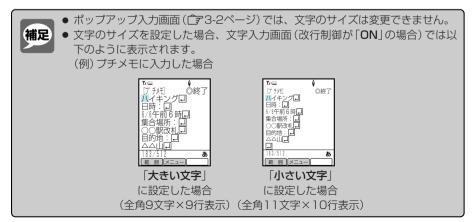
1 **ユーザー設定画面(☞3-33ページ)より、(◎)で「文字のサイズ」を選択し、(●)を押す**

2 **(◎)で「小さい文字」を選択し、(●)を押す**

▶文字のサイズが設定されます。

補足

- ポップアップ入力画面(☞3-2ページ)では、文字のサイズは変更できません。
- 文字のサイズを設定した場合、文字入力画面(改行制御が「ON」の場合)では以下のように表示されます。
(例)プチメモに入力した場合

「**大きい文字**」に設定した場合(全角9文字×9行表示)
「**小さい文字**」に設定した場合(全角11文字×10行表示)

画面サイズを切り替える

通常入力画面で記号、絵文字、英数字などの一覧の表示方法を大サイズ(パレット)と小サイズ(ウィンドウ)から選択することができます。
お買い上げ時は「**小サイズ**」に設定されています。

例 「**大サイズ**」に変更する場合

1 **ユーザー設定画面(☞3-33ページ)より、(◎)で「画面サイズ切替」を選択し、(●)を押す**

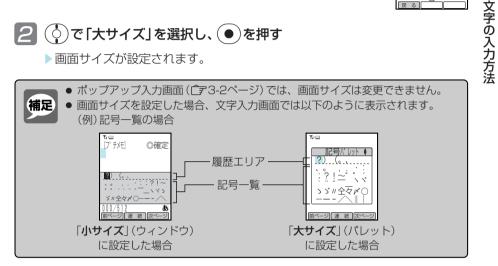
2 **(◎)で「大サイズ」を選択し、(●)を押す**

▶画面サイズが設定されます。

補足

- ポップアップ入力画面(☞3-2ページ)では、画面サイズは変更できません。
- 画面サイズを設定した場合、文字入力画面では以下のように表示されます。
(例)記号一覧の場合

「**小サイズ**」(ウィンドウ)に設定した場合
「**大サイズ**」(パレット)に設定した場合

3 文字の入力方法

改行制御を設定する

入力した文字を「↵」の位置で改行して表示させることができます。
お買い上げ時は「ON」（改行する）に設定されています。

例 「OFF」（改行しない）を設定する場合

1 **ユーザー設定画面（☞3-33ページ）より、◎で「改行制御」を選択し、●を押す**

2 **◎で「OFF」を選択し、●を押す**

▶改行制御が「OFF」に設定されます。

- 改行制御を設定した場合、文字入力画面（大きい文字の場合）では以下のように表示されます。

「ON」（改行する）
に設定した場合

「OFF」（改行しない）
に設定した場合

- 改行制御を「ON」に設定している場合は、プチメモの登録中などに◎を押すと「↵」が表示され、改行されます。
- 改行制御を「OFF」に設定している場合でも、メール（☞Vodafone live!編）を送信した場合、相手には「↵」の部分で改行されて表示されます。ただし、相手には「↵」は表示されません。

電話帳（メモリダイヤル）

電話帳に登録する

V302Tに電話番号や名前などを登録し、電話帳のように利用することができます。電話帳（以降、本書では「メモリダイヤル」と記載）を活用すれば、簡単に電話をかけたりメールを出したりすることができます。また、相手先別に着信音や着信画像などを設定することもできます。メモリダイヤルは最大500件登録できます。

■電話帳に登録できる項目

メモリダイヤルには、以下の項目を登録することができます。

項　目	内　容	登録方法
名前	最大で半角24文字、全角12文字まで登録できます。	☞4-3ページ
グループ	個々のメモリダイヤルは、グループ別に登録できます。［グループ登録］ グループは検索（☞4-23ページ）に役立つほか、グループごとの着信設定などもできます（☞4-15ページ）。	☞4-6ページ
メモリ番号	自動的に割り振られますが、変更することもできます。 メモリ番号は、検索（☞4-25ページ）やスピードダイヤル（☞4-27ページ）、スイッチ付イヤホンマイクでのワンタッチ発信（☞11-35ページ）などで使用します。	☞4-6ページ
ヨミガナ	名前を入力すると自動的に入力されます。変更することもできます。ヨミガナは検索に使われます（☞4-21、4-24ページ）。	☞4-3ページ
顔写真	モバイルカメラで撮影した画像やデータフォルダに保存した画像を登録できます。	☞4-5ページ
電話番号	2件まで（それぞれ最大24桁まで）登録できます。	☞4-3ページ
Eメールアドレス	2件まで（それぞれ最大で半角60文字まで）登録できます。	☞4-4ページ
オプション	相手先別に着信音パターンや着信画像などを設定できます。	☞4-7ページ
メモ	最大で半角80文字、全角40文字まで登録できます。	☞4-4ページ
住所	最大で半角100文字、全角50文字まで登録できます。	☞4-4ページ
誕生日	生年月日を登録できます。	☞4-4ページ

● データフォルダについては9章を参照してください。

大切なデータを失わないために
メモリダイヤルに登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■電話帳に登録する

メモリダイヤルの登録画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 （文字/小文字）を押す

2 （方向キー）で「メモリダイヤル（名前）」を選択し、（●）を押す

▶名前の入力画面が表示されます。

3 名前を入力し、（●）を押す

▶メモリダイヤルの登録画面が表示されます。

● 文字の入力方法については3章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
● メモリ番号（右の画面では「**No.000**」）は、登録されていないメモリ番号の中で最も若い番号が表示されます。
● ヨミガナは、名前を入力すると自動入力されます。修正する場合は、「**タナカ**」を選択し、（［編集］）を押します。

メモリダイヤル
登録画面

4 （方向キー）で各項目を選択し、（●）を押す

● 電話番号を設定する（☞下記）
● Eメールアドレスを設定する（☞4-4ページ）
● 顔写真を設定する（☞4-5ページ）
● グループとメモリ番号を変更する（☞4-6ページ）
● オプションを設定する（☞4-7ページ）

5 （［完了］）を押す

▶メモリダイヤルに登録されます。

電話番号を設定する

1 メモリダイヤル登録画面（☞上記）より、
（方向キー）で「電話番号」を選択し、（［編集］）を押す

2 電話番号を入力し、●を押す

▶電話番号が設定されます。

- 登録可能桁数は、最大24桁です。
- 続けて「**メモ**」、「**住所**」、「**誕生日**」を設定する場合は、◎で登録したい項目を選択し、4-3ページの操作*2*～*3*と同様に操作を行ってください。
- 誕生日を設定する場合は、年は西暦の4桁、月、日は、それぞれ2桁で入力してください。
- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

Eメールアドレスを設定する

例 アドレスライブラリを利用してEメールアドレスを設定する場合

1 メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）より、◎で「Eメールアドレス」を選択し、（編集）を押す

2 「tanaka@△△」を入力する

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- Eメールアドレスの文字入力画面では、半角文字の英数字、記号以外の文字は入力できません。
- 登録可能文字数は、最大で半角60文字です。
- （¥記号）を押すと、以下の記号を入力できます。

. @ - _ / ! " # $ % & ' ( ) ¥ + , : ; < = > ? [¥] ^ ` { | } ~

ただし、■は、Eメールアドレスに使用できません。

3 （文字/小文字）を押す

- 入力モードの使い方については3-3ページを参照してください。

4 ◎で「アドレス」を選択し、●を押す

- アドレスライブラリで選択できる内容は以下の通りです。

.ne.jp .co.jp .ac.jp .or.jp .com .net http:// www. .html .png

5 ◎で「.co.jp」を選択し、●を押す

▶「.co.jp」が入力されます。

6 ●を押す

▶Eメールアドレスが設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

顔写真を設定する

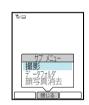
例 モバイルカメラで顔写真を撮影し、設定する場合

1 メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）より、Menu（メニュー）を押す

▶サブメニューが表示されます。

- 表示されるサブメニューの項目は、メモリダイヤル登録画面上でのカーソルの位置によって異なります。

2 ◎で「顔写真設定」を選択し、●を押す

- データフォルダに登録している画像を設定する場合は、◎で「**データフォルダ**」を選択します。

3 ◎で「撮影」を選択し、●を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- カメラの利用方法については8章を参照してください。

4 ●を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。

- 下サイドキーを押しても同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあと、◎で「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 （登録）を押す

▶データフォルダに画像が登録されたあと、メモリダイヤルの登録画面に顔写真が設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。また、画像サイズが横64×縦64ドットを超える場合は、トリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。

データフォルダが一杯の場合は、撮影した画像を登録できません。
登録する場合は、操作*5*のあと で「YES」を選択し、不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

グループとメモリ番号を変更する

1 メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）より、で「名称な（し）」を選択し、●を押す

- グループ番号は0〜9の10種類です。グループ名は変更することができます（☞4-15ページ）。

2 でグループを選択し、●を押す

▶グループが設定されます。

3 でメモリ番号を選択し、●を押す

4 新しいメモリ番号を入力し、●を押す

▶メモリ番号が設定されます。

- メモリ番号は3桁で入力してください。
- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

- 指定したメモリ番号にすでに登録がある場合は、入れ替えの操作が必要となります。入れ替える場合は、操作*4*のあと で「YES」を選択し、●を押します。
- 指定したメモリ番号がシークレットメモリ（☞4-13ページ）に登録されている場合は、他のメモリ番号を入力するか、表示されているメモリ番号で登録を行ったあと、シークレットモード（☞4-13ページ）を「ON」にしてから編集の操作を行ってください。

■オプション設定

メモリダイヤルごとに以下の指定着信音などを設定することができます。

項　目	内　容	設定方法
着信イルミ	着信時の着信イルミネーション（☞11-5ページ）を設定できます。	☞下記
電話着信音	着信時の着信音パターン（☞5-3ページ）やバイブレータ（☞5-5ページ）を設定できます。[指定着信音]	☞4-8ページ
メイン着信画像	着信時にディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞4-10ページ
サブ着信画像	着信時にサブディスプレイに表示される画像を設定できます。	
メール着信音	メール受信時の着信音パターン（☞5-3ページ）やバイブレータ（☞5-5ページ）を設定できます。	☞4-8ページ
メールフォルダ	受信したメールの保存先フォルダを設定できます。メールフォルダについては、Vodafone live!編を参照してください。	☞4-11ページ
相手PINコード	PINコードは、スカイメールやグリーティングを特定の人からのみ受信するための4桁の番号です。PINコードについては、Vodafone live!編を参照してください。	☞4-11ページ
パーソナル辞書	メールのメッセージを作成するときに使用する辞書を設定できます。パーソナル辞書については、3-16ページを参照してください。	☞4-12ページ

着信イルミネーションを設定する

例 着信イルミネーションをカラー「**カラー2**」、パターン「**パターン3**」に設定する場合

1 次の操作で「着信イルミ」を呼び出す

① メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）を表示する
② で「**オプション**」を選択し、●を押す
③ で「**着信イルミ**」を選択する

2 ●を押す

3 V302Tを閉じて、下サイドキーを押す

▶サブディスプレイにイルミネーション選択画面が表示されます。
- イルミネーション（お知らせランプ）を確認しながら操作します。操作方法は以下の通りです。
  - ・**上サイドキー**：点滅する色を選択します。押すごとに点滅色が変わります。
  - ・**下サイドキー**：点滅するパターンを選択します。押すごとに点滅パターンが変わります。

4 上サイドキーを押して「カラー2」、下サイドキーを押して「パターン3」をそれぞれ選択する

5 V302Tを開いて（完了）を押し、（決定）を押す

▶着信イルミネーションが設定されます。
- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

電話着信音／メール着信音を設定する

例 電話着信音を着信音パターン「**さくら（独唱）**」、バイブレータ「**パターン2**」に設定する場合

1 次の操作で「電話着信音」を呼び出す

① メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）を表示する

② で「**オプション**」を選択し、●を押す

③ で「**電話着信音**」を選択する

2 ●を押す

3 で「着信音パターン」を選択し、●を押す

4 で「固定メロディ」を選択し、●を押す

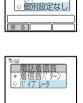
- メロディを再生する場合は、（確認）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、●を押してください。
停止する場合は、（停止）を押します。

5 で「さくら（独唱）」を選択し、●を押す

6 で「バイブレータ」を選択し、●を押す

- 「**パターン1～3**」を選択すると、選択したパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

7 で「パターン2」を選択し、●を押す

8 （戻る）を押し、（決定）を押す

▶電話着信音が設定されます。
- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

補足
- メールを受信したときの着信音パターンを設定する場合は、操作*1*で「**メール着信音**」を選択してください。
- 操作*4*のメロディ確認時の音量は、着信設定の電話着信の音量（☞5-2ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で鳴ります。
- 電話着信音は、グループ単位で設定することもできます（☞4-15ページ）。ただし、メモリダイヤル単位の設定が優先されます。

メイン着信画像／サブ着信画像を設定する

● メイン着信画像に顔写真を設定する場合は、あらかじめメモリダイヤルに顔写真を設定してください（☞4-5ページ）。

例 メインディスプレイの着信画像を「**顔写真**」に設定する場合

1 次の操作で「メイン着信画像」を呼び出す

① メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）を表示する
② ◎で「**オプション**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**メイン着信画像**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「顔写真」を選択し、●を押す

▶画面が表示されます。
● (＊)、(＃)で他の画像に切り替え表示します。

4 ✉（決定）を2回押す

▶メイン着信画像が設定されます。
● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと✉（完了）を押してください。

● オプションで設定した着信画像を表示する場合は、7-11ページや7-15ページの「**電話着信画像**」を「**OFF**」以外に設定してください。
● 横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。また、画像が以下のサイズ以外の場合は、操作*3*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。
・**メイン着信画像**：横 144×縦80ドット
・**サブ着信画像**　：横　80×縦48ドット

● サブディスプレイの着信画像を設定する場合は、操作*1*で「**サブ着信画像**」を選択してください。
● 着信画像は、グループ単位で設定することもできます（☞4-15ページ）。ただし、メモリダイヤル単位の設定が優先されます。

メールフォルダを設定する

例 「フォルダ2」に設定する場合

1 次の操作で「メールフォルダ」を呼び出す

① メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）を表示する
② ◎で「**オプション**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**メールフォルダ**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「フォルダ2」を選択し、●を押す

4 ✉（決定）を押す

▶メールフォルダが設定されます。
● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと✉（完了）を押してください。

相手PINコードを設定する

● PINコードについては、Vodafone live!編を参照してください。

1 次の操作で「相手PINコード」を呼び出す

① メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）を表示する
② ◎で「**オプション**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**相手PINコード**」を選択する

2 ●を押す

3 相手PINコードを入力し、●を押す

4 ✉（決定）を押す

▶相手PINコードが設定されます。
● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと✉（完了）を押してください。

パーソナル辞書を設定する

● パーソナル辞書についての詳細と利用方法については、3-16ページを参照してください。

例 「辞書2」に設定する場合

1 次の操作で「パーソナル辞書」を呼び出す

① メモリダイヤル登録画面（☞4-3ページ）を表示する
② ◎で「オプション」を選択し、●を押す
③ ◎で「パーソナル辞書」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「辞書2」を選択し、●を押す

4 （決定）を押す

▶パーソナル辞書が設定されます。
● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

■メモリダイヤルの登録状況を確認する F31

メモリダイヤルの登録件数と登録状況の目安を確認することができます。

1 ○ 3 1 の順に押し、◎を押す

▶メモリダイヤルの登録件数と登録状況の目安が表示されます。確認が終わったら、Powerを押します。

秘密にしたい電話番号を登録する F22

他人に知られたくないメモリダイヤルは、シークレットメモリとして登録することができます（最大500件）。シークレットメモリを呼び出す場合は、シークレットモードを「ON」に設定してください。

■シークレットモードを設定する

1 ○ 2 2 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 ◎で「ON」を選択し、●を押す

▶シークレットモードが設定され、待受画面に「」が表示されます。
● シークレットモードを解除する場合は、「OFF」を選択してください。

シークレットモード中に電源を切ると、シークレットモードは解除されます。

■シークレットメモリを登録／変更する

1 シークレットモードを「ON」に設定し（☞上記）、メモリダイヤルを登録する

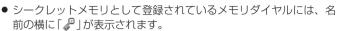
● メモリダイヤルの登録方法については4-2〜12ページを参照してください。

● シークレットモード中に着信履歴（☞2-18ページ）などからメモリダイヤルの登録操作を行った場合も、シークレットメモリとして登録されます。
● シークレットメモリに登録されている相手へ電話をかけた場合、リダイヤルには記録されません。
● シークレットメモリに登録されている相手から電話がかかってきても、シークレットモードが「OFF」の場合は名前やグループアイコンなどは表示されず電話番号のみ表示されます。

シークレットメモリを検索する

1 **シークレットモードを「ON」に設定し（☞4-13ページ）、メモリダイヤルを検索する**

● メモリダイヤルの検索方法については4-20～26ページを参照してください。

● シークレットメモリとして登録されているメモリダイヤルには、名前の横に「🔑」が表示されます。

● シークレットメモリの編集や消去なども、通常のメモリダイヤルと同様の操作で行えます。
● シークレットモードが「OFF」の場合は、ヨミガナ検索またはメモリ番号検索でシークレットメモリを呼び出すと、ディスプレイに「**登録はありません**」または「**メモリダイヤル登録はありません**」と表示されます。

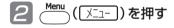
通常のメモリダイヤルに戻す

シークレットメモリを通常のメモリダイヤルとして再登録します。

1 **シークレットモードを「ON」に設定し（☞4-13ページ）、メモリダイヤルを検索する**

● メモリダイヤルの検索方法については4-20～26ページを参照してください。
● シークレットメモリとして登録されているメモリダイヤルには、名前の横に「🔑」が表示されます。

2

Menu（メニュー）を押す

3 **◎で「シークレット登録」を選択し、●を押す**

4 **◎で「OFF」を選択し、●を押す**

▶ シークレットメモリが解除されます。
● 解除すると名前の横の「🔑」はなくなります。

グループ設定 F37

グループごとに着信イルミネーションや電話着信音、メイン／サブディスプレイの着信画像を変更することができます。また、メモリダイヤルのグループ名やグループアイコンを変更することもできます。

■設定できる項目

項　目	内　容	設定方法
グループアイコン	30種類のアイコンから選択できます。	☞4-16ページ
グループ名	名称を変更できます（グループ0「**名称なし**」は変更できません）。	☞4-16ページ
着信イルミ	着信時の着信イルミネーション（☞11-5ページ）を設定できます。	☞4-17ページ
電話着信音	着信時の着信音パターン（☞5-3ページ）やバイブレータ（☞5-5ページ）を設定できます。	☞4-17ページ
メイン着信画像	着信時にディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞4-19ページ
サブ着信画像	着信時にサブディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞4-19ページ

・「**着信イルミ**」、「**電話着信音**」、「**メイン／サブ着信画像**」の設定は、メモリダイヤル単位で設定することもできます（☞4-7ページ）。その場合、メモリダイヤル単位での設定が優先されます。

■グループ設定の各項目を設定する

グループ設定画面で、設定したい項目を選択し、内容を設定したあと設定を保存します。

例 グループ2の設定画面を表示する場合

1 **○ 3 7 の順に押す**

▶ グループの選択画面が表示されます。
● グループ番号は0～9の10種類です。

2
◎で「グループ2」を選択し、●を押す

▶ グループ2の設定画面が表示されます。

グループ設定画面

3 で各項目を選択し、●を押す

- グループアイコンとグループ名を設定する（☞下記）
- 着信イルミネーションを設定する（☞4-17ページ）
- 電話着信音とバイブレータを設定する（☞4-17ページ）
- メイン着信画像／サブ着信画像を設定する（☞4-19ページ）

4 （完了）を押す

▶内容が設定されます。

グループアイコンとグループ名を設定する

1 グループ設定画面（☞4-15ページ）より、で「グループアイコン」を選択し、●を押す

2 でアイコンを選択し、●を押す

3 で「グループ名」を選択し、●を押す

4 グループ名を入力し、●を押す

▶グループアイコンとグループ名が設定されます。

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- グループ番号0のグループ名「**名称なし**」は、変更できません。
- グループ設定を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

着信イルミネーションを設定する

例 グループ2の着信イルミネーションをカラー「**カラー2**」、パターン「**パターン3**」に設定する場合

1 グループ設定画面（☞4-15ページ）より、で「着信イルミ」を選択し、●を押す

2 V302Tを閉じて、下サイドキーを押す

▶サブディスプレイにイルミネーション選択画面が表示されます。

- イルミネーション（お知らせランプ）を確認しながら操作します。操作方法は以下の通りです。
  - ・**上サイドキー**：点滅する色を選択します。押すごとに点滅色が変わります。
  - ・**下サイドキー**：点滅するパターンを選択します。押すごとに点滅パターンが変わります。

3 上サイドキーを押して「カラー2」、下サイドキーを押して「パターン3」をそれぞれ選択する

［ カラー2 ］
［ パターン3 ］
カラー選択
パターン選択

4 V302Tを開き、（完了）を押す

▶着信イルミネーションが設定されます。

- グループ設定を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

電話着信音とバイブレータを設定する

例 グループ2の着信音パターンを「**さくら（独唱）**」、バイブレータを「**OFF**」に設定する場合

1 グループ設定画面（☞4-15ページ）より、で「電話着信音」を選択し、●を押す

2 で「着信音パターン」を選択し、●を押す

3 で「固定メロディ」を選択し、● を押す

- メロディを再生する場合は、（確認）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、● を押してください。停止する場合は、（停止）を押します。

4 で「さくら（独唱）」を選択し、● を押す

5 で「バイブレータ」を選択し、● を押す

- 「**パターン1～3**」を選択した場合は、選択しているパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

6 で「OFF」を選択し、● を押す

▶バイブレータが設定されます。

- グループ設定を完了する場合は、このあと（戻る）を押し、続いて（完了）を押してください。

操作4のメロディ確認時の音量は、着信設定の電話着信の音量（☞5-2ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で鳴ります。

メイン着信画像／サブ着信画像を設定する

例 グループ2のメイン着信画像を「**くまぐりー**」に設定する場合

1 グループ設定画面（☞4-15ページ）より、で「メイン着信画像」を選択し、● を押す

2 で「くまぐりー」を選択し、● を押す

▶画像が表示されます。

- (*)、(#)で他の画像に切り替え表示します。

3 （決定）を押す

▶メイン着信画像が設定されます。

- グループ設定を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

- グループ設定で設定した着信画像を表示する場合は、7-11ページや7-15ページの「**電話着信画像**」を「**OFF**」以外に設定してください。
- 横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。また、画像が以下のサイズ以外の場合は、トリミング（画像の表示したい範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。
  - ・**メイン着信画像**：横144×縦80ドット
  - ・**サブ着信画像**　：横 80×縦48ドット
- グループ単位で着信音パターンを設定していても、相手から電話番号が通知されてこない場合は、着信設定の電話着信の着信音パターンに従います（☞5-3ページ）。

サブディスプレイの着信画像を設定する場合は、操作1で「**サブ着信画像**」を選択してください。

電話帳を利用して電話をかける

■電話帳の検索画面について

メモリダイヤルの検索画面では◎を押して、検索を行います。

◎を押す

50音順に前の行を表示します（その他、わ行、ら行…）。

◎を押す

50音順に次の行を表示します（あ行、か行、さ行…）。

（「か」行がない場合）

◎※を押す

※◎を押す代わりに、1～5を押して選択することもできます。

以下は、「あ行」の画面で操作を行った場合

- 1：「**あ**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 2：「**い**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 3：「**う**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 4：「**え**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 5：「**お**」から始まる名前にカーソルが移動します。

- メモリ番号から検索した場合（☞4-25ページ）やランキングから検索した場合（☞4-26ページ）の検索画面は以下のように表示されます。

メモリ番号での検索画面

順位

ランキングでの検索画面

- 検索画面に「」が表示されているときは、を押すと電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録した番号に電話がかかります）。

■電話帳の各種検索方法

メモリダイヤルの検索方法を以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**2タッチ**」に設定されています。

検索方法	内　容	参照先
2タッチ	ヨミガナの頭文字を2タッチで入力して検索できます。	☞下記
一覧	メモリダイヤルの一覧から検索できます。	☞4-22ページ
グループ	グループを選択して検索できます。	☞4-23ページ
ヨミガナ	ヨミガナを入力して検索できます。	☞4-24ページ
番号	メモリ番号を入力して検索できます。	☞4-25ページ
ランキング	電話をかけた回数のランキング（20位まで）から検索できます。	☞4-26ページ

2タッチで検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 ◎**を押す**

▶前回検索時に設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、（検索方法）を押して、◎で「**2タッチ**」を選択し、●を押してください。

2 1 5**の順に押す**

▶押したキーに対応するヨミガナの頭文字を含むメモリダイヤルが表示されます。

- 各キーに割り当てられている頭文字については、4-22ページの補足を参照してください。

3 ●**を押す**

4 ◎**で電話番号を選択し、**☎**を押す**

▶選択した番号に電話がかかります。

- 頭文字入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。
  例えば「**よ**」から始まるヨミガナのメモリダイヤルを呼び出す場合は、(8)(5)の順に押します。

先に押すボタン ＼ 後に押すボタン	1	2	3	4	5
1	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ
3	さ	し	す	せ	そ
4	た	ち	つ	て	と
5	な	に	ぬ	ね	の
6	は	ひ	ふ	へ	ほ
7	ま	み	む	め	も
8	や	ー	ゆ	ー	よ
9	ら	り	る	れ	ろ
0	わ	を	ん	ー	ー

※「その他」を呼び出す場合は、(＊)を押します。

- 未登録のメモリダイヤルを検索した場合、「**登録はありません**」と表示されます。
- 操作*2*の画面で(発信)を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

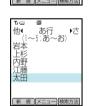
一覧から検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 (◁)を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、(検索方法)を押して、(◇)で「**一覧**」を選択し、(●)を押してください。
- 最も若いヨミガナのメモリダイヤルから順に表示されます。

2 (◇)で「太田」を選択する

3 (●)を押す

4 (◇)で電話番号を選択し、(発信)を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

操作*2*の画面で(発信)を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

グループから検索する

例 「**グループ1**」の「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 (◁)を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、(検索方法)を押して、(◇)で「**グループ**」を選択し、(●)を押してください。

2 (◇)で「グループ1」を選択し、(●)を押す

▶「**グループ1**」に登録された、最も若いヨミガナのメモリダイヤルが表示されます。

- (◇)を押すかわりに、ボタン入力でも選択できます。

(0)：名称なし
(1)：グループ1
⋮
(9)：グループ9

3 (◇)で「太田」を選択し、(●)を押す

4 (◇)で電話番号を選択し、(発信)を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

- 操作*2*の画面で(発信)を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。
- グループ名を変更する場合は、操作*1*の画面でグループを選択し(メニュー)を押します（ただしグループ番号0の「**名称なし**」は除く）。

ヨミガナから検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 ◎を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、（検索方法）を押して、◎で「**ヨミガナ**」を選択し、●を押してください。

2 ヨミガナを入力する

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- ヨミガナの頭文字だけでも検索できます。
- 入力可能文字数は、最大で半角8文字です。

3 ●を押す

▶「**太田**」が選択されます。

4 ●を押す

5 ◎で電話番号を選択し、⌒を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補足

- ヨミガナの検索は、メモリダイヤルに登録されているヨミガナが使用されます。
- 操作*3*の画面で⌒を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

メモリ番号から検索する

例 メモリ番号「**001**」を呼び出して電話をかける場合

1 ◎を押す

▶前回検索時に設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、（検索方法）を押して、◎で「**番号**」を選択し、●を押してください。

2 メモリ番号を入力する

- メモリ番号は3桁で入力してください。

3 ●を押す

▶「**太田**」が選択されます。

- 右の画面で、3桁のメモリ番号を入力して、他のメモリダイヤルを検索することもできます。

4 ●を押す

5 ◎で電話番号を選択し、⌒を押す

▶選択した番号に電話がかかります。

補足

- メモリ番号の検索は、メモリダイヤル登録時のメモリ番号が使用されます。
- 操作*3*の画面で◎を押すと、50件単位で表示を切り替えることができます。
- 操作*3*の画面で⌒を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

ランキングから検索する

電話をかけた頻度に応じたランキングから検索し、電話をかけることができます。

例 ランキングを呼び出して2位の相手に電話をかける場合

1 **を押す**

▶前回検索時に設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、(検索方法)を押して、で「**ランキング**」を選択し、を押してください。
- 20位まで表示されます。

2 **で2位を選択し、を押す**

3 **で電話番号を選択し、を押す**

▶選択した番号に電話がかかります。

- 操作**1**の画面でを押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。
- 操作**1**の画面で（メニュー）を押して、ランキングの内容の消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。
- 1件ずつ消去を行った場合、ランキングの順位は繰り上がります。
- ランキングの内容を消去しても、メモリダイヤルに登録している内容は消去されません。

■スピードダイヤルを利用して電話をかける

メモリ番号000～099に登録されている相手の場合、メモリ番号の下2桁とを押すだけで電話をかけることができます。

例 メモリ番号011に登録されている相手に電話をかける場合

1 **メモリ番号の下2桁を入力する**

2 **を押す**

▶入力したメモリ番号の相手に電話がかかります。

- メモリ番号000～009に登録されている相手の場合、下1桁のメモリ番号とを押すだけで電話をかけることができます。
- メモリ番号の下2桁または1桁に該当するメモリダイヤルに、2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に電話がかかります。
- スピードダイヤルと国際ショートコード（☞11-32ページ）の機能を組み合わせてご利用いただくことはできません。

■番号を付加して発信する

メモリダイヤルや着信履歴などから呼び出した電話番号に、番号を追加入力して電話をかけることができます。

例 メモリダイヤルから呼び出した電話番号「177」に追加番号「03」をつなげて、発信する場合

1 メモリダイヤルを呼び出す

- メモリダイヤルの呼び出し方については4-20～26ページを参照してください。

4

2 （編集）を押す

▶電話番号の編集画面が表示されます。

3 追加する番号を入力する

- 追加番号はメモリダイヤルに登録されている電話番号の前に追加されます。

4 を押す

▶相手につながると通話ができます。

- 着信履歴（☞2-18ページ）、リダイヤル（☞2-5ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-17ページ）でも同様の操作が行えます。
- 操作3の画面で●を押したあと（完了）を押すと、メモリダイヤルに登録することができます。

電話帳の編集

登録したメモリダイヤルは、個別に編集、消去を行うことができます。また、電話番号とEメールをそれぞれ2件まで登録することができます。

■電話番号やEメールアドレスを追加登録する

例 すでに登録されているメモリダイヤルに電話番号とEメールアドレスを追加登録する場合

1 待受画面で、電話番号を入力する

- 登録可能桁数は、最大24桁です。
- 電話番号を間違えて入力した場合はClearを短く押すと、最後の1桁が消去されます。Clearを長く（約1秒以上）押すと待受画面に戻ります。

2 Menu（メニュー）を押す

3 で「メモリダイヤル追加」を選択し、●を押す

▶メモリダイヤル検索画面が表示されます。

4 登録したいメモリダイヤルを検索する

- メモリダイヤルの検索方法については4-20～26ページを参照してください。

5 ●を押す

▶すでに登録されていた電話番号（09098…）に続き、電話番号（03123…）が追加されます。

6 で「Eメールアドレス」を選択し、●を押す

4

7 **Eメールアドレスを入力し、●を押す**

▶すでに登録されていたEメールアドレス(tanaka…)に続き、Eメールアドレス(abcde…)が追加されます。

- Eメールアドレスの入力方法については4-4ページを参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角60文字です。

8 **(完了)を押す**

▶メモリダイヤルが更新されます。

■電話帳を修正する

メモリダイヤルの検索(☞4-20ページ)で以下の画面を呼び出すと、メモリダイヤルの編集や消去などを行うことができます。

メモリダイヤル検索画面でできる操作

メモリダイヤル検索画面

メモリダイヤル検索画面(左の画面など)でMenu(メニュー)を押すと、以下の操作を行うことができます。

・**消去**(☞4-31ページ)/**シークレット登録**(☞4-13ページ)/**許可リスト登録**(☞11-52ページ)

- ランキングの検索画面では、消去やシークレット登録は行えません。
- メモリダイヤルの検索画面については4-20〜26ページを参照してください。

メモリダイヤル確認画面でできる操作

メモリダイヤル確認画面

メモリダイヤル確認画面(左の画面)で各項目を選択し、●(編集または変更)を押すと、登録した名前や電話番号、メモリ番号(☞4-6ページ)、オプション(☞4-7ページ)などを変更することができます。また、Menu(メニュー)を押すと、以下の操作を行うことができます。

操　作	内　容	カーソル位置
顔写真設定	顔写真を変更します。	全項目
名前消去	名前とヨミガナを消去します。	名前
全項目消去	選択しているメモリダイヤルを消去します。	
ヨミガナ消去	ヨミガナを消去します。	ヨミガナ
メール作成	メールを作成します(☞Vodafone live!編)。	電話番号
電話番号消去	電話番号を消去します。	
アイコン変更	電話番号のアイコンを変更します。	
メール作成	メールを作成します(☞Vodafone live!編)。	Eメールアドレス
Eメール消去	Eメールアドレスを消去します。	
アイコン変更	Eメールアドレスのアイコンを変更します。	
オプションクリア	オプションの設定内容がすべて解除されます。	オプション
メモ消去	メモを消去します。	メモ
住所消去	住所を消去します。	住所
誕生日消去	誕生日を消去します。	誕生日

■電話帳を削除する

選択したメモリダイヤルを消去することができます。

1 **消去するメモリダイヤルを検索する**

- メモリダイヤルの検索方法については4-20〜26ページを参照してください。

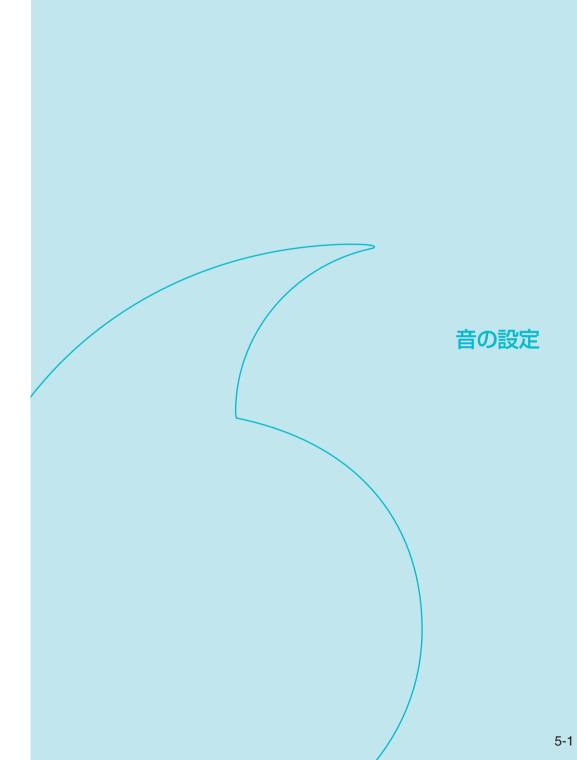
2 **Menu(メニュー)を押す**

3 **◎で「消去」を選択し、●を押す**

4 **◎で「YES」を選択し、●を押す**

▶メモリダイヤルが1件消去されます。

ランキングの検索画面では、メモリダイヤルの消去はできません。ランキング以外の検索方法で、消去するメモリダイヤルを検索してください。

音の設定

着信音量の設定 F10

着信音の大きさを5段階に調節したり、音を鳴らないようにすることができます。
また、音量レベルを徐々に上げたり（ステップアップ）、下げたり（ステップダウン）することができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

例 電話着信の着信音量を「**レベル4**」に設定する場合

1 ○-　1　0 の順に押す

2 ◎で「電話着信」を選択し、● を押す

3 ◎で「着信音量」を選択し、● を押す

- （確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

4 ◎で「レベル4」を選択し、● を押す

▶着信音量が設定されます。

- マナーモード設定中の着信音量は、マナーモードの設定に従います（☞5-6ページ）。
- イヤホンマイク（オプション品）使用時は、イヤホンの音量も同時に調節されます。ただし、着信音量を「**サイレント**」に設定した場合は、イヤホンからのみ「**レベル3**」で鳴ります。

- 着信中に◎を押して、着信音量を調節することもできます。ただし、「**ステップアップ**」と「**ステップダウン**」は選択できません。
- 電話着信の着信音量を「**サイレント**」に設定すると、待受画面に「🔇」が表示されます。この場合、イルミネーション（お知らせランプ）とディスプレイ表示で着信をお知らせします。

着信音のパターンの変更 F10

着信音は固定パターン、固定メロディ、データフォルダの中から、お好みにあわせて変更することができます。[着信音パターン]
また、着信音量の調節、バイブレータの設定や解除を行うこともできます。
着信設定は、以下の表の項目について、個別に設定することができます。
お買い上げ時はすべて着信音パターン「**パターン1**」、着信音量「**レベル3**」、バイブレータ「**OFF**」、鳴動時間（電話着信を除く）「**4秒**」に設定されています。

- **データフォルダについては9章を参照してください。**

項目	内容
電話着信	電話がかかってきたときの着信音
メール着信	ロングメール以外のメールを受信したときの着信音
ロングメール着信	ロングメールを受信したときの着信音
ウェブ着信	ウェブを受信したときの着信音
ステーション着信	ステーションを受信したときの着信音

・メール、ロングメール、ウェブ、ステーションについては、Vodafone live!編を参照してください。

例 電話着信を固定メロディ「**ナウシカ・レクイエム**」に変更する場合

1 ○-　1　0 の順に押す

2 ◎で「電話着信」を選択し、● を押す

3 ◎で「着信音パターン」を選択し、● を押す

4 ◎で「固定メロディ」を選択し、● を押す

- メロディを再生する場合は、（確認）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、●を押してください。
停止する場合は、（停止）を押します。

5 ◎で「ナウシカ・レクイエム」を選択し、●を押す

▶電話着信音が設定されます。

- 操作*1*で「**メール着信**／**ロングメール着信**／**ウェブ着信**／**ステーション着信**」を選択した場合は、着信音が鳴る時間（鳴動時間）を設定することができます。ただし、着信音パターンを「**固定パターン**」に設定した場合は4秒に設定され、変更することはできません。
- 鳴動時間は1秒から99秒の間または1周期（曲の最初から最後までを一度だけ演奏）に設定することができます。
- 操作*4*のメロディ確認時の音量は、各着信設定の音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で鳴ります。
- 着信音パターンを「**固定パターン**」から選択した場合、「**電話着信**」と「**メール着信**／**ロングメール着信**／**ウェブ着信**／**ステーション着信**」では、同じ「**パターン1～4**」でも鳴り方が異なります。

あらかじめ登録されているメロディについて

V302Tには、あらかじめ以下の内容が登録されています。

・**固定パターン**：パターン1～4
・**固定メロディ**：固定メロディには、以下のメロディと効果音があります。

メロディ		
曲名		作曲者名
ルミナス		東芝オリジナル
ナウシカ・レクイエム		久石 譲
さくら（独唱）		森山 直太朗
オルゴールメドレー1	春の歌	MENDELSSOHN BARTHOLOY FELIX
	アイーダの凱旋行進曲	VERDI GIUSEPPE
	花のワルツ	TCHAIKOVSKY PETER
オルゴールメドレー2	愛の夢	LISZT FRANZ
	魔法使いの弟子	DUKAS PAUL ABRAHAM
	亜麻色の髪の乙女	DEBUSSY CLAUDE ACHILL
華麗なる大円舞曲		CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
誰も寝てはならぬ		PUCCINI GIACOMO
ARABESQUE NO 1（アラベスク第1番）		DEBUSSY CLAUDE ACHILL
メヌエット		BACH JOHANN SEBASTIAN
ラデッキー行進曲		STRAUSS JUN JOHANN
PINEAPPLE RAG（パイナップルラグ）		JOPLIN SCOTT
O MIO BABBINO（私のお父さん）		PUCCINI GIACOMO
チェッチェッコリ		ガーナ民謡
ティンサグの花		沖縄県民謡
花		滝 廉太郎

・メロディは、ボタン確認音（☞5-11ページ）には設定できません。

効果音			
黒電話	お電話です	電子音	Phone call
You've got mail	目覚まし	警笛	ドアを開く
ドアを閉じる	ファンファーレ	ウィンドチャイム	笑い声
わ～お	アウト！	ナイスショット	−

JASRAC T-03B0325

■着信を振動でお知らせする

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときに、バイブレータを振動させることができます。

例 電話着信のバイブレータを「**パターン2**」に設定する場合

1 次の操作で「バイブレータ」を呼び出す

① ○ 1 0 の順に押す
② ◎で「**電話着信**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**バイブレータ**」を選択する

2 ●を押す

- 「**パターン1～3**」を選択した場合は、選択しているパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時や受信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

3 ◎で「パターン2」を選択し、●を押す

▶バイブレータが設定されます。

- マナーモード設定中のバイブレータの振動パターンは、マナーモードの設定に従います（☞5-6ページ）。
- バイブレータを設定しても、割込通話（☞12-9ページ）のときは、バイブレータは振動しません。
- 充電中に着信があった場合もバイブレータでお知らせします。

- 電話着信のバイブレータを設定すると、待受画面に「〰」が表示されます。
- 着信音量を「**サイレント**」に設定している場合は、バイブレータの振動のみで着信をお知らせします。

マナーモードの設定 F16

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑とならないように音やバイブレータの設定を切り替えることができます。マナーモードは以下の種類から選択することができます。

- マナーモードをご利用になる場合は、2-7ページを参照してください。

項目	内容
サイレントモード	会議中など、着信音が気になるときに設定するモードです。
メザマシモード	目覚ましのアラーム以外は鳴らさないモードです。
オリジナルマナー	以下の項目を個別に設定することができます。 ・着信音（着信音量・バイブレータ） ・目覚まし（アラーム音量・バイブレータ） ・スケジュール（アラーム音量・バイブレータ）　・効果音 ・サウンド音量　・簡易留守録

各モードの設定内容

機能設定		サイレントモード	メザマシモード	オリジナルマナー
着信音量	電話着信	サイレント	サイレント	5-7ページの設定による
	メール着信			
	ロングメール着信			
	ウェブ着信			
	ステーション着信			
バイブレータ	電話着信	パターン1	パターン1	5-7ページの設定による
	メール着信			
	ロングメール着信			
	ウェブ着信			
	ステーション着信			
	目覚まし	パターン1	10-28ページの設定による	5-7ページの設定による
	スケジュールアラーム	パターン1（※1）	パターン1（※1）	5-7ページの設定による
効果音	ウェイクアップ音	OFF	OFF	5-7ページの設定による（※2）
	パワーオフ音			
	ボタン確認音			
	オープン／クローズ音			
目覚まし		サイレント	10-28ページの設定による	5-7ページの設定による
スケジュールアラーム音		サイレント	サイレント	5-7ページの設定による
サウンド音量（※3、4）		サイレント	サイレント	5-7ページの設定による
簡易留守録		11-14ページの設定による	11-14ページの設定による	5-7ページの設定による
電池アラーム音（※5）		サイレント	サイレント	サイレント
応答保留音		サイレント	サイレント	サイレント

※1 最大1分間振動します。
※2 「ON」の場合は、効果音（☞5-9ページ）の設定に従います。
※3 サウンド音量とは、メール／ウェブ／ステーションを利用中にメロディなどを再生したときの音量です。
※4 サウンド再生時のバイブレータは「SMAF連動」（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）となり、サウンドに連動して振動します。
※5 通話中のみ受話口より聞こえます。

マナーモードを設定しても、カメラ利用時のシャッター音は鳴ります。

■マナーモードの種類を変更する

お買い上げ時は「**サイレントモード**」に設定されています。

例 「**オリジナルマナー**」に変更する場合

1 ○ 1 6 の順に押す

2 ◎で「オリジナルマナー」を選択し、●を押す

▶マナーモードの種類が変更されます。

■オリジナルマナーの設定内容を変更する

オリジナルマナーでは、以下の項目を個別に設定することができます。

項目	内容
着信音	音量：サイレント／レベル1～5／ステップアップ／ステップダウン バイブレータ：パターン1～3／SMAF連動／OFF ※着信音では、電話着信、メール着信、ロングメール着信、ウェブ着信、ステーション着信で個別に音量やバイブレータを設定できます。
目覚まし	
スケジュール	
サウンド音量	サイレント／レベル1～5
効果音	ON／OFF
簡易留守録	設定／解除

例 「**ロングメール着信**」の着信音量を「**レベル1**」に変更する場合

1 次の操作で「オリジナルマナー」を呼び出す

① ○ 1 6 の順に押す

② ◎で「**オリジナルマナー**」を選択する

2 （変更）を押す

3 ⓞで「着信音」を選択し、●を押す

4 ⓞで「ロングメール着信」を選択し、●を押す

5 ⓞで「着信音量」を選択し、●を押す

- (確認)を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります(「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く)。
- 「**サウンド音量**」では、「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」を選択できません。

6 ⓞで「レベル1」を選択し、●を押す

▶着信音量が設定されます

7 (戻る)を2回押す

8 (完了)を押す

▶オリジナルマナーが設定されます。

オリジナルマナーの音量や設定を変更すると、操作**7**の画面は以下のように表示されます。

表示	音量およびバイブレータの設定内容
音	音量がサイレント以外でバイブレータがOFF
バイブ	音量がサイレントでバイブレータがOFF以外
音/バイブ	音量がサイレント以外でバイブレータがOFF以外
OFF	音量がサイレントでバイブレータがOFF

各種効果音の設定 F13

電源をONまたはOFFにしたときの音やボタンを押したときの音、V302Tを開閉したときの音などを設定することができます。音の選択(ボタン確認音を除く)ではデータフォルダを利用することもできます。また、音の大きさを3段階に調節したり、音が鳴らないようにすることもできます。

- **データフォルダについては9章を参照してください。**

■電源ON/OFF時の確認音を設定する

電源ON時の音(ウェイクアップ音)および電源OFF時の音(パワーオフ音)を設定することができます。
お買い上げ時はウェイクアップ音「**オリジナル1**」、パワーオフ音「**オリジナル**」、音量すべて「**レベル1**」に設定されています。

音を選択する

例 ウェイクアップ音を「**オリジナル2**」に設定する場合

1 ○ 1 3の順に押す

2 ⓞで「ウェイクアップ音」を選択し、●を押す

- 音量を設定する場合は、ⓞで「**音量**」を選択し、5-10ページの操作**2**以降を行ってください。

3 ⓞで「音選択」を選択し、●を押す

- メロディを再生する場合は、(確認)を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、●を押してください。
停止する場合は、(停止)を押します。

4 ⓞで「オリジナル2」を選択し、●を押す

▶ウェイクアップ音が設定されます。

マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います(☞5-6ページ)。

音量を調節する

例 ウェイクアップ音の音量を「**レベル2**」に設定する場合

1 次の操作で「音量」を呼び出す

① ⓞ(1)(3)の順に押す
② ◎で「**ウェイクアップ音**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**音量**」を選択する

2 ●を押す

- (確認)を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります。
- 音を鳴らないようにする場合は、◎で「**OFF**」を選択します。

3 ◎で「レベル2」を選択し、●を押す

▶ウェイクアップ音の音量が設定されます。

- マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います(☞5-6ページ)。
- モバイルカメラ利用中は、ボタン確認音は鳴りません。

■ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときの確認音を設定することができます。
お買い上げ時は音選択「**オリジナル**」、音量「**レベル1**」に設定されています。

音を選択する

例 ボタン確認音を固定メロディの「**電子音**」に設定する場合

1 次の操作で「ボタン確認音」を呼び出す

① ⓞ(1)(3)の順に押す
② ◎で「**ボタン確認音**」を選択する

2 ●を押す

- 音量を設定する場合は、◎で「**音量**」を選択し、5-10ページの操作*2*以降を行ってください。

3 ◎で「音選択」を選択し、●を押す

4 ◎で「固定メロディ」を選択し、●を押す

- メロディを再生する場合は、(確認)を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、●を押してください。
停止する場合は、(停止)を押します。

5 ◎で「電子音」を選択し、●を押す

▶ボタン確認音が設定されます。

マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います(☞5-6ページ)。

- ボタン確認音を「**固定メロディ**」から選択して設定した場合は、ボタンを押すと設定した音が約1秒間鳴ります。
- ボタン確認音に設定できる「**固定メロディ**」は、一部の効果音のみです(☞5-4ページ)。

■オープン音／クローズ音を設定する

V302Tを開閉したときの音を設定することができます。
お買い上げ時は音選択「**オリジナル**」、音量「**OFF**」に設定されています。

音を選択する

例 オープン音を固定メロディの「**オルゴールメドレー1**」に設定する場合

1 次の操作で「オープン音」を呼び出す

① (○) (1) (3) の順に押す
② (◇) で「**オープン音**」を選択する

2 (●) を押す

- 音量を設定する場合は、(◇)で「**音量**」を選択し、5-10ページの操作*2*以降を行ってください。

3 (◇) で「音選択」を選択し、(●) を押す

4 (◇) で「固定メロディ」を選択し、(●) を押す

- メロディを再生する場合は、(確認)を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、(●)を押してください。
停止する場合は、(停止)を押します。

5 (◇) で「オルゴールメドレー1」を選択し、(●) を押す

▶オープン音が設定されます。

重要 マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います(☞5-6ページ)。

補足 オープン音やクローズ音を「**固定メロディ**」、「**データフォルダ**」から選択して設定した場合は、V302Tを開くまたは閉じると、設定した音が約2秒間鳴ります(ゲーム実行時を除く)。

オリジナル着信音の作成 F15

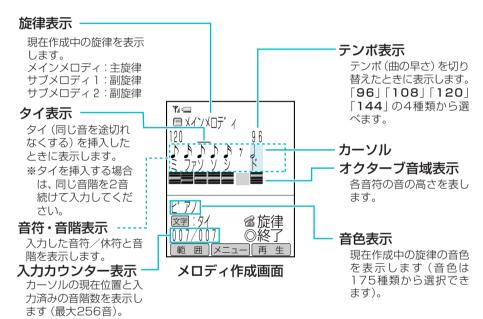
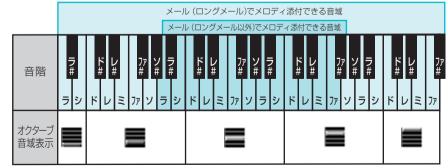
自分で曲を作成し、データフォルダに登録することができます。データフォルダに登録した曲は、着信音パターン(☞5-3ページ)に設定したり、メール(☞Vodafone live!編)に添付することができます。

- **データフォルダについては9章を参照してください。**

オリジナル着信音の作成画面

オリジナル着信音は、メインメロディ(主旋律)、サブメロディ1～2(副旋律)の3つの旋律から構成されており、それぞれに異なった音階を入力することで、和音演奏を楽しむことができます。また、音符や休符、テンポ、タイなどを入力でき、約4オクターブの音域で最大256音入力することができます。
オリジナル着信音の入力画面は、以下のように表示されます。

メロディ作成画面

音階の入力方法

音階入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。

ボタン	ボタンの説明	
1	「ド」／「ド#」の入力	1、2、4〜6の各音符は、ボタンを押す回数によって全音と半音が切り替わります。例えば、「ド」の半音「ド#」を入力する場合は、1を2回押します。
2	「レ」／「レ#」の入力	
3	「ミ」の入力	
4	「ファ」／「ファ#」の入力	
5	「ソ」／「ソ#」の入力	
6	「ラ」／「ラ#」の入力	
7	「シ」の入力	
8	音符や休符の変更	音符（1〜7）や休符（9、0）の入力後に、8を押すと以下のように切り替わります。 8分音符 4分音符 2分音符 16分音符 8分休符 4分休符 2分休符 16分休符
9	休符の上書き	カーソルの位置に休符を上書きします。
0	休符の挿入	カーソルの前に休符を挿入します。
#	テンポの切り替え	カーソルのある位置からテンポを切り替えます。「96」「108」「120」「144」から選べます（起動時は「120」）。テンポは、切り替わりの位置にのみ表示されます。#を押すたびにテンポが切り替わります。
（再生）	音楽再生選択の呼び出し	音階の入力画面で、入力中の音階を再生することができます（※1）。
上サイドキー	前画面へ移動	前の画面へ移動します。
下サイドキー	次画面へ移動	次の画面へ移動します。
Clear	音符、休符などの消去	カーソルの部分を消去します。
●	入力の終了	表示している旋律の入力を終了します。
上下	オクターブの切り替え	音符のオクターブ音域を切り替えます。
左右	カーソルの左右移動	カーソルの位置を左右に移動します。
（範囲）	範囲の指定	入力中の音階の範囲を指定するときに使用します（※2）。
文字	タイの入力	カーソルのある位置に「タイ（同じ音を途切れなくする）」を付けます。
Menu（メニュー）	サブメニューの呼び出し	サブメニューを呼び出します（※3）。
発信	旋律の切り替え	旋律の入力画面を切り替えます。
Power	操作の終了	作業を中断します。

※1 再生のしかたについては5-19ページを参照してください。
※2 指定した音階は、切り取ったり、コピーしたりすることができます（☞5-17ページ）。
※3 サブメニューでは以下の操作を行うことができます。

項　目	内　容
ペースト	で指定した範囲を貼り付けることができます（☞5-17ページ）。
音色設定	表示している旋律の音色を変更することができます（☞5-18ページ）。
全削除	表示している旋律の音階をすべて消去します。
最後へジャンプ	カーソルを最後の音符の右に移動します。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の音符に移動します。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。ボタンとその役割を確認することができます。もとの画面に戻すには、Clearを押します。

新規に作成する

例 「**音楽その1**」を作成し、データフォルダのメロディフォルダに登録する場合

1 左右 1 5 の順に押す

2 上下で「新規」を選択し、●を押す

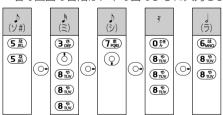
3 上下で「曲名なし」を選択し、●を押す

4 曲名を入力し、●を押す

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。

5 上下で「メインメロディ」を選択し、●を押す

6 音階を入力する

- 音階の入力方法については5-14ページを参照してください。
- 右の画面の音階は、下の図のように入力します。

7 ●を押す

▶ メインメロディが設定され「メイン」のアイコンが表示されます。
- サブメロディ1〜2（副旋律）を入力する場合は、上下で各副旋律を選択し、操作*6*〜*7*を繰り返します。
- 「**サブメロディ1**」、「**サブメロディ2**」を設定した場合は「サブ1」、「サブ2」のアイコンが表示されます。

8 ⌃(完了)を押す

● データフォルダには登録可能なフォルダのみ表示されます。

9 ◎で「メロディ」を選択し、⌃(決定)を押す

▶データフォルダに登録されます。

● 入力できる音符、休符は最大256音です。
● 音階入力中は、ボタン入力に従って確認音が鳴ります。音量はF14「サウンド音量」(☞5-22ページ)の設定に従います。また、マナーモード(オリジナルマナーを除く)に設定されている場合(☞5-6ページ)は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
● 操作*6*の音階の入力画面では、以下の操作が行えます。
　・入力中の音階を再生する(☞5-19ページ)
　・入力中の音階をコピー(切り取り)する/貼り付ける(☞5-17ページ)
　・入力中の音階の音色を設定する(☞5-18ページ)
　・入力中の音階を消去する(☞5-18ページ)
　・カーソルを最後の音符の右に移動する(☞5-18ページ)
　・カーソルを先頭の音符に移動する(☞5-18ページ)
　・ヘルプの機能を呼び出す(☞5-18ページ)
● 音階などの入力中に着信があった場合は着信を優先します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定(☞Vodafone live!編)に従います。
● 着信や電池切れなどにより操作が中断された場合でも、入力中の内容は記憶されています。電池切れなどで中断直前の画面が表示されない場合は、操作*1*の画面を呼び出したあと、「**継続**」を選択し◉を押すと、続きの操作が行えます。
● 曲名を入力しない場合、データフォルダには「**曲名なし**」で登録されます。
● データフォルダが一杯の場合は、作成したメロディを登録できません。登録する場合は、操作*9*のあと◎で「YES」を選択し、不要なファイルを消去してください(☞9-13ページ)。
● メールに作成したメロディを添付することもできます。添付する方法については、9-15ページまたはVodafone live!編を参照してください。

切り取り/コピー/貼り付けのしかた

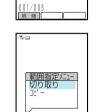
1 メロディ作成中に◎を押す

● コピー(切り取り)したい先頭または最後の音符にカーソルを移動します。

2 ○(範囲)を押し、◎で範囲を指定する

コピー(切り取り)する範囲を指定します。
● ○(範囲)を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。
● タイ、テンポの切り替えもコピー(切り取り)の対象になります。

3 ○(終端)を押す

● ◉を押しても、同様の操作が行えます。

4 ◎で「コピー」を選択し、◉を押す

● 指定した範囲の音符を切り取る場合は、◎で「**切り取り**」を選択してください。

5 ◎で貼り付ける位置を指定し、Menu(メニュー)を押す

● 貼り付けの開始位置の指定は、末尾以外でも可能です。

6 ◎で「ペースト」を選択し、◉を押す

▶コピーした範囲が操作*5*で指定したカーソルの位置から貼り付けられます。

コピーした範囲を合わせて256音を超える場合は、貼り付けを行うことができません。再度、コピー範囲を指定してください。

音色変更のしかた

旋律ごとに音色を変えることができます。また、音色は175種類の中から選択することができます。
メロディの新規作成時は「**ピアノ**」に設定されています。

例 「**鉄琴**」の「**オルゴール**」に設定する場合

1 **メロディ作成中に Menu（ メニュー ）を押す**

2 **で「音色設定」を選択し、● を押す**

3 **で「鉄琴」を選択し、● を押す**

4 **で「オルゴール」を選択し、● を押す**

▶音色が設定されます。
- メロディを再生（☞5-19ページ）すると、設定した音色で流れます。

音色の種類によっては、メロディで使用している音符や音程により音が聞き取りにくくなる場合があります。

操作**2**では、以下の項目を選択することもできます。

項　目	内　容
全削除	表示している旋律の音階を全て削除します。
最後へジャンプ	カーソルを最後の音符の右に移動します。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の音符へ移動します。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。ボタンとその役割を確認することができます。

音色の種類について

音色はピアノ（ピアノ、ブライトピアノなど8種類）、鉄琴（チェレスタ、グロッケンなど8種類）…と、全175種類の中から選択することができます。

種別	音色の種類	種別	音色の種類	種別	音色の種類
ピアノ	8種類	リード	8種類	ドラムセット	8種類
鉄琴	8種類	笛	8種類	ドラム	8種類
オルガン	8種類	シンセリード	8種類	シンバル	5種類
ギター	8種類	シンセパッド	8種類	ラテンドラム	7種類
ベース	8種類	シンセエフェクト	8種類	ラテンパーカッション	8種類
弦楽器	7種類	エスニック	8種類	ベル／ブロック	8種類
ストリング	8種類	パーカッション	9種類	その他	3種類
ブラス	8種類	効果音	8種類		

曲の再生のしかた

例 範囲を指定して再生する場合

1 **メロディ作成中に を押す**

- 範囲指定したい先頭または最後の音符にカーソルを移動します。

2 **（ 再生 ）を押す**

3 **で「範囲指定」を選択し、● を押す**

- タイ、テンポの切り替えも再生対象になります。

4 **で再生する最後の音符を指定し、（ 終端 ）を押す**

▶曲が再生されます。

5 音の設定

- 操作*3*では、以下の項目を選択することもできます。

項　目	内　容
先頭～カーソル	音階の先頭からカーソルの位置までを再生します。
カーソル～最後	カーソルの位置から音階の最後までを再生します。
和音再生	メインメロディ（主旋律）とサブメロディ1～2（副旋律）の音階を先頭から最後まで同時に再生します。

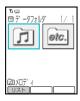
- 操作*4*のメロディ再生時の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-22ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

曲名／音階を編集する

例 データフォルダのメロディフォルダにある「**音楽その1**」を編集する場合

1 **(○)(1)(5)の順に押す**

2 **(◎)で「データフォルダ」を選択し、(●)を押す**

- データフォルダには編集可能なフォルダまたはファイルのみ表示されます。

3 **(◎)で「メロディ」を選択し、(●)を押す**

- メロディを再生する場合は、(確認)を押します。続いて(再生)を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、(●)を押してください。
停止する場合は、(停止)を押します。

4 **(◎)で「音楽その1」を選択し、(●)を押す**

- 以降の操作は、5-15ページの操作*3*以降を参照してください。

- 操作*3*のメロディ確認時の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-22ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
- データフォルダに登録したオリジナル着信音を消去する場合は、ファイルを消去する（☞9-13ページ）を参照してください。
- 旋律を消去する場合は、操作*4*の画面で旋律を選択したあと、Menu（メニュー）を押します。

サウンド(メロディ)ファイルの再生音量を調節する F14

作成中のオリジナル着信音、ゲーム利用時の音量やデータフォルダ内のメロディファイルなどを再生する音量を、5段階に調節することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。
サウンド音量を設定すると、以下の項目の音量がすべて設定されます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

機　能	設定される音量
基本機能	オリジナル着信音作成時または再生時（☞5-20ページ）の音量
	データフォルダのメロディファイル再生時（☞9-6ページ）の音量
	フォーチュン（☞10-39ページ）の起動時に再生する音量
	ゲーム（☞11-18ページ）利用時のサウンド音量
	ミニゲーム（☞10-40ページ）利用時のサウンド音量
	時刻読上げ（☞11-37ページ）利用時の音量
メール（☞Vodafone live!編）	受信メールの添付ファイル／メロディを自動再生する音量
	ファイルメニューからサウンドファイルを再生する音量
	スカイメールに添付するメロディ作成中の音量、再生時の音量
	メッセージ作成時に添付ファイル／メロディを再生する音量
ウェブ/ステーション（☞Vodafone live!編）	情報画面表示中にサウンドを自動再生する音量
	ファイルメニューからサウンドファイルを再生する音量

例 「**レベル5**」に設定する場合

1 **◯・1・4の順に押す**

● （確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります。

2 **◯で「レベル5」を選択し、●を押す**

▶サウンド音量が設定されます。

● マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量に従います。
● 各機能の設定画面で個別に音量を変更することもできますが、サウンド音量の設定は変更されません。

スピーカーを利用する

通話中の相手の声（または音）をレシーバーから背面スピーカー（☞1-3ページ）に切り替えて聞くことができます。時報（117番）や自動音声応答サービスなどを使用するときに便利です。

例 時報を聞く場合

1 **番号をダイヤルする**

2 **◯を押す**

3 **（スピーカー）を押す**

▶背面スピーカーに切り替わります。
● 受話器から聞こえるようにする場合は、（オフ）を押します。

● 背面スピーカーに切り替えているときは、お客様の声は相手に聞こえません。
● スイッチ付イヤホンマイク（オプション品）の使用中は、背面スピーカーに切り替えることができません。

● 背面スピーカーの音量を調節する場合は、背面スピーカーに切り替えているときに◯を押します。
● 背面スピーカーに切り替えているときでも、プッシュトーンを送ることができます（☞11-22ページ）。

セキュリティ機能

無断で使用されたくないとき F20

正しい操作用暗証番号を入力しない限り、ダイヤル操作を禁止することができます。
[ダイヤル操作禁止]

ダイヤル操作禁止を設定する

1 ○-(2かABC)(0わをん)の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

▶ダイヤル操作禁止が設定されます。
● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

補足

- ダイヤル操作禁止を設定すると、待受画面に「**ダイヤル操作禁止**」と表示されます。
- ダイヤル操作禁止中でも、以下の操作は行えます。
  - ・電源ON/OFF
  - ・ダイヤル操作禁止の解除
  - ・110番(警察)、119番(消防:制限地域に指定されている地域を除く)、118番(海上保安本部)へ電話をかける
  - ・電話を受ける
  - ・応答保留(☞2-9ページ)
  - ・着信拒否(☞2-12ページ)
  - ・通話中の受話音量(☞2-13ページ)、スピーカー音量(☞5-23ページ)の調節
  - ・背面スピーカーへの切り替え(☞5-23ページ)
  - ・音声メモ(☞2-14ページ)
  - ・簡易留守録で電話を受ける(☞2-10、11-14ページ)
  - ・かかってきた電話を留守番電話センターに転送する(☞12-5ページ)
- ダイヤル操作禁止中でも、以下の機能は自動的に起動します。
  - ・プチスケジュールのアラーム設定(☞10-2ページ)
  - ・アクションアイテムのアラーム設定(☞10-19ページ)
  - ・F52「目覚まし」(☞10-28ページ)
  - ・お知らせ君(☞10-12ページ)
- ダイヤル操作禁止中に電源を切っても、ダイヤル操作禁止は解除されません。

ダイヤル操作禁止を解除する

1 ダイヤル操作禁止設定中に操作用暗証番号を入力する

▶ダイヤル操作禁止が解除されます。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する F21

電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作を禁止することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 ○-(2かABC)(1.あ@)の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 (◯)で「ON」を選択し、(●)を押す

▶簡易ロックが設定されます。

重要

簡易ロックを設定しても、一度電源を切り、再度電源を入れる操作をしないと、ダイヤル操作は禁止されません。また、簡易ロックの設定を解除するまで、電源を入れるたびにダイヤル操作が禁止されます。

補足

簡易ロックを解除するには、ダイヤル操作禁止を解除(☞6-2ページ)してから簡易ロックの設定を「OFF」にしてください。

電話帳の使用・ダイヤル発信／着信を禁止する F23

メモリダイヤルの使用を禁止したり、電話をかけることや受けることを禁止することができます。
お買い上げ時はすべて「OFF」に設定されています。

項　目	内　容
メモリ使用禁止	メモリダイヤルやリダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリなどを使って電話をかけることを禁止します。ただし、ダイヤルボタンを使って電話をかけることはできます。
ダイヤル禁止	ダイヤルボタンを使って電話をかけることを禁止します。ただし、メモリダイヤルやリダイヤル、着信履歴から電話をかけることはできます。
着信禁止	緊急呼び出しの着信を除き電話を受けることを禁止します。ただし、電話をかけることはできます。

例 メモリ使用禁止を「ON」に設定する場合

1 ○ 2 3 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。
● 「**ダイヤル禁止**」、「**着信禁止**」を選択した場合も以降の操作と同様に設定することができます。

3 ◎で「メモリ使用禁止」を選択し、●を押す

4 ◎で「ON」を選択し、●を押す

▶メモリ使用禁止が設定されます。

メモリ使用禁止中、ダイヤル禁止中はメモリダイヤルの登録ができません。

● 110番（警察）、119番（消防：制限地域に指定されている地域を除く）、118番（海上保安本部）については、ダイヤル禁止中でも電話をかけることはできます。また、着信禁止中でも着信します。
● 着信禁止を設定すると、待受画面に「**着信禁止**」と表示されます。また、電話をかけてきた相手には、話中音（プープー…）を返します。

電波の送受信を禁止する F24

電源を切らずに電波の送受信を禁止して、電話をかけることや受けること、メールの送受信、ウェブ、ステーションの各サービスを利用できないようにします。
［オフラインモード］
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 ○ 2 4 の順に押す

2 ●を押す

3 ◎で「ON」を選択し、●を押す

▶オフラインモードが設定されます。
● 設定を解除するときは「OFF」を選択します。

オフラインモードを「ON」に設定すると、電話を受けることなどができなくなりますので、設定の解除を忘れないようご注意ください。

● メールの送受信などの通信中は、オフラインモードを設定できません。
● オフラインモードを設定した場合は、画面左上の「Y」が「□」に変わり、待受画面に「**オフラインモード**」と表示されます。また、電源をOFF／ONしても設定は解除されません。

着信拒否設定

■迷惑電話拒否を設定する

受けたくない電話番号を拒否電話リストに登録し、着信を拒否することができます（最大20件）。
電話番号は直接入力したり、メモリダイヤルや着信履歴から選択することができます。

例 着信履歴から登録する場合

1 Menu（○-）の順に押す

2 （◎）で「迷惑リスト」を選択し、（●）を押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号を入力する

迷惑リスト
電話
メール
ワンコール無音設定
迷惑電話の着信拒否を設定します
戻る

- 間違った暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。
- 「**メール**」（拒否アドレスリスト）についてはVodafone live!編を参照してください。

4 （◎）で「電話」を選択し、（●）を押す

5 （◎）で「拒否電話リスト」を選択し、（●）を押す

▶拒否電話リストが表示されます。

6 （追加）を押す

7 （◎）で「着信履歴」を選択し、（●）を押す

拒否電話リストに登録したい着信履歴を選択します。
- 電話番号を入力して登録する場合は（◎）で「**直接入力**」を、メモリダイヤルを検索して登録する場合は（◎）で「**メモリダイヤル**」をそれぞれ選択します。

8 （◎）で拒否したい電話番号を選択し、（●）を押す

▶拒否電話リストに表示されます。
- 引き続き登録する場合は、操作*6*～*8*を繰り返します。

9 （完了）を押す

▶拒否電話リストに登録されます。

10 （◎）で「指定No.拒否」を選択し、（●）を押す

11 （◎）で「ON」を選択し、（●）を押す

▶迷惑電話拒否が設定されます。

- 拒否電話リストに110番（警察）、119番（消防：制限地域に指定されている地域を除く）、118番（海上保安本部）は登録できません。
- 拒否電話リストに登録がない場合、「**指定No.拒否**」は設定できません。

操作*8*の画面でMenu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**編集／1件消去／全件消去**

■特定の着信を拒否する F26

非通知でかけてきた相手や、公衆電話からかけてきた電話をそれぞれ受けないようにすることができます。また、受けたくない電話番号を拒否電話リスト(☞6-6ページ)に登録し、登録した電話番号からの電話を受けないようにすることもできます。
[指定着信拒否]
お買い上げ時はすべて「OFF」に設定されています。

項目	内容
非通知拒否	非通知でかけてきた電話を受けないようにします。
公衆電話拒否	公衆電話でかけてきた電話を受けないようにします。
通知不可拒否	通知が不可能な電話を受けないようにします。
メモリ以外拒否	メモリダイヤルに登録されていない相手からの電話を受けないようにします。
指定No.拒否	**拒否電話リスト**(☞6-6ページ)に登録している相手からの電話を受けないようにします。

例 公衆電話からの着信を拒否する場合

1 ◯ 2 6 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 で「公衆電話拒否」を選択し、●を押す

4 で「ON」を選択し、●を押す

▶指定着信拒否が設定されます。

- 非通知拒否を設定すると、相手には「おそれいりますがあなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」というアナウンスが流れます。
- 指定着信拒否と着信禁止(☞6-4ページ)が設定されている場合は、着信禁止が優先されます。

■ワンコール無音を設定する

メモリダイヤルに登録されていない番号から電話がかかってきた場合、着信音を約3秒間鳴らさないように設定することができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例 「ON」に設定する場合

1 Menu ◯ の順に押す

2 で「迷惑リスト」を選択し、●を押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

4 で「ワンコール無音設定」を選択し、●を押す

5 で「ON」を選択し、●を押す

▶ワンコール無音が設定されます。

- ワンコール無音を「ON」に設定した場合、着信から約3秒間は着信画面でのみ着信をお知らせします。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合や、公衆電話、通知が不可能な電話からかかってきた場合は、ワンコール無音を設定していても、通常の着信となります。

暗証番号変更 F28

操作用暗証番号を変更することができます(お買い上げ時は、「9999」またはご契約時にお決めいただいた4桁の番号が設定されています)。

例 「1234」から「5678」に変更する場合

1 ○・2 8 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 現在の操作用暗証番号を入力する

▶現在の操作用暗証番号が表示されます。

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 新しい操作用暗証番号を入力する

▶新しい操作用暗証番号が表示されます。

4 ● を押す

▶操作用暗証番号が変更されます。

- オプションサービスの遠隔操作時に必要な交換機用暗証番号は、この操作では変更できません(☞1-15ページ)。
- 暗証番号の入力が必要な機能については、1-15ページを参照してください。

6 セキュリティ機能

登録や設定をお買い上げ時の状態に戻す F29

各機能の設定をお買い上げ時の状態(初期状態)に戻します。[設定リセット]

1 ○・2 9 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 ◎で「YES」を選択し、●を押す

▶各機能の設定が初期状態に戻ります。

リセットおよび初期状態になる項目

機能番号	機能名	初期値
F10	着信設定	着信音パターン:パターン1　着信音量:レベル3 バイブレータ:OFF、鳴動時間(電話着信を除く):4秒
F13	効果音設定	ウェイクアップ音(音選択:オリジナル1、音量:レベル1) パワーオフ音、ボタン確認音(音選択:オリジナル、音量:レベル1) オープン/クローズ音(音選択:オリジナル、音量:OFF)
F14	サウンド音量	レベル3
F16	マナーモード選択	サイレントモード
F21	簡易ロック	OFF
F22	シークレットモード	OFF
F23	禁止設定	すべてOFF
F24	オフラインモード	OFF
F26	指定着信拒否	すべてOFF
F32	自動着信機能	OFF(呼出秒数6秒)
F33	バッテリーセーブ	ディスプレイ省電力(待受中:1分、ボタン操作中:ON) 通話中節電:ON
F34	パネル照明	明るさ調整:明るさ2、点灯時間:10秒
F35	言語選択	日本語
F36	オープン通話	応答しない
F37	メモリダイヤルグループ設定	アイコン:未設定、名称:未設定 着信イルミ/着信音パターン/バイブレータ/ (メイン/サブ着信画像):個別設定なし
F38	通話品質アラーム	OFF
F39	サイドキー設定	マナー設定/解除
F42	簡易留守録	留守録設定:OFF、応答時間設定:6秒
F43	ユーザー辞書	未登録
F46	オーナー登録	未登録
F47	メニュー設定	マルチメニューイラスト:ノーマル 待受アイコン、割込みフレーム(イラスト、語尾替え):すべてノーマル

6 セキュリティ機能

機能番号	機能名	初期値
F49	壁紙／マイキャラクタ	通常壁紙：オリジナル、発信/通話中/設定イラスト：ノーマル ウェイクアップ／パワーオフ：オリジナル、電話着信画像：ノーマル
F52	目覚まし機能設定	目覚まし：OFF、タイトル／時刻：未設定 アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル5 バイブレータ：OFF、時刻読上げ：ON、起動設定：未設定 繰返し通知設定：あり
F59	時計設定	待受時計：ゴシック、ミニ時計：ON、12／24h設定：24h
F60	累積通話料金	0円
F61	通話料金表示	0円
F62	累積通話時間	0秒
F63	通話時間表示	0秒
F77	国際ショートコード	0046010
F79	184／186付加	すべてOFF
上サイドキー長押し	簡易留守録機能	解除
# 長押し	マナーモード	解除
○ 長押し	サイドキー誤動作防止	解除
―	受話音量設定	レベル5
―	スピーカー音量設定	レベル5
―	漢字変換自動学習登録	未登録

マルチメニュー（☞1-11ページ）／エディタメニュー（☞3-19ページ）の機能

機能内容	初期値
イルミネーション設定	お知らせカラー(音声：カラー1、メール：カラー2、ウェブ／ステーション：カラー3) 着信イルミ(電話：カラー1・パターン1、メール：カラー1・パターン2、 ウェブ／ステーション：カラー1・パターン3) 通話中／オープン／クローズイルミ：OFF、ルームライト：OFF
サブディスプレイ設定	壁紙／マイキャラクタ（通常壁紙：OFF、目覚まし／スケジュール／ アクションアイテム：オリジナル、電話着信画像：ルミナス） 時計表示設定：ダーク 着信表示設定（電話着信／メール受信：ON） サイドキー設定：マナーモード メール閲覧設定：ON、配色設定：ノーマル コントラスト調整：標準濃度、表示反転設定：正方向 パネル照明（点灯時間：10秒、ディスプレイ省電力：1分）
でか文字モード	OFF
スケジュールオプション	スタンプ：ノーマル1、お知らせ君：OFF、スケジュールロック：OFF スタート表示：月間スケジュール、タイムアップ画面：オリジナル
スカイメロディ接続番号	＊1790
割込み設定	操作中（メール着信／レポート着信：割込（表示有）、ウェブ着信：割込） カメラ連写中：すべてバックグラウンド ウェブ中（着信）：電話着信優先
カメラ	シャッター音：カシャ！、自動登録設定：OFF 連写中割込み（割込設定）：すべてバックグラウンド、警告表示設定：ON
迷惑リスト	拒否電話リスト：0件、指定No.拒否：OFF、ワンコール無音設定：OFF
データフォルダ	サムネイル表示　※登録したデータは消去されません
お知らせ設定	ON
エディタメニュー	入力予測：ON、辞書学習設定（予測辞書：未登録、パーソナル辞書：未登録） かな入力方式：標準方式、文字のサイズ：大きい文字、改行制御：ON、 画面サイズ切替：小サイズ

機能内容	初期値
シンプルモード	着信音 　電話着信／メール着信（鳴動時間4秒）：固定パターン1 着信音量 　電話着信／メール着信：レベル3 バイブレータ設定：OFF 壁紙：オリジナル 目覚まし設定：OFF、日時表示設定：ON その他設定可能項目：シンプルモード起動時の通常モード設定状態による
ポルトガル語モード	着信音 　電話着信／メール着信（鳴動時間4秒）：固定パターン1 着信音量 　電話着信／メール着信：レベル3 バイブレータ設定：OFF 壁紙：オリジナル 目覚まし設定：OFF、日時表示設定：ON その他設定可能項目：ポルトガル語モード起動時の通常モード設定状態による
リミットモード	アクセス制限（電話発信／電話着信／メール機能：制限なし、ウェブ機能：禁止） その他の制限：すべて禁止、時間制限：すべて制限あり 使用禁止時間帯：未設定 使用量制限：すべて制限なし、使用量設定（通話時間：0時間、メール件数：0件、 ウェブ情報量：0Kバイト）
ゲーム	ゲーム設定（パネル照明：通常動作）

■電話帳などの登録内容を消去する F27

登録したメモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴などの内容をすべて消去します。
また、メモリダイヤルのグループ設定などの内容もお買い上げ時の状態に戻します。
［メモリオールクリア］

1 ○- 2 7 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 ◎で「YES」を選択し、●を押す

▶メモリ内容が消去されます。

登録内容が消去される項目

・メモリダイヤル
・リダイヤル
・着信履歴
・ノートパッドメモリ
・入力中のオリジナル着信音
・メモリダイヤルのグループ設定（F37）
・プチメモ
・定型文
・クリップボード
・プチスケジュール
・アクションアイテム
・ショートカットメニュー
・簡易留守録
・ゲームのセーブデータ
・リミットモード（今月の使用量、許可リスト：電話・メール）

■登録設定した内容をすべて消去する F25

メモリダイヤルなどの登録内容を消去したり、各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。［オールリセット］

リセットおよび初期状態になる項目

機能	項目	参照ページ
F27	メモリオールクリア項目	☞6-14ページ
F29	設定リセット項目	☞6-11ページ
F47	自作マルチメニュー登録内容	☞7-7ページ
F59	時計設定	☞2-3ページ
データフォルダ	登録内容	☞9-4ページ
リミットモード	リミットモード用パスワード	☞11-44ページ
プライベートモード	プライベートモード起動用暗証番号	☞11-55ページ
メール	設定リセット項目	☞Vodafone live!編
	メッセージオールクリア項目	
ウェブ／ステーション	設定リセット項目	
	メモリオールクリア項目	
F9＊（禁止設定）	メール／ウェブ／ステーション	

1 ○- 2 5 の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 ◎で「YES」を選択し、●を押す

▶「**オールリセット中です**」と表示され、自動的に電源を入れ直します。

● 一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、もとに戻すことはできません。
● 操作用暗証番号はリセットされません。

6 セキュリティ機能

サイドキー誤動作防止を設定する F長押し

V302Tを閉じた状態でのサイドキーの操作を無効にし、カバンやポケットの中での誤動作を防ぐことができます。

サイドキー誤動作防止を設定する

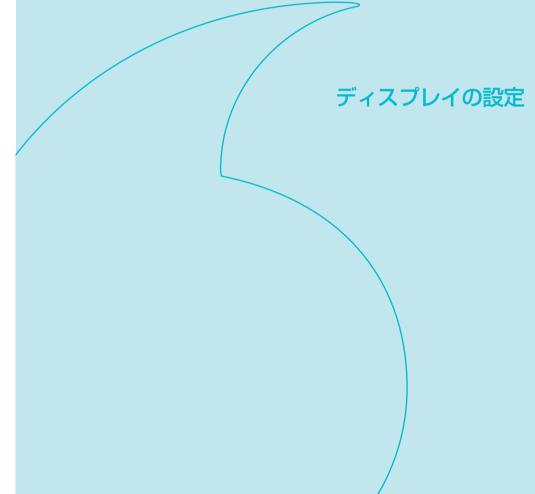
1 を押す（約1秒以上）

▶V302Tを閉じた状態でのサイドキー誤動作防止が設定されます。また、待受画面に「」が表示されます。

- サイドキー誤動作防止中でも、サイドキーを押して以下の操作が行えます。
  - ・サブディスプレイのバックライトを点灯する（☞7-4ページ）
  - ・サブ液晶アプリの各機能を操作する（☞10-37ページ）
  - ・イルミネーション（お知らせランプ）を設定する（☞11-4ページ）
- サイドキー誤動作防止を設定して電源を入れ直しても解除されません。

サイドキー誤動作防止を解除する

1 サイドキー誤動作防止設定中に、（約1秒以上）を押す

▶サイドキー誤動作防止が解除され、待受画面の「」が消えます。

ディスプレイの設定

ディスプレイやボタンの照明設定 F34

明るさを調節する

ディスプレイの照明の明るさを2段階で調節することができます。
お買い上げ時は「**明るさ2**」に設定されています。

例 「**明るさ1**」に設定する場合

1 ○ 3 4 の順に押す

2 で「明るさ調整」を選択し、● を押す

3 で「明るさ1」を選択し、● を押す

▶明るさが設定されます。

点灯時間を設定する

ディスプレイとボタンの照明点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時は「**10秒**」に設定されています。

例 「**30秒**」に設定する場合

1 ○ 3 4 の順に押す

2 で「点灯時間」を選択し、● を押す

3 で「30秒」を選択し、● を押す

▶点灯時間が設定されます。

ディスプレイやボタンの照明が点灯した状態での操作が多い場合は電池の消費が大きくなり、通話時間や待受時間が短くなります。

「OFF」に設定した場合でも、電源ON時には約10秒間点灯します。また、着信時や着信音の設定中などにも点灯します。

サブディスプレイのコントラストを調節する

サブディスプレイの濃淡（コントラスト）を17段階で調整することができます。
お買い上げ時は、標準濃度に設定されています。

1 次の操作で「コントラスト調整」を呼び出す

① Menu ○ の順に押す
② で「**サブディスプレイ**」を選択し、● を押す
③ で「**コントラスト調整**」を選択する

2 ● を押す

3 で濃淡を調整し、● を押す

▶コントラストが設定されます。

- V302Tを閉じて、上下サイドキーを押してもコントラストを調整することができます。
- サブディスプレイのカラーバー（☞下記）を見て濃淡を調整してください。下の画面は、コントラスト調整時のサブディスプレイの表示例です。

7 ディスプレイの設定

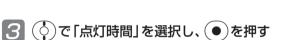
サブディスプレイの点灯時間を設定する

V302Tを閉じている状態でサイドキーを押したときに点灯する、サブディスプレイの照明点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時は「**10秒**」に設定されています。

例 「**60秒**」に設定する場合

1 次の操作で「パネル照明」を呼び出す

① Menu ○の順に押す
② ○で「**サブディスプレイ**」を選択し、●を押す
③ ○で「**パネル照明**」を選択する

2 ●を押す

3 ○で「点灯時間」を選択し、●を押す

4 ○で「60秒」を選択し、●を押す

▶点灯時間が設定されます。

点灯時間を長くすると、電池の消費が大きくなり通話時間や待受時間が短くなります。

サブディスプレイのディスプレイ省電力を設定する

待受中に無操作の状態で設定時間が経過したときにサブディスプレイの表示を変更して、電池の消耗を抑えることができます。
お買い上げ時は「**1分**」に設定されています。

例 ディスプレイ省電力を「**5分**」に設定する場合

1 次の操作で「パネル照明」を呼び出す

① Menu ○の順に押す
② ○で「**サブディスプレイ**」を選択し、●を押す
③ ○で「**パネル照明**」を選択する

2 ●を押す

3 ○で「ディスプレイ省電力」を選択し、●を押す

4 ○で「5分」を選択し、●を押す

▶ディスプレイ省電力が設定されます。

待受画面と壁紙設定

■アイコンのデザインを変更する F47

待受中に表示されるアイコンやマルチメニューのアイコンを変更することができます。お買い上げ時は、マルチメニューイラスト、待受アイコンともに「**ノーマル**」に設定されています。

例 マルチメニューイラストを「**くまぐりー**」に設定する場合

1 **○-4たGHI 7まPQRSの順に押す**

2 **◎で「マルチメニューイラスト」を選択し、●を押す**

3 **◎で「くまぐりー」を選択し、●を押す**

▶画像が表示されます。
● ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

4 **(決定)を押す**

▶マルチメニューイラストが設定されます。

● 操作2で「**待受アイコン**」を選択して設定を変更すると、ディスプレイとサブディスプレイに表示される電波状態表示や不在着信表示などのアイコン（☞1-4、1-6ページ）が変わります。
● 割込みフレームについてはVodafone live!編を参照してください。

■自作マルチメニューを作成する

マルチメニュー画面（☞1-11ページ）の全体の絵柄（フレーム）、各機能のアイコン選択時の枠（フォーカス）のデザイン、各メニュー画面の背景（イラスト）をそれぞれお好みにあわせて変更することができます。

例 フレームを「**ドット1**」、イラストにデータフォルダの画像を設定する場合

1 **次の操作で「自作マルチメニュー」を呼び出す**

① ○-4たGHI 7まPQRSの順に押す
② ◎で「**マルチメニューイラスト**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**自作マルチメニュー**」を選択する

2 **●を押す**

● 自作マルチメニューを再度作成する場合は、(編集)を押します。

3 **◎で「YES」を選択し、●を押す**

4 **◎で「フレーム設定」を選択し、●を押す**

● ◎で「**フォーカス設定**」を選択した場合も操作*5*、*6*と同様の手順で設定を行ってください。

5 **◎で「ドット1」を選択し、●を押す**

▶フレームが表示されます。
● ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

6 **(決定)を押す**

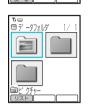
▶フレームが設定されます。
● イラストが設定されている場合は完了が表示されます。このとき、(完了)を押すと自作マルチメニューの設定を完了します。イラストが未設定の場合は、以降の操作でイラストを設定します。

7 で「イラスト設定」を選択し、●を押す

8 で画像を設定する位置を選択し、●を押す

- カメラで撮影した画像を設定する場合は、で「**写真撮影**」を選択します。
- カメラの利用方法については8章を参照してください。

9 で「データフォルダ」を選択し、●を押す

▶フォルダの選択画面が表示されます。
- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

10 でフォルダを選択し、●を押す

- （確認）を押すと、カーソル上の画像が確認できます。

11 で設定したい画像を選択し、●を押す

- 選択した画像が表示されます。

12 （決定）を押す

▶イラストが設定されます。
- イラストを確認する場合は、Menu（メニュー）を押します。

13 5枚すべてを設定する

操作*8*～*12*を繰り返します。
- イラストは5枚すべて設定しないと、設定を完了することはできません。

14 （決定）を押し、（完了）を押す

▶自作マルチメニューが設定されます。

- 横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。
- 自作マルチメニューに設定できる画像のサイズは、横144ドット×縦176ドットまでです。
- イラストにアニメーションを設定することはできません。

■壁紙を設定する F49

待受画面に、アニメーションやモバイルカメラで撮影した画像などを表示することができます。また、スケジュール（☞10-2ページ）やアクションアイテム（☞10-19ページ）を表示することもできます。
壁紙は以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。

項　目	内　容
イラスト	**オリジナル**／**ルミナス**／**リーフ**／**文字盤**／**データフォルダ**から選択できます。
スケジュール※	**本日**／**週間**／**月間スケジュール**（☞10-10ページ）から表示スタイルを選択できます。
アクションアイテム	未消化のアクションアイテム（☞10-19ページ）を最大4件表示できます。
イラストチェンジ	設定した画像が、2時、4時、6時…と、2時間ごとに切り替わります。画像が切り替わる時刻にV302Tを閉じていた場合は、開いたときに画像が切り替わります。画像は4枚まで設定できます。
OFF	壁紙を表示しません。

※スケジュールは、背景イラストを設定できます。背景イラストは、**オリジナル**／**データフォルダ**／**OFF**から選択できます。

- **データフォルダについては9章を参照してください。**

例　壁紙を「**リーフ**」に設定する場合

1 ○ 4 9 の順に押す

2 で「通常壁紙」を選択し、●を押す

3 で「イラスト」を選択し、●を押す

4 ( )で「リーフ」を選択し、( )を押す

▶画像が表示されます。
- ( )、( )で他の画像に切り替え表示します。

5 (決定)を押す

▶壁紙が設定されます。

- 壁紙に設定できる画像やアニメーションのサイズは、横144ドットまたは縦176ドットまでです。
- アニメーションファイルを壁紙に設定した場合は電池の消費が大きくなり、通話時間や待受時間が短くなります。
- ディスプレイ省電力(☞11-26ページ)の待受中の時間設定を行っている場合は、待受中に無操作の状態で設定時間が経過するとディスプレイの表示が消えます。

- スケジュールやアクションアイテムに設定した場合は、時計表示(☞7-17ページ)が自動的に「**1行時計**」に設定されます。
- **「イラストチェンジ」に設定する場合は…**
  操作*2*の画面で「**イラストチェンジ**」を選択し、( )を押します。続けて1コマ目〜4コマ目に画像を登録し(画像登録のしかたは、9-20、21ページの操作*6*〜*9*を参照してください)、(完了)を押します。

■サブディスプレイの壁紙／マイキャラクタを設定する

サブディスプレイに、アニメーションやモバイルカメラで撮影した画像などを表示させることができます。また、着信時などにも表示させることができます。
壁紙／マイキャラクタで設定できる項目は以下の通りです。

項　目	内　容
通常壁紙	待受画面で表示される壁紙を**イラスト**／**スケジュール**／**アクションアイテム**／**OFF**(壁紙は表示されません)から選択することができます。 「**イラスト**」では、**花**／**月**／**タイル**／**くまぐりー**／**アナログ文字盤**／**デジアナ文字盤**／**時間で変わる**(※)／**データフォルダ**から選択できます。 お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。
目覚まし	目覚まし起動時に表示される画面(タイムアップ画面)を**オリジナル**／**データフォルダ**から選択することができます。 お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
スケジュール	スケジュールのアラーム起動時に表示される画面(タイムアップ画面)を**オリジナル**／**データフォルダ**から選択することができます。 お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
アクションアイテム	アクションアイテムのアラーム起動時に表示される画面(タイムアップ画面)を**オリジナル**／**データフォルダ**から選択することができます。 お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
電話着信画像	着信時に表示される画像を**ルミナス**／**ノーマル**／**くまぐりー**／**データフォルダ**／**OFF**(画像は表示されません)から選択することができます。 お買い上げ時は「**ルミナス**」に設定されています。

※「**時間で変わる**」を設定した場合は、時刻によって画像が切り替わります。

- **データフォルダについては9章を参照してください。**

壁紙／マイキャラクタで設定できる画像のサイズは以下の通りです。

種　類	サイズ(横×縦)
通常壁紙	80×60ドット
目覚まし	80×48ドット
スケジュール	
アクションアイテム	
電話着信画像	

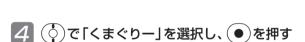
例 電話着信画像を「くまぐりー」に設定する場合

1 次の操作で「壁紙／マイキャラクタ」を呼び出す

① Menu ○の順に押す
② ◎で「**サブディスプレイ**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**壁紙／マイキャラクタ**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「電話着信画像」を選択し、●を押す

● 電話着信画像を「**データフォルダ**」に設定している場合は、
（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

4 ◎で「くまぐりー」を選択し、●を押す

▶画像が表示されます。
● ✱、#で他の画像に切り替え表示します。

5 （決定）を押す

▶電話着信画像が設定されます。

横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。また、設定できるサイズ（☞7-11ページ）以外の画像を設定する場合は、操作4のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。

マイキャラクタ設定 F49

電源のON/OFF時や発信、着信時などにお好みのイラストを表示させることができます。また、設定を完了したときの画面や警告画面で表示されるイラストを変更することもできます。

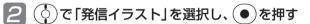
■発信／通話中／設定イラストを設定する

発信時や通話中、設定完了時や警告画面に表示されるイラストを以下の通りに設定することができます。
お買い上げ時はすべて「**ノーマル**」に設定されています。

項　目	内　容	サイズ（横×縦）
発信イラスト 通話中イラスト	**ノーマル**／**くまぐりー**／**データフォルダ**から選択できます。	144×48ドット
設定イラスト	**ノーマル**／**くまぐりー**／**カスタム**から選択できます。「**カスタム**」では、完了画面、警告画面のイラストを個別に**データフォルダ**から選択できます。	128×32ドット

● **データフォルダについては9章を参照してください。**

例 発信イラストを「くまぐりー」に設定する場合

1 ○ 4 9 の順に押す

2 ◎で「発信イラスト」を選択し、●を押す

● 発信イラストまたは通話中イラストを「**データフォルダ**」に設定している場合は、「**データフォルダ**」を選択し、
（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 ◎で「くまぐりー」を選択し、●を押す

▶画像が表示されます。
● ✱、#で他の画像に切り替え表示します。

4 （決定）を押す

▶発信イラストが設定されます。

- 横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。また、設定できるサイズ（☞7-13ページ）以外の画像を設定する場合は、操作3のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。
- 発信イラストを設定してもでか文字モード（☞7-24ページ）を「ON」に設定している場合は、でか文字モードが優先され、発信時に発信イラストは表示されません。

通話中イラストや設定イラストを設定する場合は、操作1の画面で「**通話中イラスト**」または「**設定イラスト**」を選択してください。

■ウェイクアップ／パワーオフ画面を設定する

電源ON時に表示される画面（ウェイクアップ画面）や電源OFF時に表示される画面（パワーオフ画面）を以下から選択することができます。
お買い上げ時はすべて「**オリジナル**」に設定されています。
・**オリジナル**／**メッセージ**（ウェイクアップ画面のみ）／**データフォルダ**
・「**メッセージ**」では、お好きな文字を入力して表示させることができます。

例 ウェイクアップ画面を「**メッセージ**」に設定する場合

1 次の操作で「ウェイクアップ」を呼び出す

① ⊙ 4 9 の順に押す
② ◎ で「**ウェイクアップ**」を選択する

2 ● を押す

- ウェイクアップ画面を「**データフォルダ**」に設定している場合は、「**データフォルダ**」を選択し、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 ◎ で「メッセージ」を選択し、● を押す

4 メッセージを入力し、● を押す

▶ウェイクアップ画面が設定されます。
- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角90文字、全角45文字です。

横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。

パワーオフ画面を設定する場合は、操作1で「**パワーオフ**」を選択してください。

■電話着信画像を設定する

着信時に表示される画像を以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。
・**ノーマル**／**くまぐりー**／**データフォルダ**／**OFF**（電話着信画像は表示されません）

例 「**くまぐりー**」に設定する場合

1 次の操作で「電話着信画像」を呼び出す

① ⊙ 4 9 の順に押す
② ◎ で「**電話着信画像**」を選択する

2 ● を押す

- 電話着信画像を「**データフォルダ**」に設定している場合は、「**データフォルダ**」を選択し、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 ◎ で「くまぐりー」を選択し、● を押す

▶画像が表示されます。
- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

4 （決定）を押す

▶電話着信画像が設定されます。

- 横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。
- 電話着信画像に設定できる画像サイズは、横144ドット×縦80ドットまでです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作*3*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。
- 電話着信画像を設定してもでか文字モード（☞7-24ページ）を「ON」に設定している場合は、でか文字モードが優先され、着信時に電話着信画像は表示されません。

時計表示設定

F59

時計表示の字体を以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**ゴシック**」に設定されています。

・**ゴシック**／**フレーム**／**ポップ**／**1行時計**／**2行時計**／**アナログ時計**／**時計OFF**（時計は表示されません）

- **日付と時間の設定については、2-3ページを参照してください。**

例 「**1行時計**」に設定する場合

1 ○ 5 9 **の順に押す**

2 ◎ **で「待受時計」を選択し、**● **を押す**

3 ◎ **で「1行時計」を選択し、**● **を押す**

▶待受時計が設定されます。

- 壁紙が設定されている場合は、壁紙に重なって時計が表示されます。
- 「**アナログ時計**」に設定した場合、壁紙設定（☞7-9ページ）で通常壁紙を「**文字盤**」に設定することをおすすめします。

ミニ時計を設定する

画面右上に小さな時計を表示させることができます。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

例 「**OFF**」に設定する場合

1 次の操作で「ミニ時計」を呼び出す

① (○-)(5)(9)の順に押す
② (◊)で「**ミニ時計**」を選択する

2 (●)を押す

3 (◊)で「OFF」を選択し、(●)を押す

▶ミニ時計が「**OFF**」に設定されます。

表示を12時間制に切り替える

時計表示の時間制を切り替えることができます。
お買い上げ時は「**24h**」(24時間制)に設定されています。

例 12時間制に設定する場合

1 次の操作で「12h/24h設定」を呼び出す

① (○-)(5)(9)の順に押す
② (◊)で「**12h/24h設定**」を選択する

2 (●)を押す

3 (◊)で「12h」を選択し、(●)を押す

▶12時間制に設定されます。

● サブディスプレイも12時間制に設定されます。

■サブディスプレイの時計表示を設定する

サブディスプレイの時計表示を以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**ダーク**」に設定されています。
・**ダーク**/**クリア**/**ポップ**/**1行時計**/**アナログ時計**/**デジアナ時計**/**時計OFF**

例 「**1行時計**」に設定する場合

1 次の操作で「時計表示設定」を呼び出す

① (Menu)(○-)の順に押す
② (◊)で「**サブディスプレイ**」を選択し、(●)を押す
③ (◊)で「**時計表示設定**」を選択する

2 (●)を押す

3 (◊)で「1行時計」を選択し、(●)を押す

▶時計表示が設定されます。

● 表示を12時間制に切り替える場合は、7-18ページを参照してください。
● 「**アナログ時計**」、「**デジアナ時計**」に設定した場合、壁紙設定(☞7-11ページ)で通常壁紙を「**アナログ文字盤**」、「**デジアナ文字盤**」に設定することをおすすめします。
● 通常壁紙にスケジュールまたはアクションアイテムを設定すると、時計表示の設定はすべて「**1行時計**」に変更されます。また、「**時計OFF**」に設定していても「**1行時計**」の表示になります。
● 「**時計OFF**」を設定していても、「**ディスプレイ省電力**」(☞7-5ページ)で設定している時間が経過すると日付、時刻を表示します。

サブディスプレイ設定

サブディスプレイにお好みのイラストを表示したり、表示方向やメール閲覧などを設定することができます。

■着信表示を設定する

着信時やメール受信時に、サブディスプレイに相手の電話番号やメールアドレスを表示させることができます。
お買い上げ時はすべて「**ON**」に設定されています。

例 電話着信を「**OFF**」に設定する場合

1 **Menu ◎の順に押す**

2 **◎で「サブディスプレイ」を選択し、●を押す**

3 **◎で「着信表示設定」を選択し、●を押す**

4 **◎で「電話着信」を選択し、●を押す**

5 **◎で「OFF」を選択し、●を押す**

▶着信表示が「**OFF**」に設定されます。

- メモリダイヤルに登録されている相手のときは、名前が表示されます（着信表示が「**ON**」に設定されている場合）。
- 着信表示を「**OFF**」に設定すると、着信時やメール受信時に「**着信**」や「**受信完了**」と表示され、相手の名前などは表示されません。
- 着信時の表示については、1-6ページを参照してください。

■サブディスプレイにメールの内容を表示する

サブディスプレイでメールの内容を確認することができます。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。[メール閲覧設定]

例 「**OFF**」に設定する場合

1 **次の操作で「メール閲覧設定」を呼び出す**

① Menu ◎の順に押す
② ◎で「**サブディスプレイ**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**メール閲覧設定**」を選択する

2 **●を押す**

3 **◎で「OFF」を選択し、●を押す**

▶メール閲覧が「**OFF**」に設定されます。

サブディスプレイでのメールの確認方法については、Vodafone live!編を参照してください。

■配色を変更する

サブディスプレイの配色を2種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。[配色設定]

例 「**ダーク**」に設定する場合

1 **次の操作で「配色設定」を呼び出す**

① Menu ◎の順に押す
② ◎で「**サブディスプレイ**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**配色設定**」を選択する

2 **●を押す**

3 **◎で「ダーク」を選択し、●を押す**

▶配色が設定されます。

■サブディスプレイの表示方向を設定する

お買い上げ時は「**正方向**」に設定されています。

例 「**逆方向**」に設定する場合

1 次の操作で「表示反転設定」を呼び出す

① Menu ○の順に押す

② ◎で「**サブディスプレイ**」を選択し、●を押す

③ ◎で「**表示反転設定**」を選択する

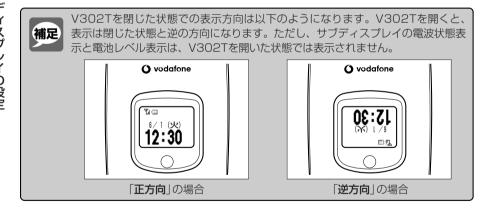
2 ●を押す

3 ◎で「逆方向」を選択し、●を押す

▶表示反転が設定されます。

補足 V302Tを閉じた状態での表示方向は以下のようになります。V302Tを開くと、表示は閉じた状態と逆の方向になります。ただし、サブディスプレイの電波状態表示と電池レベル表示は、V302Tを開いた状態では表示されません。

「**正方向**」の場合　　「**逆方向**」の場合

表示言語設定 F35

ディスプレイの表示を英語表示、ポルトガル語表示または日本語表示にすることができます。

お買い上げ時は「**日本語**」に設定されています。

例 英語表示にする場合

1 ○ 3 5の順に押す

2 で「English」を選択し、●を押す

▶表示言語が設定されます。

重要 表示言語を「**English**」に設定した場合、次の機能をご利用できません。
・メール定型文（☞Vodafone live!編）
・時刻読上げ（☞10-5、10-22、10-28、11-37ページ）

大きい文字で表示する

電話をかけるときに表示される数字やメモリダイヤルに登録されている名前を、大きな文字で表示させることができます。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例 「ON」に設定する場合

1 の順に押す

2 で「でか文字モード」を選択し、●を押す

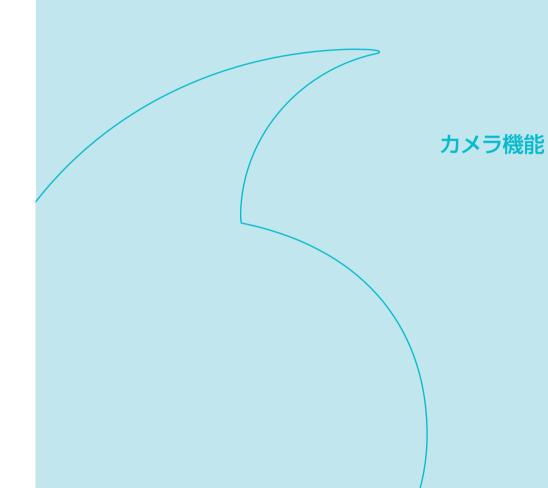
3 で「ON」を選択し、●を押す

▶でか文字モードが設定されます。

でか文字モードを「ON」に設定すると、発信イラスト（☞7-13ページ）や電話着信画像（☞7-15ページ）は表示されません。

でか文字モードを「ON」に設定すると、電話をかけるときの数字が大きな文字で表示されます。また、以下の場合にメモリダイヤルに登録されている名前が大きな文字で表示されます。

・発信画面（☞2-4ページ）
・リダイヤル画面（☞2-5ページ）
・着信画面（☞2-8ページ）
・着信履歴画面（☞2-18ページ）
・メモリダイヤルの検索画面（☞4-20ページ）
・スピードダイヤル画面（☞4-27ページ）
・ノートパッドメモリ画面（☞2-17ページ）

カメラ機能

カメラをご利用になる前に

■カメラモード

内蔵のモバイルカメラにより、4種類のモードを使い静止画を撮影し、保存することができます。
それぞれの特長は以下の通りです。

写メールモード

壁紙設定や写メールを送信する場合の写真撮影モードです。ワンタッチ写メール（☞8-11ページ）で簡単に送れます。

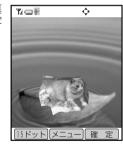
デジタルカメラモード

パソコンなどの外部接続機器に表示する場合の写真撮影モードです。

特撮モード

バーチャルウィッグモード

自作フレームと写真を合成する場合の写真撮影モードです。

バーチャルトリップモード

背景と切り抜いた画像を合成する場合の写真撮影モードです。

撮影する前にお読みください

- 撮影した画像は、「JPEG形式」で保存されます。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となりますので、V302Tが動かないようにしっかり持って撮影をするか、タイマー機能を利用して撮影を行ってください。
- レンズカバーに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなります。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
- 撮影する場合は、レンズに指やストラップ、アンテナなどがかからないように注意してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、場合によっては明るく見えたり暗く見えたりしますのでご了承ください。また、モバイルフラッシュを使用して暗い場所でも画像を撮影することができます。

■撮影画面での共通操作

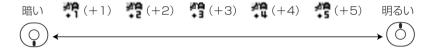
撮影画面を切り替える

撮影画面で(✱)を押すと、画像の表示をディスプレイとサブディスプレイで切り替えることができます（特撮モードを除く）。
また、撮影画面を表示しているときにV302Tを閉じても、画像の表示をサブディスプレイに切り替えることができます。

補足 サブディスプレイに切り替えているときは、左右が反転している画像が表示され、撮影を行うと左右が反転していない画像が表示されます。

画像の明るさを調節する

撮影画面で(◎)を押すと、明るさを調節することができます。

暗い (+1) (+2) (+3) (+4) (+5) 明るい

補足
- 明るさのアイコン（ ）は、撮影画面の上段に表示されます。
- 明るさの調節は、カメラモード切り替え時または終了時「 (+3)」に戻ります。

ズームを利用する

撮影画面で上サイドキー（ズーム）を押すと、倍率を切り替えることができます。

カメラモード	写メールモード（連写モード）	写メールモード	写メールモード（W120×H160）	特撮モード
最大ズーム	2倍	4倍	8倍	4倍

重要 デジタルカメラモードの場合はズームを利用できません。

補足
- ズームで撮影すると、画質は粗くなります。
- ズームのアイコン（ ）は、撮影画面の上段に表示されます（バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時を除く）。
- ズームの切り替えは、カメラモード切り替え時または終了時「 (等倍)」に戻ります。

静止画の撮影

内蔵のモバイルカメラにより、静止画の撮影をすることができます。
静止画の撮影には写メールモード、デジタルカメラモード、特撮モードがあります（☞8-2ページ）。写メールモードはさらに通常・旅・連写の3モード、特撮モードはさらにバーチャルウィッグ・バーチャルトリップの2モードから選択できます。フレーム、タイマー、シャッター音、フラッシュ、画像効果の設定などが行え、撮った画像はJPEG形式（パソコンで主流の保存形式）でデータフォルダに保存されます。
また、顔写真を撮影してメモリダイヤルに登録したり、ピクチャーつく～る（☞8-28ページ）や、アニメつく～る（☞9-20ページ）を利用することもできます。

- **データフォルダについては9章を参照してください。**

機能設定	写メールモード（通常モード）	写メールモード（旅モード）	写メールモード（連写モード）	デジタルカメラモード	バーチャルウィッグモード	バーチャルトリップモード
連写 連続して4枚の写真撮影を行います	—	—	○	—	—	—
サムネイル表示（自動登録設定OFF時） 4つの画像を一度に表示します	—	—	○	—	—	—
ワンタッチ写メール 撮影した写真をカンタンに送ります	○（※2）	○	—	—	○	○
フラッシュ 暗い場所でも撮影できます	○	○	○	○	○	○
ズーム 2倍、4倍、8倍まで対応します（※1）	○	○	○	—	○	○
壁紙作成 連写撮影した画像を縮小して1枚の壁紙を作ります	—	—	○	—	—	—
アニメーション作成 連写撮影した画像を選択してアニメーションを作ります	—	—	○	—	—	—
輪郭抽出 自作フレームで撮影合成したり、背景と切り抜いた画像を合成します	—	—	—	—	○	○
らくがき 撮影した画像にスタンプや文字を貼り付けます	○（※2）	○	—	—	○	○

※1 通常モード、旅モードは撮影サイズ（☞8-17ページ）がW120×H160で8倍、それ以外は4倍までです。連写モードは2倍までです。
※2 撮影サイズがW240×H320の場合は利用できません。

■カメラを起動し静止画を撮影する

例 写メールモード（通常モード）で撮影する場合

1 Menu（◎）の順に押す

- 待受画面で〇を長く（約1秒以上）押してカメラを起動することもできます（写メールモードで起動します）。

2 ◎で「カメラ」を選択し、●を押す

- デジタルカメラモードで撮影する場合は、◎で「**デジタルカメラモード**」を選択します。

3 ◎で「写メールモード」を選択し、●を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

撮影画面

4 ●を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあと◎で「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 〇（登録）を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えてきます。明るい場所で撮影するか、モバイルフラッシュを使用（☞8-15ページ）することをおすすめします。

- データフォルダが一杯の場合は、撮影した画像を登録できません。登録する場合は、操作**5**のあと「YES」を選択し、不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
- カメラ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

■ 特撮モード撮影をする

特撮モードには、自作フレームと撮影画像を合成するバーチャルウィッグモードと、背景画像と撮影画像を合成するバーチャルトリップモードの2種類のモードがあります。

バーチャルウィッグモードで撮影する

輪郭抽出により撮影画像を切り抜いてフレームを作成し、そのフレームに合わせて静止画を撮影して、はめ込み画像を作成することができます。

- **プライバシーの侵害とならないよう適切なご使用を心がけてください。**

8 カメラ機能

1 次の操作で「特撮モード」を選択する

① Menu ◯の順に押す
② ◯で「**カメラ**」を選択し、●を押す
③ ◯で「**特撮モード**」を選択する

2 ●を押す

- （ヘルプ）を押すと、カーソル上の特撮モードの操作ガイドが表示されます。◯で操作手順が確認でき、（戻る）を押すと右の画面へ戻ります。

3 ◯で「バーチャルウィッグ」を選択し、●を押す

バーチャルウィッグ撮影画面

フレームとして撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 撮影ガイドは画像を切り抜く範囲を表します。（＊）、（＃）で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- Menu（メニュー）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞8-26ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞8-27ページ）することができます。

4 ◯で撮影ガイドの位置を指定し、●を押す

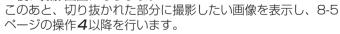
▶シャッター音が鳴り、撮影した画像が表示されます。

- ◯を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

- 下サイドキーでもシャッター操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあと◯で「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 （決定）を押す

▶切り抜き画像をデータフォルダのフレーム1フォルダに登録後、撮影画面になります。

このあと、切り抜かれた部分に撮影したい画像を表示し、8-5ページの操作4以降を行います。

操作5の画面ではフレーム部分の画像が多少粗くなりますが、このあと切り抜かれた部分の撮影をして合成されると、綺麗な画像になります。

- 切り抜きの位置を変更する場合は…
  操作4の画面で（修正）を押したあと◯で撮影ガイドの位置を指定し直し、（再実行）を押します。
- 操作4の画面で（修正）を押したあと Menu（メニュー）を押して、切り抜きの修正（**撮影ガイド変更**／**切り抜き精度**）の操作を行うことができます。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
- カメラ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

バーチャルトリップモードで撮影する

背景画像を選択し、背景に合わせた位置で撮影したあと切り抜き、背景と合成させた画像を作成します。あたかもそこで撮影したかのような画像を作成することができます。
背景は以下の項目から選択することができます。

・**旅行**／**タイムトリップ**／**葉っぱ**／**会議室**／**世紀の決戦**／**データフォルダ**※

※データフォルダに保存してある画像を選択できます。

例 背景に「**葉っぱ**」を設定する場合

1 次の操作で「特撮モード」を選択する

① Menu ◯の順に押す
② ◯で「**カメラ**」を選択し、●を押す
③ ◯で「**特撮モード**」を選択する

2 ●を押す

- （ヘルプ）を押すと、カーソル上の特撮モードの操作ガイドが表示されます。◯で操作手順が確認でき、（戻る）を押すと特撮モード選択画面へ戻ります。

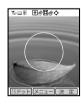
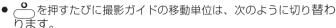
3 ◯で「バーチャルトリップ」を選択し、●を押す

- （確認）を押すと、カーソル上の背景が確認できます。

4 ◯で「葉っぱ」を選択し、●を押す

▶背景画像が表示されます。

- （＊）、（＃）で撮影ガイドのサイズ変更ができます。
- Menu（メニュー）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞8-26ページ）したり、背景を変更することができます。

5 で撮影ガイドの位置を指定し、(決定)を押す

▶撮影（切り抜き）画面になります。撮影したい画像を撮影ガイド内に表示します。
● を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

6 を押す

● 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
● で切り抜き画像の位置を移動することができます。
● 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあとで「**破棄する**」を選択し、を押します。

7 (確定)を押し、(登録)を押す

▶合成画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
● 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

補足
● 操作*6*の画面で(メニュー)を押して、合成した画像の編集（**切り抜き修正**／**背景変更**／**JPEG設定**）の操作を行うことができます。
● 撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
● カメラ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

■旅モード撮影をする

写メールモードでは、旅モード設定により日付と位置情報を画像に貼り付けることができます。

1 撮影画面（☞8-5ページ）より、(メニュー)を押す

2 で「旅モード設定」を選択し、を押す

3 で「ON」を選択し、を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。
● 通常モードに戻すには操作*1*、*2*のあとで「OFF」を選択し、を押します。
● 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

4 を押す

▶シャッター音が鳴り、撮影した画像と日時・位置情報が表示されます。
● 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
● 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあとで「**破棄する**」を選択し、を押します。

5 (登録)を押す

▶撮影した画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。
● 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

重要
● 旅モード設定は、撮影サイズが11行：待受1以外では設定できません。
● ステーションの位置情報（☞Vodafone live!編）を取得していない場合は、位置情報は表示されません。位置情報は自動的に更新されますが、正しく表示されない場合は、手動で更新してください。

補足
● 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
● カメラ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。
● 旅モード設定は、カメラモード切り替え時または終了時「OFF」に戻ります。

■連写撮影をする

写メールモードでは、連写モードに切り替えることにより、連続して4枚の画像を撮影することができます。また、連写モードでは連続して撮影される時間の間隔（連写スピード）を3種類の中から選択することができます。

例 「**中速**」で撮影し、必要な画像のみを登録する場合

1 撮影画面（☞8-5ページ）より、(連写)を押す

8 カメラ機能

2 で「中速」を選択し、を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 画面上段に以下のアイコンが表示されます。
  - ・：高速
  - ・：中速
  - ・：低速

3 を押す

▶シャッター音が鳴り、画像が連続して撮影されます。

- 下サイドキーでも同様の操作が行えます。
- （中止）や下サイドキーを押すと、撮影を中止します。

▶撮影した画像が表示されます。

- 撮影をやり直す場合は、Clearを押したあとで「**破棄する**」を選択し、を押します。

4 で不要な画像を選択し、（チェック）を押す

チェック（☑）をはずします。

- 再度（チェック）を押すと画像がチェックされます。
- を押すと、画像を実際のサイズで確認できます。

5 （登録）を押す

▶チェック（☑）している画像と、撮影した画像すべてを縮小して1枚にまとめた画像がデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

- 登録した壁紙のファイル名は、撮影日時になります。また、各画像のファイル名には、撮影日時のあとに番号（撮影順に1～4）が付きます。

- 登録した壁紙をデータフォルダで確認すると、右のように表示されます。

- 連写モードを解除する場合は、操作1の画面で「**連写OFF**」を選択したあとを押します。また、カメラを終了しても解除されます。

アニメーションを作成する

連写で撮影した画像からアニメーションを作成することができます。

1 連写撮影をする

- ここまでの操作については8-9ページを参照してください。

2 不要な画像についてはチェック（☑）をはずし、Menu（メニュー）を押す

3 で「アニメーション作成」を選択し、を押す

4 で「YES」を選択し、を2回押す

▶作成したアニメーションがデータフォルダのアニメーションフォルダに登録されます。

アニメーションを登録した場合は、チェック（☑）した画像とそれらを1枚にまとめた画像もデータフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

撮影した静止画を写メールで送る

撮影した画像をボタン1つでデータフォルダに登録し、ロングメール作成画面へ添付することができます（ワンタッチ写メール）。

1 静止画を撮影する

- ここまでの操作については8-4ページを参照してください。

2 （写メール）を押す

▶データフォルダ登録後、画像が添付されたロングメール作成画面になります。

- 送信方法についてはVodafone live!編を参照してください。

- ワンタッチ写メールは、撮影サイズがW240×H320、デジタルカメラモードでは利用できません。
- 自動登録の設定（☞8-20ページ）が「**ON**」に設定されている場合は、ワンタッチ写メールは利用できません。

添付する画像が約6Kバイトを超える場合は、画像は自動的に圧縮されます。

カメラ設定

モバイルカメラ利用時の各種設定を行うことができます。

・**フレーム設定**（☞下記）
・**画像効果設定**※（☞8-14ページ）
・**タイマー設定**（☞8-16ページ）
・**JPEG設定**（☞8-18ページ）
・**自動登録設定**※（☞8-20ページ）
・**地域設定**（☞8-21ページ）
・**警告表示設定**（☞8-23ページ）
・**撮影ガイド変更**（☞8-26ページ）
・**日付スタンプ設定**（☞8-13ページ）
・**フラッシュ設定**（☞8-15ページ）
・**撮影サイズ設定**（☞8-17ページ）
・**シャッター音設定**（☞8-19ページ）
・**保存先設定**※（☞8-20ページ）
・**連写中割込み**（☞8-22ページ）
・**らくがき**（☞8-24ページ）
・**切り抜き精度**（☞8-27ページ）

※の設定はバーチャルウィッグモードのフレーム撮影時は行えません。

フレームを設定する

写メールモードでは、画像の枠に貼り付ける飾りを設定して撮影することができます。撮影サイズについては8-17ページを参照してください。
フレームは以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**フレームなし**」に設定されています。

・**ハート／セクシー／怒り／涙／ショック／酔っぱらい／フィーバー／フジツボ／おはよう／おやすみ／旅行中／向かってます／ラブリー／注目！／英字新聞／くまぐりー／春／夏／秋／冬／フレーム1※**

※V302T専用サイト（☞Vodafone live!編）やウェブからダウンロードしたフレームを選択できます。

例 「**セクシー**」に設定する場合

1 次の操作で「フレーム設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**フレーム設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「セクシー」を選択し、✎（確認）を押す

▶フレームが表示されます。
● ✱、#や◎で他のフレームに切り替え表示します。

4 ●を押す

▶撮影画面にフレームが設定されます。

● 旅モード（☞8-8ページ）、日付スタンプ（☞下記）を設定している場合は、フレームの設定はできません。
● フレーム設定は、撮影サイズが11行：待受1、W120×H160以外では設定できません。

フレーム設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**フレームなし**」に戻ります。

日付スタンプを設定する

写メールモードでは、撮影画像に日付スタンプを入れることができます。スタンプの文字の種類を8種類より選択することができます。日付スタンプ設定をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞2-3ページ）の操作を行ってください。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 「**水色文字黒フチ**」に設定する場合

1 次の操作で「日付スタンプ設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**日付スタンプ設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「ON」を選択し、●を押す

4 ◎で「水色文字黒フチ」を選択し、●を押す

▶撮影画面の右下に日付が表示されます。

- 旅モード（☞8-8ページ）、フレーム（☞8-12ページ）を設定している場合は、日付スタンプの設定はできません。
- 日付スタンプ設定は、撮影サイズが11行：待受1、W120×H160以外では設定できません。

日付スタンプ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

画像の色調を変更する

撮影する画像の色調を以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

項　目	内　容
セピア	古い写真のように表現します。
白黒	白黒写真のように表現します。
OFF	ノーマルな状態です。

例　写メールモードの「**画像効果設定**」を「**セピア**」に設定する場合

1 次の操作で「画像効果設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**画像効果設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「セピア」を選択し、●を押す

▶画像効果が設定されます。

画像効果設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

フラッシュを設定する

撮影時に内蔵のモバイルフラッシュを使用するかどうかを設定します。
お買い上げ時は「**常時OFF**」に設定されています。

項　目	内　容
オートフラッシュ点灯（※）	自動的にON／OFF
常時ON	カメラ起動からシャッターを押すまでON
常時OFF	カメラ起動から終了までOFF

※シャッターを押す際に、撮影場所の明るさを判断し、暗い場合はフラッシュを点灯します。

例 「**オートフラッシュ点灯**」に設定する場合

1 次の操作で「フラッシュ設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**フラッシュ設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「オートフラッシュ点灯」を選択し、●を押す

▶フラッシュが設定されます。
- 画面上段に「」のアイコンが表示されます。

モバイルフラッシュの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。視力障害の原因となります。また、発光方向を確認してからシャッターを押してください。

- 電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、モバイルフラッシュを自動的にOFFします。
- フラッシュ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**常時OFF**」に戻ります。

8 カメラ機能

タイマーを設定する

セルフタイマーを設定すると、設定時間経過後に撮影をします。手ぶれを防いだり、ご自分が入って撮影するときに便利です（バーチャルウィッグモードのフレーム撮影時、バーチャルトリップモードを除く）。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例 「**5秒**」に設定する場合

1 次の操作で「タイマー設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**タイマー設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「5秒」を選択し、●を押す

▶タイマーが設定されます。
● 画面上段に以下のアイコンが表示されます。
・ ：2秒
・ ：5秒
・ ：10秒

● タイマー設定中にシャッターを押すと、充電ランプが赤く点滅し、設定時間経過後に撮影します。
● タイマー動作中に（戻る）やClearを押すと撮影を中止します。
● タイマー設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

撮影サイズを設定する

写メールモードでは、撮影する画像のサイズを以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**11行：待受1**」に設定されています。

撮影サイズ（横×縦）	11行：待受1（144×176ドット）	9行：待受2（144×144ドット）	5行：着信画像（144×80ドット）	3行：発信イラスト（144×48ドット）
ディスプレイ				
サブディスプレイ				
設定イラスト（120×32ドット）	**顔写真（64×64ドット）**	**サブ液晶サイズ（80×60ドット）**	**W240×H320**	**W120×H160**

・待受1に設定しても、ディスプレイでは9行で表示されます。

例 「**3行：発信イラスト**（横144×縦48ドット）」に設定する場合

1 次の操作で「撮影サイズ設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**撮影サイズ設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「3行：発信イラスト」を選択し、●を押す

▶撮影サイズが設定されます。

重要 旅モード（☞8-8ページ）に設定している場合は、11行：待受1以外設定できません。

- 撮影サイズ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**11行：待受1**」に戻ります。
- 撮影後のサイズ変更については8-29ページを参照してください。
- 撮影サイズを「**顔写真**」に設定し、撮影を行ったあと画像を登録すると右の画面が表示されます。メモリダイヤルに登録する場合は、「**新規メモリダイヤル**」または「**メモリダイヤル追加**」を選択し、●を押します。以降の登録操作は、4-3ページまたは4-29ページを参照してください。

画質を調整する

撮影した画像を保存するときの画質を設定することができます（保存形式はJPEG形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズは大きくなります。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

ファイン（Fine）←→ **ノーマル**（Nor）←→ **エコノミー**（Eco）

高画質
ファイルサイズ：大

低画質
ファイルサイズ：小

・（ ）内のアイコンは、撮影画面の上段に表示されます。

例 「**ファイン**」に設定する場合

1 次の操作で「JPEG設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**JPEG設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「ファイン」を選択し、●を押す

▶画質が設定されます。

JPEG設定は、撮影サイズがサブ液晶サイズの場合は設定できません。「**ノーマル**」固定となります。

画質の設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**ノーマル**」に戻ります。

シャッター音を設定する

撮影時のシャッター音を以下の4種類から選択することができます。
・**カシャ！／電子音／はいチーズカシャ！／いちたすいちはにカシャ！**
お買い上げ時は「**カシャ！**」に設定されています。

例 「**はいチーズカシャ！**」に設定する場合

1 次の操作で「シャッター音設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**シャッター音設定**」を選択する

2 ●を押す

- ⌂（確認）を押すと、カーソル上のシャッター音が確認できます。

3 ◎で「はいチーズカシャ！」を選択し、●を押す

▶シャッター音が設定されます。

連写撮影時（☞8-9ページ）、シャッター音は設定できません。

マナーモードを設定していてもシャッター音は鳴ります。

8 カメラ機能

自動登録を設定する

撮影した画像を登録操作することなく、自動的にデータフォルダへ登録することができます（バーチャルトリップモードを除く）。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 写メールモードの「**自動登録設定**」を「**ON**」に設定する場合

1 次の操作で「自動登録設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**自動登録設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「ON」を選択し、●を押す

▶自動登録が設定されます。

補足 自動登録を「ON」に設定した場合の画像の登録先は、保存先の設定（☞下記）に従います。

保存先を設定する

撮影した画像を登録するフォルダを設定することができます。
お買い上げ時は「**ピクチャー**」フォルダに設定されています。

例 写メールモードの「**保存先設定**」を「**etc**」に設定する場合

1 次の操作で「保存先設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**保存先設定**」を選択する

2 ●を押す

● データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

3 ◎で「etc」を選択し、（決定）を押す

▶保存先が設定されます。

補足 保存先設定は、カメラモード終了時「**ピクチャー**」フォルダに戻ります。

周波数を設定する

周波数を設定すると、蛍光灯の明かりなどカメラを使用する場所の電源周波数の違いによって撮影画面に出る縦縞を軽減することができます。
お買い上げ時は「**地域1（50Hz）**」に設定されています。

例 写メールモードの「**地域設定**」を「**地域2（60Hz）**」に設定する場合

1 次の操作で「地域設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、◎で「**地域設定**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「地域2（60Hz）」を選択し、●を押す

▶周波数が設定されます。

重要 フラッシュ設定時や、薄暗いところや極端に明るいところでの撮影、および被写体の色合いなどによっては、ノイズが完全に消えない場合がありますのであらかじめご了承ください。

補足
● 地域設定を変更した場合、他の機能で利用するカメラモードの地域設定も変更されます。
● 地域設定は、カメラモード切り替え時または終了時も設定を維持します。

連写中の割込みを設定する

連写モードで撮影中に電話、メール、ウェブの着信を禁止すること（オフラインモード）やメール、ウェブ着信の割込み方法を設定することができます。
お買い上げ時はオフラインモードが「OFF」に設定されています。

例 「**オフラインモード**」を「ON」に設定する場合

1 次の操作で「連写中割込み」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示し、（連写）を押す
② で連写スピードを選択し、●を押す
③ Menu（メニュー）を押し、で「**連写中割込み**」を選択する

2 ●を押す

- 「**割込み設定**」についてはVodafone live!編を参照してください。

3 で「オフラインモード」を選択し、●を2回押す

4 で「ON」を選択し、●を押す

▶オフラインモードが設定されます。

- オフラインモードの設定は、カメラモード終了時「OFF」に戻ります。
- 設定を変更しても、F24「オフラインモード」（☞6-5ページ）の設定は変更されません。
- 連写モードで撮影中の割込み設定を変更した場合、割込み設定（☞Vodafone live!編）の「**カメラ連写中**」の設定も変更されます。

警告表示を設定する

データフォルダに保存可能な容量が残り少なくなった場合に、ディスプレイにメッセージを表示させるかどうかを設定します。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

画面表示	データフォルダの残り容量の目安
データフォルダが残り少しです	容量が残り少なくなったとき
データフォルダが残りわずかです	容量が残りわずかになったとき
データフォルダが一杯です	容量がなくなったとき

・サブディスプレイには、アイコンのみが表示されます。

例 写メールモードの「**警告表示設定**」を「OFF」に設定する場合

1 次の操作で「警告表示設定」を呼び出す

① 撮影画面（☞8-5ページ）を表示する
② Menu（メニュー）を押し、で「**警告表示設定**」を選択する

2 ●を押す

3 で「OFF」を選択し、●を押す

▶警告表示が「OFF」に設定されます。

らくがき機能を利用する

撮影した画像にスタンプやテキスト、フレームなどを貼り付けることができます（デジタルカメラモードを除く）。

スタンプを貼り付ける

スタンプは以下の項目から選択することができます。

- ・**スタンプ大**：**LOVE／BEAUTIFUL／いえ～い／なかよし／フキダシ／もこもこフキダシ／キラキラ枠／くまぐり一枠／夜露死苦／ハエ**
- ・**スタンプ中**：**へぇ～／キラキラ／キラキラ（カラフル）／バラ／シャボン玉／蝶／小花／電球／うんち／矢**
- ・**スタンプ小**：**手描きハート／キラキラハート／キスマーク／瞳／くるくる／怒り／モザイク／しずく／ばんそうこう／肉球**
- ・**スタンプ※**

※V302T専用サイト（☞Vodafone live!編）からダウンロードしたスタンプや自作スタンプを選択できます。

例 「**キラキラハート**」を貼り付ける場合

1 静止画を撮影する

- ここまでの操作については8-4ページの操作1～4を参照してください。

2 Menu（らくがき）を押す

▶らくがきメニューが表示されます。

- 「**テキスト貼付**」については8-35ページを、「**フレーム貼付**」については8-31ページを参照してください。「**オールアンドゥ**」は今まで貼り付けたスタンプ、テキスト、フレームをすべて消去します。

3 ◎で「スタンプ貼付」を選択し、●を押す

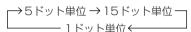
4 ◎で「スタンプ小」を選択し、●を押す

5 ◎で「キラキラハート」を選択し、●を押す

▶画面中央にスタンプが表示されます。

6 ◎でスタンプを貼り付ける位置を指定し、●を押す

▶スタンプが貼り付けられます。

- ◯を押すたびにスタンプの移動単位は、次のように切り替わります。

- 続けてスタンプを貼り付ける場合は、この操作を繰り返してください。
- Menu（メニュー）を押して貼り付けたスタンプの消去（**直前アンドゥ／オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
- Menu（メニュー）を押してスタンプを変更することができます。

7 ◯（決定）を押す

8 ◯（登録）を押す

▶データフォルダのピクチャーフォルダに登録されます。

重要

- らくがきは、撮影サイズがW240×H320の場合は利用できません。
- らくがきのフレーム貼付は、撮影サイズが11行：待受1、W120×H160以外では貼付できません。

8 カメラ機能

撮影ガイドを変更する

特撮モードでは、切り抜き用の枠のサイズや形を変更することができます。
撮影ガイドは以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**丸**」に設定されています。

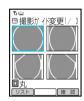
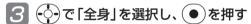
・**丸／楕円／顔（右分け）／顔（左分け）／ハート／全身／2ショット／バストショット／ファイティングポーズ／しゃがむ／ガイドフレーム※**

※V302T専用サイト（☞Vodafone live!編）からダウンロードした撮影ガイドを選択できます。

例 バーチャルウィッグモードの撮影ガイドを「**全身**」に変更する場合

1 バーチャルウィッグ撮影画面（☞8-6ページ）より、Menu（メニュー）を押す

2 ◎で「撮影ガイド変更」を選択し、●を押す

3 ◎で「全身」を選択し、●を押す

▶撮影ガイドが表示されます。

● ＊、＃で撮影ガイドのサイズ変更ができます。

撮影ガイドは、カメラモード終了時「**丸**」に戻ります。

切り抜きの精度を調整する

特撮モードでは、撮影ガイドの形に合わせた輪郭抽出（切り抜き）を行うことができます。被写体により、切り抜き範囲が変わります。パターンA～Dのいずれかに変更して切り抜きを行います。
切り抜き精度は以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時は「**パターンA**」に設定されています。

・**枠で切り抜く／パターンA～D**

例 バーチャルウィッグモードの切り抜き精度を「**枠で切り抜く**」に設定する場合

1 バーチャルウィッグ撮影画面（☞8-6ページ）より、Menu（メニュー）を押す

2 ◎で「切り抜き精度」を選択し、●を押す

3 ◎で「枠で切り抜く」を選択し、●を押す

▶切り抜き精度が設定されます。

設定したパターンにより、画像処理時間が長くなります。

● 「**枠で切り抜く**」を選択した場合は、撮影ガイドの形で切り抜きます。
● 切り抜き精度は、カメラモード終了時「**パターンA**」に戻ります。

8 カメラ機能

撮影した静止画像の編集

データフォルダに登録した画像のサイズを変更したり、回転や変形などの編集を行うことができます。また、画像にフレームを合成したり、スタンプや文字などを貼り付けることもできます。さらに、画面を4つに分割してそれぞれに好きな画像を設定し、1枚の壁紙を作成したり、自分でフレームやスタンプを作成することができます。[ピクチャーつく～る]

● データフォルダについては9章を参照してください。

・画像サイズ変更（☞8-29ページ）　・フレーム合成（☞8-31ページ）
・スタンプ貼付（☞8-33ページ）　・テキスト貼付（☞8-35ページ）
・マーカースタンプ（☞8-37ページ）　・画像アレンジ（☞8-38ページ）
・4分割壁紙作成（☞8-39ページ）　・フレーム作成（☞8-40ページ）
・スタンプ作成（☞8-41ページ）

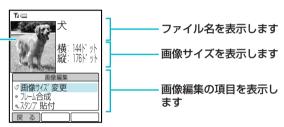
画像の編集画面について

画像編集時の画面は以下のように表示されます。

イメージウィンドウ
編集中の画像が、実際のサイズの4分の1（144W×176Hドットを超える画像は64分の1）で表示されます。

ファイル名を表示します

画像サイズを表示します

画像編集の項目を表示します

各種設定（☞9-15ページ）で設定済みの画像は上書き保存することはできません。

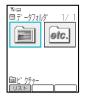
編集が可能な画像は以下の通りです。W：横　H：縦
・画像サイズ：16W×16Hドット～480W×640Hドットまたは640W×480Hドット
※画像サイズにより一部編集機能が異なります。
・ファイル形式：JPEGまたはPNG形式

画像編集画面を呼び出す

1 Menu ◯ の順に押す

2 ◯で「ピクチャーつく～る」を選択し、●を押す

3 ◯で「画像編集」を選択し、●を押す

● データフォルダには編集可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

4 ◯で「ピクチャー」を選択し、●を押す

● （確認）を押すと、カーソル上の画像が確認できます。

5 ◯で編集したい画像を選択し、●を押す

▶画像編集画面が表示されます。

画像編集画面

画像のサイズを変更する

選択できる画像サイズ（変更後のサイズ）

144(W)×176(H)ドット	120(W)×160(H)ドット	72(W)×88(H)ドット	ユーザー指定 ※

※ユーザー指定を選択した場合は、縦16～176ドット、横16～144ドットの範囲でサイズを調節できます。

画像サイズの変更方法（リサイズ）について

上記で選択したサイズに合わせて、データフォルダに登録されている画像を拡大・縮小できます。また、選択できる変更方法は以下の通りです。

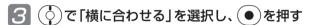
項　目	内　容
等倍	上記で選択した画像サイズに合わせて、画像を切り取ります。（拡大・縮小は行いません）
横に合わせる	上記で選択した画像サイズの横幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比はそのままです）
縦に合わせる	上記で選択した画像サイズの縦幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比はそのままです）
サイズに合わせる	上記で選択した画像サイズの横×縦の幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比が変わる場合があります）

例 ピクチャーフォルダにある画像を、「72（W）×88（H）ドット」のサイズにし、横幅に合わせて縮小する場合

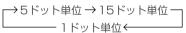
1 **画像編集画面（☞8-29ページ）より、◎で「画像サイズ変更」を選択し、●を押す**

2 **◎で「72（W）×88（H）ドット」を選択し、●を押す**

- イメージウィンドウに、選択した画像のサイズ（☞8-29ページ）が点線で表示されます。
- 「**ユーザー指定**」を選択した場合は、●を押したあと画像サイズを入力します。

3 **◎で「横に合わせる」を選択し、●を押す**

- イメージウィンドウに、選択した方法でサイズを変更した画像が表示されます。
- 選択した方法と画像サイズが一致しない場合は、◎で画像の位置を調整し、●を押します。
- ◯を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

→5ドット単位→15ドット単位→1ドット単位→

4 **◯（決定）を押す**

▶画像サイズが変更されます。

5 **◯（完了）を押す**

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元のサイズに戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

6 **◎で「上書き保存」を選択し、●を押す**

▶サイズを変更した画像が上書き保存されます。

補足

- 画像は以下の範囲で拡大縮小することができます。
  - ・最大：144W×176Hドット
  - ・最小：16W×16Hドット
- データフォルダが一杯の場合は、編集した画像を登録できません。登録する場合は、操作6のあと「YES」を選択し、不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

フレームを合成する

画像の枠に飾りを貼り付けることができます。
フレームは以下の項目から選択できます。

- ・**フレーム特大**（480W×640Hドット）：**星／ハート／小花／バラ／タイル／ドット／額縁／くまぐりー／くま／うさぎ**
- ・**フレーム大**（144W×176Hドット）：**ハート／セクシー／怒り／涙／ショック／酔っぱらい／フィーバー／フジツボ／おはよう／おやすみ／旅行中／向かってます／ラブリー／注目！／英字新聞／くまぐりー／春／夏／秋／冬**
- ・**フレーム小**（120W×160Hドット）：**フレーム大と同様**
- ・**フレーム**（144W×176Hドット）※

※V302T専用サイト（☞Vodafone live!編）やウェブからダウンロードしたフレームや自作フレームを選択できます。

例 ピクチャーフォルダにある画像に、フレーム大の「**セクシー**」を合成し、上書き保存する場合

1 **画像編集画面（☞8-29ページ）より、◎で「フレーム合成」を選択し、●を押す**

2 **◎で「フレーム大」を選択し、●を押す**

- イメージウィンドウに、カーソル上のフレームが表示されます。

3 **◎で「セクシー」を選択し、◯（全画面）を押す**

フレームで合成した画像を、実際のサイズで確認できます。

- フレームのサイズと画像のサイズが異なる場合は、◎で画像とフレームの位置関係を調整できます。◯を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

→5ドット単位→15ドット単位→1ドット単位→

4 ([決定])を押す

▶フレームが合成されます。

5 ([完了])を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

6 で「上書き保存」を選択し、●を押す

▶フレームを合成した画像が上書き保存されます。

フレームが画像より大きい場合、フレーム合成後の画像サイズは、フレームのサイズになります。フレームが画像より小さい場合、フレーム合成後も画像サイズは変わりません。

画像にスタンプを貼り付ける

画像にスタンプを貼り付けることができます。
スタンプは以下の項目から選択できます。

- **スタンプ大**：LOVE／BEAUTIFUL／いえ〜い／なかよし／フキダシ／もこもこフキダシ／キラキラ枠／くまぐり一枠／夜露死苦／ハエ
- **スタンプ中**：へぇ〜／キラキラ／キラキラ（カラフル）／バラ／シャボン玉／蝶／小花／電球／うんち／矢
- **スタンプ小**：手描きハート／キラキラハート／キスマーク／瞳／くるくる／怒り／モザイク／しずく／ばんそうこう／肉球
- **スタンプ**※

※V302T専用サイト（☞Vodafone live!編）からダウンロードしたスタンプや自作スタンプを選択できます。

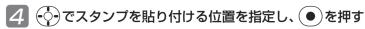
例 ピクチャーフォルダにある画像にスタンプを貼り付けて、上書き保存する場合

1 画像編集画面（☞8-29ページ）より、で「スタンプ貼付」を選択し、●を押す

2 で「スタンプ小」を選択し、●を押す

3 で「キラキラハート」を選択し、●を押す

▶画面中央にスタンプが表示されます。

4 でスタンプを貼り付ける位置を指定し、●を押す

▶スタンプが貼り付けられます。

● を押すたびにスタンプの移動単位は、次のように切り替わります。

→5ドット単位→15ドット単位→1ドット単位

● 続けてスタンプを貼り付ける場合は、この操作を繰り返してください。
● Menu（メニュー）を押して貼り付けたスタンプの消去（**直前アンドゥ**／**オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
● 画像サイズが144W×176Hドットまたは176W×144Hドットを超える場合は、Menu（メニュー）を押したあとで「**縮小表示**」を選択し、●を押すと、画面全体のイメージを確認することができます。
● Menu（メニュー）を押してスタンプを変更することができます。

5 （決定）を押す

6 （完了）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

7 で「上書き保存」を選択し、●を押す

▶スタンプを合成した画像が上書き保存されます。

重要 操作*5*で決定したスタンプを消去することはできません。

画像に文字を貼り付ける

画像に文字を入力して貼り付けることができます。
文字の種類やサイズ、フォントは以下の内容から選択できます。
・**フォント**：**丸ゴシック**／**ギャル字**
・**文字のサイズ**（※）：**特大文字**／**大きい文字**／**小さい文字**
・**文字の種類**：**白文字黒フチ**／**黄文字黒フチ**／**水色文字黒フチ**／**ピンク文字黒フチ**／**黒文字白フチ**／**黒文字黄フチ**／**黒文字水色フチ**／**黒文字ピンクフチ**
※文字のサイズは画像サイズによっては選択できない場合があります。

例 ピクチャーフォルダにある画像に文字を貼り付けて、上書き保存する場合

1 画像編集画面（☞8-29ページ）より、で「テキスト貼付」を選択し、●を押す

2 で「黄文字黒フチ」を選択し、●を押す

3 で文字を貼り付ける先頭位置に「I」を移動し、●を押す

● を押すたびに「I」の移動単位は、次のように切り替わります。

→5ドット単位→15ドット単位→1ドット単位

4 文字を入力する

● 文字の入力方法については3章を参照してください。
● 一度に貼り付けることができる文字数は、「I」の位置と文字のサイズによって変わります。
● 「**丸ゴシック**」では絵文字や顔文字（☞3-13ページ）を入力することもできます。

5 ●を押す

▶文字が貼り付けられます。

- 続けて文字を貼り付ける場合は、操作*3*～*5*を行ってください。
- Menu（メニュー）を押して貼り付けた文字の消去（**直前アンドゥ**／**オールアンドゥ**）の操作を行うことができます。
- 画像サイズが144W×176Hドットまたは176W×144Hドットを超える場合は、Menu（メニュー）を押したあと◎で「**縮小表示**」を選択し、●を押すと、画面全体のイメージを確認することができます。

6 （決定）を押す

7 （完了）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

8 ◎で「上書き保存」を選択し、●を押す

▶文字を貼り付けた画像が上書き保存されます。

- 「**ギャル字**」フォントでは絵文字や顔文字の入力、漢字変換などはできません。
- 操作*6*で決定した文字を消去することはできません。

操作*2*の画面でMenu（メニュー）を押して、文字の種類の変更（**フォント選択**／**文字のサイズ**／**文字種選択**）の操作を行うことができます。

画像にマーカースタンプを貼り付ける

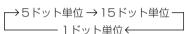
画像に記号（[+]）を貼り付けて、印を付けることができます。

例 ピクチャーフォルダにある画像にマーカースタンプを貼り付けて、上書き保存する場合

1 画像編集画面（☞8-29ページ）より、◎で「マーカースタンプ」を選択し、●を押す

2 ◎で記号を書き込む位置を指定し、●を押す

▶記号が書き込まれます。

- を押すたびにマーカーの移動単位は、次のように切り替わります。

- 続けて記号を書き込む場合は、この操作を繰り返してください。

3 （決定）を押す

4 （完了）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

5 ◎で「上書き保存」を選択し、●を押す

▶マーカースタンプを追加した画像が上書き保存されます。

8 カメラ機能

画像をアレンジする

画像を回転させたり、横幅を変更することができます。また、アレンジでは以下の項目が選択できます。

項　目	内　容
やせる（※）	画像の横幅だけを5%縮小します。
ふとる（※）	画像の横幅だけを5%拡大します。
90°回転	画像を右に90°回転します。
180°回転	画像を右に180°回転します。
270°回転	画像を右に270°回転します。

※画像サイズによっては選択できない場合があります。

例 ピクチャーフォルダにある画像を90°回転させて、上書き保存する場合

1 画像編集画面（☞8-29ページ）より、(◎)で「画像アレンジ」を選択し、(●)を押す

2 (◎)で「90° 回転」を選択し、(✎)（決定）を押す

- イメージウィンドウに、カーソル上の項目にアレンジした画像が表示されます。
- 操作1の画面で(○)（全画面）を押すと、実際のサイズで画像を確認できます。

3 (✎)（完了）を押す

▶保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元のサイズに戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

4 (◎)で「上書き保存」を選択し、(●)を押す

▶アレンジした画像が上書き保存されます。

アレンジする前の画像が横20ドット未満の場合は、操作*2*で「**やせる**」「**ふとる**」は選択できません。

画像を組み合わせて壁紙を作成する

4つの画像を組み合わせて、1枚の壁紙を作成することができます（壁紙の設定方法については、7-9ページを参照してください）。

例 ピクチャーフォルダにある画像を使って、144W×176Hドットの壁紙を作成する場合

1 次の操作で「4分割壁紙作成」を呼び出す

① (Menu)(◎)の順に押す
② (◎)で「**ピクチャーつく〜る**」を選択し、(●)を押す
③ (◎)で「**4分割壁紙作成**」を選択する

2 (●)を押す

3 (◎)で「144W×176Hドット」を選択し、(●)を押す

4 (◎)で「1」を選択し、(●)を押す

- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

5 (◎)でフォルダを選択し、(●)を押す

6 (◎)で設定したい画像を選択し、(●)を押す

▶「1」の画像が設定されます。

- 設定できる画像のサイズは、作成サイズが144W×176Hの場合は72W×88H、480W×640Hの場合は240W×320Hです。また、画像のサイズが上記以外の場合は、8-30ページの操作*3*〜*4*を行い、サイズを変更してください。

7 「2」～「4」に画像を設定する

操作4～6を繰り返します。
- Menu（メニュー）を押したあと●を押すと設定している画像を解除できます。

8 （完了）を押す

- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

9 で登録したいフォルダを選択し、（決定）を押す

▶ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成した壁紙がデータフォルダに登録されます。

フレームを作成する

画像を切り抜いて、フレームを作成することができます。
- **プライバシーの侵害とならないよう適切なご使用を心がけてください。**

例 ピクチャーフォルダにある画像を切り抜いて、フレームを作成する場合

1 次の操作で「フレーム作成」を呼び出す

① Menu の順に押す
② で「**ピクチャーつく～る**」を選択し、●を押す
③ で「**フレーム作成**」を選択する
- （ヘルプ）を押すと、フレーム作成の操作ガイドが表示されます。で操作手順が確認でき、（戻る）を押すとピクチャーつく～るメニュー画面へ戻ります。

2 ●を押す

- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

3 でフォルダを選択し、●を押す

4 で編集したい画像を選択し、●を押す

- 、で撮影ガイドのサイズ変更ができます。ただし、画像のサイズと撮影ガイドの形によっては変更できない場合があります。
- Menu（メニュー）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞8-26ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞8-27ページ）することができます。

5 で撮影ガイドの位置を指定し、●を押す

▶画像が切り抜かれ、切り抜き部分が透過になります。
- を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

→5ドット単位→15ドット単位→1ドット単位→

- Menu（反転）を押すと切り抜き部分が現れ、周りが透過になります。現在表示している方が保存されます。

6 （決定）を押す

▶ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成したフレームがデータフォルダのフレーム1フォルダに登録されます。

補足
- **切り抜きの位置を変更する場合は…**
  操作5の画面で（修正）を押したあとで撮影ガイドの位置を指定し直し、（再実行）を押します。
- 操作5の画面で（修正）を押したあとMenu（メニュー）を押して、切り抜きの修正（**撮影ガイド変更**／**切り抜き精度**）の操作を行うことができます。

スタンプを作成する

画像を切り抜いて、スタンプを作成することができます。

例 ピクチャーフォルダにある画像を切り抜いて、スタンプを作成する場合

1 次の操作で「スタンプ作成」を呼び出す

① Menu の順に押す
② で「**ピクチャーつく～る**」を選択し、●を押す
③ で「**スタンプ作成**」を選択する
- （ヘルプ）を押すと、スタンプ作成の操作ガイドが表示されます。で操作手順が確認でき、（戻る）を押すとピクチャーつく～るメニュー画面へ戻ります。

2 ●を押す

- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

3 でフォルダを選択し、●を押す

4 で編集したい画像を選択し、●を押す

- 、で撮影ガイドのサイズ変更ができます。ただし、画像のサイズと撮影ガイドの形によっては変更できない場合があります。
- Menu（メニュー）を押して、撮影ガイドの形を変更（☞8-26ページ）したり、切り抜きの精度を設定（☞8-27ページ）することができます。

5 で撮影ガイドの位置を指定し、●を押す

▶画像が切り抜かれ、背景が透過になります。

- を押すたびに撮影ガイドの移動単位は、次のように切り替わります。

→5ドット単位→15ドット単位→1ドット単位→（繰り返し）

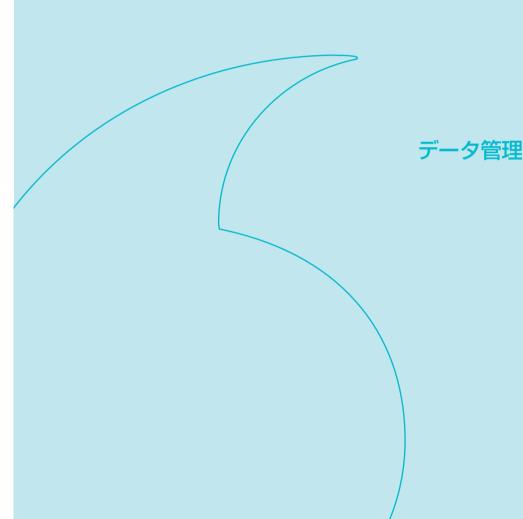
- Menu（反転）を押すと背景画像が現れ、切り抜き部分が透過になります。現在表示している方が保存されます。

6 （決定）を押す

▶ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成したスタンプがデータフォルダのスタンプフォルダに登録されます。

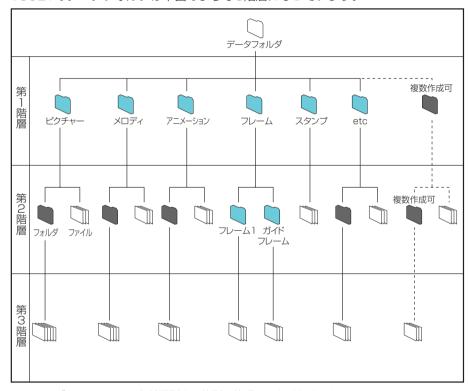
切り抜きの位置を変更する場合は…
操作5の画面で（修正）を押したあとで撮影ガイドの位置を指定し直し、（再実行）を押します。

8 カメラ機能

データ管理

データフォルダの概要

データフォルダには、「**ピクチャー**」、「**メロディ**」、「**アニメーション**」、「**フレーム**」、「**スタンプ**」、「**etc**」の6種類のフォルダがあり、この他にお客様の作成したフォルダ（自作フォルダ）を登録することもできます。データフォルダには画像やメロディ、V302T専用サイト（☞Vodafone live!編）からダウンロードしたファイルなどを登録でき、ファイルとフォルダを合わせて最大約2Mバイトまたは最大約600件まで登録できます。また、ロングメールにファイルを添付することもできます（☞9-15ページ）。

■データフォルダの構成

V302Tのデータフォルダは下図のような3階層になっています。

・フォルダとは、ファイルを種類別や目的別に管理しておくためのものです。
・はあらかじめ登録されているフォルダです。
・はお客様が作成、登録できるフォルダです（☞9-11ページ）。
・フォルダは第1階層と第2階層で、ファイルは第2階層と第3階層で管理します。
・ファイルは、現在登録しているフォルダから他のフォルダへ移動することもできます（☞9-14ページ）。

■データフォルダに登録できるファイルについて

データフォルダには、フォルダ別に以下のファイルを登録することができます。

フォルダ名（第1階層）	登録可能なファイル形式	アイコン	拡張子	表示／再生	メール添付
ピクチャー	JPEGファイル		.jpg、.jpe、.jpeg	○	○
			.jpz	○	×
	PNGファイル		.png	○	○
			.pnz	○	×
メロディ	メロディファイル ※1		.org	○	○
			.smd	○	○
			.smz、.smx	○	×
	SMAFファイル		.mmf	○	○
	40和音SMAFファイル				
アニメーション	JPEGアニメ		—	○	○
	PNGアニメ		—		
	PNG/JPEGアニメ		—		
フレーム※2	PNGファイル		.png	○	×
スタンプ※3	スタンプファイル		.png	○	×
etc／お客様の作成したフォルダ（自作フォルダ）※4	テキストファイル		.txt	○	×
	不明ファイル		—	× ※5	×

※1 メロディファイル（：オリジナル着信音）は、メール添付（☞9-15ページ）を行うと、SMAFファイル（）になります。
※2「**フレーム**」フォルダにはV302T専用サイト（☞Vodafone live!編）やウェブからダウンロードしたフレームを登録することができます。
※3「**スタンプ**」フォルダにはV302T専用サイト（☞Vodafone live!編）からダウンロードしたスタンプを登録することができます。
※4「**etc**」と「自作フォルダ（第1階層）」には、「**ピクチャー**」、「**メロディ**」、「**アニメーション**」のフォルダに登録可能なファイルも登録することができます。ただし、第2階層に作成された「自作フォルダ」の場合は、第1階層で登録可能なファイルのみの登録となります。
（例）「**ピクチャー**」フォルダの下の階層（第2階層）に作成した「自作フォルダ」の場合は、JPEGファイル「」とPNGファイル「」のみの登録となり、「**etc**」や「自作フォルダ（第1階層）」の下の階層（第2階層）に作成した「自作フォルダ」の場合は、すべてのファイルを登録することができます。
※5 V302Tでは表示／再生することはできません。

9 データ管理

保存されているファイルの確認

例 ピクチャーフォルダにある画像ファイルを確認する場合

1 Menu ( ) の順に押す

2 ( ) で「データフォルダ」を選択し、(●) を押す

● を押して ( ) で「**データフォルダ**」を選択しても、同様の操作が行えます。

フォルダ選択画面

3 ( ) で「ピクチャー」を選択し、(●) を押す

ピクチャーファイル選択画面

4 ( ) で確認したいピクチャーファイルを選択し、(●) を押す。

▶画像を確認できます。
● (✱)、(#) で他の画像に切り替え表示します。

■各種ファイルの確認／編集について

データフォルダに登録されているフォルダやファイルを編集することができます。各操作について、詳しくは9-12ページ以降を参照してください。

● **ディスプレイ表示は、サムネイル表示の例です。表示はリスト表示に変更することもできます（☞9-8ページ）。**

フォルダを選択した場合

左の画面で Menu（ メニュー ）を押すと、以下の項目が表示されます。

名称編集：選択しているフォルダの名称を編集します（※）。
フォルダ消去：選択しているフォルダ内にあるフォルダとファイルをすべて消去します（保護されているファイルがある場合は、消去を行うか行わないかを選択します）。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去されません。
貼付け：クリップボード（☞3-19ページ）に記憶されているファイルを、選択しているフォルダ内に貼り付けます。
セキュリティ設定：データの確認時に操作用暗証番号の入力が必要になります。
アイコン変更：フォルダのアイコンを変更します（※）。
フォルダ作成：新しいフォルダを作成します。

※の操作は自作フォルダでのみ選択できます。

ピクチャーファイルを選択した場合

左の画面（上段）で Menu（ メニュー ）を押すと、以下の項目が表示されます。

名称編集：選択しているファイルの名称を編集します。
1件消去：選択しているファイルを消去します（保護されているファイル以外）。
プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可・不可、画像サイズを表示します。
メール添付：選択しているファイルをロングメールに添付します。
各種設定へ：選択しているファイルを以下の項目に設定することができます。
メイン液晶：通常壁紙、発信イラスト、通話中イラスト、設定イラスト、ウェイクアップ画面、パワーオフ画面、電話着信画像
サブ液晶：通常壁紙、目覚まし、スケジュール、アクションアイテム、電話着信画像
画像編集：「**画像サイズ変更**」、「**フレーム合成**」、「**スタンプ貼付**」、「**テキスト貼付**」、「**マーカースタンプ**」、「**画像アレンジ**」を行うことができます。
JPEG/PNG変換：ファイル形式を「**JPEG形式**（**ファイン**、**ノーマル**、**エコノミー**）」と「**PNG形式**」から選択し変換します。
保護／解除：選択しているファイルを保護または解除します。
アニメつく～る：選択しているファイルを「**アニメつく～る**」の1コマ目に設定します。
フォルダ移動：選択しているファイルを別のフォルダに移動します。

9 データ管理

連 続 表 示：フォルダ内にあるすべてのピクチャーファイルを切り替えて表示します。
全件チェック：フォルダ内のファイルをすべてチェックします。
フォルダ作成：新しいフォルダを作成します。

● 「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときは（等倍）を押します）。

メロディファイルを選択した場合

左の画面（上段）で（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可・不可、タイトルを表示します。
各 種 設 定 へ：「**電話着信**」、「**(普)着信**」、「**(高)着信**」、「**速達着信**」、「**レポート着信**」、「**ロングメール着信**」、「**ウェブ着信**」、「**ステーション着信**」、「**ウェイクアップ音**」、「**オープン音**」、「**クローズ音**」に設定します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**全件チェック**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-5ページ）を参照してください。

● メロディを再生する場合は、（再生）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、を押してください。
停止する場合は、（停止）を押します。
● メロディ確認時の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-22ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）が設定されている場合（☞2-7、5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量の設定に従います。

アニメーションファイルを選択した場合

左の画面（上段）で（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可・不可を表示します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール添付**」、「**各種設定へ**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**全件チェック**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-5ページ）を参照してください。

● アニメーションファイルは、通話中イラスト、設定イラストに設定することはできません。

フレームファイルを選択した場合

左の画面（上段）で（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可・不可、画像サイズ（ガイドフレームを除く）を表示します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**全件チェック**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-5ページ）を参照してください。

● 「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときは（等倍）を押します）。

スタンプファイルを選択した場合

左の画面（上段）で（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可・不可、画像サイズを表示します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**全件チェック**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-5ページ）を参照してください。

テキストファイルを選択した場合

左の画面（上段）で（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可·不可を表示します。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**全件チェック**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-5ページ）を参照してください。

● （内容コピー）を押すとテキストファイルの内容をクリップボード（☞3-19ページ）にコピーします。

チェックされているファイルを選択した場合

左の画面で Menu（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

一 括 消 去：チェックしたファイルを一括で、消去します（保護されたファイルがある場合は、消去を行うか行わないかを選択します）。
保 護 ／ 解 除：チェックしたファイルを一括で、保護または解除します。
フォルダ移動：チェックしたファイルを一括で、別のフォルダに移動します。
チェックリセット：ファイルのチェックを一括で、解除します。

データフォルダでファイルを複数件チェックして「一括消去」を行った場合、数分かかる場合があります。

■データフォルダの表示方法を切り替える

データフォルダのフォルダ選択画面やファイル選択画面をサムネイル表示（アイコンや画像）とリスト表示（文字やガイド）に切り替えることができます。

例 ピクチャーフォルダの登録内容をリスト表示にする場合

1 フォルダ選択画面を呼び出す

● フォルダ選択画面の呼び出し方については9-4ページを参照してください。

2 で「ピクチャー」を選択し、●を押す

▶ピクチャーファイル選択画面がサムネイル表示されます。

3 （リスト）を押す

▶ピクチャーファイル選択画面がリスト表示に切り替わります。

補足 データフォルダ以外にも画面下に サムネイル や リスト が表示されている場合は、表示を切り替えることができます。

■プロパティを確認する

例 ピクチャーファイルのプロパティを確認する場合

1 ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）より、でファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

2 で「プロパティ」を選択し、●を押す

▶ファイルの詳細情報が表示されます。

■メモリの使用状況を確認する

データフォルダ、メール、ウェブ、ステーションなどで使用しているメモリの使用状況を確認することができます。[メモリ状況確認]

1 Menu ◯の順に押す

2 ◯で「メモリ使用状況」を選択し、●を押す

▶メモリ使用状況の一覧が表示されます。

新しいフォルダの作成

データフォルダの第1階層と第2階層にフォルダを作成することができます(フレーム、スタンプを除く)。データフォルダに登録できるのは、ファイルとフォルダを合わせて最大約2Mバイトまたは最大約600件までです。

1 フォルダ/ファイル選択画面(☞9-4ページ)より、Menu(メニュー)を押す

● 右の画面は、ピクチャーフォルダ内でMenu(メニュー)を押した場合の表示例です。

2 ◯で「フォルダ作成」を選択し、●を押す

▶フォルダ名の入力画面が表示されます。

3 フォルダの名称を入力し、●を押す

▶フォルダが追加されます。
● 文字の入力方法については3章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
● 名称を省略した場合は、フォルダ名は「**フォルダ**」で表示されます。

補足

● **フォルダのアイコンを変更する場合は…**
操作*3*の画面でMenu(メニュー)を押したあと「**アイコン変更**」を選択し、●を押します。
ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダのアイコンは変更できません。
● **フォルダを消去する場合は…**
操作*3*の画面で消去したいフォルダを選択し、Menu(メニュー)を押したあと「**フォルダ消去**」を選択し、●を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去されず、フォルダ内にあるフォルダとファイルのみが消去されます。
● **データフォルダのデータをすべて消去する場合は…**
待受画面で◯を押して「**データフォルダ**」を選択し、Menu(メニュー)を押したあと●を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去できません。

フォルダ及びファイルの編集

■ファイル名やフォルダ名を変更する

例 ピクチャーファイルの名称を変更する場合

1 フォルダ選択画面（☞9-4ページ）より、◎で「ピクチャー」を選択し、●を押す

2 ◎で名称編集したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

3 ◎で「名称編集」を選択し、●を押す

▶現在のファイル名が表示されます。

4 名称を修正し、●を押す

▶名称が編集されます。

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。
- 以下の半角記号や絵文字、「⏎」は、ファイル名に使用できません。

/ ¥ : ; ＊ ? " < >	.

- メロディファイルやV302T専用サイト（☞Vodafone live!編）からダウンロードしたファイルの場合、操作*4*で登録可能な文字数は、最大で半角24文字、全角12文字になります。
- **フォルダ名を変更する場合は…**
  フォルダ／ファイル選択画面（☞9-4ページ）で名称編集したい自作フォルダを選択し、Menu（メニュー）を押して、上記操作*3*以降を行ってください。

■ファイルを消去する

例 ピクチャーファイルを消去する場合

1 次の操作で「1件消去」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）を表示する
② ◎で消去したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す
③ ◎で「**1件消去**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「YES」を選択し、●を押す

▶ファイルが消去されます。

- 保護設定されているファイルは消去することができません。保護を解除（☞下記）したあと、消去の操作を行ってください。
- 通常壁紙に設定されている画像ファイルや着信音に設定されているメロディファイルなどを消去しようとすると、操作*2*のあと「**各種設定で設定されています消去しますか？**」と表示されます。消去する場合は「**YES**」を選択し、●を押します。また、消去した場合は、ファイルが設定されていた機能の画像やメロディなどはお買い上げ時の設定に戻ります。

■ファイルを保護する

ファイルを誤操作などで消去するのを防ぐことができます。

例 ピクチャーファイルを保護する場合

1 次の操作で「保護／解除」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）を表示する
② ◎で保護したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す
③ ◎で「**保護／解除**」を選択する

2 ●を押す

▶選択しているファイルが保護されます。

保護設定はファイルの消去を防止するためのものであり、上書き保存を防止することはできません。

● 保護設定されているファイルを解除する場合も、同様の操作を行ってください。
● データフォルダをリスト表示にしている場合、ファイルの保護状態は右の画面のようにガイド表示されます。

■ファイルを移動する

ファイルを現在登録しているフォルダから他のフォルダに移動することができます。

例 ピクチャーフォルダからetcフォルダにファイルを移動する場合

1 次の操作で「フォルダ移動」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）を表示する
② で移動したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す
③ で「**フォルダ移動**」を選択する

2 ●を押す

● ファイル形式（☞9-3ページ）によって、移動先として表示されるフォルダは異なります。

3 で「etc」を選択し、（決定）を押す

▶選択したフォルダにファイルが移動されます。

■その他の編集機能

ファイルをロングメールに添付する

例 ピクチャーファイルをロングメールに添付する場合

1 次の操作で「メール添付」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）を表示する
② でメールに添付したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す
③ で「**メール添付**」を選択する

2 ●を押す

▶ファイルが添付され、ロングメールの作成画面になります。添付済みを示す「」のアイコンが表示されます。
● ロングメールの操作についてはVodafone live!編を参照してください。

● プロパティ（☞9-9ページ）でコピー／転送が「**不可**」と表示されているファイルはメールに添付できません。
● 添付する画像が約6Kバイトを超える場合は、画像は自動的に圧縮されます。

各種設定を行う

データフォルダに登録している画像やアニメーション、メロディなどを壁紙や着信音パターンに設定できます。また、画像やアニメーションの場合は、設定サイズに対して表示したい部分を移動させる（トリミング）ことができます。

例 ピクチャーファイルをトリミングの操作を行って、「**通話中イラスト**」に設定する場合

1 次の操作で「各種設定へ」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）を表示する
② で設定したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す
③ で「**各種設定へ**」を選択する

2 ●を押す

3 で「メイン液晶」を選択し、●を押す

4 で「通話中イラスト」を選択し、●を押す

5 で内に表示したい部分を移動し、●を押す

▶ トリミングされた画像が表示されます。

● を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

5ドット単位 ⟷ 1ドット単位

6 （決定）を押す

● プロパティ（☞9-9ページ）でコピー／転送が「**不可**」と表示されているファイルを選択した場合は、操作はここで終了です。

7 ●を押す

8 名称を入力し、●を押す

● 文字の入力方法については3章を参照してください。

● 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

9 で登録したいフォルダを選択し、（決定）を押す

▶ トリミングした画像が別ファイルとして登録され、通話中イラストに設定されます。

プロパティ（☞9-9ページ）でコピー／転送が「**不可**」と表示されているファイルは、縦または横が設定サイズよりも大きい場合は選択できません（サブ液晶の通常壁紙を除く）。

ファイル形式を変更する

画像のファイル形式を変更することができます。

例 「**JPEG形式**」のファイルを「**PNG形式**」に変更する場合

1 次の操作で「JPEG/PNG変換」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面（☞9-4ページ）を表示する

② でファイル形式を変更したいファイルを選択し、Menu（メニュー）を押す

③ で「**JPEG/PNG変換**」を選択する

2 ●を押す

3 で「PNG形式」を選択し、●を押す

▶ 保存方法の選択画面が表示されます。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

4 で「上書き保存」を選択し、●を押す

▶ ファイル形式を変更した画像が上書き登録されます。

● ファイル形式を変更すると、画質やファイルサイズが変化する場合があります。

● 縦176ドットまたは横144ドットを超える画像や各種設定で設定済みの画像の場合、ファイル形式は変更できません。

テキストファイルの内容をコピーする

データフォルダに登録しているテキストファイルの内容をクリップボード（☞3-19ページ）にコピーすることができます。

例 etcフォルダにあるテキストファイルの内容をコピーする場合

1 フォルダ選択画面（☞9-4ページ）より、で「etc」を選択し、●を押す

2 でコピーしたいテキストファイルを選択し、を押す

▶テキストファイルの内容が表示されます。

3 (内容コピー)を押す

▶テキストファイルの内容がクリップボードにコピーされます。

補足 クリップボードとは、コピーしたファイルを一時的に記憶しておく場所です。また、クリップボードにはコピーした内容を最大約20件または最大約100Kバイトまで記憶することができます。最大約20件または最大約100Kバイトを超えた場合は、古い内容から順に消去されます。

ファイルをチェックをする

フォルダ内のファイルにチェックを入れることができます。チェックを入れたファイルは、フォルダ移動(9-14ページ)や一括消去(9-8ページ)などの操作を一度に行うことができます。

例 ピクチャーフォルダの登録内容に「☑(チェック)」を入れる場合

1 ピクチャーファイル選択画面(9-4ページ)より、でチェックを入れたいファイルを選択する

2 (チェック)を押す

▶ファイルがチェックされ、「☑」のアイコンが表示されます。
- すべてのチェックを解除する場合は、Menu(メニュー)を押してで「**チェックリセット**」を選択し、を押します。
- 続けてチェックを設定(解除)する場合は、を押してファイルを選択し、(チェック)を押します。

連続表示を行う

ピクチャーファイルを、自動的に切り替えて表示させることができます。

1 次の操作で「連続表示」を呼び出す

① ピクチャーファイル選択画面(9-4ページ)を表示する
② で先頭のファイルを選択し、Menu(メニュー)を押す
③ で「**連続表示**」を選択する

2 を押す

▶ピクチャーファイルが約2秒ごとに切り替わって表示されます。
- (停止)を押すと、ファイル選択画面に戻ります。

ファイルを貼り付ける

選択したフォルダにクリップボード(3-19ページ)に記憶されているファイルを貼り付けて、データフォルダのファイルとして登録することができます。

例 ピクチャーフォルダに貼り付ける場合

1 フォルダ選択画面(9-4ページ)より、で「ピクチャー」を選択し、Menu(メニュー)を押す

2 で「貼付け」を選択し、を押す

- 選択しているフォルダに貼り付けることができるファイルのみが表示されます。
- Menu(メニュー)を押すと「**プロパティ**」を選択できます。
- を押すとファイルの内容を確認することができます。

3 で貼り付けたいファイルを選択し、(チェック)を押す

▶ファイルの前に「☑」のアイコンが表示されます。

4 (完了)を押す

▶選択したフォルダにファイルが登録されます。

補足 画像やメロディをクリップボードに記憶するには、ウェブやステーションの情報の中から画像やメロディをコピーします(Vodafone live!編)。

9 データ管理

アニメーションの作成

データフォルダに登録している画像で最大4コマのアニメーションを作成することができます。作成したアニメーションはデータフォルダに登録することができます。
[アニメつく～る]

1 Menu ( ) の順に押す

2 ( ) で「アニメつく～る」を選択し、(●) を押す

3 ( ) で「名称」を選択し、(●) を押す

4 名称を入力し、(●) を押す

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

5 ( ) で「画像設定」を選択し、(●) を押す

6 ( ) で1コマ目を選択し、(●) を押す

- データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

7 ( ) で「ピクチャー」を選択し、(●) を押す

- (確認) を押すと、カーソル上のファイルが確認できます。

8 ( ) で登録したい画像を選択し、(●) を押す

▶ 1コマ目の画像が設定されます。

9 2コマ目以降を設定する

操作*6*～*8*を繰り返します。

- アニメーションは2コマ以上設定しないと登録できません。
- (再生) を押すとアニメーションが再生されます。
  (停止) を押すと再生が終了します。

10 (完了) を押す

11 (完了) を押す

- データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

12 ( ) で登録したいフォルダを選択し、(決定) を押す

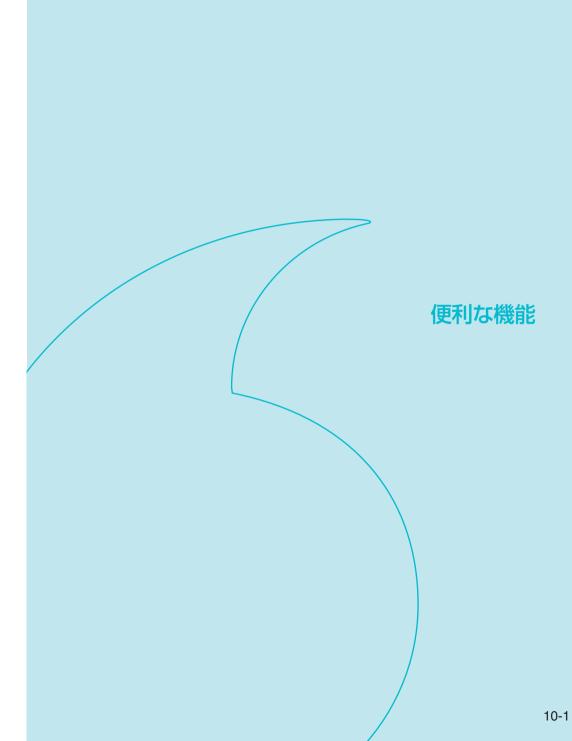
▶ データフォルダに登録されます。

データフォルダに登録したアニメーションはコマごとに個別に消去することはできません。登録したアニメーションを消去する場合は、ファイルを消去する(☞9-13ページ)を参照してください。

- データフォルダが一杯の場合は、設定した画像を登録できません。登録する場合は、操作11のあと「YES」を選択し、不要なファイルを消去してください(☞9-13ページ)。
- 操作*9*の画面で Menu (メニュー) を押して、設定した画像の消去(**1件消去**／**全件消去**)の操作を行うことができます。

9 データ管理

便利な機能

プチスケジュールを利用する

V302Tをスケジュール帳として利用することができます。スケジュールは、当日（V302Tで設定している日付）から1年後までの間で登録することができます（1日最大5件）。また、登録したスケジュールは、当日の翌日の1年前から当日の1年後までを確認することができます。

- **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞2-3ページ）の操作を行ってください。**

■登録できる項目について

スケジュールには、以下の内容を登録することができます。

項　目	内　容	登録方法
スタンプ	用件にあわせて、120種類のアイコンから選択できます。	☞10-4ページ
用件	用件を登録できます。	☞10-3ページ
開始時刻	開始時刻を登録できます。	☞10-3ページ
終了時刻	終了時刻を登録できます。	☞10-3ページ
内容	スケジュールの内容や電話番号（テレフォンリンク）を登録できます。	☞10-4ページ
アラーム設定	指定した時刻になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面とスケジュールの用件を表示してお知らせします。また、指定した時刻を音声でお知らせします。アラーム音は、固定パターン／固定メロディ／データフォルダから選択できます。	☞10-5ページ
オプション	スケジュールごとに指定できるオプション機能です。	☞10-6ページ
メール呼出	メールで送受信したメッセージの内容が簡単に参照できます。	☞10-8ページ

■スケジュールの登録のしかた

スケジュール作成画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 Menu ◎ の順に押す

2 ◎で「プチスケジュール」を選択し、●を押す

▶スケジュール表示画面が表示されます。

- 待受画面で、（スケジュール）を長く（約1秒以上）押しても、スケジュールの画面が表示されます。

スケジュール表示画面

3 ◎で登録する日付を選択し、（追加）を押す

▶スケジュール作成画面が表示されます。

- スケジュールは、当日より前の日付に登録することはできません。当日から1年後までの日付を選択してください。

スケジュール作成画面

4 ◎で各項目を選択し、●を押す

- 用件、開始時刻、終了時刻を設定する（☞下記）
- スタンプを設定する（☞10-4ページ）
- 内容を設定する（☞10-4ページ）
- アラームを設定する（☞10-5ページ）
- オプションを設定する（☞10-6ページ）
- テレフォンリンクを設定する（☞10-7ページ）
- メール呼出を設定する（☞10-8ページ）

5 （完了）を押す

▶スケジュールが登録されます。待受画面に戻るときは、Powerを押します。

用件、開始時刻、終了時刻を設定する

例　用件「**会議あり**」、開始時刻「**10：00**」を登録する場合

1 スケジュール作成画面（☞上記）より、◎で「用件」を選択し、●を押す

2 用件を入力し、●を押す

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

3 ◎で「開始時刻」を選択し、●を押す

- 「**終了時刻**」も開始時刻と同様の手順で設定することができます。終了時刻を設定する場合は「**終了時刻**」を選択してください。

4 開始時刻を入力し、●を押す

▶開始時刻が設定されます。

- 時刻は2桁（24時間制）で入力してください。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

登録したスケジュールは、1年後自動的に消去されます。また、日時設定（☞2-3ページ）を変更すると、消去される場合があります。

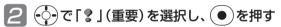
登録されているスケジュールが当日になると、待受画面に「■」が表示されます。

スタンプを設定する

例 「❢」（重要）を設定する場合

1 スケジュール作成画面（☞10-3ページ）より、◎で「スタンプ」を選択し、●を押す

- ⌒（切替）でスタンプの種類を切り替えることができます。
- スタンプの種類については10-18ページを参照してください。

2 ◎で「❢」（重要）を選択し、●を押す

▶スタンプが設定されます。

- 用件の項目が未入力の場合は、指定したスタンプの名称が用件の項目に自動的に入力されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと⌒（完了）を押してください。

内容を設定する

例 「**第1会議室で行う**」を設定する場合

1 スケジュール作成画面（☞10-3ページ）より、◎で「内容」を選択し、●を押す

- 内容にはテレフォンリンクを設定することができます。設定する場合は、10-7ページを参照してください。

2 内容を入力し、●を押す

▶内容が設定されます。

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角32文字、全角16文字です。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、⌒（完了）を押してください。

アラームを設定する

1 スケジュール作成画面（☞10-3ページ）より、◎で「アラーム設定」を選択し、●を押す

2 ◎で「ON」を選択し、●を押す

3 ◎で「アラーム時刻」を選択し、●を押す

4 アラーム時刻を入力し、●を押す

- 時刻は2桁（24時間制）で入力してください。
- アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」、時刻読上げ「**ON**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあと10-30～31ページの操作*2*～*10*を行ってください。

5 ⌒（完了）を押す

▶アラームが設定され、画面に「◈」が表示されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、⌒（完了）を押してください。

- アラームの設定時刻になったとき（タイムアップ）の動作については、10-12ページを参照してください。
- タイムアップ画面には、スケジュールの用件が表示されます。タイムアップ画面は変更することができます（☞10-16、7-11ページ）。
- 時刻読上げを「ON」に設定すると、アラームが鳴ったあとに設定した時刻を音声でお知らせします。
- マナーモード設定中にアラームが起動した場合の音量などは、マナーモード（☞5-6ページ）の設定に従います。

10 便利な機能

オプションを設定する

スケジュールごとに以下のオプションを設定することができます。

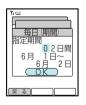
項　目	内　容
シークレット	操作用暗証番号を入力しない限り、スケジュールの内容を確認できないようにします（スケジュール一覧画面では、「🔑」のみ表示されます）。
繰返し	スケジュールを繰り返し設定することができます。繰り返しの間隔は以下から選択できます（「毎年」以外は、当日から1年後まで）。 ・なし　・毎日　・毎週 ・毎月　・毎年　・毎日（期間）
カテゴリ	スケジュールの種類を以下から選択できます。 ・設定なし　・プライベート　・休日　・旅行 ・仕事／授業　・会議　・クラブ／サークル
優先度	スケジュールの優先度を以下から選択できます。 ・低い　・普通　・高い
状態	スケジュールの状態を以下から選択できます。 ・未消化　・消化

・カテゴリ、優先度、状態は、スケジュールを確認するときにスケジュールの詳細画面で確認できます（☞10-9ページ）。

例 スケジュールの繰り返しを、日数「**5日間**」、間隔「**毎日（期間）**」に設定する場合

1 **スケジュール作成画面（☞10-3ページ）より、◎で「オプション」を選択し、●を押す**

2 **◎で「繰返し」を選択し、●を押す**

3 **◎で「毎日（期間）」を選択し、●を押す**

4 **日数を入力し、●を押す**

▶オプションが設定されます。
- 日数は02～99の範囲で、2桁で入力してください。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、✉（完了）を押してください。

テレフォンリンクを設定する

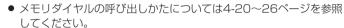
メモリダイヤルに登録されている電話番号を、内容の項目に設定することができます。テレフォンリンクを設定すると、スケジュールを確認したときに、その電話番号へ簡単に電話をかけることができます。

1 **スケジュール作成画面（☞10-3ページ）より、◎で「内容」を選択し、Menu（メニュー）を押す**

2 **◎で「テレフォンリンク」を選択し、●を押す**

▶メモリダイヤルの検索画面が表示されます。

3 **登録したいメモリダイヤルを呼び出し、●を押す**

- メモリダイヤルの呼び出しかたについては4-20～26ページを参照してください。

- 電話番号以外は選択できません。
- メモリダイヤルに電話番号が2件登録されている場合は、◎でテレフォンリンクに登録したい電話番号を選択してから、●を押してください。

4 **●を押す**

▶「**内容**」にテレフォンリンクが設定されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、✉（完了）を押してください。

補足
- テレフォンリンクを登録している場合は、10-9ページの操作*3*、*4*の画面で☎を押すと、登録した番号へ電話をかけることができます。
- 操作*4*の画面でMenu（メニュー）を押して、テレフォンリンクの消去（**内容消去**）の操作を行うことができます。

10 便利な機能

メール呼出を設定する

スケジュールにメール(☞Vodafone live!編)の内容を登録することができます。

例 「**送信メール**」を呼び出す場合

1 スケジュール作成画面(☞10-3ページ)より、◎で「メール呼出」を選択し、●を押す

2 ◎で「送信メール」を選択し、●を押す

- (表示)を押すと、メールの内容を確認することができます。

3 ◎登録するメールを選択し、●を押す

▶メール呼出が設定され、「**メール呼出あり**」と表示されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、(完了)を押してください。

シークレットボックスのメッセージ、セキュリティ設定されているフォルダ内のメール、プライバシーレベル3、4のメールを設定する場合は、操作用暗証番号を入力しないと設定できません(☞Vodafone live!編)。

操作*3*の画面で Menu (メニュー)を押して、メール呼出の解除(**メール呼出解除**)の操作を行うことができます。

■登録したスケジュールを確認する

例 6月6日の「**8:00伊豆へドライブ**」のスケジュールを確認する場合

1 Menu ◎の順に押す

2 ◎で「プチスケジュール」を選択し、●を押す

- 待受画面で、(スケジュール)を長く(約1秒以上)押しても、スケジュールの画面が表示されます。
- 「🔑」が表示されているスケジュールは、シークレット設定されています。確認方法については、下記の補足を参照してください。

3 ◎で確認する日付を選択し、●を押す

4 ◎で確認するスケジュールを選択し、●を押す

▶スケジュールの詳細画面が表示されます。

- ◎を押すと、詳細画面の続きを見ることができます。
- (戻る)を押すと、操作*3*の画面に戻ります。

登録したスケジュールは、1年後自動的に消去されます。また、日時設定(☞2-3ページ)を変更すると、消去される場合があります。

- スケジュールは当日の翌日の1年前から当日の1年後までを確認できます。
- 開始日時を過ぎた未消化のアクションアイテム(☞10-19ページ)がある場合、当日のスケジュール画面に「**未消化アクションアイテムあり**」と表示されます。「**未消化アクションアイテムあり**」を選択して●を押すと、未消化のアクションアイテム一覧を確認することができます。
- **シークレット設定されたスケジュールを確認する場合は…**
  操作*4*のあと、操作用暗証番号を入力します。
- 操作*3*の画面で Menu (メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**編集/1件消去/当日分全消去**
- オプションを設定する(☞10-6ページ)で繰り返しを「**なし**」以外に設定した場合は、編集または消去の操作のあとで右のように表示されます。ただし、「**毎年**」を設定した場合、消去の操作で「**当日のみ変更**」は選択できません。
  当日のみ変更:選択したスケジュールのみ編集(消去)します。
  当日以降変更:選択したスケジュールと、その日以降に繰り返されているスケジュールをすべて編集(消去)します。

■スケジュールの表示スタイルを切り替える

スケジュールの表示画面を月間、週間に切り替えることができます。

月間スケジュール　　週間スケジュール

例 月間から週間のスケジュール画面に切り替える場合

1 **スケジュール表示画面（☞10-2ページ）より、（文字/小文字）を押す**

▶スケジュールの週間画面が表示されます。
- （文字/小文字）を押すごとに、画面の表示は以下のように切り替わります。

　→月間画面→週間画面→

- スケジュール画面では、以下の操作が行えます。
  - ・（＊）：先月／先週が表示されます。
  - ・（＃）：翌月／翌週が表示されます。
- （◎）：週や月を切り替えたり、日付を選択します。
- （●）：選択した日付のスケジュールが表示されます。

補足
- スケジュールが登録されている場合、日付の横に「・」が表示されます。
- 月間画面では、スケジュールにスタンプが登録されている場合、その日付を選択すると、画面下段にスケジュールで設定されているスタンプが表示されます。

10
便利な機能

■日付や曜日の表示色を変更する

スケジュール表示画面での曜日と日付の表示色を変更できます。[休日設定]

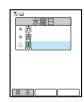
例 水曜日の表示色を「**赤**」に変更する

1 **スケジュール表示画面（☞10-2ページ）より、Menu（［メニュー］）を押す**

- 右の画面は、月間画面でMenu（［メニュー］）を押した場合の表示例です。
- 休日設定は、当日、週間、月間のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

2 **（◎）で「休日設定」を選択し、（●）を押す**

3 **（◎）で「曜日」を選択し、（●）を押す**

4 **（◎）で「水曜日」を選択し、（●）を押す**

5 **（◎）で「赤」を選択し、（●）を押す**

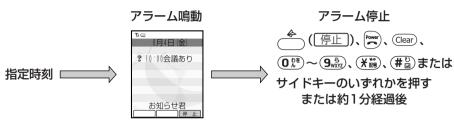
6 **（［決定］）を押す**

▶表示色が設定され、スケジュール表示画面の曜日と日付の文字が赤で表示されます。

補足
ある日付の表示色だけを変更したい場合は、操作*1*で、表示色を変更したい日付にカーソルを合わせます。続いて、操作*3*で「**当日**」を選択し、操作*5*を行います。

10
便利な機能

■お知らせ君を利用する

お知らせ君は、指定した時刻にアラームが鳴動し、当日または翌日のスケジュールを表示してお知らせする機能です。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

例 表示内容設定「**翌日の予定**」、時刻「**23：00**」、起動設定「**毎日起動**」に設定し、アラームを設定する場合

1 スケジュール表示画面(☞10-2ページ)より、Menu(メニュー)を押す

- 右の画面は、月間画面でMenu(メニュー)を押した場合の表示例です。
- スケジュールオプションは、当日、週間、月間のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

2 〇で「スケジュールオプション」を選択し、●を押す

3 〇で「お知らせ君」を選択し、●を押す

4 〇で「ON」を選択し、●を押す

5 〇で「当日の予定」を選択し、●を押す

6 〇で「翌日の予定」を選択し、●を押す

▶表示内容設定が設定されます。

7 〇で「時刻」を選択し、●を押す

8 時刻を入力し、●を押す

▶時刻が設定されます。
- 時刻は、2桁(24時間制)で入力してください。

9 〇で「1回のみ起動」を選択し、●を押す

10 〇で「毎日起動」を選択し、●を押す

▶起動設定が設定されます。

11 〇で「アラーム設定」を選択し、●を押す

- アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあと10-30ページの操作*2*～*8*を行ってください。

12 (完了)を押す

▶アラームの種類と音量が設定されます。

13 (完了)を押す

▶お知らせ君が設定されます。

補足
- 通話中に指定した時刻になった場合、通話終了後にお知らせ君が起動します。
- 電源が切れているときは、自動的に電源が入り、お知らせ君が起動します。[自動電源ON]
- マナーモード設定中にお知らせ君が起動した場合の音量などは、マナーモード(☞5-6ページ)の設定に従います。
- お知らせ君起動中は、イルミネーション(お知らせランプ)(☞11-4ページ)が点滅します。

■スケジュールロックを設定する

操作用暗証番号を入力しない限りスケジュールを確認できないようにします。
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 スケジュール表示画面（☞10-2ページ）より、Menu（メニュー）を押す

2 ◎で「スケジュールオプション」を選択し、●を押す

3 ◎で「スケジュールロック」を選択し、●を押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

4 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、スケジュールオプションの選択画面に戻ります。

5 ◎で「ON」を選択し、●を押す

▶スケジュールロックが設定されます。

● 解除する場合は「OFF」を選択します。

■スタート表示を設定する

プチスケジュール起動時のスケジュール表示画面を週間、月間から選択することができます。
お買い上げ時は「**月間スケジュール**」に設定されています。

例 「**週間スケジュール**」に設定する場合

1 スケジュール表示画面（☞10-2ページ）より、Menu（メニュー）を押す

2 ◎で「スケジュールオプション」を選択し、●を押す

3 ◎で「スタート表示」を選択し、●を押す

4 ◎で「週間スケジュール」を選択し、●を押す

▶スタート表示が設定されます。

■タイムアップ画面を設定する

スケジュールにアラームを設定している場合、アラーム起動時に表示される画面を以下から選択することができます。
お買い上げ時は「**オリジナル**」に設定されています。
・**オリジナル／データフォルダ**

● **データフォルダについては9章を参照してください。**

例 データフォルダのピクチャーフォルダにある「**ネコ**（一例）」を設定する場合

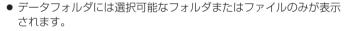
1 スケジュール表示画面（☞10-2ページ）より、Menu（メニュー）を押す

2 で「スケジュールオプション」を選択し、●を押す

3 で「タイムアップ画面」を選択し、●を押す

● タイムアップ画面を「**データフォルダ**」に設定している場合は、「**データフォルダ**」を選択し（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

4 で「データフォルダ」を選択し、●を押す

● データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

5 で「ピクチャー」を選択し、●を押す

6 で「ネコ」を選択し、●を押す

▶画像が表示されます。

● 、で他の画像に切り替え表示します。

7 （決定）を押す

▶タイムアップ画面が設定されます。

重要

● 操作**4**で「**データフォルダ**」を選択しても、横144ドットまたは縦176ドットを超える画像は選択できません。
● タイムアップ画面で表示される画像のサイズは横144×縦96ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作**6**のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作を行うことができます（☞9-15ページ）。
● サブディスプレイに表示されるタイムアップ画面の設定については、7-11ページを参照してください。

■スタンプの種類を設定する

スケジュールやアクションアイテム（☞10-19ページ）の作成で、スタンプを選択する際に最初に表示されるスタンプの一覧画面の内容を変更することができます。
お買い上げ時は「**ノーマル1**」に設定されています。

例 「**スクール**」に設定する場合

1 スケジュール表示画面（☞10-2ページ）より、Menu（メニュー）を押す

● 右の画面は、月間画面でMenu（メニュー）を押した場合の表示例です。
● スケジュールオプションは、当日、週間、月間のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

2 で「スケジュールオプション」を選択し、●を押す

3 で「スタンプ」を選択し、●を押す

4 で「スクール」を選択し、●を押す

▶スタンプが設定されます。

10 便利な機能

スタンプの種類について

スタンプの種類は以下の通りです。

ノーマル1

ノーマル2

オフィス

スクール

アクションアイテムを利用する

V302Tに予定（アクションアイテム）を登録し、忘れてはいけないことや、やらなければいけないことを管理できます（最大150件）。登録したアクションアイテムは、一覧で表示したり、未消化、消化済に分けて確認することができます。また、優先度やカテゴリーを設定することもできます。

- **この機能をご利用になるにはあらかじめ時計設定（☞2-3ページ）の操作を行ってください。**

■登録できる項目について

アクションアイテムには、以下の内容を登録することができます。

項　目	内　容	登録方法
スタンプ	用件に合わせて、120種類のアイコンから選択できます。	☞10-21ページ
用件	用件を登録できます。	☞10-20ページ
開始日時	開始日時を登録できます。	☞10-20ページ
終了日時	終了日時を登録できます。	☞10-20ページ
内容	予定の内容や電話番号（テレフォンリンク）を登録できます。	☞10-21ページ
アラーム設定	指定した時刻になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面とアクションアイテムの用件を表示してお知らせします。また、指定した時刻を音声でお知らせします。アラーム音は固定パターン／固定メロディ／データフォルダから選択できます。	☞10-22ページ
オプション	アクションアイテムごとに指定できるオプション機能です。	☞10-23ページ

■アクションアイテムの登録のしかた

アクションアイテム作成画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 **Menu ◉ の順に押す**

2 **◈で「アクションアイテム」を選択し、●を押す**

▶アクションアイテムの一覧表示画面になります。

3 **◯（追加）を押す**

▶アクションアイテム作成画面が表示されます。

アクションアイテム作成画面

4 で各項目を選択し、●を押す

- 用件、開始日時、終了日時を設定する（☞下記）
- スタンプを設定する（☞10-21ページ）
- 内容を設定する（☞10-21ページ）
- アラームを設定する（☞10-22ページ）
- オプションを設定する（☞10-23ページ）

5 （完了）を押す

▶アクションアイテムが登録されます。
待受画面に戻るときは、Powerを押します。

用件、開始日時、終了日時を設定する

例 用件「**報告書締切**」、開始日時「**2004年6月4日17：00**」を設定する場合

1 アクションアイテム作成画面（☞10-19ページ）より、で「用件」を選択し、●を押す

2 用件を入力し、●を押す

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

3 で「開始日時」を選択し、●を押す

- 「**終了日時**」も開始日時と同様の手順で設定することができます。終了日時を設定する場合は、「**終了日時**」を選択してください。

4 開始日時を入力し、●を押す

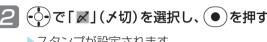
▶開始日時が設定されます。
- 年は西暦の下2桁、月、日は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は2桁（24時間制）で入力してください。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

スタンプを設定する

例 「」（〆切）を設定する場合

1 アクションアイテム作成画面（☞10-19ページ）より、で「スタンプ」を選択し、●を押す

- （切替）でスタンプの種類を切り替えることができます。
- スタンプの種類については、10-18ページを参照してください。

2 で「」（〆切）を選択し、●を押す

▶スタンプが設定されます。
- 用件が未入力の場合は、選択したスタンプの名称が用件の項目に自動的に入力されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと（完了）を押してください。

内容を設定する

例 内容「**月例報告書**」を設定する場合

1 アクションアイテム作成画面（☞10-19ページ）より、で「内容」を選択し、●を押す

- 内容にはテレフォンリンクを設定することができます。設定する場合は、10-7ページを参照してください。

2 内容を入力し、●を押す

▶内容が設定されます。
- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角128文字、全角64文字です。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始日時、終了日時のいずれかの設定を行ってから、（完了）を押してください。

アラームを設定する

1 アクションアイテム作成画面(☞10-19ページ)より、(◎)で「アラーム設定」を選択し、(●)を押す

2 (◎)で「ON」を選択し、(●)を押す

3 (◎)で「アラーム日時」を選択し、(●)を押す

4 アラーム日時を入力し、(●)を押す

- 年は西暦の下2桁、月、日はそれぞれ2桁で入力してください。時刻は2桁(24時間制)で入力してください。
- アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」、時刻読上げ「**ON**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあと10-30〜31ページの操作*2*〜*10*を行ってください。

5 (完了)を押す

▶アラームが設定され、画面に「🔊」が表示されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始日時、終了日時のいずれかの設定を行ってから、(完了)を押してください。

- アラームの設定時刻になったとき(タイムアップ)の動作については、10-12ページを参照してください。
- タイムアップ画面にはアクションアイテムの用件が表示されます。サブディスプレイのタイムアップ画面は変更することができます(☞7-11ページ)。
- 時刻読上げを「ON」に設定すると、アラームが鳴ったあとに設定した時刻を音声でお知らせします。
- マナーモード設定中にアラームが起動した場合の音量などは、マナーモード(☞5-6ページ)の設定に従います。

オプションを設定する

アクションアイテムごとに以下のオプションを設定することができます。

項目	内容
シークレット	操作用暗証番号を入力しない限り、アクションアイテムの内容を確認できないようにします(アクションアイテム一覧画面では「🔑」のみ表示されます)。
カテゴリ	アクションアイテムの種類を以下から選択できます。 ・設定なし　・プライベート　・休日　・旅行 ・仕事／授業　・会議　・クラブ／サークル
優先度	アクションアイテムの優先度を以下から選択できます。 ・低い(🔔)　・普通(🔔)　・高い(🔔)
状態	アクションアイテムの状態を以下から選択できます。 ・未消化　・消化(✔)

・カテゴリは、アクションアイテムの詳細画面(☞10-24ページ)で確認できます。
・優先度と状態は、アクションアイテム一覧画面で( )内のアイコンで表示されます。またアクションアイテム新規登録時は、優先度「**普通**」、状態「**未消化**」に設定されています。

例 シークレットを「ON」に設定する場合

1 アクションアイテム作成画面(☞10-19ページ)より、(◎)で「オプション」を選択し、(●)を押す

2 (◎)で「シークレット」を選択し、(●)を押す

3 (◎)で「ON」を選択し、(●)を押す

▶オプションが設定されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあとスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかの設定を行ってから、(完了)を押してください。

■登録したアクションアイテムを確認する

例 「**報告書締切**」の内容を確認する場合

1 Menu ⊖の順に押す

2 ◎で「アクションアイテム」を選択し、●を押す

- 「🔑」のみ表示されているアクションアイテムは、シークレット設定されています。確認方法を参照してください（☞下記の補足）。

3 ◎で確認するアクションアイテムを選択し、●を押す

▶アクションアイテムの詳細画面が表示されます。

- ◎を押すと、詳細画面の続きを見ることができます。

- アクションアイテム一覧画面には、アクションアイテムが終了日時の早い順に表示されます。また、終了日時が同じものは、登録した順に表示されます。
- 終了日時を過ぎたアクションアイテムは赤色で表示されます。
- 操作*2*の画面で ⌒ を押すと、選択しているアクションアイテムの「**消化**」、「**未消化**」を切り替えることができます。
- **シークレット設定されたアクションアイテムを確認する場合は…**
  操作*3*のあと、操作用暗証番号を入力します。
- 操作*2*の画面で Menu（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**編集／1件消去／全消去**
- **アクションアイテムの自動消去を設定する場合は…**
  アクションアイテムが最大登録数を超えたときに、消化済のアクションアイテムを古いものから自動的に消去するように設定できます。設定する場合は、操作*2*の画面で Menu（メニュー）を押したあと「**消去設定**」を選択し、●を押します。続いて「**自動消去**」を選択し、●を2回押します。

アクションアイテムの一覧表示内容を切り替える

アクションアイテムを一覧表示するときに表示する内容を以下から選択することができます。

項　目	内　容
全件表示	すべてのアクションアイテムが表示されます。
未消化のみ	未消化のアクションアイテムのみ表示されます。
消化済みのみ	消化済みのアクションアイテムのみ表示されます。

例 「**未消化のみ**」に設定する場合

1 次の操作で「表示切替」を呼び出す

① Menu ⊖の順に押す
② ◎で「**アクションアイテム**」を選択し、●を押す
③ Menu（メニュー）を押し、◎で「**表示切替**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「未消化のみ」を選択し、●を押す

▶未消化アクションアイテム一覧画面が表示されます。

プチメモを利用する

V302Tをメモ帳として利用することができます（最大20件）。登録した内容は文字入力や編集時に呼び出すことができます（☞3-2ページ）。また、メモの内容別にアイコンを設定をすることもできます。

■プチメモに登録する

1 文字/小文字 を押す

2 〇で「プチメモ」を選択し、●を押す

3 〇で登録する位置を選択し、●を押す

4 メモする内容を入力し、●を押す

▶プチメモが登録されます。

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角512文字、全角256文字です。

- 登録内容を編集する場合は、操作*2*の画面で登録したプチメモを選択したあと 〇（編集）を押します。
- 操作*2*の画面で Menu（メニュー）を押して、登録したプチメモの消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。

■メモの内容別にアイコンを設定する

例 「**仕事／授業**」に設定する場合

1 次の操作で設定するプチメモを呼び出す

① 文字/小文字 を押す
② 〇で「**プチメモ**」を選択し、●を押す
③ 〇で設定するプチメモ選択する

2 Menu（メニュー）を押す

3 〇で「カテゴリ設定」を選択し、●を押す

4 〇で「仕事／授業」を選択し、●を押す

▶アイコンが設定されます。

目覚ましを利用する F52

V302Tを目覚まし時計として利用することができます（最大7件）。

- この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞2-3ページ）を行ってください。

指定時刻 → アラーム鳴動 → アラーム停止

アラーム停止：（停止）、Power、Clear、0～9、＊、＃または サイドキーのいずれかを押す または約3分経過後

■設定できる項目について

時刻以外にも以下の項目を設定することができます。

項　目	内　容	設定方法
名称	名称を変更することができます。	☞10-29ページ
アラーム音	固定パターン／固定メロディ／データフォルダから選択できます。	☞10-30ページ
アラーム音量	レベル1～5／ステップアップ／ステップダウン／サイレントから選択できます。	☞10-30ページ
バイブレータ	パターン1～3／SMAF連動／OFFから選択できます。	☞10-30ページ
時刻読上げ	ON／OFFから選択できます。	☞10-30ページ
起動設定	1回のみ起動／毎日起動／月～金起動／指定曜日起動から選択できます。	☞10-31ページ
繰返し通知設定	あり／なし	☞10-31ページ

・繰返し通知設定を「あり」に設定すると、5分おきにアラームが鳴り続け（待受画面には「⏰」が表示されます）、12回通知したあとに自動的に停止します。途中で停止するには、（◎）（文字）の順に押します。アラーム音を「パターン5」に設定した場合は、繰り返しの回数によってアラーム音が変わります。
・時刻読上げを「ON」に設定すると、アラームが鳴ったあとに設定した時刻を音声でお知らせします。

■目覚ましの設定のしかた

目覚ましは、設定画面で時刻と起動設定を設定すると登録できる状態になります。それ以外の項目は必要に応じて設定してください。

1 （◎）（5）（2）の順に押す

2 （◇）で「目覚まし2」を選択し、（●）を押す

3 （◇）で「ON」を選択し、（●）を押す

▶目覚まし設定画面が表示されます。

目覚まし設定画面

4 （◇）で各項目を選択し、（●）を押す

- 時刻を設定する（☞下記）
- 名称を変更する（☞下記）
- アラーム音やバイブレータ、時刻読上げを設定する（☞10-30ページ）
- 起動設定を行う（☞10-31ページ）
- 繰返し通知設定を設定する（☞10-31ページ）

5 （完了）を押す

▶目覚ましが設定されます。待受画面には、「⏰」が表示されます。

時刻を設定する

例 起動時刻を「AM6：00」に設定する場合

1 目覚まし設定画面（☞上記）より、（◇）で「時刻」を選択し、（●）を押す

2 時刻を入力し、（●）を押す

▶時刻が設定されます。

- 時刻は、2桁（24時間制）で入力してください。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと起動設定を行ってから、（完了）を押してください。

名称を変更する

例 名称を「お仕事用」に変更する場合

1 目覚まし設定画面（☞上記）より、（◇）で「目覚まし2」を選択し、（●）を押す

2 名称を入力し、（●）を押す

▶名称が設定されます。

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定と起動設定を行ってから、（完了）を押してください。

10 便利な機能

アラーム音やバイブレータ、時刻読上げを設定する

例 アラーム音「**目覚まし**」、アラーム音量「**レベル4**」、バイブレータ「**パターン2**」、時刻読上げ「**OFF**」に設定する場合

1 **目覚まし設定画面（☞10-29ページ）より、⊙で「鳴動設定」を選択し、●を押す**

2 **⊙で「アラーム音」を選択し、●を押す**

3 **⊙で「固定メロディ」を選択し、●を押す**

- メロディを再生する場合は、⌒（確認）を押したあと、「**1周期再生**」または「**連続再生**」を選択し、●を押してください。
  停止する場合は、⌒（停止）を押します。

4 **⊙で「目覚まし」を選択し、●を押す**

5 **⊙で「アラーム音量」を選択し、●を押す**

- ⌒（確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

6 **⊙で「レベル4」を選択し、●を押す**

7 **⊙で「バイブレータ」を選択し、●を押す**

- 「**パターン1～3**」を選択したときは、選択したパターンでバイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、アラーム起動時にアラーム音で設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

8 **⊙で「パターン2」を選択し、●を押す**

9 **⊙で「時刻読上げ」を選択し、●を押す**

10 **⊙で「OFF」を選択し、●を押す**

11 **⌒（完了）を押す**

▶鳴動設定が完了します。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定と起動設定を行ってから、⌒（完了）を押してください。

操作**4**のメロディ確認時の音量は、アラーム音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーで設定されている目覚ましの音量で確認音が鳴ります。

起動設定を行う

例 起動設定を「**月～金起動**」に設定する場合

1 **目覚まし設定画面（☞10-29ページ）より、⊙で「起動設定」を選択し、●を押す**

2 **⊙で「月～金起動」を選択し、●を押す**

▶起動設定が設定されます。
- 曜日ごとに目覚ましを設定する場合は、⊙で「**指定曜日起動**」を選択し、●を押します。⊙で設定したい曜日を選択したあと⌒（チェック）を押してください。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定を行ってから、⌒（完了）を押してください。

繰返し通知設定を設定する

例 繰返し通知設定を「**なし**」に設定する場合

1 **目覚まし設定画面（☞10-29ページ）より、⊙で「繰返し通知あり」を選択し、●を押す**

2 **⊙で「なし」を選択し、●を押す**

▶繰返し通知設定が「**なし**」に設定されます。
- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと時刻の設定と起動設定を行ってから、⌒（完了）を押してください。

補足

- F機能、メモリダイヤル検索などの操作中でも、設定した時刻になると目覚ましが起動します。
- 通話中に設定した時刻になった場合、通話終了後に目覚ましが起動します。
- 電源が切れているときは、自動的に電源が入り、目覚ましが起動します。[自動電源ON]
- プチスケジュール、アクションアイテムと同じ時刻に設定されている場合は、目覚まし、プチスケジュール、アクションアイテムの順でお知らせします。
- マナーモード設定中に目覚ましが起動した場合の音量などは、マナーモード(☞5-6ページ)の設定に従います。
- 目覚まし起動中は、イルミネーション(お知らせランプ)(☞11-4ページ)が点滅します。

簡易電卓を利用する

V302Tを電卓として利用することができます。また、割り勘機能で、人数と総額を入力して1人当りの金額と不足額や差額を計算することができます。

■簡易電卓で計算する

1. Menu ◀○ の順に押す
2. ◇ で「電卓」を選択し、● を押す

3. ◇ で「簡易電卓」を選択し、● を押す
   ▶簡易電卓の画面が表示されます。

ボタン割り当て一覧表

ボタン	機　能	ボタン	機　能
0〜9	0〜9(数字を入力)	●	=(計算結果を表示)
▲	+(足し算)	Clear(1回)	C(クリア)※1
▼	−(引き算)	Clear(2回)	AC(オールクリア)※2
◀	×(掛け算)		AC(オールクリア)※2
▶	÷(割り算)	Power	EXIT(簡易電卓を終了)
＊	.(小数点)		

※1　入力した数字を消去します
※2　計算を取り消します

補足

- 計算エラーは「E」と表示されます。
- 小数点を含む引き算や割り算の計算結果の表示が10桁を超えている場合は、11桁目の表示を四捨五入した計算結果が表示されます。
- 小数は、最大で小数点以下9桁目まで表示されます。

■割り勘機能を利用する

例 3人で2,000円のうち、支払いの割合を50%、10%、40%にする場合

1 次の操作で「割り勘機能」を呼び出す

① Menu ◎の順に押す
② ◎で「**電卓**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**割り勘機能**」を選択する

2 ●を押す

人数設定
人数を⇕ｷｰで
変更してください
2人
戻る 決定

3 ◎で人数を設定し、（決定）を押す

- 人数を増やす場合は◎を押し、減らす場合は◎を押します。
- 最大6人設定することができます。

割合変更
支払いの
割合を⇕ｷｰで
変更してください
1 2 3
34 33 33
戻る 決定

4 ◎で各人の支払いの割合を変更し、（決定）を押す

- ◎でカーソルを移動し、◎で割合を変更します。

支払い確認
支払いは済んで
いますか？
未払い
支払済み
戻る 決定

5 ◎で「未払い」を選択し、（決定）を押す

- 立替え金額を精算する場合は◎で「**支払済み**」を選択します。

6 総額を入力し、（決定）を押す

▶割合に応じた精算額が表示されます。
- 最大6桁入力することができます。
- 不足額がある場合は画面左下に表示されます。

立替え金額を精算する

例 4人で2,000円のうち、1人が1,500円、1人が500円を立替え、負担の割合を均一にする場合

1 次の操作で「割り勘機能」を呼び出す

① Menu ◎の順に押す
② ◎で「**電卓**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**割り勘機能**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で人数を設定し、（決定）を押す

- 人数を増やす場合は◎を押し、減らす場合は◎を押します。
- 最大6人設定することができます。

4 （決定）を押す

支払い確認
支払いは済んで
いますか？
未払い
支払済み
戻る 決定

5 ◎で「支払済み」を選択し、（決定）を押す

立替金額入力
合計:¥ 0
1 ¥ 0
2 ¥ 0
3 ¥ 0
4 ¥ 0
戻る 決定

6 立て替え金額を入力する

- ◎でカーソル移動し、0～9で金額を入力します。
- 最大6桁入力することができます。

7 ◇（決定）を押す

▶精算額が表示されます。
- 端数がある場合は、画面左下に表示されます。

サブディスプレイを利用した便利な機能

V302Tを閉じた状態で、ストップウォッチ、キッチンタイマー、占い、ゲームの各機能（サブ液晶アプリ）をサブディスプレイで利用することができます。

■ストップウォッチを利用する

1秒モード（1秒単位で最長60分）または1／10秒モード（1／10秒単位で最長1分）で時間を計ることができます。

例 「**1／10秒モード**」を利用する場合

1 Menu ◎ の順に押す

2 ◎で「サブ液晶アプリ」を選択し、◉を押す

3 ◎で「ストップウォッチ」を選択し、◉を押す

4 ◎で「1／10秒モード」を選択し、◉を押す

5 V302Tを閉じる

▶サブディスプレイにストップウォッチが表示されます。
- ストップウォッチの操作方法は以下の通りです。
  - ・**下サイドキー**：スタート／ストップ／再スタート
  - ・**上サイドキー**：リセット

ストップウォッチを終了する場合は…
V302Tを開き、◇（終了）◉の順に押します。

■キッチンタイマーを利用する

設定時間が経過すると、アラーム音などでお知らせします。

1 次の操作で「キッチンタイマー」を呼び出す

① Menu ◯の順に押す
② ◯で「**サブ液晶アプリ**」を選択し、●を押す
③ ◯で「**キッチンタイマー**」を選択する

2 ●を押す

キッチンタイマー
タイマー起動時間を
10秒～60分の間で
設定してください
00分00秒
戻る

3 タイマー起動時間を入力し、◯（完了）を押す

● 10秒から60分まで設定できます。

4 V302Tを閉じる

▶サブディスプレイにキッチンタイマーが表示されます。
● キッチンタイマーの操作方法は以下の通りです。
・**下サイドキー**：スタート／ストップ／再スタート／アラーム停止
・**上サイドキー**：経過時間リセット

補足

● キッチンタイマーをスタートすると、設定時間経過後にアラーム音が約1分間鳴ります。アラーム音の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-22ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
● 残り時間（30分／20分／10分／5分／3分／1分）に応じて「○○**分前です**」と音声でお知らせします。最初にお知らせする残り時間は、設定時間によって異なります。ただし、設定時間が2分未満の場合はお知らせしません。
● キッチンタイマーをストップしている場合やアラーム音停止後にV302Tを開いて◯（変更）を押すと、設定時間を変更することができます。
● **キッチンタイマーを終了する場合は…**
V302Tを開き、◯（終了）●の順に押します。

■フォーチュンを利用する

おみくじなどをサブディスプレイで楽しむことができます。

項　目	内　容
おみくじ	おみくじの結果が表示されます。
今日の格言	格言が表示されます。
ケータイ占い	占いの結果が表示されます。
今日の運勢	運勢が表示されます。

例 今日の運勢を占う場合

1 次の操作で「フォーチュン」を呼び出す

① Menu ◯の順に押す
② ◯で「**サブ液晶アプリ**」を選択し、●を押す
③ ◯で「**フォーチュン**」を選択する

2 ●を押す

3 ◯で「今日の運勢」を選択し、●を押す

4 V302Tを閉じる

▶占い開始音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅してサブディスプレイに占いの結果が表示されます。

● 占い開始音の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-22ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
● **今日の運勢について…**
・この占いは、（株）メディア工房が四柱推命占いを基に、V302T用に企画・制作したものです。
・この占いは、運気のバロメーターをアイコンの数で表しています。
・この占いは、F46「オーナー登録」（☞11-12ページ）の「誕生日」で生年月日を登録していると、登録されている生年月日にあった占い結果が表示されます。
・この占いは、一般を対象にしているものであり、一個人を指しているものではありませんので占い結果に対しての責任は負いかねます。

■ミニゲームを利用する

ゲームなどをサブディスプレイで楽しむことができます。

項　目	内　容
じゃんけん	じゃんけんゲームが起動します。
スロット風ゲーム	スロット風ゲームが起動します。
サイコロ（1コ）	サイコロ（1コ）が起動します。
サイコロ（丁半）	サイコロ（丁半）が起動します。

例 「**スロット風ゲーム**」を利用する場合

1 次の操作で「ミニゲーム」を呼び出す

① Menu ◎の順に押す

② ◎で「**サブ液晶アプリ**」を選択し、●を押す

③ ◎で「**ミニゲーム**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「スロット風ゲーム」を選択し、●を押す

4 V302Tを閉じる

▶サブディスプレイにスロット風ゲームが表示されます。

● スロット風ゲームの操作方法は以下の通りです。
・**下サイドキー**：スタート／スロット停止
・**上サイドキー**：終了

● 「じゃんけん」「サイコロ（1コ）」「サイコロ（丁半）」を利用する場合は…
操作*2*の画面で、利用したいゲームを選択し、●を押します。続けてV302Tを閉じます。操作方法は以下の通りです。
・**下サイドキー**：スタート
・**上サイドキー**：終了

● ゲームの音量は、F14「サウンド音量」（☞5-22ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-6ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

ペンライト機能を利用する

V302Tのモバイルフラッシュ（☞1-3ページ）をライトとして使うことができます。

1 下サイドキーをすばやく連続で2回押す

▶モバイルフラッシュが約10秒間、点灯します。

● 点灯中に上サイドキーを押すと消灯します。

● モバイルフラッシュの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。視力障害の原因となります。また、発光方向を確認してから下サイドキーを押してください。

● 以下の場合、ライトは点灯しません。
・ダイヤル操作禁止中（☞6-2ページ）
・サイドキー誤動作防止中（☞6-16ページ）
・キッチンタイマー起動中（☞10-38ページ）
・ストップウォッチ起動中（☞10-37ページ）
・フォーチュン起動中（☞10-39ページ）
・ミニゲーム起動中（☞10-40ページ）
・カメラ起動中（☞8-4ページ）
・ゲーム起動中（一時停止中を除く）（☞11-18ページ）
・サブディスプレイで受信メールのメッセージを確認中（☞Vodafone live!編）
・サブディスプレイに「**メール未読**」、「**配信レポート**」を表示中（☞Vodafone live!編）
・現在の時刻を音声でお知らせ中（☞11-37ページ）

● 2回すばやく（約0.3秒以内）押さないと点灯しないことがあります。

● 点灯中に下サイドキーを押すたびに、約10秒ずつ点灯時間が延長されます。

● 電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、モバイルフラッシュを自動的にOFFにします。

● 点灯中に、着信やメール、ウェブなどの受信があった場合、消灯します。また、プチスケジュール、アクションアイテムのアラーム設定（☞10-5ページ、10-22ページ）、お知らせ君（☞10-12ページ）、目覚まし（☞10-28ページ）のタイムアップ時にも消灯します。

その他の機能

お知らせ一発メニューを利用する

かかってきた電話がとれなかった場合や、未読メールがあったときなど未確認の情報をお知らせする機能です。未確認の情報があると待受画面でお知らせ一発メニューが表示されます。

例 未確認の着信履歴を確認する場合

1 着信が停止

▶お知らせ一発メニューが表示されます。
- お知らせ設定（☞11-3ページ）を「OFF」に設定している場合は、●を押してください。

2 ◎で「着信あり」を選択し、●を押す

▶着信履歴の画面が表示され、電話をかけてきた相手を確認することができます。

- 待受画面に戻っても未確認の内容がある場合は●を押してお知らせ一発メニューを表示させることができます。
- 複数の未確認項目があるときは◎で項目を選択し、●を押してください。
- お知らせ一発メニューの表示内容については、以下のようになります。

表　示	内　容	参照ページ
メール未読	未読のメールがあることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
配信レポート	未読の配信レポートがあることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
ウェブ未読	未読のメッセージ（自動配信）があることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
ステーション新着	新着の情報があることをお知らせします。	☞Vodafone live!編
センター留守録あり	留守番電話センターに未確認のメッセージがあることをお知らせします。	☞12-5ページ
簡易留守録	簡易留守録に未確認のメッセージがあることをお知らせします。	☞11-14ページ
着信あり	電話がかかってきていたことをお知らせします。	☞2-18ページ
サーバー未読あり	メールリストに取得したメッセージがあることをお知らせします。	☞Vodafone live!編

お知らせ設定を行う

お知らせ一発メニュー（☞11-2ページ）を自動で表示させることができます。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

例 設定を解除する場合

1 Menu ◎の順に押す

2 ◎で「表示設定」を選択し、●を押す

3 ◎で「お知らせ設定」を選択し、●を押す

4 ◎で「OFF」を選択し、●を押す

▶お知らせ設定が解除されます。
- 自動で表示させる場合は、「ON」を選択します。

「OFF」に設定した場合でも、未確認の内容がある場合は、待受画面で●を押すと、お知らせ一発メニューが表示されます。

11 その他の機能

イルミネーション(お知らせランプ)を設定する

背面のイルミネーション(お知らせランプ)の各種設定を行います。

■お知らせカラーを設定する

未確認の情報(下表)がある場合に点滅するイルミネーション(お知らせランプ)の色を3色から選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時は電話着信「**カラー1**」、メール着信「**カラー2**」、ウェブ/ステーション着信「**カラー3**」に設定されています。

項目	内容
電話	かかってきた電話に出られなかった場合や未確認のセンター留守録、簡易留守録があるときに点滅します。
メール	未読のメールがあるときに点滅します。
ウェブ/ステーション	未読のウェブや新着のステーションがあるときに点滅します。

例 電話を「**カラー3**」に設定する場合

1 Menu ◎の順に押す

2 ◎で「イルミネーション」を選択し、●を押す

3 ◎で「お知らせカラー」を選択し、●を押す

4 ◎で「電話」を選択し、●を押す

- 「**メール**」、「**ウェブ/ステーション**」を設定する場合は、◎で選択します。
- 背面のイルミネーション(お知らせランプ)が、選択している色で点灯します。

5 ◎で「カラー3」を選択し、●を押す

▶お知らせカラーが設定されます。

重要 イルミネーションを点滅させている場合、電池の消費は大きくなり、通話時間、待受時間が短くなります。

補足
- 未確認の内容を確認すると、イルミネーションの点滅は終了します。
- イルミネーションの点滅間隔は約2秒ですが、点滅開始から約6時間経過すると約10秒になります。
- カメラを使用している場合、お知らせカラーは動作しません。

■着信/通話中イルミネーションを設定する

着信時や通話中に点滅するイルミネーション(お知らせランプ)の点滅パターンを選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時は、着信イルミネーションの電話が「**カラー1**」「**パターン1**」、メールが「**カラー1**」「**パターン2**」、ウェブ/ステーションが「**カラー1**」「**パターン3**」、通話中イルミネーションが「**OFF**」に設定されています。
着信イルミネーションは以下の項目を設定できます。

項目	内容
電話	電話がかかってきたときのパターンを選択します。
メール	メールを受信したときのパターンを選択します。
ウェブ/ステーション	ウェブやステーションを受信したときのパターンを選択します。

例 通話中のイルミネーションをカラー「**カラー2**」、パターン「**パターン3**」に設定する場合

1 次の操作で「通話中イルミ」を呼び出す

① Menu ◎の順に押す
② ◎で「**イルミネーション**」を選択し、●を押す
③ ◎で「**通話中イルミ**」を選択する

2 ●を押す

3 V302Tを閉じて、下サイドキーを押す

▶サブディスプレイにイルミネーション選択画面が表示されます。
- イルミネーション(お知らせランプ)を確認しながら操作します。操作方法は以下の通りです。
  - ・**上サイドキー**:点滅する色を選択します。押すごとに点滅色が変わります。
  - ・**下サイドキー**:点滅するパターンを選択します。押すごとに点滅パターンが変わります。

4 上サイドキーを押して「カラー2」、下サイドキーを押して「パターン3」をそれぞれ選択する

11 その他の機能

5 **V302Tを開き、(完了)を押す**

▶通話中イルミネーションが設定されます。

- 着信イルミネーションを設定する場合は、操作*1*で「**着信イルミ**」を選択し、●○の順に押して設定する項目を選択してください。
- 着信イルミネーションを設定しても、メモリダイヤルのオプション設定（☞4-7ページ）で着信イルミネーションを設定している場合は、メモリダイヤルの設定が優先されます。
- 着信イルミネーションを設定しても、F37「グループ設定」（☞4-15ページ）で着信イルミネーションを設定している場合は、グループ設定の設定が優先されます。
- 着信イルミネーションの「**電話**」を「**OFF**」に設定すると、メモリダイヤルのオプション設定やF37「グループ設定」の設定は無効となり、電話着信時にイルミネーションは点滅しません。
- 「**SMAF連動**」に設定すると、着信時や受信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でイルミネーションが点滅するメロディファイルのみ）に連動してイルミネーションが点滅します。

■オープン／クローズイルミネーションを設定する

V302Tを開閉したときに点滅するイルミネーション（お知らせランプ）の点滅パターンを設定することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 オープンイルミネーションをカラー「**カラー2**」、パターン「**パターン5**」に設定する場合

1 **次の操作で「オープンイルミ」を呼び出す**

① Menu ○の順に押す
② ○で「**イルミネーション**」を選択し、●を押す
③ ○で「**オープンイルミ**」を選択する

2 **●を押す**

3 **V302Tを閉じて、下サイドキーを押す**

［ カラー1 ］
［ パターン1 ］
カラー選択
パターン選択

▶サブディスプレイにイルミネーション選択画面が表示されます。

- イルミネーション（お知らせランプ）を確認しながら操作します。操作方法は以下の通りです。
  - ・**上サイドキー**：点滅する色を選択します。押すごとに点滅色が変わります。
  - ・**下サイドキー**：点滅するパターンを選択します。押すごとに点滅パターンが変わります。
- 「**時間で変わる**」に設定すると、時間帯によって点滅パターンが変化します。

4 **上サイドキーを押して「カラー2」、下サイドキーを押して「パターン5」をそれぞれ選択する**

5 **V302Tを開き、(完了)を押す**

▶オープンイルミネーションが設定されます。

■ルームライトを設定する

充電中にイルミネーション（お知らせランプ）を点灯させ、V302Tをルームライトとして利用することができます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

- **この機能は、充電中のみご利用になれます。**

例 ルームライトを「**パターン2**」に設定する場合

1 **次の操作で「ルームライト」を呼び出す**

① Menu ○の順に押す
② ○で「**イルミネーション**」を選択し、●を押す
③ ○で「**ルームライト**」を選択する

2 **●を2回押す**

3 **○で「パターン2」を選択し、●を押す**

▶ルームライトが設定されます。

V302Tをルームライトとして利用している場合、充電が完了するまでの時間が長くなります。

- 点灯開始から約8時間経過すると、自動的に消灯します。
- ルームライトを利用中に着信があった場合は、「**着信イルミネーション**」（☞11-5ページ）が優先されます。また、未確認の情報がある場合は「**お知らせカラー**」（☞11-4ページ）が優先されます。
- ペンライト機能（☞10-41ページ）を利用している場合は、ルームライトは点灯しません。

ショートカットメニューを利用する

よく使う機能をショートカットメニューに登録して簡単な操作で呼び出すことができます。

■ショートカットメニューに登録する

V302Tの機能を最大40件登録することができます。また、登録した機能の名称やアイコンを変更することもできます。
ショートカットメニューには、あらかじめ「**プチスケジュール**」、「**スカイメール**」、「**ロングメール**」、「**受信メール**」、「**簡易電卓**」が登録されています。

例 プチメモを登録し、名称「**プチメモ**」、アイコン「📝」に変更する場合

1 **登録する機能を呼び出す**

● プチメモの呼び出し方については10-26ページを参照してください。

2 **(ショートカット/シンプル)を押す**

▶ショートカットメニューの画面が表示されます。
● 呼び出した機能が登録できない場合、「登録」は表示されません。

3 **(登録)を押す**

▶プチメモが、名称「**名称なし**」、アイコン「↗」で登録されます。

4 **Menu(メニュー)を押す**

5 **(↕)で「名称編集」を選択し、(●)を押す**

6 **名称を修正し、(●)を押す**

▶名称が修正されます。
● 文字の入力方法については3章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

7 **Menu(メニュー)を押す**

8 **(↕)で「アイコン変更」を選択し、(●)を押す**

9 **(✥)で「📝」のアイコンを選択し、(●)を押す**

▶アイコンが変更されます。

● すでに機能を40件登録している場合は、上書きの操作が必要となります。上書きする場合は操作*3*のあと「YES」を選択し、(●)を押します。続いて(✥)を押して上書きする機能を選択し、(●)を押します。
● あらかじめ登録されている「**プチスケジュール**」、「**スカイメール**」、「**ロングメール**」、「**受信メール**」、「**簡易電卓**」は、名称の編集、アイコンの変更、上書きを行うことはできません。

■ショートカットメニューから機能を呼び出す

例 「**簡易電卓**」を呼び出す場合

1 (ショートカット/シンプル)を押す

2 (十字キー)で「(アイコン)」(簡易電卓)を選択し、(●)を押す

▶呼び出した機能の操作画面に移ります。

すでに複数の機能を起動している状態で、さらに他の機能を呼び出そうとした場合は「**前の操作を終了してから起動してください**」と表示されます。

操作*1*の画面で(Menu)(メニュー)を押して、ショートカットメニューの消去(**1件消去**/**全件消去**)の操作を行うことができます。
あらかじめ登録されている「**プチスケジュール**」、「**スカイメール**」、「**ロングメール**」、「**受信メール**」、「**簡易電卓**」は消去できません。

■ショートカットメニューの配置を変更する

ショートカットメニュー内の機能(アイコン)の位置を移動することができます。

例 「**簡易電卓**」の配置を変更する場合

1 (ショートカット/シンプル)(Menu)(メニュー)の順に押す

2 「アイコン移動」を選択し、(●)を押す

3 (十字キー)で「(アイコン)」(簡易電卓)を選択し、(●)を押す

4 (十字キー)を押す

アイコンを移動したい位置を選択します。

5 (●)を押す

▶アイコンが、選択したアイコンの前に移動されます。

オーナー登録を行う F46

ご自分のプロフィールを登録することができます。
名前とEメールは、F0「自局電話番号表示」(☞2-22ページ)の操作時に表示されます。
オーナー登録では、以下の項目を登録することができます。

・名前(最大で半角24文字、全角12文字)
・誕生日
・郵便番号(最大7桁)
・住所(最大で半角128文字、全角64文字)
・自宅電話番号(最大24桁)
・Eメールアドレス(英数字と一部の記号のみ最大60文字)

必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

例 名前を設定する場合

1 ○-④⑥の順に押す

2 ◎で「名前」を選択し、●を押す

3 名前を入力し、●を押す

▶名前が設定されます。
● 文字の入力方法については3章を参照してください。
● その他の項目を設定する場合は、◎を押して登録したい項目を選択し、操作*2*～*3*と同様に操作を行ってください。

4 ⌂(完了)

▶プロフィールが登録されます。

定型文を利用する

あらかじめ、よく使う名前やメッセージなどを登録して、文字入力や編集時に定型文として利用することができます(最大20件)。

● **メールのメッセージ入力時に使用するメール定型文(☞Vodafone live!編)とは異なります。**

■定型文を登録する

1 (文字/小文字)を押す

2 ◎で「定型文」を選択し、●を押す

3 ◎で登録する位置を選択し、●を押す

4 文字を入力し、●を押す

▶定型文が登録されます。
● 文字の入力方法については3章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角64文字、全角32文字です。

● 登録内容を編集する場合は、操作*2*の画面で登録した定型文を選択したあと⌂(編集)を押します。
● 操作*2*の画面で⌂(メニュー)を押して、登録した定型文の消去(**1件消去**／**全件消去**)の操作を行うことができます。

11 その他の機能

かかってきた電話を簡易留守録で受ける メモ長押し

電話に出られない場合、V302Tに相手のメッセージを録音することができます。録音は、音声メモ（☞2-14ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

- **圏外時などに留守番電話センターがメッセージをお預かりする、留守番電話サービス（☞12-5ページ）とは異なります。**

■簡易留守録を設定する

1 待受中に、上サイドキーを押す（約1秒以上）

▶簡易留守録が設定されます。

- 待受画面に「」が表示されます。

- 電源OFFの場合や圏外にいる場合、オフラインモード設定している場合、また着信禁止を設定している場合は、メッセージをお預かりできません。
- マナーモード（オリジナルマナー）設定中は、オリジナルマナーの簡易留守録設定（☞5-7ページ）が優先されます。マナーモード（オリジナルマナー）設定中に簡易留守録の設定／解除を行う場合は、オリジナルマナーの簡易留守録設定を変更してください。

- 録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満の場合は「」が表示されます。
- 簡易留守録が設定されていなくても、着信音が鳴っているときに上サイドキー（メモ）を長く（約1秒以上）押す、または（留守録）を押すと簡易留守録が設定されます。
- **メニューから簡易留守録を設定するには…**
  メニューからの操作で簡易留守録を設定することができます。設定する場合は、4 2の順に押し、で「**留守録設定**」を選択し、を押します。続いてで「**ON**」を選択し、を押します。
- 簡易留守録を設定すると、着信時に電話に出られない旨の応答メッセージが流れます。F35「言語選択」（☞7-23ページ）を「**English**」や「**Português**」に設定した場合は、英語またはポルトガル語の応答メッセージも流れます。

簡易留守録設定中に電話がかかってくると

1 着信音が鳴る

2 応答時間経過後、応答メッセージが流れる

3 相手のメッセージを録音

▶「ピーッ」という音のあと、相手の声を録音します。録音中は、レシーバーから相手の声が聞こえます。

4 録音終了

▶相手が電話を切るか、約90秒経過すると録音は終了し、「」が表示されます。

- お知らせ設定が「ON」の場合は、お知らせ一発メニュー（☞11-2ページ）が表示されます。
- 録音されたメッセージを再生するには、2-15ページを参照してください。

録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「」の表示が消えるまで消去（☞2-15ページ）してください。

補足

- 自動着信（☞11-25ページ）が設定されていても、簡易留守録の応答が優先されます。ただし、録音が一杯になっているときは、自動着信が起動します。
- 応答メッセージ再生中およびメッセージの録音中に（応答）、、0～9、＊、＃のいずれかのボタンを押すと、相手と通話することができます。この場合、録音中のメッセージは無効になります。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記録されています。
- メッセージ録音中に（スピーカー）を押すと、録音中のメッセージを背面スピーカーで聞くことができます。

■簡易留守録を解除する

 簡易留守録設定中に、待受画面で上サイドキーを押す（約1秒以上）

▶簡易留守録が解除されます。

補足
- 録音された内容は、設定を解除しても記憶されています。
- **メニューから簡易留守録を解除するには…**
  メニューからの操作で簡易留守録を解除することができます。解除する場合は、○ 4 2 の順に押し、◇で「**留守録設定**」を選択し、●を押します。
  続いて◇で「**OFF**」を選択し、●を押します。

■応答時間を変更する F42

簡易留守録に接続するまでの応答時間を、変更することができます。

例 「**24秒**」に設定する場合

1 **○ 4 2 の順に押す**

2 **◇で「応答時間設定」を選択し、●を押す**

3 **◇で「24秒」を選択し、●を押す**

▶応答時間が設定されます。

補足
- 簡易留守録と留守番電話サービス（☞12-5ページ）の両方を設定した場合には、応答時間の短い方を優先してメッセージをお預かりします。
- 簡易留守録と留守番電話サービスの応答時間が同じに設定されている場合は、留守番電話サービスが優先してメッセージをお預かりします。

■録音件数を確認する F40

簡易留守録や音声メモの録音件数を確認することができます。

例 留守録メッセージと音声メッセージが1件ずつ録音されている場合

 ○ 4 0 の順に押す

▶現在の録音件数が表示されます。
待受画面に戻るときは、Powerを押してください。

補足
簡易留守録の再生のしかたは、簡易留守録や音声メモを再生する（☞2-15ページ）を参照してください。

11 その他の機能

ゲームで遊ぶ

V302Tでゲーム「究極ハリキリスタジアム」「FLIPULL」を楽しむことができます。

■ゲームを起動する

例 「**究極ハリキリスタジアム**」を起動する場合

1 **Menu ◎の順に押す**

2 **◎で「ゲーム」を選択し、●を押す**

▶ゲーム選択画面が表示されます。

©TAITO CORP. 1978, 2003
ゲーム選択画面

3 **◎で「究極ハリキリスタジアム」を選択し、●を押す**

▶ゲームのタイトル画面が表示されます。
以降は画面に従って操作してください。

- ゲーム起動中の音量は、F14「サウンド音量」(☞5-22ページ)の設定に従います。また、マナーモード設定中は、マナーモードの設定に従います。
- 電話などの着信によりゲームが中断された場合でも、ゲームの内容は記憶されています。通話終了後にゲーム中の画面に戻ります。

■ゲーム起動中の画面表示などを変更する

パネル照明を設定する

ゲーム実行中のディスプレイやボタン部分の照明設定を行うことができます。
お買い上げ時は「**通常動作**」に設定されています

項　目	内　容
常時ON	常にパネル照明が点灯します。
常時OFF	常にパネル照明が消灯します。
通常動作	F34「パネル照明」の「点灯時間」設定に従います(☞7-2ページ)。

例 「**常時ON**」に設定する場合

1 **ゲーム選択画面(☞11-18ページ)より、◇(［設定］)を押す**

▶ゲーム設定画面が表示されます。

2 **◎で「パネル照明」を選択し、●を押す**

3 **◎で「常時ON」を選択し、●を押す**

▶パネル照明が設定されます。

ゲームの記録内容をリセットする

ゲーム中に記録されたスコアや途中経過をリセットすることができます。「究極ハリキリスタジアム」、「FLIPULL」別々にリセットすることができます。

例 究極ハリキリスタジアムの途中経過をリセットする場合

1 ゲーム選択画面（☞11-18ページ）より、（設定）を押す

▶ゲーム設定画面が表示されます。

2 で「セーブデータリセット」を選択し、●を押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号を入力する

● 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

4 で「究極ハリキリスタジアム」を選択し、●を押す

5 で「YES」を選択し、●を押す

▶究極ハリキリスタジアムの途中経過がリセットされます。

プッシュトーンを送る

プッシュトーンを送って自動音声応答サービスなど各種のプッシュホンサービスをご利用になれます。

■プッシュトーンをひとつずつ送る

1 通話中にダイヤルボタンを押す

▶押されたボタンのプッシュトーンが送出されます。

● 以下の数字と記号を送ることができます。

0〜9 ＊ #

■プッシュトーンを一括して送る

プッシュトーンで送りたい内容をあらかじめメモリダイヤル（☞4-2ページ）に登録しておき、プッシュホンサービス等で利用の際、一括して送ることができます。ポケットベルに送るときなどに便利です。[プッシュトーン一括送出]

1 相手とつながったあと、を押して送りたいプッシュトーンが登録されたメモリダイヤルを呼び出す

● メモリダイヤルの呼び出し方については、4-20〜26ページを参照してください。

2 を押す

3 で「PB音一括送出」を選択し、●を押す

▶プッシュトーンが送出されます。

● 一度に送出できるプッシュトーンは、最大24桁です。

補足

● リダイヤル（☞2-5ページ）、着信履歴（☞2-18ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-17ページ）などから番号を呼び出して送ることもできます。

● メモリダイヤルに登録されている「-」、「／」、「・」は送出されません。

■リンクダイヤルを使ってプッシュトーンを送る

ポーズ「・」を利用するとプッシュトーンを「・」ごとに区切って順番に送出することができます。ご自宅の電話機の遠隔操作番号など複数のプッシュトーンをまとめてメモリダイヤルに登録すると便利です。

メモリダイヤルにリンクダイヤルを登録する

例 電話番号　　　　　　　　：「03-123X-XXX3」
留守番電話の暗証番号　　：「#7777」
留守番電話の再生操作番号：「#1」
メモリダイヤルの電話番号には、以下のように登録します。
「03123XXXX3・#7777・#1」

ポーズ「・」を入力するときは電話番号入力時に（文字/小文字キー）を3回（2つ目以降は2回）押します。

● **メモリダイヤルの登録方法については、4-2ページを参照してください。**

リンクダイヤルで電話をかける

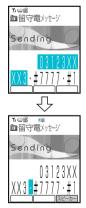
例 上記の内容で登録したリンクダイヤルを利用する場合

1 メモリダイヤルを呼び出す

● メモリダイヤルの呼び出し方については4-20～26ページを参照してください。
● 右の画面は、メモリ番号003にリンクダイヤルを登録した場合です。

2 を押す

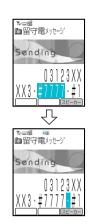
初めに登録してある番号にダイヤルします。

▶電話がつながると、画面に「」が表示されます。

3 の順に押す

▶登録されている番号が送出されます。

▶番号が送出されると、画面に「」が表示されます。

4 の順に押す

▶登録されている番号が送出されます。

ガイドを利用する F30

機能の操作方法をディスプレイで確認できます。

1 ○ 3 0 の順に押す

2 ◎を押す

▶操作方法が確認できます。

● ディスプレイの表示内容について

● ガイド表示には以下の種類があります。

- ・ノートパッドメモリ
- ・録音メモ再生
- ・マナーモード設定/解除
- ・Vodafone live!
- ・メール
- ・リダイヤル
- ・クローズ時のサイドキー誤動作防止
- ・留守番転送
- ・簡易留守録設定/解除
- ・タイムアップ分停止
- ・着信履歴
- ・受話音量調節
- ・スピードダイヤル
- ・カメラ
- ・プチスケジュール
- ・ショートカットメニュー

自動で電話に応答する F32

別売のスイッチ付イヤホンマイク接続時に、ボタン操作をせずに電話に応答することができます。応答時間は1～29秒の間で変更することができます。[自動着信]
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 ○ 3 2 の順に押す

2 ◎で「ON」を選択し、●を押す

3 応答時間を入力し、●を押す

▶自動着信が設定されます。

● 秒数は、2桁で入力してください。

● 自動着信と簡易留守録（☞11-14ページ）を設定している場合は、簡易留守録の設定が優先されます。ただし、簡易留守録や音声メモの録音が一杯の場合は、自動着信が起動します。

● 自動着信と留守番電話サービス（☞12-5ページ）を設定している場合は、応答時間の短い方が優先されます。応答時間が同じに設定されている場合には、自動着信を優先します。

電池の消費を抑える F33

待受中に無操作の状態で設定時間が経過したときや、操作中に無操作の状態で約4分経過したときにディスプレイの表示を消して、電池の消費を抑えることができます。[ディスプレイ省電力]
また、通話中の消費電力を減らして電池の消費を抑えることができます。[通話中節電]

■ディスプレイ省電力を設定する

ディスプレイの表示が消えるまでの時間を設定することができます。
お買い上げ時は待受中「**1分**」、ボタン操作中「**ON**」に設定されています。

例 待受中を「**5分**」に設定する場合

1 **○- 3 3の順に押す**

2 **◎で「ディスプレイ省電力」を選択し、●を押す**

3 **◎で「待受中」を選択し、●を押す**

4 **◎で「5分」を選択し、●を押す**

▶ディスプレイ省電力が設定されます。

お知らせ一発メニュー（☞11-2ページ）表示中は、ボタン操作中の設定に従います。

■通話中節電を設定する

通話中の消費電力を減らします。
お買い上げ時は「**ON**」に設定されています。

例 「**OFF**（解除）」に設定する場合

1 **次の操作で「通話中節電」を呼び出す**

① ○- 3 3の順に押す
② ◎で「**通話中節電**」を選択する

2 **●を押す**

3 **◎で「OFF」を選択し、●を押す**

▶通話中節電が「**OFF**」に設定されます。

通話中節電を設定すると、こちらの話し始めの声が相手に聞こえにくくなることがあります。

オープン通話を設定する F36

電話がかかってきたときにV302Tを開くだけで応答することができます。
お買い上げ時は「**応答しない**」に設定されています。

例 「**応答する**」に設定する場合

1 **○-（3 さ DEF）（6 は MNO）の順に押す**

2 **（◇）で「応答する」を選択し、（●）を押す**

▶オープン通話が設定されます。

通話品質アラームを設定する F38

通話中に電波状態が悪くなった場合、通話が切れる前にアラーム音でお知らせします。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 「**ON**」に設定する場合

1 **○-（3 さ DEF）（8 や TUV）の順に押す**

2 **（◇）で「ON」を選択し、（●）を押す**

▶通話品質アラームが設定されます。

- アラーム音は相手には聞こえません。
- 通話中に電波状態が急激に悪くなると、アラーム音が鳴らずに通話が切れる場合があります。

11 その他の機能

11 その他の機能

184／186付加を設定する F79

電話をかけるとき、自動的に184または186を付加して番号をダイヤルし、お客様の電話番号を相手に通知しない、または通知するように設定することができます。

■184／186を自動的に付加する

お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 「**186**」を設定する場合

1 **の順に押す**

2 **で「184／186付加」を選択し、●を押す**

3 **で「186」を選択し、●を押す**

▶184／186付加が設定されます。

- 186を付加すると、発信者番号通知サービスのお申し込みに関係なく、相手にお客様の電話番号が常に通知されます。
  また、184を付加すると、お申し込みに関係なく、相手にはお客様の電話番号が一切通知されません。「**OFF**」に設定するとお申し込みいただいた設定になります。
- 184または186を付けて電話をかけたり、登録したメモリダイヤルで電話をかけた場合は、その184または186を優先します。
  例えば「18403123XXXX1」を登録したメモリダイヤルで電話をかけると、本機能を「**186**」に設定しても、相手にはお客様の電話番号が通知されません。
- 「**184**」を設定しても、メール送信時（☞Vodafone live!編）は無効となり、相手にはお客様の電話番号が通知されます。

リダイヤルや着信履歴などから呼び出してかけた場合も、184または186は付加されます。

■不在着信履歴へ184を付加する

不在着信履歴（☞2-18ページ）から、メモリダイヤルに登録されていない電話番号を選択して電話をかける場合、お客様の電話番号を相手に通知しない（184付加）ように設定することができます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

例 「**ON**」に設定する場合

1 **次の操作で「不在184付加」を呼び出す**

① ○ 7 9の順に押す
② で「**不在184付加**」を選択する

2 **●を押す**

3 **で「ON」を選択し、●を押す**

▶不在184付加が設定されます。

不在184付加を「**ON**」に設定した場合は、184／186付加（☞11-30ページ）を「**186**」や「**OFF**」に設定していても、メモリダイヤルに登録のない不在着信履歴への発信時に184が付加されます。

国際電話サービスを利用する

国際電話をかけるとき、相手先の国番号＋市外局番＋電話番号を入力したあとで、国際ショートコード（ボーダフォンの国際電話専用ダイヤル「0046」＋「010」）を追加して簡単に電話をかけることができます。この機能は、メモリダイヤルや着信履歴、リダイヤルなどから電話をかけるときにもご利用できます。また、追加する国際ショートコードを変更することもできます。
お買い上げ時は「0046010」に設定されています。

- **国際電話サービスをご利用になるには、あらかじめお申し込みが必要となります。国際電話サービスについて、詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。**

■電話番号に国際ショートコードを付加する

- **国際電話をかける場合の国番号や市外局番などのダイヤルのしかたについては、ボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。**

例 直接入力した電話番号に付加する場合

1 電話番号をダイヤルする

2 （国際）を押す

3 で「YES」を選択し、●を押す

▶電話番号の先頭に「0046010」が付加されます。

4 電話番号を確認し、（発信）を押す

重要 メモリダイヤルから国際ショートコードを利用して国際電話をかける場合、相手先の国番号、市外局番、電話番号がメモリダイヤルに登録されている必要があります。詳しくはボーダフォンサービスガイドブックを参照してください。

補足 メモリダイヤル、着信履歴、リダイヤルから発信する際、登録または記録されている番号の先頭に国際ショートコードが含まれている場合は、操作*2*、*3*の操作を行うことはできません。

■国際ショートコードを変更する　F77

例 「7654321」に変更する場合

1 ○・7・7の順に押す

▶操作用暗証番号の入力画面になります。

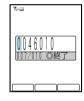
2 操作用暗証番号を入力する

- 間違った操作用暗証番号を入力すると、待受画面に戻ります。

3 （編集）を押す

4 新しい国際ショートコードを入力し、●を押す

▶国際ショートコードが変更されます。

- 最大10桁入力することができます。

補足 操作*2*の画面で（メニュー）を押して、国際ショートコードをお買い上げ時の設定に戻す（**初期化**）操作を行うことができます。

FAX／パソコン通信を利用する

モデムカード（オプション品）を接続して、FAX／パソコン通信を行うことができます。

FAX通信／パソコン通信の方法、モデムカードの接続方法については、モデムカードの取扱説明書を参照してください。

通信中の画面は以下のようになります。

FAX通信中	パソコン通信中（通信速度が2400bps）	パソコン通信中（通信速度が9600bps）		
FAX通信 通話時間 1分00秒	パソコン通信 通話時間 1分00秒	ASYNC 通話時間 1分00秒	⇨	V.42bis 通話時間 1分00秒

（V.42bisの場合）

電波の状態が悪い場所や、移動しながらFAX通信やパソコン通信を行うと、データが途中で切れたり、データが正常に送れない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクを使う

別売のスイッチ付イヤホンマイク接続時に、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話をかけたり、受けたりすることができます。

■ワンタッチで電話をかける

スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、メモリダイヤル（☞4-2ページ）のメモリ番号000に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

また、V302Tを閉じたままでも電話をかけることができます。

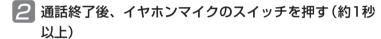
- **あらかじめ、イヤホンマイク端子（☞1-3ページ）にスイッチ付イヤホンマイクを接続してください。**

1 イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、メモリ番号000に登録されている番号に電話がかかります。

相手につながると通話できます。

- 発信中にスイッチを長く押す（約1秒以上）と、イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

2 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

- [Power]を押しても電話が切れます。

シンプルモード（☞11-38ページ）時は、イヤホンマイクのスイッチを押して電話をかけることはできません。

- メモリ使用禁止（☞6-4ページ）が設定されている場合は、操作1のあとイヤホンから「ピピピッ」と音が鳴り、待受画面に戻ります。設定を解除してから操作を行ってください。
- メモリダイヤルのメモリ番号000に電話番号が登録されていない場合は、操作1のあとでイヤホンから「ピピピッ」と音が鳴り、待受画面に戻ります。
- メモリ番号000をシークレットメモリに登録している場合は、シークレットモードを「ON」にしてから（☞4-13ページ）操作を行ってください。
- 割込通話中（☞12-9ページ）、切り替え通話中（☞12-11ページ）は、スイッチを長く押す（約1秒以上）たびに通話の相手が切り替わります。

■ワンタッチで電話を受ける

スイッチ付イヤホンマイクを接続中に電話がかかってきた場合、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話に出ることができます。
また、V302Tを閉じたままでも電話に出ることができます。

- **あらかじめ、イヤホンマイク端子(☞1-3ページ)にスイッチ付イヤホンマイクを接続してください。**

1 電話がかかってくる

▶着信音が鳴り、イルミネーション(お知らせランプ)が点滅します。
- イヤホンからも着信音が鳴ります。

2 イヤホンマイクのスイッチを押す(約1秒以上)

▶イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、電話がつながります。

3 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す(約1秒以上)

▶イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。
- (Power)を押しても電話が切れます。

シンプルモード(☞11-38ページ)時は、イヤホンマイクのスイッチを押して電話を受けることはできません。

- 応答保留中(☞2-9ページ)、簡易留守録(☞11-14ページ)で応答中にスイッチを長く(約1秒以上)押すと、相手と通話することができます。
- 通話中に割込通話(☞12-9ページ)がかかってきた場合は、スイッチを長く押す(約1秒以上)と応答することができます。通話中は、スイッチを長く押す(約1秒以上)たびに通話の相手が切り替わります。

サイドキーの機能を設定する F39

下サイドキーの機能を変更することができます。設定した機能は、待受中に下サイドキーを長く(約1秒以上)押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時は「**マナーモード**」に設定されています。

設定できる機能	内 容	参照ページ
マナーモード	マナーモードを設定/解除します。	☞2-7ページ
カメラ起動	カメラを起動します。	☞8-4ページ
オフラインモード	オフラインモードを設定/解除します。	☞6-5ページ
ミニゲーム	ミニゲームを起動します。	☞10-40ページ
フォーチュン	フォーチュンを起動します。	☞10-39ページ
時刻読上げ	現在の時刻を音声でお知らせします。	—

例 「**オフラインモード**」に設定する場合

1 (○-)(3)(9)の順に押す

2 (◇)で「オフラインモード」を選択し、(●)を押す

▶下サイドキーの機能が設定されます。

シンプルモードを利用する

電話をかける、メッセージを送信するなどの普段よく使う機能を限定して使用することができる状態に切り替えることができます。また、シンプルモードに切り替えると、ディスプレイに表示される文字やアイコンが拡大表示されます。

■シンプルモードに切り替える

1 待受中に(ショートカット シンプル)を押す（約1秒以上）

2 (方向キー)で「はい」を選択し、(●)を押す

▶シンプルモードが設定されます。

■シンプルモードを終了する

1 待受中に(ショートカット シンプル)を押す（約1秒以上）

2 (方向キー)で「終了する」を選択し、(●)を押す

▶シンプルモードが解除されます。

- 以下の場合は、シンプルモードに切り替えることができません。
  - ・データフォルダが一杯の場合
  - ・受信メール、送信メールが一杯の場合
  - ・音声メモの録音が一杯の場合
- シンプルモードに切り替えるときには以下の設定がされていると、解除するかどうかの画面が表示されます。「**はい**」を選択して操作用暗証番号を入力すると、シンプルモードが設定されます。ただし、オフラインモード／スケジュール機能の解除には操作用暗証番号の入力は必要ありません。
  - ・禁止設定（メモリ使用禁止／ダイヤル禁止／着信禁止）　・簡易ロック
  - ・シークレットモード　・オフラインモード
  - ・スケジュール機能（プチスケジュール／アクションアイテム／お知らせ君）

■シンプルモード時の状態について

シンプルモード設定中の各機能の設定状態は以下の通りです。

機能名			シンプルモード中の状態	変更
着信設定	着信音パターン		パターン1	○
	鳴動時間（メール着信）		4秒	○
	着信音量		レベル3	○
	バイブレータ		OFF	○
効果音設定	ウェイクアップ音パターン		オリジナル1	×
	ウェイクアップ音量		レベル3	×
	パワーオフ音パターン		オリジナル	×
	パワーオフ音量		レベル3	×
	ボタン確認音パターン		オリジナル	×
	ボタン確認音量		通常モードの設定に従う	○
	オープン音／クローズ音		すべてOFF	×
サウンド音量			通常モードの設定に従う	×
マナーモード選択			サイレント	×
簡易ロック			OFF	×
シークレットモード			OFF	×
禁止設定			すべてOFF	×
オフラインモード			OFF	×
指定着信拒否	非通知拒否／公衆電話拒否／通知不可拒否／メモリ以外拒否／指定No.拒否		通常モードの設定に従う	×
暗証番号変更			通常モードの設定に従う	×
自動着信機能			通常モードの設定に従う	×
バッテリーセーブ機能	ディスプレイ省電力	待受中	1分	×
		ボタン操作中	ON	×
	通話中節電		ON	×
パネル照明	明るさ調整		通常モードの設定に従う	×
	点灯時間		30秒	×
言語選択			日本語	×
オープン通話			応答しない	×
メモリダイヤルグループ設定			すべて個別設定なし	×
通話品質アラーム			OFF	×
サイドキー設定			無効（バックライト点灯のみ）	×
簡易留守録	留守録設定		通常モードの設定に従う	○
	応答時間設定		15秒	×
ユーザー辞書			登録済みの語句の呼び出しは可	－
壁紙／マイキャラクタ	通常壁紙		オリジナル	○
	ウェイクアップ／パワーオフ		オリジナル	×
	発信イラスト／通話中イラスト／設定イラスト／電話着信画像		OFF	×
目覚まし機能設定			すべてOFF	○
時計設定	日時設定		通常モードの設定に従う	○
	待受時計／ミニ時計		すべてOFF	×（※1）
	12h／24h設定		24h	×
呼び出し時間設定			通常モードの設定に従う	×

※1 待受時計（日時表示）のON／OFFは可能です。

機能名			シンプルモード中の状態	変更
転送電話サービス			通常モードの設定に従う	×
留守番電話サービス			通常モードの設定に従う	○(※2)
割り込み通話設定			通常モードの設定に従う	×
184／186付加	184／186付加		OFF	×
	不在184付加		OFF	×
メール／ウェブ／ステーション禁止設定	メール禁止		通常モードの設定に従う	×
	ウェブ禁止		ON	×
	ステーション禁止		ON	×
受話音量設定			通常モードの設定に従う	○(※3)
スピーカー音量設定			通常モードの設定に従う	○(※3)
サイドキー誤動作防止			解除	×
イルミネーション設定	お知らせカラー	電話	カラー1	×
		メール	カラー2	×
		ウェブ／ステーション	OFF	×
	着信イルミ	電話	カラー1、パターン1	×
		メール	カラー2、パターン1	×
		ウェブ／ステーション	OFF	×
	通話中イルミ		カラー1、パターン1	×
	オープンイルミネーション／クローズイルミネーション		OFF	×
	ルームライト		OFF	×
サブディスプレイ設定	壁紙／マイキャラクタ	通常壁紙	OFF	×
		目覚まし	シンプルモード用の画像	×
		スケジュール	OFF	×
		アクションアイテム	OFF	×
		電話着信画像	OFF	×
	時計表示設定		シンプルモード用の表示	×
	着信表示設定	電話着信	ON	×
		メール受信	OFF	×
	メール閲覧設定		OFF	×
	配色設定		ノーマル	×
	コントラスト調整		通常モードの設定に従う	×
	表示反転表示		正方向	×
	点灯時間		30秒	×
迷惑リスト	拒否電話リスト		通常モードの設定に従う	×
	指定NO.拒否		通常モードの設定に従う	×
	拒否アドレスリスト		通常モードの設定に従う	×
	アドレスフィルタ		通常モードの設定に従う	×
	ワンコール無音設定		OFF	×
割込み設定	操作中／カメラ操作中		バックグラウンド	×
カメラ	シャッター音		カシャ	×
	自動登録設定		OFF	×
	警告表示設定		OFF	×
	地域設定		通常モードの設定に従う	×

※2 解除の操作を行うと、転送電話サービス／割り込み通話設定も解除されます。
※3 通話中のみ可能です。

機能名			シンプルモード中の状態	変更
データフォルダ	表示／登録		ピクチャーフォルダ／メロディフォルダの確認のみ	○(※4)
	セキュリティ設定		通常モードの設定に従う	×
お知らせ設定			ON	×
リミットモード			通常モードの設定に従う	×
エディタメニュー	改行制御設定		ON	×
	かな入力方式設定		標準方式	×
	入力予測		ON	×
	予測辞書		学習する	×
	パーソナル辞書		学習しない	×
メール（設定）	ロングメール設定	配信確認設定	OFF	×
		署名添付設定	OFF	×
		自動取得設定	OFF	×
		自動表示	ON	×
		自動再生	OFF	×
	スカイメール設定	優先度	普通	×
		配信確認	OFF	×
		配信先端末	指定なし	×
		プライバシー	レベル1	×
		ポーリング	OFF	×
		相手PINコード	なし	×
		保存時間	指定なし	×
		配信日時設定	即時配信	×
		自動再生	OFF	×
		PINコード	通常モードの設定に従う	×
		PINコードフィルター	通常モードの設定に従う	×
		一般電話メール拒否	通常モードの設定に従う	×
	共通設定	拒否アドレスリスト	通常モードの設定に従う	×
		アドレスフィルター	通常モードの設定に従う	×
		サーバーアドレス	通常モードの設定に従う	×
		センター番号	通常モードの設定に従う	×
	自動消去設定	受信メール（一般フォルダ）	通常モードの設定に従う	×
		送信メール	通常モードの設定に従う	×
	セキュリティ設定	送信メール	通常モードの設定に従う	×
	掲示板	掲示板切替	メッセージ	×
メール（サブメニュー）	自動画像調整		等倍	×
	スクロールの単位	縦スクロール	1行単位	×
		横スクロール	1文字単位	×
	文字のサイズ		シンプルモード用に拡大表示	×
	サウンド音量		通常モードの設定に従う	×

※4 ピクチャーフォルダの登録のみ可能です。

変更の欄に「○」が記載されている機能はシンプルメニューで変更することができます。

■シンプルメニューについて

シンプルモード時に Menu を押すと、シンプルメニューを呼び出すことができます。

メニュー		メニューの説明	参照ページ
電話機能	電話帳呼出	電話帳を呼び出して発信、編集、メール送信ができます	4-20
	電話帳登録	電話帳（メモリダイヤル）の新規登録ができます	4-3
	ワンタッチ呼出	電話帳No.001、002に登録された宛先に電話をかけることができます	—
	ワンタッチ登録	電話帳No.001、002に名前、電話番号、Eメールアドレスが登録できます	—
	リダイヤル	リダイヤルの内容を電話帳に登録したり、消去、確認ができます	2-5
	着信履歴	着信履歴の内容を電話帳に登録したり、消去、確認ができます	2-18
	私の番号	お客様の電話番号を確認できます	2-22
メール機能	メールを読む	受信メールと送信メールを閲覧できます	Vodafone live!編
	メールを書く	ロングメールやスカイメールでメッセージが送信できます	Vodafone live!編
	写メールする	画像付きメールを送信できます	Vodafone live!編
カメラ機能	写真を撮る	画像を撮影してデータフォルダ内のピクチャーフォルダに保存できます	8-4
	写真を見る	データフォルダ内のピクチャーフォルダに保存された画像を確認できます	9-4
機能設定	着信音	電話を受けたときとメールを受けたときの着信音パターンを設定できます	5-3
	着信音量	電話を受けたときとメールを受けたときの着信音量を設定できます	5-2
	バイブレータ	バイブレータの設定／解除ができます	5-5
	壁紙	固定の壁紙やデータフォルダ内のピクチャーフォルダに保存されている画像を壁紙に設定できます	7-9
	目覚まし	目覚ましの設定／解除ができます	10-28
	簡易留守録	簡易留守録の設定／解除やメッセージの再生ができます	2-15、11-14
	留守電センター	留守番電話サービスの設定／解除ができます	12-5
	マナーモード	マナーモードの設定／解除ができます	2-7
	ボタン確認音	ボタン確認音の音量を設定できます	5-11
	日時設定	日付と時刻を設定できます	2-3
	日時表示	日付と時刻を表示するかしないかを設定できます	7-17

例 電話着信を固定メロディ「**オルゴールメドレー1**」に設定する場合

1 **Menu を押す**

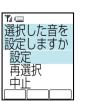
▶シンプルメニューが表示されます。

2 **で「機能設定」を選択し、●を押す**

3 **で「着信音」を選択し、●を押す**

4 **で「電話着信」を選択し、●を押す**

5 **で「固定メロディ」を選択し、●を押す**

6 **で「オルゴールメドレー1」を選択し、●を押す**

7 **で「設定」を選択し、●を2回押す**

▶電話着信が設定され、待受画面に戻ります。

11 その他の機能

リミットモードを利用する

電話機能やメール機能、ウェブ機能を制限する状態に切り替えることができます。また、使用量を制限したり、使用できる時間帯を設定したりできます。

- **この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定(☞2-3ページ)の操作を行ってください。**

■リミットモードメニューを表示する

1 Menu ○の順に押す

2 ◎で「リミットモード」を選択し、●を押す

▶リミットモードメニューが表示されます。

リミットモードメニュー

■リミットモード用パスワードを設定する

リミットモード用パスワードと、パスワードを忘れたときに思い出すためのヒントを設定します。

リミットモード用パスワードは、リミットモード設定(☞11-46ページ)およびリミットモードに切り替えるとき/解除するとき(☞11-53ページ)に必要となります。

1 リミットモードメニュー(☞上記)より、◎で「リミットモード設定」を選択し、●を押す

▶確認画面が表示されます。

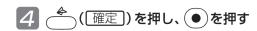
- 「制限・解除」を選択しても同様の操作が行えます。

2 ●を押す

▶リミットモード用パスワード入力画面が表示されます。

3 リミットモード用パスワードを入力する

- 0〜9までの数字とa〜zまでの英字、記号(. @ - _ / :)の組み合わせで、最大8文字まで設定できます。◎で数字または英字を選択し、●を押します。◎●を繰り返して、すべて入力したあと操作*4*を行います。

4 (確定)を押し、●を押す

5 もう一度パスワードを入力し、(確定)を押す

- 操作*3*で入力したパスワードと同じパスワードを、もう一度入力してください。

6 ◎で「登録する」を選択し、●を押す

- ヒントの設定を省略する場合は、◎で「**スキップ**」を選択し、●を押してください。

7 ヒントを入力する

- 文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角32文字、全角16文字です。

8 ●を2回押す

▶リミットモード用パスワードとヒントが設定され、リミットモード設定画面が表示されます。

リミットモード設定画面

- 「**リミットモード用パスワード**」は、お忘れにならないようご注意ください。
- 事故の原因となりますので、「**リミットモード用パスワード**」は他人に知られないようご注意ください。

リミットモード用パスワードを変更する場合は…

リミットモード設定画面で、◎で「**パスワード設定**」を選択し、●を押します。続けて●を押し、新しいパスワードを入力します。

■リミットモード設定について

制限したい機能や許可したい機能を個別に設定することができます。

アクセス制限を設定する

以下の項目を設定することができます。
お買い上げ時は、電話発信／電話着信／メール機能：「**制限なし**」、ウェブ機能：「**ウェブ禁止**」に設定されています。

項目		内容
電話発信（※1）	**許可リストのみ**	許可リスト（☞11-52ページ）に登録した相手以外へ電話をかけられないようにします。
	メモリダイヤルのみ	メモリダイヤルに登録した相手以外へ電話をかけられないようにします。
	制限なし（※2）	すべての相手へ電話をかけられるようにします。
電話着信	**許可リストのみ**（※3）	許可リスト（☞11-52ページ）に登録した相手以外からの電話を受けられないようにします。
	メモリダイヤルのみ（※3）	メモリダイヤルに登録した相手以外からの電話を受けられないようにします。
	制限なし（※2）	すべての相手からの電話を受けられるようにします。
メール機能	**メール禁止**	すべてのメール機能を利用できないようにします。
	許可リストのみ	許可リストに登録した相手以外へメールを送信したり、メールの続きを受信できないようにします。
	メモリダイヤルのみ	メモリダイヤルに登録した相手以外へメールを送信したり、メールの続きを受信できないようにします。
	制限なし（※2）	すべてのメール機能を利用できるようにします。
ウェブ機能	**ウェブ禁止**	すべてのウェブ機能を利用できないようにします。
	許可リストのみ	許可リストに登録したサイト以外へ接続できないようにします。
	制限なし（※2）	すべてのウェブ機能を利用できるようにします。

※1　電話発信の制限中でも、以下の番号へは電話をかけることができます。
・110番（警察）、119番（消防：制限地域に指定されている地域を除く）、118番（海上保安本部）
・113番（故障受付）、157番（総合案内）、1416番（留守番電話センター）

※2　「制限なし」に設定した場合でも、「その他の制限」の設定が優先されます。また、以下の機能を設定している場合は以下の機能の設定が最優先されます。
・F23「禁止設定」（☞6-4ページ）
・F26「非通知拒否」（☞6-8ページ）
・F9✖「禁止設定」（☞Vodafone live!編）
・「迷惑リスト」（☞6-6ページ）

※3　許可されていない相手から着信があった場合、相手には話中音（プープー…）を返します。

例　電話発信を「**メモリダイヤルのみ**」に設定する場合

1 **リミットモード設定画面（☞11-45ページ）より、◎で「制限の設定」を選択し、●を押す**

2 **◎で「アクセス制限」を選択し、●を押す**

3 **◎で「電話発信」を選択し、●を押す**

4 **◎で「メモリダイヤルのみ」を選択し、●を押す**

▶アクセス制限（電話発信）が設定されます。

11 その他の機能

その他の制限を設定する

以下の項目を、「**許可**」か「**禁止**」に設定することができます。
お買い上げ時はすべて「**禁止**」に設定されています。

項　目	内　容
ワン切り発信	メモリダイヤルに登録していない電話番号で、呼び出し時間が3秒未満の着信履歴から電話をかけられないようにします。
Q2発信	「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）へ電話をかけられないようにします。
国際発信	国際ショートコード（☞11-32ページ）を利用した国際電話をかけられないようにします。
リンク文字列	ロングメールやスカイメールの本文に含まれる電話番号、Eメールアドレス、URLからの操作（☞Vodafone live!編）をできないようにします。
アドレス入力	インターネットアクセス、ブックマークの新規登録（☞Vodafone live!編）でURLを入力できないようにします。
パスワード入力	ホームページ上で暗証番号を入力できないようにします。入力するためには、リミットモード用パスワードの入力が必要です。

例 ワン切り発信を「**許可**」に設定する場合

1 **リミットモード設定画面（☞11-45ページ）より、◎で「制限の設定」を選択し、●を押す**

2 **◎で「その他の制限」を選択し、●を押す**

3 **◎で「ワン切り発信」を選択し、●を押す**

4 **◎で「許可」を選択し、●を押す**

▶その他の制限（ワン切り発信）が設定されます。

時間帯を限定してアクセス制限を設定する

使用を制限したい時間帯を設定してから、以下の項目を設定することができます。
お買い上げ時はすべて「**制限あり**」に設定されています。

項　目		内　容
電話発信	**制限あり**	使用制限時間帯は、許可リスト（☞11-52ページ）に登録した相手以外へ電話をかけられないようにします。
	制限なし	使用制限時間帯でも、すべての相手へ電話をかけられるようにします。
電話着信	**制限あり**	使用制限時間帯は、許可リストに登録した相手以外からの電話を受けられないようにします。
	制限なし	使用制限時間帯でも、すべての相手からの電話を受けられるようにします。
メール送信	**制限あり**	使用制限時間帯は、許可リストに登録した相手以外へメールを送信できないようにします。
	制限なし	使用制限時間帯でも、すべてのメール機能を利用できるようにします。
ウェブ接続	**制限あり**	使用制限時間帯は、すべてのウェブ機能を利用できないようにします。
	制限なし	使用制限時間帯でも、すべてのウェブ機能を利用できるようにします。

・「制限あり」に設定した場合、使用制限時間帯以外の時間帯は「アクセス制限」（☞11-46ページ）の設定に従います。
・「制限なし」に設定した場合でも、「アクセス制限」の設定が優先されます。

例 「**21:00〜6:59**」の時間帯に電話の発信を制限する場合

1 **リミットモード設定画面（☞11-45ページ）より、◎で「制限の設定」を選択し、●を押す**

2 **◎で「時間・使用量」を選択し、●を押す**

3 **◎で「時間制限」を選択し、●を押す**

4 ○で「使用制限時間帯」を選択し、●を押す

5 時刻を入力し、●を押す

▶使用制限時間帯が設定されます。
- 時刻は、2桁（24時間制）で入力してください。
- 7時0分0秒から制限を解除する場合は、「06:59」を入力してください。
- 開始時刻と終了時刻を同時刻に設定した場合、終日制限されます。

6 ○で「電話発信」を選択し、●を押す

7 ○で「制限あり」を選択し、●を押す

▶時間制限（電話発信）が設定されます。

使用量制限を設定する

以下の項目を設定することができます。
お買い上げ時はすべて「**制限なし**」に設定されています。

項　目		内　容
電話発信	制限あり	通話時間が指定した時間を超えた場合は、許可リストに登録した相手以外へ電話をかけられないようにします。（※1）
	制限なし	すべての相手へ電話をかけられるようにします。
メール	送受信を制限	メールの送信件数と続きを受信した件数が制限件数を超えた場合は、許可リストに登録した相手以外へメールを送信したり、メールの続きを受信できないようにします。
	送信のみ制限	メールの送信件数が制限件数を超えた場合は、許可リストに登録した相手以外へメールを送信できないようにします。
	制限なし	すべてのメール機能を利用できるようにします。
ウェブ接続	制限あり	ウェブ接続時の受信情報量が制限容量を超えた場合は、すべてのウェブ機能を利用できないようにします。（※2）
	制限なし	すべてのウェブ機能を利用できるようにします。

・「制限あり」に設定した場合、制限使用量を超えるまでは「アクセス制限」（☞11-46ページ）や「時間制限」（☞11-49ページ）の設定に従います。
・「制限なし」に設定した場合でも、「アクセス制限」や「時間制限」の設定が優先されます。

※1　通話中に指定した制限時間を超えた場合は、その通話に限り継続して利用できます。
※2　ウェブ受信中に指定した制限容量を超えた場合は、その受信データに限り継続して受信できます。

例　電話発信の使用量を制限する場合

1 リミットモード設定画面（☞11-45ページ）より、○で「制限の設定」を選択し、●を押す

2 ○で「時間・使用量」を選択し、●を押す

3 ○で「使用量制限」を選択し、●を押す

4 ○で「電話発信」を選択し、●を押す

5 ○で「制限あり」を選択し、●を押す

6 時間を入力し、●を押す

▶使用量制限が設定されます。
- 時間は3桁で入力してください。

■許可リストに登録する

許可リストにメモリダイヤルやURLを登録します。時間制限や使用量制限を設定している場合でも、特定の相手の着信などを許可したいときに便利です。また、ウェブ機能のアクセス制限を設定している場合でも、特定のURLへの接続を許可したいときに便利です。

例 太田さんからの電話の着信を許可する場合

1 リミットモード設定画面（☞11-45ページ）より、⊙で「許可リスト登録」を選択し、●を押す

2 ⊙で「電話・メール」を選択し、●を押す

▶メモリダイヤルの検索画面が表示されます。

3 メモリダイヤルを検索し、●を押す

● メモリダイヤルの検索方法については4-20～26ページを参照してください。

4 （登録）を押す

▶許可リストに登録されます。

補足

● メモリダイヤルを検索してから Menu（メニュー）を押し、許可リストに登録することもできます。
● 許可リストへ登録したメモリダイヤルに複数の電話番号が登録されている場合は、すべての電話番号が許可されます。
● **許可リストから解除する場合は…**
操作*4*の画面で（解除）を押します。

■制限内容を確認する

リミットモード設定で設定した内容を確認することができます。

例 使用量制限の設定内容を確認する場合

1 リミットモードメニュー（☞11-44ページ）より、⊙で「制限内容の確認」を選択し、●を押す

2 ⊙で「使用量制限」を選択し、●を押す

▶設定内容が表示されます。

■リミットモードに切り替える／解除する

リミットモードに設定、またはリミットモードを解除します。以下の操作で「**制限する**」に設定し、制限内容を反映してください。

1 リミットモードメニュー（☞11-44ページ）より、⊙で「制限・解除」を選択し、●を押す

2 リミットモード用パスワードを入力し、（確定）を押す

● パスワードを忘れた場合はヒントを表示することができます。ヒントを表示する場合は、Menu（ヒント）を押します。

3 ⊙で「制限する」を選択し、●を押す

▶リミットモードに設定されます。
● リミットモードを解除する場合は、「**解除する**」を選択してください。

重要

● 「**制限する**」に設定した場合、時計設定（☞2-3ページ）を行うことができません。また、プライベートモード（☞11-55ページ）を起動することができません。
● 「**制限する**」に設定した場合、制限内容によってメモリダイヤルの登録（☞4-2ページ）やブックマークの新規登録（☞Vodafone live!編）ができない場合があります。

■今月の使用量を確認する

今月の使用量を確認します。通話時間、メールの送受信件数、ウェブ接続時の受信情報量を確認できます。

例 メールの送受信件数を確認する場合

1 **リミットモードメニュー（☞11-44ページ）より、◯で「今月の使用量」を選択し、●を押す**

2 **◯で「メール」を選択し、●を押す**

▶確認画面が表示されます。

- 表示される使用量は目安であり、実際の使用量とは異なる場合があります。
- FAX通信／パソコン通信を行った場合は、「**通話時間**」として加算されます。
- 今月の使用量は、毎月1日の午前0:00に自動的にリセットされます。
- **今月の使用量を手動でリセットする場合は…**
  操作*2*の画面でMenu（メニュー）を押して、◯で「**使用量リセット**」を選択し、●を押します。続いてリミットモード用パスワードを入力し、◯（確定）を押します。さらに◯で「**YES**」を選択し、●を押します。
- 操作*2*の画面で◯（履歴）を押して、表示する月（**今月**／**先月**／**先々月**）を切り替えることができます。
- リミットモードを解除（☞11-53ページ）している場合、使用量は加算されません。

プライベートモードを利用する

指定した相手からの着信履歴やリダイヤル、受信メール、特定の画像などに限定して表示する状態に切り替えることができます。専用の暗証番号を入力しない限り、プライベートモードに切り替えることはできません。

- **プライベートモードには、プライベートモード🏠と📱の2種類があります。**
- **プライベートモード時は、ご利用になれる機能が限定されます（☞11-60ページ）。**

■プライベートモード起動用暗証番号について

お買い上げ時は、「**9999**」に設定されています。

- 「プライベートモード起動用暗証番号」はプライベートモード🏠、📱それぞれ設定できます。
- 「プライベートモード起動用暗証番号」はお忘れにならないようご注意ください。
- 事故の原因となりますので、「プライベートモード起動用暗証番号」は他人に知られないようご注意ください。
- F25「オールリセット」（☞6-15ページ）を行った場合、「プライベートモード起動用暗証番号」はお買い上げ時の設定に戻ります。

「プライベートモード起動用暗証番号」は、プライベートモード時にV302Tの操作で変更することができます（☞11-59ページ）。

■プライベートモードに切り替える

例 プライベートモード🏠に切り替える場合

1 **Menuを押す**

マルチメニュー画面（☞1-11ページ）を表示します。

2 **1を押してからプライベートモード🏠起動用暗証番号を入力する**

- 間違えて入力した場合は、1から入力しなおしてください。
- プライベートモード📱を起動する場合は、2を押してからプライベートモード📱起動用暗証番号を入力します。

3 **◯で「YES」を選択し、●を押す**

▶プライベートモード🏠が起動します。

リミットモード（☞11-44ページ）およびシンプルモード（☞11-38ページ）時は、プライベートモードを起動できません。リミットモードおよびシンプルモードを解除してから、再度プライベートモードを起動してください。

■プライベートモードを終了する

V302Tを閉じるか、電源を切ると終了します。また、プライベートタイマー(☞11-59ページ)で終了させることもできます。

■プライベートリストに登録する

着信やメールの確認をプライベートモード時にのみ行いたい相手先を登録します。名前、電話番号、Eメールアドレスなどが登録できます(プライベートモード、各10件ずつ)。

1 プライベートモード時の待受中に、◎を押す

▶プライベートリストが表示されます。

2 (追加)を押す

▶プライベートリストの登録画面が表示されます。

● 入力、登録、編集方法については4章を参照してください。

■電話着信と通話について

● プライベートリストの相手先から着信した場合は以下のようになります。

通常モード時……………着信は通知されません。V302Tを閉じている場合、相手には応答メッセージ(☞11-59ページ)が再生されます。開いている場合は、相手には話中音(プープー…)を返します。プライベート着信履歴には、不在着信として記録されます。割り込み通話の場合は着信しません。

プライベートモード時……通常モード時と同様に着信します。通常の相手先からも着信します。ただし、2種類あるプライベートモードのうち、現在起動していない方のプライベートリストの相手先から着信した場合、着信は通知されません。

● プライベートリストと通常モード時のメモリダイヤルに同じ相手先を登録した場合も、上記の動作となります。
● 着信や通話の相手先がプライベートリストに登録されている場合は、プライベートモードの着信履歴またはリダイヤルに記録されます。についても同様です。

■メールについて

● 以下のメールはプライベートメールとなります。
・プライベートリストに登録されている相手先からのメール
・宛先にプライベートリストに登録されている相手先が1つ以上あるメール

● プライベートメールは以下のように確認できます。

通常モード時……………受信は通知されません。メールリスト(☞Vodafone live!編)には表示されません。

プライベートモード時……プライベートメニュー(☞11-58ページ)から確認することができます。ただし、2種類あるプライベートモードのうち、現在起動していない方のプライベートリストに登録されている相手先からのメール受信は通知されません。

重要

● プライベートメールに添付されてきたファイルの保存先は、プライベートフォルダ(☞11-58ページ)のみとなります。
● メール作成中にプライベートモードを終了した場合、作成中のメールは破棄されます。

補足

相手先がプライベートリストに登録されているプライベートメールは、プライベートモード時のみ確認できます。についても同様です。

■プライベートメニューについて

プライベートメニューから、以下の項目を操作することができます。プライベートメニューの表示方法は、下記を参照してください。

項　目		内　容	操作方法
メール（※1）		プライベートメールを見ることができます。	☞Vodafone live!編
カメラ（※1）		プライベートカメラを起動することができます（デジタルカメラモードを除く）（※2）。	☞8-4ページ
プライベートフォルダ		プライベートフォルダ内を閲覧することができます。プライベートフォルダには、プライベートカメラのデータやプライベートメールに添付されてきたファイルなどを登録することができます（※3）。	☞9章
プライベート設定（※4）	**着信設定**	プライベートリストに登録されている相手先からの着信音などを設定できます。	―
	応答メッセージ	通常モード時にプライベートリストに登録されている相手先から着信した場合の応答メッセージを設定できます。	
	プライベートタイマー	プライベートモード時に無操作の状態で設定時間が経過したとき、自動的にプライベートモードを終了させることができます。	
	暗証番号変更	プライベートモード起動用暗証番号を変更できます。	
	メモリオールクリア	プライベートモード時に登録した内容や設定、プライベートメールなどをすべて消去します。	

※1　・操作方法は通常モード時の説明を参照してください。ただし、一部動作に制限があります。
・撮影内容の保存先は、プライベートフォルダのみとなります。
・撮影内容を保存する前にプライベートモードが終了した場合、自動的にプライベートフォルダに保存されます。
・プライベートモード🏠時の撮影内容は、プライベートモード🏠のプライベートフォルダに登録できます。🔒についても同様です。
※2　ただし、「旅モード設定」はご利用できません。
※3　ただし、「各種設定へ」（☞9-15ページ）を行うことはできません。
※4　プライベートモード🏠、🔒別々に設定または操作することができます。

プライベートメニューを表示する

1 **プライベートモード時の待受中に、Menuを押す**

▶プライベートメニューが表示されます。

プライベート設定について

着信設定

お買い上げ時は、すべて「**個別設定なし**」に設定されています。

応答メッセージ

応答メッセージは、以下から選択できます。
お買い上げ時は「**パターン1**」に設定されています。

項　目	内　容
パターン1	「ただいま電話に出られません。」
パターン2	「後ほどおかけ直し致します。」
パターン3	「ただいま仕事中のため、電話に出ることができません。」

プライベートタイマー

設定時間は、1分、10分、30分、60分、OFFから選択できます。
お買い上げ時は「**OFF**」に設定されています。

暗証番号変更

● **この操作では、「プライベートモード起動用暗証番号」（☞11-55ページ）が必要になります。**

メモリオールクリア

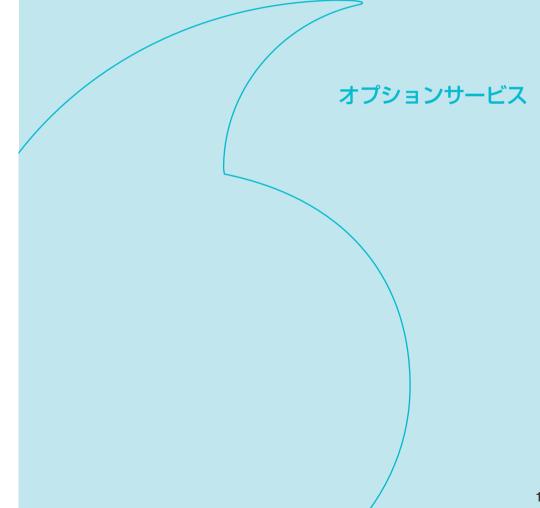
初期状態（未登録）になる項目は以下の通りです。
・**プライベートリスト／プライベートメール／プライベートフォルダ／プライベートリダイヤル／プライベート着信履歴／プライベートなかよし履歴**
● **この操作では、「操作用暗証番号」（☞1-15ページ）が必要になります。**

■プライベートモード時の状態について

プライベートモード時は、以下の機能をご利用できません。

・マルチメニュー　・データフォルダ　・ウェブ
・ショートカットキー　・ステーション（※）　・Ｆ機能
・アニメつく〜る

※プライベートモード時は、お天気アイコン（☞Vodafone live!編）が表示されません。

- F25「オールリセット」（☞6-15ページ）、F27「メモリオールクリア」（☞6-14ページ）、F29「設定リセット」（☞6-11ページ）、「メッセージオールクリア」（☞Vodafone live!編）などを行った場合、プライベートモード時に登録した内容や設定、着信履歴、リダイヤル、プライベートメール、なかよし履歴なども対象となります。
- プライベートモード時に録音した音声メモは、通常モード時も再生できます。
- プライベートモード時は、外部接続機器をご利用できません。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します（☞12-3ページ）。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスを設定しているときは除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします（☞12-5ページ）。
運転中モード	お客さまが自動車を運転中などで現在電話に出られない旨を、相手の方にアナウンスでご案内します（☞12-8ページ）。
割込通話サービス	今までお話ししていた相手の方との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます（☞12-9ページ）。
三者通話サービス	2人での通話中に、もう1人に電話をかけ、3人同時に通話することができます。また、相手の方を切り替えながらの通話もできます（☞12-11ページ）。
発信者番号通知サービス	お客さまの電話番号を相手の方に通知したり、かけてきた相手の方の電話番号を確認することができます。

- **電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V302Tからは操作できません。一般電話から操作してください。**
- **ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。**
- **ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。**

オプションサービスのご利用にあたっては、あらかじめ次の点をご確認ください。

オプションサービス	ご契約された地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	－	－	－
留守番電話サービス	－	お申し込みが必要	お申し込みが必要
運転中モード	ご利用になれません	－	－
割込通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
三者通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
発信者番号通知サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要

－：お申し込み不要で、そのままご利用になれます。

転送電話サービス F71

■転送先の電話番号を登録する

1 ○•7 1 の順に押す

2 ◎で「転送先番号」選択し、●を押す

▶転送先電話番号の入力画面になります。

3 転送先の電話番号を入力し、●を押す

- 登録先が一般電話のときは、市内であっても市外局番から、また携帯電話のときは相手の電話番号（全桁）を入力してください。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、登録された転送先電話番号が表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

以下の電話番号は転送先として登録できません。
「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

■転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登録しておいてください。

1 次の操作で「転送条件」を呼び出す

① ○•7 1 の順に押す
② ◎で「**転送条件**」を選択する

2 ●を押す

3 ◎で「呼出あり」（着信音を鳴らす）または「呼出なし」（着信音を鳴らさない）を選択し、●を押す

- 「**呼出なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
- 接続中のメッセージが表示されたあと、「**テンソウサービスON**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

■転送電話サービスを停止する F73

1 ○-、7、3の順に押す

2 ◇で「YES」を選択し、●を押す

● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

転送電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に📞を押すとそのまま通話できます。

● 転送時の着信音を「**呼出なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

転送電話サービスの設定状況の確認

1 ○-、7、4の順に押す

2 ◇で「YES」を選択し、●を押す

▶転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況が表示されます。

留守番電話サービス F72

● 北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、別途お申込みが必要です。

■留守番電話サービスを開始する

1 ○-、7、2の順に押す

2 ◇で「呼出あり」（着信音を鳴らす）または「呼出なし」（着信音を鳴らさない）を選択し、●を押す

● 「**呼出なし**」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。
● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

● 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
● すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

■着信音が鳴っている間に📞を押すとそのまま通話できます。

● 転送時の着信音を「**呼出なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

留守番電話サービスの機能

■留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります（詳しくは、「ボーダフォンサービスガイドブック」をご覧ください）。

留守番電話サービス停止時

■着信中に、○-、Powerの順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます（留守番電話サービスは停止のままです）。

■留守番電話サービスを停止する F73

1 ○-、7、3の順に押す

2 ◇で「YES」を選択し、●を押す

● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■伝言メッセージを聞く

留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「1416」が表示されます。

・電源をONにしたとき
・発信、着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km～数十km、郊外では数十kmが目安です）

1 **1 4 1 6 発信の順に押す**

以降は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

「1416」はV302Tで新しいメッセージを聞いたときに消えます（一般電話からメッセージを聞いたときは消えません）。

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 **メニュー 7 4の順に押す**

2 **十字キーで「YES」を選択し、●を押す**

▶留守番電話サービスまたは転送電話サービスの設定状況が表示されます。

転送電話／留守番電話の呼び出し時間設定 F70

● **東北・新潟／中国／四国地域では、現在このサービスはご利用になれません。**

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V302Tにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V302Tの着信音が鳴る時間）を5～30秒（5秒単位）の間で設定できます。

- **電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。**
- **着信音を鳴らさない設定にしているときは、ここでの設定は無効になります（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。**
- **お買い上げ時は「20秒」に設定されています。**

1 **メニュー 7 0の順に押す**

▶設定できる呼び出し時間が表示されます。

2 **十字キーで呼び出し時間を選択し、●を押す**

● 接続中のメッセージが表示されたあと、「**トウロク**」と表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV302Tの簡易留守録機能（☞11-14ページ）とあわせてご利用になる場合は、呼び出し時間の短い方が優先されます。

例：サービスの呼び出し時間……10秒
簡易留守録の呼び出し時間…6秒

と設定すると、簡易留守録が優先されます（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります）。
また、簡易留守録を優先していても、録音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。

運転中モード

● 関東・甲信／東海／関西地域では、現在このサービスはご利用になれません。

■運転中モードを開始する

1 1 4 1 3 [発信]の順に押す

▶運転中モードのサービス開始がアナウンスされます。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合
すでに転送電話サービスを開始されているときに運転中モードを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

運転中モード開始後の着信中

■着信音が鳴らないため電話がかかってきてもわからず、電話を受けることはできません（電話をかけることはできます）。
- 運転中モードが必要でない状態になりましたら、必ず停止してください。

■留守番電話サービスにご契約いただいている場合、アナウンス後に相手の方の伝言メッセージをお預かりします。
- お預かりした伝言メッセージは、通常の留守番電話サービスと同じ操作で再生してください（☞12-6ページ）。

運転中モードの設定状況の確認（北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約の場合のみ）

1 1 4 0 3 [発信]の順に押す

▶現在の状況がアナウンスされます。

■運転中モードを停止する

1 運転中モード開始中に、1 4 1 0 [発信]（北海道／北陸／九州・沖縄地域）または1 4 1 3 [発信]（東北・新潟／中国／四国地域）の順に押す

▶運転中モードのサービス停止がアナウンスされます。

北海道／北陸／九州・沖縄でご契約の場合
運転中モード停止の操作をせずに転送電話サービスまたは留守番電話サービスに直接切り替えることもできます。

割込通話サービス
（別途、お申し込みが必要です）

■割込通話サービスを設定／解除する F75

● 北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定できません。

1 [メニュー] 7 5 の順に押す

2 [十字キー]で「ON」または「OFF」を選択し、[●]を押す

- 「**ネットワーク接続中**」と表示されたあと、「**ワリコミコールON**」または「**ワリコミコールOFF**」と表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■割込通話サービスの設定を確認する F76

● 北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合、サービスはご利用になれますが、ご確認はできません。

1 [メニュー] 7 6 の順に押す

2 [十字キー]で「YES」を選択し、[●]を押す

- 「**ネットワーク接続中**」と表示されたあと、設定状況に応じて、「**ワリコミコールON**」または「**ワリコミコールOFF**」と表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

■割込通話を受ける

1 通話中に割込通話音が聞こえる

2 [発信]を押す

▶最初に話していた相手を保留にして、割込みしてきた相手の着信に応答します。

3 [発信]を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わる

割込通話サービスは、国際電話ではご利用になれません。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

■留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**呼出なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に を押すか、通話中の相手の方が電話を切ると

■呼び出し音が鳴ってディスプレイに「**保留中**」と表示されます。 を押すと、保留中の相手の方との通話になります。

三者通話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です）

■通話中にもう1人へ電話をかける

1 通話中に電話番号をダイヤルし、 を押す

- メモリダイヤル（☞4-20ページ）、リダイヤル（☞2-5ページ）、着信履歴（☞2-18ページ）、ノートパッドメモリ（☞2-17ページ）から相手を呼び出すこともできます。

2 で「三者通話サービス」を選択し、 を押す

▶通話していた相手の方を保留にし、もう一方の相手の方と通話できます。

■相手を切り替えながら通話する［切替通話］

1 通話中にもう1人の相手の方を呼び出す（☞上記）

2 通話中に を押す

▶通話していた相手の方を保留にし、もう一方の相手の方と通話できます。

- を押すたびに、通話する相手の方を切り替えることができます。

Aさん ←（通話中）→ Bさん
Cさん 保留中

切替通話中に を押すか、通話中の相手の方が電話を切ると

■呼び出し音が鳴ってディスプレイに「**保留中**」と表示されます。
 を押すと、保留中の相手の方との通話になります。

切り替え通話中に、他の2人だけの通話にする（通話中転送）
（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

1 の順に押す

2 で「通話中転送」を選択し、 を押す

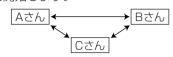
- 「**テンソウカンリョウ**」と表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手の方と、保留中の相手の方の通話になります（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます）。

12 オプションサービス

■3人で同時に通話する［三者通話］ F78

1 切り替え通話中に、○-・7・8・●の順に押す

▶「**三者通話**」が選択され、通話を開始します。

● 三者通話にすると、切替通話に戻すことはできません。

三者通話中に（Power）を押すかV302Tを閉じると

■2人の相手の方との電話が同時に切れます。

三者通話中に、通話中の相手の方のどちらかが電話を切ると

■残された相手の方との通話になります。

三者通話中に、他の2人だけの通話にする（通話中転送）（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

1 ○-・7・8の順に押す

2 ◯で「通話中転送」を選択し、●を押す

● 「**テンソウカンリョウ**」と表示されます。この電話は切れて、それまで通話していた相手の方と、保留中の相手の方の通話になります（自分から電話をかけた場合は、引き続き通話料金が課金されます）。

補足 （Power）を押すと、二人の相手との通話が同時に切れます。また、相手のどちらかが先に電話を切ると、残りの相手との通話になります。

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone Website (www.vodafone. jp) for the full manual or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

Safety Precautions

- To insure proper use, please read these Safety Precautions before using this product. Please keep this manual in a convenient location for future reference.
- The Operating Instructions and Instruction Manual contain important information for the safety of the user and others as well as the prevention of damage or loss to property. This material should be read closely and followed.
- When this product is used by a child, the guardian should provide proper guidance.
- Descriptions for the pictographs and symbols used in these instructions are included below. Make sure you understand them before reading the main text.

Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ Danger	This indicates that there is a strong likelihood that improper handling will lead to serious injury[1] or even death.
⚠ Warning	This indicates that improper handling may lead to serious injury[1] or death.
⚠ Caution	This indicates that improper handling poses a strong risk of injury[2] to the user or damage[3] to property.

1 Serious injury includes blindness, wounds, burns (low and high temperature), electric shock, fractures, poisoning, etc. that may require hospitalization or long-term care.
2 Injury include wounds, burns, electric shock, etc. not requiring hospitalization or long-term care.
3 Damage includes extensive damage to homes, buildings, household property as well as injuries to domestic or farm animals.

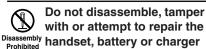
Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
Prohibited	⃠ indicates prohibited (restricted) actions. Prohibited actions are explained in or near the figures or symbols in pictures or sentences.
Compulsory	❗ indicates compulsory (mandatory) actions. Compulsory actions are explained in or near the figures or symbols in pictures or sentences.

Limitation of Liability

・Vodafone and Toshiba cannot be held liable for damages or losses resulting from the use of this product during earthquakes, lightning, storms, floods, fire which beyond our control, or actions of any third party, other accidents, willful or accidental misuse by the user or use under other unusual circumstances.
・Vodafone and Toshiba cannot be held liable for incidental damages or losses (loss of profits, interruption of business, etc.) arising from use of or inability to use this product.
・Vodafone and Toshiba cannot be held liable for any damages or losses resulting from a failure to observe instructions contained in this manual.
・Vodafone and Toshiba cannot be held liable for any damages or losses resulting from malfunctions, etc., caused by connected devices or installed software not related to Vodafone and Toshiba.
・Picture data taken will be changed or erased when the product is out of order, repaired or during its handling. Vodafone and Toshiba cannot be held liable for restoration of the picture data or any damages, losses resulting from damaged picture data.
・Vodafone and Toshiba will not warrant the contents stored in memory devices regardless of the causes for disorder or obstruction. Back-up the contents periodically to reduce damages resulting from loss of the contents.

⚠ Danger

Do not disassemble, tamper with or attempt to repair the handset, battery or charger

It may cause fire, electric shock. Tampering with the handset violates Japanese Radio Law.
Contact the nearest **Vodafone Shop** or **Vodafone Customer Assistance** (page 13-30).

Do not dispose the handset or battery by fire, or expose them to heat

It may cause heat generation, explosion or fire of battery. Do not attempt to dry these articles with heating device (microwave oven, etc.) even if they got wet.

Do not use or leave the handset or battery near fire, heater or hot places

The battery may overheat, explode or ignite.

Water Exposure Prohibited

Do not expose the handset or battery to water, perspiration, seawater or other fluids

Exposing the battery to fluids may result in overheating, explosion or fire.
If submerged, promptly turn the handset power off and contact the nearest **Vodafone Shop** or **Vodafone Customer Assistance** (page 13-30).

Do not leave the handset, charger or battery outdoors, in a bathroom or in places exposed to water

When wet, it may result in overheating, explosion or fire.

Do not place cups, vases or other objects containing fluids near the handset, charger and battery

When fluids spill, it may result in overheating, explosion or fire.

Do not drop or give the handset and battery a strong physical shock

It may cause the battery to overheat, explode or ignite.

Do not short circuit the battery terminals (metal parts) with wire or other metal materials

It may cause the battery to overheat or explode.

Do not connect a battery to the handset and charger with excessive force or with inverted (+)(-) terminals

This may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Do not carry or store the battery together with metal necklaces, hairpins, etc.

Battery may short circuit and overheat, explode, or ignite, or metal materials may overheat.

Use only the battery exclusive for use with this handset. Do not use this battery with the other handsets

Unauthorized use of the battery may result in overheating, explosion or fire.

Use only the charger exclusive for this handset
Do not use this charger for any other handsets

Other chargers may cause the battery to overheat, explode or ignite.

⚠ Warning

Do not charge a wet battery

Prohibited

It may cause failure by overheating, explosion, ignition, electric shock or short circuit.
When it is covered with liquid, unplug the power plug of Rapid Charger immediately.

Do not use the handset while driving

Prohibited

Do not use functions (mail, game, camera, Mobile Flash, etc.) other than communication as a telephone, also. It may result in traffic accidents.
Law prohibits using a handset while driving. Use the handset after parking your car at a permitted safety area, when you drive a car.

Do not use the handset in the places filled with combustible gasses

Prohibited

Gasses may ignite resulting in fire. Turn the handset power off and do not charge battery in the places filled with combustible gasses (service stations, etc.).

Do not swing the handset by holding the strap or antenna

Prohibited

This may result in injury or malfunction of the handset.

Turn the handset power off while you are close to high precision electronic devices

Compulsory

Interference from the handset may adversely affect the operation of such devices.
Examples of the devices:
Cardiac pacemakers, hearing aids, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and so on.
When you use medical electronic devices, confirm influences of radio wave from the devices with manufacturers or distributors.

Remove the power plug of Rapid Charger from an outlet while the handset is not used for a long time

Unplug power cable

It may result in electric shock, fire or failure.

Turn the handset power off on airplanes or in the places where its use is prohibited

Compulsory

Turn the handset power off after canceling the setting of Schedule, Action Item, Reminder or Alarm, when these functions are enabled

Interference from the handset may cause electronic devices to malfunction and consequent accident.

Check surroundings before using the phone, e-mail or camera function

Compulsory

They may cause fall, traffic accident if safety is not confirmed before using the handset.

Use only the designated electrical power and voltage

Compulsory

Wrong voltages may cause fire.
100VAC for Rapid Charger, 12V or 24VDC (for negative ground car only) for In-Car Charger (Option).

Wipe out the dust of a plug with dry cloth or others after pulling it out from the outlet, when dust is accumulated on the plug of a Rapid Charger.

Compulsory

It may cause a fire if it is left as it is.

Securely fix In-Car Charger in a location that dose not obstruct driving or the safety airbag

Compulsory

An accident may result if its cord entangles your feet, driving devices such as pedals, etc. If In-Car Charger falls, it may startle you resulting in an accident due to sudden braking or steering. Install In-Car Charger according to the instruction manual.

If electrolyte fluid leaked from a battery contacted your eyes, immediately wash your eyes with large amount of clean running water and have your eyes treated by ophthalmologist

Compulsory

Failure to receive treatment may result in eye injury.

⚠ Warning

Turn the handset power off immediately when thunder was heard

Compulsory

Lightning may cause electric shock. Stop using the handset and move to a safe place.

If the handset fails to charge within the required time, stop charging immediately

Compulsory

Battery may overheat, explode or ignite.
Contact the nearest **Vodafone Shop** or **Vodafone Customer Assistance** (page 13-30) for repair.

Insert a plug of Rapid Charger up to the end surely for metal product such as a metal string not to touch it, when inserting it to domestic use 100VAC outlet.

Compulsory

Otherwise it may cause an electric shock, a short circuit or a fire.

Do not use Mobile Flash close to eyes

Prohibited

It may cause visual disorder.
Do not take a photograph within point-blank range especially to infants.

When damage to or abnormalities such as smoke or foul odors from the handset, battery and charger is detected, do the following immediately

Compulsory

1. When charging, unplug Rapid Charger or In-Car Charger (Option) from the outlet or socket.
2. After confirming that it is cold, turn the handset power off and remove the battery.
   Continued use (charging) under these conditions may cause the battery to overheat, explode or ignite or the handset to overheat.
   If abnormalities are detected, contact the nearest **Vodafone Shop** or **Vodafone Customer Assistance** (page 13-30).

Using the handset near someone with an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, or near electronic medical equipment may cause interference from radio waves

Compulsory

Observe the following guidelines

1. Keep the handset 22 cm or more away from the place where cardiac pacemakers or defibrillators are implanted, when carrying or using it.
2. Individuals with implanted cardiac pacemakers or defibrillators may be near to you in crowded trains and other such places, therefore the handset should be turned off in such places.
   Radio waves may adversely affect the operation of such devices.
3. Follow the following precautions in medical institutions.
   - Do not bring the handset into operating rooms, intensive care units (ICU) or coronary care units (CCU).
   - Turn the handset power off in wards.
   - Turn the handset power off when there is electronic medical equipment installed near even if you are in a lobby.
   - Observe the instructions of medical institutions that may prohibit use, carrying in, etc. of the handsets in certain locations.
   - If Schedule, Action Item, Reminder or Alarm is set, cancel the settings before turning the handset power off.
4. When using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemakers and defibrillators outside of medical institutions (such as at home), check with the manufacturer about possible interference by radio waves.

The above information conforms to “The principals on use for mobile phones, etc., to prevent radio wave interference with electronic medical devices.” (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997) and also refers to the contents of “The investigative research report on the influence of radio waves on medical devices” (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ Caution

Prohibited
Do not use or leave the handset or battery in the places where they are exposed to strong direct sunlight or in hot places such as inside of cars under hot sunlight, etc.
It may cause battery to overheat or ignite.

Prohibited
Do not place a battery or charger within reach of infants
It may result in accidents or injury.

Prohibited
Do not allow the battery terminals (metal areas) to short circuit with wires or other metal objects
It may cause overheating and burns.

Prohibited
Do not pull the cord when unplugging Rapid Charger or In-Car Charger (Option) from the outlet or socket
It may damage the cord causing overheating or fire.
Unplug by holding the plug of the cord.

Prohibited
Do not pull a cord or others of a charger, bend them with force or wrap them to a Rapid Charger. And do not hurt, modify, place objects on them, heat them or bring them close to a heater
Damage to the cord may cause overheating, fire or burn.

Wet Hands Prohibited
Do not plug-in/unplug your Rapid Charger with wet hands
It may cause electric shock.

Prohibited
Keep media with magnetic strips away from the handset
Data on cash cards, credit cards, telephone cards or floppy disks etc. may be erased or damaged.

Prohibited
Do not use the handset when it causes effects on electronic devices in your car
It may cause effects on car electronic devices depending on kind of cars in use.
Do not use the handset, otherwise it may cause effects on your safety drive.

Prohibited
Do not leave the handset on unstable surfaces
Falling the handsets may cause injury or damage to the handset itself.
Pay special attention while a vibrator is being set.

Prohibited
Do not dispose of batteries with daily refuse
Dispose of used batteries individually, taping over the terminals beforehand, or take them to the nearest **Vodafone Shop**. If your area collects batteries separately, follow local regulations for their disposal.

Prohibited
Do not touch with wet hands or put into a pocket of clothes wet with sweat
It may cause overheating or failure.

Prohibited
Do not use the handset in crowded places
Antenna may cause injury or discomfort of other person due to unintended hitting with antenna.

Prohibited
Do not use In-Car Charger (Option) while car engine is stopped
It may cause battery of your car worn out.

Compulsory
If the fuse for the In-Car Charger blows out, replace it with a designated fuse
If the fuse is replaced with an undesignated fuse, it may cause overheating or fire.
Refer to the instruction manual of the In-Car Charger for the replacement of fuse.

⚠ Caution

Compulsory
If battery fluid contacts your skin or clothes, wash immediately with clean water
Battery fluid will cause skin irritations or others.

Compulsory
If you experience skin irritation, immediately stop using the handset and consult a dermatologist
The following materials and surface treatments have been used in the handset.
In rare cases, some of these materials may cause itching, rashes, eczema, etc. depending on one's predisposition and physical condition.

Part	Applied Materials/Surface Treatments
Antenna	PC resin
	Brass/chromium coating (nickel undercoat)
	Nylon
	PBT resin
	Aluminum/nickel coating
Hinge caps	ABS resin/chromium coating (nickel/copper undercoat)
Outer housing (keypad, earpiece)	PC resin/ultraviolet cured acrylic coating
Outer housing (antenna, battery, Sub Display)	PPE, PS resin/ultraviolet cured acrylic coating
Multi Selector, Side Keys	PC resin (transparent portion), ABS resin/chromium coating (nickel/copper undercoat) (two-color molding)
Keys other than Multi Selector and Side Keys	PC resin
Display panel, Sub Display panel	Acrylic resin/ultraviolet cured acrylic ink
Mobile Flash panel	Acrylic, ABC resin (two-color molding)
Earphone jack cap	Polyester elastomer resin
External interface connector cap	Polyester elastomer resin (acrylic urethane coating)
Battery charger connector	Stainless/gold coating (nickel undercoat)
Screws	Iron/nickel coating (copper undercoat)
Screw caps, screw covers	Polyurethane resin

Compulsory
Before using the handset be sure that no metal objects (such as pins, etc.) are stuck to the speaker area
It may result in accidents such as injury.

Compulsory
Pay attention on call receiving vibrator (vibration) or setting of call receiving volume
It may cause effects on your heart.

Compulsory
Pay attention not to pinch your fingers or materials when closing the handset
It may cause injury or broken the handset such as broken LCD screen.

Compulsory
Do not use Mobile Flash for other than photography or a simple light
It may cause visual disorder or injury, when eyes feel dizzy.

General Notes for Handling

Using Your Handset

- The product uses radio waves. Signals may be disrupted, even within its service areas, if you are indoors, underground, inside a tunnel or moving.
  When you move to places where transmission is poor, the call may be abruptly terminated.
- Please be careful not to cause inconvenience to other people when using the handset in public places.
- The handsets are radios under the Wireless Telegraphy Act.
  By law, the handsets are subject to inspection.
- Using the handset near fixed line phones, TV or radio may affect their sound and image quality.
- The handset employs a digital system to maintain a high level of communication quality. However, calls may be terminated abruptly when signal strength becomes too weak to reach the handset.
- The digital system has a high level of privacy, however there is a possibility of eavesdropping due to use of radio waves.
- This product is exclusively for use in Japan.
- Recorded data may be damaged or lost under the following conditions.
  Vodafone and Toshiba cannot be held liable for damaged or lost data:
  - When used improperly.
  - When exposed to dielectric or electric noise.
  - When the handset power is turned off during operation.
  - When battery charge is depleted or completely exhausted.
  - When the handset is out of order or repaired.

Inside Vehicles

- Using the handset while driving is prohibited by law.
- Do not park your car in prohibited areas to use the handset.

Aboard Aircraft

Do not use the handset aboard an aircraft.
Turn the handset power off (Cancel Schedule, Action Item, Reminder and Alarm functions before turning off the power).

Handset Basics

- Do not use the handset in extreme temperatures, direct sunlight or dusty places.
- Do not drop the handset or subject it to physical shock.
- To clean, wipe with a dry, soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents as they may cause discoloration or remove printed type.
- Take care not to expose the handset to rain, snow or high humidity.
- The handset is a precision wireless communication device.
- Do not attempt to disassemble or modify.
- Do not sit down with the handset in your pants pocket.
- If the battery is removed for a long time or the handset was left too long without enough remaining charges in the battery, stored data and settings may be erased or altered.
- The handset's battery is a lithium ion battery. Replace the battery with new specified one when the operation time becomes extremely short even after it is charged fully.
  The battery's lifespan will vary by conditions of handset usage.
- Vodafone and Toshiba shall not be liable for any damages or loss incurred from handset misuse as mentioned above.
- The handset display may have some pixels missing or remaining lit due to its characteristics. This is not a defect or malfunction.
  When it displays the same picture for a long period, an afterimage may be permanently burned into it.
- Be sure that the earphone microphone is securely inserted into its earphone jack. If not, it may generate noise to your recipient during calls.
- Do not close the handset with the strap inside. This may cause malfunction or damage.
- In general, the sensitivity is reduced if you touch the antenna of the handset. Be sure not to touch the antenna during use.

Mobile Camera

- Do not leave the camera lens exposed to direct sunlight.
  Concentrating sunlight function of lens may cause the handset to malfunction.
- Do not use the camera to photograph information from books, magazines, etc. in bookstores or other unauthorized places.

Mobile Flash / Illumination

- Do not use the flash in the environment with high humidity.
- Mobile flash and Illumination have a limited life. Repeated use of the flash decreases luminous energy of the flash. When the luminous energy has decreased please contact the nearest **Vodafone Shop** or **Vodafone Customer Assistance**. (☞page 13-30)
- Use of mobile flash in a hot or cold environment could cause short lifetime of the flash.
- The color of the side illumination may differ slightly from each other.

Copyrights

Music, images, computer programs, databases and others are copyrighted materials and respective copyright holders are protected by copyright laws.
Duplication of copyrighted material is permitted only for use by the individual or household.
Exceeding these restrictions when making copies (including data conversion), modifications, transferring or distributing copies on networks without proper authorization constitutes Literary Piracy and Copyright Infringement.
Criminal punishment or claims for reparations may be filed.
If you make copies using this product, observe copyright laws.
Moreover, still and video images captured using the camera are also subject to the same restrictions.

Right of Portrait

Right of Portrait is the right to claim not to be photographed without permission, or his or her photograph taken not to be publicized or utilized without permission.
Right of Portrait is composed of personal right that is admitted to every one and property right (publicity right) focused on economical profit of entertainers, actors/actresses, and so on.
Please be careful not to violate the law by photographing and publicizing the photo of other persons, entertainers or actors/actresses without permission when using photographing function of the handset.

Handset Parts and Functions

Display and Sub Display are covered with a protective film at the time of purchase. Be sure to remove this film before using your new handset.

Earpiece

Menu Key
Open Multi Menu, etc.

Multi Selector
Open Function menu and Phone Book. Also, acts as a camera shutter-release, etc.

/ Key
Access Vodafone live! Services (Mail, Web, Station), camera, etc.

Start Key
Initiate/answer calls.

Text/Lowercase Key
Open Entry Menu. Use to change text input mode, etc.

***/Symbol/ Key**
Enter *, and access symbols in text entry mode. Toggle between Display and Sub Display for camera image, etc.

Microphone

External Connector
Insert Rapid Charger and other equipment.

Display

/Schedule Key
Access mail and Schedule.

Power/End Key
Turn handset power on/off, end calls, end operations, return to Standby, and place a call on hold.

Clear Key
Delete phone numbers, text, etc. and return to the previous screen.

Shortcut/Simple Key
Access Simple Mode, Shortcut Menu, etc.

Key Pad

#/ / /Manner Mode Key
Enter #, set Manner Mode, etc.

Mobile Camera

Illumination
Flashes for incoming calls, missed calls, unread mail, etc.

Mobile Flash
Used for indoor and night photography. Also functions as a penlight in Standby.

Sub Display

Antenna

Battery Charge Lamp
Illuminates red during charging, and turns off when charging is complete.
Also flashes while using Camera.

Strap Attachment Eyelet

Rear Speaker
Sounds the incoming ring tone and can be switched from the earpiece to listen to recipient's voices and other sounds.

Charger Contacts
For charging handset in Desktop Holder.

Earphone Jack
Insert earphone/ microphone headset with switch (optional).

Upper Side Key
Operate camera zoom, set Message Recorder, play messages, etc.

Lower Side Key
Use as shutter-release, activate Mobile Flash, etc.

Attaching Strap
Thread the small loop through the attachment eyelet on the handset and pass the other end of the strap through the loop, as shown in the picture.

Display Indicators

Sub Display Indicators

Confirm information and settings on the Sub Display without opening the handset.

In Standby Mode

- Standby Display
- Standby Display when there are missed calls, etc.

Receiving a Call

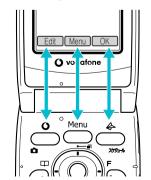
- Caller's number is not saved in Phone Book
- Caller's number is saved in Phone Book
- Handset's number display function is off
- No Caller ID
- Call from payphone
- Caller ID is not supported

Multi Selector

Use Multi Selector to perform various tasks.

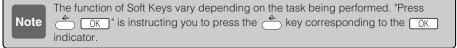
Function		Notation used in this manual		
	● Opens Functions menu ● Scrolls or moves cursor right ● Selects and implements selected operations	Press right	Press left or right	Press up, down, left, or right
	● Opens Phone Book ● Scrolls or moves cursor left ● Redisplays the previous screen	Press left		
	● Displays Received Calls ● Scrolls or moves cursor up ● Increases volume	Press up	Press up or down	
	● Displays Redial ● Scrolls or moves cursor down ● Decreases volume	Press down		
	● Selects and implements selected operations ● Captures images (operates shutter release)	Press center		

Soft Keys

Each Soft Key corresponds to an indicator, appearing at the bottom of the display. Press the corresponding Soft Key to perform an operation described by the indicator (see diagram below).

· Press [Edit] to perform editing.

· Press Menu [Menu] to open a menu.

· Press [OK] to complete the current task.

Note The function of Soft Keys vary depending on the task being performed. "Press [OK]" is instructing you to press the key corresponding to the [OK] indicator.

Codes

Security Code or Center Access Code must be entered to access some functions.

■ **Security Code**

Security Code is either 9999 or the four-digit number you selected when you signed your contract.

Tip Do not forget or reveal your Security Code to others.

Note Security Code can be changed on your handset.

■ **Center Access Code**

Center Access Code is the four-digit number that you wrote on your subscription form.

Tip
- Do not forget your Center Access Code. If you do forget your Center Access Code, contact Customer Service (☞page 13-30).
- Do not reveal your Center Access Code to others. Vodafone will not in any way be held responsible for any damage caused as a result of a third party's knowledge of your Center Access Code.

Rapid Charger

1 Connect Rapid Charger to the handset
Make certain the print on Rapid Charger connector is facing upwards.

2 Insert Rapid Charger plug into a 100 V AC outlet
Illumination lights for approximately 2 seconds after the plug is inserted. Battery Level indicator flashes and Battery Charge Lamp lights red during charging.

3 After Battery Charge Lamp goes out, remove Rapid Charger plug from the outlet
Charging takes approximately 110 minutes.

4 Remove Rapid Charger connector from the handset
Press the release tabs on both sides of the connector when removing it.

Basic Handset Operations

Turning Power On

Press for 2+ seconds

Standby Display appears.

Turning Power Off

Press for 1+ seconds in Standby

Changing Display Language

ex. Changing to English

1 **Press 3 5**

2 **Use to select *English* and press**

Display language is set to ***English*** and the handset returns to Standby.

Select 日本語 in Step 2 to return the display language to Japanese.

Displaying Handset Number

Press 0

Setting Time & Date

1 **Press 5 9**

2 **Press**

3 **Enter year, month, day, and time and press**

Enter just the last two digits for the year.

Making a Call

1 **Confirm that the power is on**

2 **Enter a phone number**

3 **Press**

4 **To end the call, press**

■ Making an International Call

ex. Calling Britain

1 **Press 4 4 (country code)**

2 **Enter a phone number**

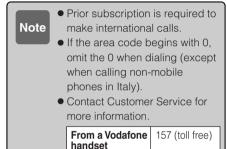
3 **Press Global**

International Code (0046010) is added automatically.

4 **Press**

5 **To end the call, press**

Note

- Prior subscription is required to make international calls.
- If the area code begins with 0, omit the 0 when dialing (except when calling non-mobile phones in Italy).
- Contact Customer Service for more information.

From a Vodafone handset	157 (toll free)
From a landline	0088-21-2000 (toll free)

Redialing a Number

1 **Press and use to select the number**

2 **Press**

3 **To end the call, press**

Answering a Call

1 **A call arrives**

The handset rings/vibrates and Illumination flashes.

2 **Press to answer the call**

3 **To end the call, press**

Confirming Total Call Charge

Press 6 0

The displayed charge serves as a reference and may differ from the actual charge billed.

Confirming Total Call Time

Press 6 2

The displayed time serves as a reference and may differ from the actual call time.

Placing a Call on Hold

1 **A call arrives**

The handset rings/vibrates and Illumination flashes.

2 **Press to place the call on hold**

A message announces that you are unable to answer the call at the moment in Japanese.

3 **Press to establish a connection**

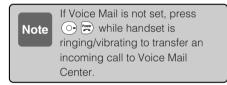
4 **To end the call, press**

Missed Calls

When unable to answer a call, the caller can leave a message on the handset (Message Recorder) or at Voice Mail Center (Voice Mail), or the call can be forwarded to a designated number (Call Forwarding).

Function/Service	To Set	To Cancel
Message Recorder	Press Upper Side Key for 1+ seconds.	Press Upper Side Key for 1+ seconds.
Voice Mail	Press 7 2 .	Press 7 3 .
Call Forwarding	Press 7 1 , enter a phone number, and press .	

Note

If Voice Mail is not set, press while handset is ringing/vibrating to transfer an incoming call to Voice Mail Center.

Confirming Received Calls

1 **Press to display the phone numbers of the two most recent calls**

2 **Use to scroll past calls**

■ Calling a Number in Received Calls

1 **Press and use to select a phone number**

2 **Press to place the call**

Manner Mode

Select from the following three types of Manner Mode.

Silent mode	All sounds except shutter release sound are off.
Alarm mode	All sounds except Alarm Clock and shutter release sounds are off.
Original Manner mode	Customize your own Manner Mode.

■ Setting/Canceling Manner Mode

Press # for 1+ seconds

■ Selecting Manner Mode

ex. Setting to Alarm mode

1 Press 1 6

2 Use to select *Alarm* and press ●

Entering Characters

From a text entry window, perform the following steps to enter characters.

Changing to English Input Mode

1 Press

2 Use to select a for lowercase letters and A for uppercase letters and press ●

Entering Text

ex. Entering the word "dog"

1 Select Lowercase mode

See "Changing to English Input Mode" (above).

2 Press 3 to enter "d"

3 Press 6 three times, then to enter "o"

4 Press 4 to enter "g"

Note: To enter a symbol, press *. Use to select symbol and press ●.

Mark Palette

、 。 , . ・ : ; ? ! ゛ ゜ ´ ^
¯ _ ー / | ' " ( ) [ ] { } 「
」 + − = < > ¥ $ % # & * @

Key Assignment

Key	Press once	Press twice	Press three times	Press four times	Press five times
1	.	@	-	_	1
2	a	b	c	2	
3	d	e	f	3	
4	g	h	i	4	
5	j	k	l	5	
6	m	n	o	6	
7	p	q	r	s	7
8	t	u	v	8	
9	w	x	y	z	9
0	~	/	?	!	0

Phone Book

Each Phone Book entry allows you to enter:

- Name
- Reading
- Two phone numbers
- Two e-mail addresses
- Memo
- Street address
- Birthday

Customize entries by setting a picture, group and various options.

Creating & Modifying a Phone Book Entry

■ Creating an Entry from a Name

1 Press
Name (Ph Book) is highlighted.
2 Press ●
3 Enter a name and press ●
See "Entering Text" (☞page 13-21).
4 Use to select *Phone No.* and press Edit
5 Enter a phone number and press ●
6 Use to select *E-mail Address* and press Edit
7 Enter an address and press ●
8 Press OK

■ Editing an Entry

1 Press Mode
2 Use to select *List* and press ●
3 Use to select an entry and press ●
4 Use to select a field and press Edit
5 Edit the field and press ●
6 Press OK

■ Creating an Entry from Received Calls

1 Press
2 Use to select a phone number and press Menu to open Sub Menu
New PH Book is highlighted.
3 Press ●
4 Press Edit
5 Enter a name and press ●
See "Entering Text" (☞page 13-21).
6 Use to select *E-mail Address* and press Edit
7 Enter an address and press ●
8 Press OK

Calling from Phone Book

■ Searching from List

1 Press Mode
2 Use to select *List* and press ●
3 Use to select an entry and press

■ Searching by Name

1 Press Mode
2 Use to select *Reading* and press ●
3 Enter a name and press ● to search for a matching entry
See "Entering Text" (☞page 13-21).
4 Press

Camera

Before Using Camera

- To avoid blurred images, hold the handset steady or place it on a firm surface and use the timer.
- Fingerprints, smudges, dust, etc. on the lens will affect focusing. Wipe the glass with a soft cloth before use.
- Make certain your finger, strap or antenna is not blocking the lens.
- Under certain conditions, the captured images may be too bright or dark.
- Use Mobile Flash for capturing images in dark locations.

Capturing Images

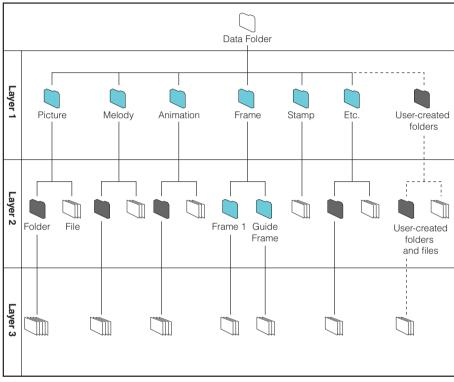
Capture and save still images with the built-in camera. Images are saved in JPEG format. The following four modes are available:

Sha-mail Mode Use the captured image to set as wallpaper or send as attachments.
Camera Mode Use this high-resolution mode to output images to external devices such as computers.
Trick Shooting Mode **Virtual Wig Mode** Use this mode to superimpose self-made frames on images. **Virtual Trip Mode** Use this mode to superimpose image cutouts onto backgrounds.

ex. Shooting in Sha-mail Mode

1 Press
2 Use to select *Camera* and press ●
3 Use to select *Sha-mail* and press ●
Frame the subject.
4 Press ●
The shutter clicks and the image is captured.
5 Press Entry
The image is saved to Picture folder in Data Folder. The date and time of recording are entered as the file name. (ex. A picture taken at 15:30 on June 1st, 2004, is saved as "04-06-01_15-30".)

Data Folder

By default, there are six folders inside Data Folder: Picture, Melody, Animation, Frame, Stamp, and Etc. Create new folders to store data such as images, melodies, and files downloaded from TOSHIBA User Club Site for V302T (accessed from Multi Menu). A total of up to 600 files and folders with up to 2 MB of data can be stored. Send the stored data as Long Mail attachments. Data Folder has three layers, as shown below.

- are default folders.
- are new folders.
- Use folders to organize files by type and purpose.
- Folders are stored in layers 1 and 2 and files are stored in layers 2 and 3.
- Files can be moved from one folder to another.

Files Storable in Data Folder

The following shows the types of files that can be stored in each folder in Data Folder.

Folder (Layer 1)	File Format	Icon	Extension	Display/ Playback	Mail Attachment
Picture	JPEG file		.jpg, .jpe, .jpeg	√	√
			.jpz	√	
	PNG file		.png	√	√
			.pnz	√	
Melody	Melody file[1]		.org	√	√
			.smd	√	√
			.smz, .smx	√	
	SMAF file		.mmf	√	√
	40-chord SMAF file				
Animation	JPEG animation file		—	√	√
	PNG animation file		—		
	PNG/JPEG animation file		—		
Frame[2]	PNG file		.png	√	
Stamp[3]	Stamp file		.png	√	
Etc. or User-created folders[4]	Text file		.txt	√	
	Files of unknown type		—		

1: A Melody file (original ring tone) attached to a mail message, is converted to SMAF file ( ) format.

2: Store frames downloaded from TOSHIBA User Club Site for V302T site and the Web in the Frame folder.

3: Store stamps downloaded from TOSHIBA User Club Site for V302T site in the Stamp folder.

4: Files that can be stored in the Picture, Melody, and Animation folders can also be stored in the Etc. folder and new folders created in layer 1. A new layer-2 folder created within a layer-1 folder can only contain the same types of data as the layer-1 folder.
For example, only JPEG ( ) and PNG ( ) files can be stored in a folder created in the Picture folder. As files of any type can be stored in the Etc. folder and new layer-1 folders, folders created within these folders can also store files of any type.

Optional Services

Call Forwarding

Use this service to forward calls to another phone number when the handset is out-of-range, Off-Line Mode is set, you do not have the handset with you etc. The forwarding phone number must be set beforehand.

Voice Mail

Activate this service to forward calls to Voice Mail Center. Callers can leave messages when the handset is out-of-range, Off-Line Mode is set or you are unable to answer a call. (Call charges apply for checking messages.)

Drive Mode

Use this service when driving. The ringer is disabled and a message informs callers you are driving and unable to answer the call. If you are subscribed to Voice Mail and the service is activated, calls are forwarded to Voice Mail Center. This service is currently unavailable to subscribers in Kanto/Koshin, Tokai, and Kansai regions.

Call Waiting

Receive incoming calls during a call-in-progress. A monthly subscription fee is required.

3 Way Calling

This service allows you to talk to two parties simultaneously or switch the connection between two parties. A monthly subscription fee is required.

Caller ID

Caller ID displays the caller's phone number on the receiver's handset. Your handset is set to send Caller ID unless you requested otherwise at time of subscription. For further details, contact Customer Service (☞page 13-30).

Functions List

Use ◎ to access the following F Functions:

■Sounds

No.	Function Name	Description
F10	Incoming	Set Ring Tone, Ringer Volume and Vibration
F13	Effects	Set Power On/Power Off tone, keypad tone and opening/closing tone
F14	Volume	Adjust volume
F15	Create Ring Tone	Compose Original Ring Tones
F16	Manner Mode	Select from three different types of Manner Mode

■Security

No.	Function Name	Description
F20	Keypad Lock	Lock keypad to restrict handset use by others
F21	Auto Lock	Lock keypad automatically when handset is powered on
F22	Secret Mode	Set/cancel Secret Mode
F23	Restrictions	Restrict dialing from Phone Book/Keypad and reject all incoming calls
F24	Off-Line	Suspend signal reception and transmission
F25	Reset All	Reset all settings and delete all entries
F26	Reject	Reject specific incoming calls
F27	Clear Memory	Clear Phone Book entries, Redial history, Received Calls history, etc.
F28	Change Code	Change Security Code
F29	Reset	Reset all functions to default settings

■Settings

No.	Function Name	Description
F30	Guide	Access function guide
F31	Memory Use	Confirm memory status
F32	Auto Answer	Automatically answer calls when using headsets
F33	Power Save	Set power saving
F34	Backlight	Adjust display contrast and set backlight illumination time
F35	言語選択 (Language)	Change display language
F36	Open Talk	Set handset to answer calls by opening handset
F37	Group	Change group settings
F38	Signal	Set Quality Alarm to alert of weak signal
F39	Side Key	Assign a function to Side Key

■Settings 2

No.	Function Name	Description
F40	Recordings	Confirm number of Message Recorder and Voice Memo recordings
F41	Delete	Delete Message Recorder and Voice Memo recordings
F42	Message Recorder	Set/cancel Message Recorder and set Message Recorder ring time
F43	Words List	Save/edit often used words in Words List
F46	Owner Information	Enter personal data
F47	Menu/Icons	Select design for indicators/icons, Multi Menu, etc.
F49	Images	Select Wallpaper and other images

■Clock and Alarm

No.	Function Name	Description
F52	Alarm Clock	Set Alarm Clock
F59	Set Clock	Set Clock

■Call Times and Charges

No.	Function Name	Description
F60	Charges	View total call charge
F61	Call Charges	View call charge for last call
F62	Total Time	View total call time
F63	Call Time	View call time for last call

■Optional Services

No.	Function Name	Description
F70	Ring Time	Set ring time before calls are transferred to Voice Mail Center or forwarded [3]
F71	Forwarding	Forward calls to a different phone number
F72	Voice Mail	Activate Voice Mail
F73	Services Off	Cancel Call Forwarding and Voice Mail
F74	Status	Confirm On/Off status of Call Forwarding and Voice Mail
F75	Call Waiting	Activate/cancel Call Waiting [2, 3]
F76	Alert Status	Confirm On/Off status of Call Waiting [2, 3]
F77	International Call	Change International Code
F78	3 Way Calling	Start 3 Way Calling[1]
	Break Away	Break off your connection from 3 way Calling [1, 2, 3]
F79	Show/Hide Caller ID	Add 184 to hide Caller ID or 186 to show Caller ID on recipient's handset for outgoing calls

■Others

No.	Function Name	Description
F0	My Number	Display handset number
Extended press of F	Side Key Lock	Set/cancel Side Key Lock
F + Clear Key	Call Limited	Reject a call [4]
F + Power/End Key	Forward to Voice Mail	Transfer a call to Voice Mail Center [2, 3, 4]
F + Schedule/Text/Lowercase Key	Stop Snooze	Cancel Snooze

1: If pressed during a call.
2: Currently unavailable in Hokkaido, Hokuriku and Kyushu/Okinawa service regions.
3: Currently unavailable in Tohoku/Niigata, Chugoku, and Shikoku service regions.
4: If pressed during incoming call.

Main Specifications

V302T

Weight	Approx. 105 g
Continuous talk time	Approx. 120 min
Continuous standby time	Approx. 360 hours (when handset is closed)
Charge Time	Approx. 110 min
Dimensions (W × H × D)	Approx. 49 mm x 94 mm x 24 mm (when handset is closed)
Maximum output	0.8 W

Mobile Camera

F-stop	2.8
Focal distance	4.0 mm
Shutter speed	0.095 to 50 ms (electronic shutter)
Lens	Fixed focus (minimum 30 cm)

- The above values were calculated with the battery installed.
- Continuous talk time is the average value calculated with a new fully-charged battery installed, Power Save off and the handset is stationary and receiving signals correctly.
- Continuous standby time is the average value calculated with a new fully-charged battery installed, the handset is closed, the handset is stationary and receiving signals correctly and no calls or operations are performed. If the handset is outside the service area or in an area with poor signal reception (such as inside a building, vehicle, etc.) this value may be reduced by up to half. This value may also be affected by other conditions such as battery charge, temperature etc.
- Repeated charging and discharging of a battery reduces battery life. The battery's lifespan is one year, after which time a new battery should be purchased because the operation time becomes too short for practical use.
- Continuous talk time and continuous standby time will be reduced if camera is used frequently with Mobile Flash.
- If the handset is used with display backlight on for long periods of time (such as when using Web services or animation is set for Wallpaper), continuous talk time and continuous standby time will be reduced.
- When using Station services, more battery power is consumed due to automatic updates being received on the handset.

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone handset or service, please call General Information. For service or handset repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones

Subscription areas:

Area	Service	Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Ooita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

F機能一覧

◎を使って機能を検索し、設定内容の確認、変更などが行えます。

■音

機能No.	項　目	参照ページ
F10	着信音量を調節する	5-2
	着信音パターンを変更する	5-3
	バイブレータで着信をお知らせする	5-5
F13	ウェイクアップ音／パワーオフ音を設定する	5-9
	ボタン確認音を設定する	5-11
	オープン音／クローズ音を設定する	5-12
F14	サウンド音量を調節する	5-22
F15	オリジナルの着信音を作る［オリジナル着信音］	5-15
F16	マナーモードの種類を変更する	5-7

■管理

機能No.	項　目	参照ページ
F20	ダイヤル操作を禁止する［ダイヤル操作禁止］	6-2
F21	簡易ロックをかける	6-3
F22	シークレットモードを設定する	4-13
F23	メモリダイヤルの使用を禁止する［メモリ使用禁止］	6-4
	ダイヤルボタンでの発信を禁止する［ダイヤル禁止］	6-4
	すべての着信を禁止する［着信禁止］	6-4
F24	電波の送受信を禁止する［オフラインモード］	6-5
F25	オールリセットを行う	6-15
F26	特定の着信を拒否する［指定着信拒否］	6-8
F27	メモリ内容を消去する［メモリオールクリア］	6-14
F28	操作用暗証番号を変更する［暗証番号変更］	6-10
F29	各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す［設定リセット］	6-11

■設定

機能No.	項　目	参照ページ
F30	ガイドを利用する	11-24
F31	メモリダイヤルの登録状況やデータフォルダの使用状況などを確認する	4-12
F32	自動で電話に応答する［自動着信］	11-25
F33	バッテリーセーブを設定する［ディスプレイ省電力］［通話中節電］	11-26
F34	パネル照明を設定する	7-2
F35	表示言語を選択する	7-23
F36	オープン通話を設定する	11-28
F37	グループの内容を変更する［グループ設定］	4-15
F38	通話品質アラームを設定する	11-29
F39	サイドキーの機能を設定する	11-37

■録音／設定

機能No.	項　目	参照ページ
F40	簡易留守録・音声メモの録音件数を確認する	11-17
F41	簡易留守録・音声メモの録音内容をすべて消去する	2-16
F42	簡易留守録の設定／解除	11-14 11-16
	簡易留守録の応答時間を変更する	11-16
F43	ユーザー辞書を利用する［ユーザー辞書登録］	3-17
F46	オーナー登録を行う	11-12
F47	マルチメニューイラスト／待受アイコン／割込みフレームを変更する［メニュー設定］	7-6
F49	壁紙／マイキャラクタを表示する	7-9 7-13

■時計／アラーム

機能No.	項　目	参照ページ
F52	目覚ましを利用する	10-28
F59	日付・時刻を合わせる［時計設定］	2-3

■時間／料金

機能No.	項　目	参照ページ
F60	累積通話料金を表示する	2-21
F61	通話料金を表示する	2-21
F62	累積通話時間を表示する	2-19
F63	通話時間を表示する	2-19

■付加サービス

機能No.	項　目	参照ページ
F70	転送電話サービス・留守番電話サービスの呼び出し時間を変更する（※3）	12-7
F71	転送電話サービスを利用する	12-3
F72	留守番電話サービスを利用する	12-5
F73	転送電話サービス・留守番電話サービスを解除する	12-4 12-5
F74	転送電話サービス・留守番電話サービスの設定状況を確認する	12-4 12-6
F75	割込通話サービスの設定／解除（※2、3）	12-9
F76	割込通話サービスの設定状況を確認する（※2、3）	12-9
F77	国際ショートコードを変更する	11-33
F78	3人で同時に通話する［三者通話］（※1）	12-12
	自分だけが途中から抜ける［通話中転送］（※1、2、3）	12-11 12-12
F79	184／186付加を設定する	11-30

■その他

機能No.	項　目	参照ページ
F0	自分の電話番号を確認する［自局電話番号表示］	2-22
F長押し	サイドキーの誤動作を防止する	6-16
Fクリア	かかってきた電話を拒否する［着信拒否］（※4）	2-12
F電源	かかってきた電話を留守番電話センターに転送する（※2、3、4）	12-5
F文字	目覚ましの繰返しを停止する	10-28

※1 通話中に押した場合
※2 北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※3 東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※4 着信中に押した場合

こんなときはご利用になれません

● 「（圏外）」の表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいます。「」の表示が消える場所へ移動してください。

● 「」の表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。オフラインモードを解除してください（☞6-5ページ）。

● 「電池交換充電」のメッセージが出ているとき

電池がほとんどありません。電池パックを充電するか予備の電池パックと交換してください（☞1-7～10ページ）。

● 「ダイヤル操作禁止」のメッセージが出ているとき

ダイヤル操作禁止がかかっています。操作用暗証番号を入力して、ダイヤル操作禁止を解除してください（☞6-2ページ）。

● 「着信禁止」のメッセージが出ているとき

着信禁止が設定されています。着信禁止を解除してください（☞6-4ページ）。

● 発信時に「ダイヤル禁止が設定されています」のメッセージが出るとき

ダイヤル禁止が設定されています。ダイヤル禁止を解除してください（☞6-4ページ）。

● 発信時に「現在電話がかかりにくくなっております」のメッセージが出るとき

しばらくたってから、再度かけ直してください。

付録 14

故障かな？と思ったら

症　状	確認すること	処　置
電源が入らない	電池パックは正しく取り付けられていますか？ 電池切れになっていませんか？	電池パックを正しく取り付けてください（☞1-8ページ）。 電池パックを充電してください（☞1-9、10ページ）。
充電ランプが赤く点滅し、充電ができない	充電端子または電池パック端子が汚れていませんか？	乾いた綿棒などで汚れを拭きとってください（☞1-7ページ）。それでも赤く点滅し続ける場合には、お問い合わせ先（☞14-7ページ）までご連絡ください。
ダイヤルしても話中音（プープー…）が聞こえる	「」または「」が表示されていませんか？	「」が表示されている場合は、電波の届く場所に移動してかけ直してください。「」が表示されている場合には、オフラインモードを解除してください（☞6-5ページ）。
「電池交換充電」と表示され、「ピッピッピッ」と鳴る	電池がほとんどありません。	電池パックを充電してください。
「（圏外）」が表示され、電話がかけられない	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。それでも「（圏外）」が消えない場合には、お問い合わせ先（☞14-7ページ）までご連絡ください。
「ダイヤル操作禁止」と表示され、電話がかけられない	ダイヤル操作禁止がかかっています。	ダイヤル操作禁止を解除してください（☞6-2ページ）。
カメラモードにすると**「前の操作を終了してから起動してください」**と表示され撮影できない	すでにカメラモードに入っていませんか？	先に入っていたカメラモードを終了させてください。
カメラモードにすると画面に縦縞が発生する	「**地域設定**」がご使用の地域とあっていますか？	「**地域設定**」を撮影場所にあわせて変更してください（☞8-21ページ）。
着信、メール拒否設定したのに、着信（受信）してしまう	「**指定No.拒否**」、「**アドレスフィルタ**」が「**OFF**」になっていませんか？	「**指定No.拒否**」、「**アドレスフィルタ**」を「**ON**」にしてください（☞6-6ページ）。

メール、ウェブ、ステーションについては「こんなときは」（☞Vodafone live!編）を参照してください。

■故障の場合

ディスプレイに「**故障中**」と表示されたときは、すぐに電源を切って、**お問い合わせ先**（☞14-7ページ）までご連絡ください。

付録 14

保証書とアフターサービスについて

■保証

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。
保証書に「お買上げ日」および「取扱店」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。
〈保証期間〉お買上げ日より一年間です。

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■修理

「故障かな？と思ったら」(☞14-5ページ)をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**(☞14-7ページ)までご連絡ください。

- **保証期間中の修理**

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

- **保証期間経過後の修理**

修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にV302Tに登録したデータ(メモリダイヤルやデータフォルダの内容など)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

■アフターサービスについてご不明な場合は

最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**(☞14-7ページ)までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内	**ボーダフォン携帯電話から157(無料)**
紛失・故障受付	**ボーダフォン携帯電話から113(無料)**

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

地域		
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-240-113(無料)
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-241-113(無料)
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-242-113(無料)
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-259-113(無料)
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-247-113(無料)
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157(無料)
	紛失・故障受付	0088-250-113(無料)

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

主な仕様

V302T

質量	約105g
連続通話時間	約120分
連続待受時間	約360時間（折りたたみ時）
充電時間	約110分
サイズ（W×H×D）	約49×約94×約24mm（折りたたみ時）
最大出力	0.8W

モバイルカメラ

F値	2.8
焦点距離	4.0mm
シャッタースピード	0.095～50（ms）（電子シャッター）
レンズ	固定焦点（30cm以遠）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信および通話中節電「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、V302Tを折りたたんだ状態で充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
  なお、使用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。電池パックの寿命は約1年程度ですので、使用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- モバイルフラッシュを使用した状態でのカメラのご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- ディスプレイやサブディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多い場合や壁紙（☞7-6、7-11ページ）にアニメーションを選択した場合などは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。

V302T　取扱説明書
基本操作編

2004年1月　第1版発行

ボーダフォン株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
ボーダフォン取扱店にご相談ください。

機種名：V302T
製造元：株式会社 東芝

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。